

設置等の主旨（資料）

- 【資料 1-1】 今後の英語教育の改善・充実方策について 報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～
- 【資料 1-2】 今後の物流政策の基本的な方向性等について（答申）」社会資本整備審議会交通政策審議会
- 【資料 1-3】 2020 年代の総合物流施策大綱に関する有識者検討会 提言
- 【資料 1-4】 通商白書 2020
- 【資料 1-5】 グローバル・サプライチェーン・トップ 25 ガートナー社
- 【資料 1-6】 総合物流施策大綱（2017 年度～2020 年度）
- 【資料 1-7】 学習指導要領の改訂
- 【資料 1-8】 物流分野における高度人材の育成・確保に関する調査研究
- 【資料 1-9】 2020 年代の総合物流施策大綱に関する検討会提言
- 【資料 1-10】 通商白書 2021
- 【資料 1-11-1, 1-11-2】 情報通信白書（平成 29 年版）
- 【資料 1-12】 デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査
- 【資料 1-13】 平成 30 年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備-IT 人材の需給に関する調査
- 【資料 1-14】 情報セキュリティ 10 大脅威
- 【資料 1-15】 IT 人材白書 2020 ※ただし概要版

- 【資料 1-16】 通商白書 2021
- 【資料 1-17】 令和元年 開港別貿易額表
- 【資料 1-18】 令和元年 全国開港別外国船入港隻数表
- 【資料 1-19】 総合物流施策大綱（2021 年度～2025 年度）
- 【資料 1-20】 京急川崎駅西口地区まちづくり協定
- 【資料 1-21】 副申書
- 【資料 1-22】 グローバル Biz 専門職大学（仮称）の設立賛同書
- 【資料 1-23】 要望書
- 【資料 3-1】 大学英語名称の理由
- 【資料 4-1】 カリキュラムマップ
- 【資料 4-2】 カリキュラムツリー
- 【資料 5-1】 教育課程に対する教員組織構成
- 【資料 6-1】 教育課程等の概要
- 【資料 6-2】 長期履修規程
- 【資料 8-1】 校地校舎等の図面
- 【資料 8-2】 図書室、図書閲覧室の見取り図
- 【資料 8-3】 必要校地面積の減算に関する説明書
- 【資料 8-4】 整備する専門書一覧

- 【資料 8-5】 整備する学術雑誌一覧
- 【資料 11-1】 臨地実務実習施設一覧
- 【資料 11-2】 臨地実務実習希望調書フォーム
- 【資料 11-3】 臨地実務実習実施評価書フォーム
- 【資料 11-4】 臨地実務実習記録フォーム
- 【資料 11-5】 臨地実務実習時の事故・災害発生報告フォーム
- 【資料 A】 教室使用状況表
- 【資料 B】 学則
- 【資料 C】 教授会則
- 【資料 D】 教育課程連携協議会規程
- 【資料 E】 教員定年規定等就業規則案
- 【資料 F】 時間割表
- 【資料 G】 人材像と3つのポリシー骨子
- 【資料 H】 臨地実務実習要綱

今後の英語教育の改善・充実方策について 報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～

目次

- 1 英語教育改革の背景
- 2 必要な改革について
 - 改革1. 国が示す教育目標・内容の改善
 - 改革2. 学校における指導と評価の改善
 - 改革3. 高等学校・大学の英語力の評価及び入学者選抜の改善
 - 改革4. 教科書・教材の充実
 - 改革5. 学校における指導体制の充実
- 3 英語教育の在り方に関する有識者会議における議論の詳細

1 英語教育改革の背景

○ グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要である。アジアの中でトップクラスの英語力を目指すべき。今後の英語教育改革においては、その基礎的・基本的な知識・技能とそれらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成は重要な課題。

○ 我が国の英語教育では、現行の学習指導要領を受けた進展も見られるが、特にコミュニケーション能力の育成について改善を加速化すべき課題も多い。東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020(平成32)年を見据え、小・中・高等学校を通じた新たな英語教育改革を順次実施できるよう検討を進める。並行して、これに向けた準備期間の取組や、先取りした改革を進める。

○ 本有識者会議は、文部科学省の「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を受けて平成26年2月に設置され、小・中・高等学校を通じた英語教育改革について9回の審議を重ねており、これまでの議論を審議まとめとして整理した。

○ 今般の英語教育改革の背景として、社会における急速なグローバル化の進展という社会的な背景と、これまでの英語教育改革の進展や課題を踏まえた更なる取組の充実の2点が挙げられる。

グローバル化の進展の中での英語力の重要性

○ 社会の急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって極めて重要な問題。

これからは、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際に、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって不可欠であり、アジアの中でトップクラスの英語力を目指すべきである。今後の英語教育改革において、その基礎的・基本的な知識・技能とそれらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成することは、児童生徒の将来的な可能性の広がりのために欠かせない。

もちろん、社会のグローバル化の進展への対応は、英語さえ習得すればよいということではない。我が国の歴史・文化等の教養とともに、思考力・判断力・表現力等を備えることにより、情報や考えなどを積極的に発信し、相手とのコミュニケーションができなければならない。

○ 我が国では、人々が英語をはじめとする外国語を日常的に使用する機会は限られている。しかしながら、東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020(平成32)年はもとより、現在、学校で学ぶ児童生徒が卒業後に社会で活躍するであろう2050(平成62)年頃には、我が国は、多文化・多言語・多民族の人たちが、協調と競争する国際的な環境の中にあることが予想され、そうした中で、国民一人一人が、様々な社会的・職業的な場面において、外国語を用いたコミュニケーションを行う機会が格段に増えることが想定される。

これまでの英語教育の改革を経た更なる改善

○ これまで英語教育では、幾多の議論を経て現行の学習指導要領が実施され、小・中・高等学校を通じて多くの取組と成果が見られるが、なお一層の充実が課題となっている。

○ これまでの成果と課題を踏まえながら、小・中・高等学校が連携し、一貫した英語教育の充実・強化のための改善が求められる。その際、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を活用して実際のコミュニケーションを行う言語活動を一層重視し、小・中・高等学校を通じて、授業で発音・語彙・文法等の間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を育成することと、英語を用いてコミュニケーションを図る体験を積むことが必要である。

○ 英語教育の充実に当たり、「ことば」への関心を高める工夫によって更に外国語の効果的運用に必要な能力を伸ばすという視点が重要である。

本有識者会議における検討

○ 有識者会議における議論は極めて多岐にわたっており、その議論や主な論点がかかるように、「3 英語教育の在り方に関する有識者会議における議論の詳細」(以下「詳細」とする。)を作成している。幾つかの論点については様々な意見も出たところであり、その点を含め詳細に記載している。

○ なお、教育課程に関わる事項については、次期学習指導要領改訂に向けた教育課程全体の見直しの中で、また、教員養成に関わる事項については、教員養成に関する全体の議論の中で、更に検討を要する。

2 必要な改革について

改革1. 国が示す教育目標・内容の改善

I. 物流を巡る社会経済状況の変化

(1) 人口減少・少子高齢化の進行

我が国は、全国的に本格的な人口減少社会を迎え、特に地方においては人口減少の進行が著しくなっている。また、総人口の減少と同時に、高齢化も未曾有のスピードで進んでおり、生産年齢人口は2030年（平成42年）には2010年（平成22年）比で約8割、2060年（平成72年）には現在の半分近くまで減少するおそれがある。

近年、物流分野における労働力不足が顕在化しており、少子化に伴う労働力人口の減少により、中長期的には、人材の確保がより困難になっていく可能性がある。特に、中高年層への依存が強いトラック運転者や内航船員については、これら中高年層の退職に伴い、今後、深刻な人手不足に陥るおそれもある。そのような事態に至った場合は、物流の停滞が、我が国の産業活動のみならず、国民生活全般にわたるボトルネックとなりかねないことに十分に留意し、危機感を持って早急に適切な対策を講じるべきである。このため、物流に必要な人材の確保に繋がる施策や、物流の省力化・効率化に繋がる施策に直ちに着手し、成果を上げていく必要がある。

また、過疎地や離島等の条件不利地域においては、人口減少により人口が薄く分散する状況が拡がると、これらの地域における宅配便の配送効率が大幅に低下し、日用品の入手にも支障を来す可能性がある。今後、過疎化や高齢化の更なる進行が見込まれることを踏まえると、地域に必要な物流サービスを持続的に確保していくためには、個々の物流事業者による取組だけでは不十分であり、自治体の主体的な関与の下、地域の関係者が連携し、必要な対策を講じることが求められている。

(2) 国際競争の激化と本邦企業のアジア域内での経済活動の活発化

海外との熾烈な競争の下で、我が国製造業は、生産拠点の立地の最適化を図っており、付加価値の高い分野を国内に残しつつも、海外生産を増加させ、日本を含めたアジア域内での調達・生産・販売網の拡大を進めている。また、我が国の流通業等も、経済成長が著しいアジア市場を取り込むため、アジア各国への進出を拡大している。このような我が国製造業、流通業等の海外展開の進展に伴うボーダレスなグ

ローバル・サプライチェーンが深化しており、我が国の物流事業者が、これら企業に対し質の高い物流サービスを提供することを通じて、我が国製造業、流通業等の海外展開を支えていくことが重要となっている。

また、これに加え、中長期的には人口減少等により我が国の国内貨物輸送量の減少も見込まれる一方で、2015年（平成27年）末に予定されているアセアン経済共同体（AEC）の発足や2015年（平成27年）10月に大筋妥結した環太平洋パートナーシップ協定（TPP）により、ヒト・モノ・資本・情報の往来が活発化することが見込まれるとともに、急速に拡大しているアジアの物流需要の成長を取り込み、物流事業者自らの成長につなげていくことも重要となっている。

世界銀行による物流のパフォーマンスを示す指標（各国の物流環境に対する他国の物流関係者からの評価（5段階評価））において、我が国は、アジアの中で、シンガポールに次いで高い評価を得ており、トップ10を維持している。さらには、こうした我が国の質の高い物流システムを展開することなどにより、アジア全体の経済成長にも貢献していくことが重要となっている。

これらの目的の下に、我が国物流事業者の国際競争力を高め、日系企業の物流需要及びそれ以外の現地の物流需要を獲得し、物流ネットワークの強化を図り、アジア物流圏全体の効率化を進めていく必要がある。

(3)情報通信技術(ICT)等の技術革新

近年のコンピュータの処理能力の飛躍的な発展等に伴うICTの急速な進化は、社会経済に多様な変化をもたらし、ICTの利用が企業活動や国民の生活に着実に普及してきている。また、あらゆるものがインターネットに接続するIoT（Internet of Things）時代の到来により、様々な産業分野において「第四次産業革命」とも呼ぶべき大変革に向けた動きが活発になっており、物流分野についても、このような動きへの対応を迫られている。

このような技術革新は、物流分野が抱える様々な課題の解決につながるるとともに、物流を含む我が国経済社会全体の生産性を大幅に向上させる可能性を秘めており、IoTやビッグデータ、ITS（高度道路情報システム）、鮮度保持技術、自動走行システム、パワーアシストスーツ、小型無人機等の最新技術を活用して、さらなる物流の効率化、高度化

2. 物流を取り巻く現状・課題と今後の物流施策の方向性

(1) 現大綱策定以後の物流を取り巻く環境の変化

本節では、2020年の新型コロナウイルス感染症の流行以前までの状況を概観する。

1) 物流産業における労働力不足の社会問題化

生産年齢人口の減少や少子高齢化により、労働力不足は各産業共通の課題となっている。我が国の物流産業は、その労働就業者数が約258万人であり、全産業就業者数（約6,681万人）の約4%を占める一大産業であるが、その大半を占めるトラック運送事業に従事するトラックドライバーは、全産業と比べて労働時間が長い一方で、年間所得額が低い状態が続いていることに加え、食品流通をはじめとして手荷役等の負担を強いられるなど、その厳しい労働環境から、担い手の確保が特に懸念されている。現大綱期間では、「働き方改革」が政府全体の重要な政策課題として取り上げられたことも相まって、こうしたトラックドライバー不足とそれに起因する問題が大きくクローズアップされ、社会問題として認識される状況となった。

とりわけ、2017年の宅配便配送に係る総量規制や宅配便の運賃値上げなどの一連の動きは、いわゆる「宅配クライシス」として社会的に大きく取り上げられ、「物流サービスは、常時、当然のように提供されるもの」という考え方に一石が投じられることとなった。

また、2018年6月に働き方改革関連法が成立し、2024年度からトラックドライバーに対して、時間外労働の上限規制が罰則付きで適用されることとなった。将来予測として、需要に対し20万人超の規模でトラックドライバーが不足するという調査結果¹もある中、今後、物流事業者は時間外労働の削減など労働環境の改善について実効性のある対策を加速させる必要がある。

こうした中、EC市場は急成長しており、2019年の国内のBtoC-EC（消費者向け電子商取引）の市場規模は、19.4兆円（前年比7.65%増）に拡大し、この傾向がさらに拡大することで、今後、トラックドライバーの労働需給はさらに逼迫するおそれがある。また、人口減少が進む中、物流需要の少ない過疎地域等における物流網維持のためのドライバーの確保も大きな課題である。

内航海運においても、船員の約半数を50歳以上が占めるなど高齢化が継続し、労働環境の厳しさ等から若年層の定着も課題となっている。船員は陸上職と異なる労働制度が適用されるため働き方改革関連法の適用は受けられないものの、労働力確保に向けた働き方改革は急務といえる。

物流産業における労働力不足の問題は、国民生活に必要な物資を運ぶという社会インフラの機能不全、すなわち「モノを運べない」事態に直結する深刻な問題を引き起こす可能性があり、一刻も早く解決すべき課題である。

2) 災害の激甚化・頻発化により露呈した物流ネットワークの脆弱性

近年激甚化・頻発化する自然災害により、鉄道路線の長期不通や空港の長期機能停止など、国民生活や経済活動の基盤である物流ネットワークの脆弱性を露呈する事象が多発している。

例えば、2018年7月の西日本豪雨により、東日本から九州を結ぶ我が国物流の大動脈たる山陽本線が寸断され、自動車部品や農産品など多岐に渡る製品・商品の物流に支障が生じ、その影響は全国に及んだ。また、同年9月の台風21号により、関西国際空港において貨物地区の浸水などの被害が発生し、国際航空貨物輸送などへの影響が生じた。

¹ 公益社団法人鉄道貨物協会、平成30年度本部委員会報告書

また、災害により発生する大量のがれき等の運搬・処理も課題として認識されている。

災害による被害を極小化し、また、可能な限り早期の復旧を図るため、インフラの強靱化や各輸送モードの安全対策の強化により、平時から災害や危機に強い物流ネットワークを構築することが重要である。さらに、物流機能の持続性を確保するため、発災時の代替輸送機関としての内航フェリーや RORO 船、内航コンテナ船の活用などを内容とする BCP（事業継続計画）の充実や、関係機関間での日頃の各種調整や訓練の徹底など、平時から連携体制を確保することが求められる。

3) 国際物流を取り巻く環境の変化

世界全体の貿易額が増大する中、特にアジア域内外を中心とした貿易額は急速に拡大し、サプライチェーンのグローバル化はさらに深化している。2018 年の我が国と中国との貿易額は 1999 年比で 4 倍以上に増加しており、我が国の貿易額は、中国、韓国、ASEAN で約 4 割を占めている。

このように貿易全体は増加基調であり、世界の港湾におけるコンテナ取扱個数も 2018 年までは増加基調であるが、一方で、外航海運における船腹需給は供給過多の状態であり、近年も国際運賃市況は低位の水準にある。加えて、世界の海上荷動量が拡大傾向にある中、我が国の外航海運の輸送比率は減少傾向にあり、我が国海運企業は厳しい経営環境に置かれている。また、北米・欧州等と直接接続する国際基幹航路が日本の港湾に寄港することは、我が国に立地する企業の国際物流に係るコストとリードタイム等の観点に加え、我が国の経済安全保障上も重要である。しかしながら、アジア諸港におけるコンテナ取扱量の急増、スケールメリットを追求するためのコンテナ船のさらなる大型化や、船社間のアライアンスの再編等により寄港地の絞り込みが進展しており、我が国にとって厳しい状況が続いている。さらに、我が国の国際航空貨物取扱量は、リーマンショック等の影響による落ち込みを経て、ここ数年は、東京国際空港の機能向上や、各国際空港の国際線拡張などに伴い増加傾向にあったが、2017 年度をピークに、大規模自然災害の発生や米中貿易摩擦等の影響により減少に転じたところである。

こうした中、日系企業の海外展開に伴い、物流企業の海外進出も進んでおり、2018 年の物流企業の現地法人数は、2004 年比で台湾・香港・中国が約 3 倍、ASEAN は約 4 倍となっている。国際競争力の一層の強化のため、我が国物流企業の海外展開をさらに後押しすることが重要である。

さらに、我が国の農林水産物・食品の輸出拡大は、持続的な経済成長や地域経済の活性化等に資する方策として重要となりつつある。輸出額は 2019 年に 9,121 億円であり、7 年連続で過去最高を更新し、アジアへの輸出額が全体の 74% を占めている。今後、この輸出額を 2030 年までに 5 兆円とする政府目標に向け、それを支える物流基盤の整備など積極的な取組が求められる。

なお、ジェトロの推計によると、2019 年の世界貿易（財貿易、名目輸出ベース）は、前年比 2.9% 減、貿易数量（輸出ベース）も前年比 0.1% 減となり、世界貿易は金額、数量ともに前年から減少に転じている。金額、数量双方の伸びがマイナスとなったのは世界金融危機下の 2009 年以来 10 年ぶりであるが、米中貿易摩擦や世界の経済成長鈍化などが背景にあると考えられる。

こうした国際経済の不確実性が高まる状況下で、従来国際サプライチェーンが見直される動きも見られることから、我が国物流企業もこうした動きに柔軟に対応する体制構築が求められるほか、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた動きを踏まえ、経済安全保障の観点から国際物流の重要性を再認識すべきである。

【資料1-3-2】

③ 倉庫シェアリングの推進

EC 事業の拡大等に伴い、荷物の保管需要の多様化が進展しており、保管の受け皿となる倉庫において保管需要の変化に迅速かつ的確に対応していく必要があることから、季節要因等多様な波動により生じる倉庫内の遊休スペースの有効活用を図ることにより、多様化する保管需要に対応する倉庫シェアリングの取組を推進する。

④ 季節波動を踏まえた自家用有償運送の安全面を配慮した活用の検討

近年の EC 市場の普及などにより消費者ニーズは多様化し、従前の季節波動にも変化が見られていることから、繁忙期における自家用車の活用について、より実態に即したものとなるよう制度の見直しを図る。なお、制度の見直しにあたっては、輸送の安全の確保やドライバーの適切な労務管理、荷主保護が十分に担保されるよう留意する。

⑤ 再配達削減と新しい生活様式に対応した配送形態の構築・定着に向けた取組

再配達削減に向けては、これまで国や関係事業者等が連携し開催してきた「宅配事業と EC 事業の生産性向上連絡会」や「置き配検討会」における検討なども踏まえ、オープン型宅配ボックスや置き配などの推奨を図ってきており、今後もこうした多様な受取方法を推進する。

特に新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、非接触・非対面による受取方法である宅配ボックスや置き配の活用などがクローズアップされている。このため、2020年3月に公表した「置き配の現状と実施に向けたポイント」（置き配ガイドライン）に基づき、置き配の普及や運用の改善に努める。また、デジタル技術を活用した高機能型宅配ボックスの展開など宅配ボックスの設置を促す取組をさらに推進するほか、接触や対面機会を極力減らしたラストワンマイル配送に係るモデル的な取組の構築・普及を進める。

⑥ ラストワンマイル配送円滑化の推進

都市内の荷さばき対策について、荷さばきスペースの確保に向け、共同荷さばき集配事業の導入と併せた共同荷さばき駐車場の整備や、物流を考慮した建築物の設計・運用の推進等の取組を促進するほか、適切な官民の役割分担の下、物流事業者や地域の関係者間の連携によるソフト・ハード両面からの路上荷さばき対策を推進する。

また、自動配送ロボットを活用した持続的な配送サービスが可能となるよう、引き続き社会実装に向けた取組を推進する。

(4) 農林水産物・食品等の流通合理化

農林水産物・食品等の物流については、国民生活に欠かすことのできない農林水産物・食品等を適正な価格で安定的に供給するため、共同輸配送、ストックポイント等の流通拠点の整備、卸売市場や農業資材保管施設等における自動化・省人化、物流に関わるあらゆるデータ連携基盤の整備等の物流効率化を推進するとともに、納品期限の緩和等を通じて物流上の負担ともなる食品ロス削減を推進する。また、パレット規格や外装の標準化、パレットの運用ルールの確立等によるパレット化を促進する。生産、出荷、流通、販売に携わる各関係者が物流事業者と緊密に連携すると

ともに、これまでの商習慣にとらわれることなく各関係者が負担と受益を分かち合いながら、これらの合理化・効率化を図ることで、持続可能な物流が実現されるよう、関係省庁で連携して業界の取組を後押しする。

(5) 過疎地域におけるラストワンマイル配送の持続可能性の確保

過疎地域における物流機能の維持はユニバーサルサービスの観点から非常に重要な課題であり、引き続き物流網の維持に努める。その際、コミュニティバス等を活用した貨客混載による配送や複数の配送事業者による共同配送など、過疎地域における効率的な配送を推進するほか、配送業務を貨物軽運送事業者である地域住民が担うなど共助の取組を通じて、高齢者の見守りや買い物支援など地域の課題解決も図ることで、地域に住み続けられる環境を整備する。

また、離島や山間部等におけるトラックや船舶の代替配送手段として、ドローン物流の社会実装に向けた取組が進められている。今後は、医薬品や農作物の輸送、買い物支援など具体的な用途を念頭に置きながら実証を進めるとともに、運航コストの低減を含めた経済合理性や社会受容性の確保等の課題の解決策の検討・整理を行い、実証の成果を社会に示すことで近い将来の社会実装を確かなものとする。

さらに、道の駅等を拠点とした自動運転サービスの社会実証・実装に向け、自治体等の取組を積極的に支援する。

(6) 新たな労働力の確保に向けた対策

女性や若者、高齢者等の多様な人材の確保・育成が図られるよう、働き方改革を推進し、多様な人材が活躍できる職場環境を整備する。

トラック運送業については、荷主とトラック事業者による取引環境の改善の協議等を通じて労働条件を改善するほか、荷役分離を推進し、女性ドライバー等が働きやすい環境整備を促進する。さらに、「自動車運送事業の働き方改革の実現に向けた政府行動計画」に基づき、日帰り勤務を可能にする中継輸送の普及や、力仕事に頼らない機械荷役への転換を推進する。

また、船員について、多様な人材にとって働きやすい職場づくりのため、多様な働き方への意識改革のほか、求人票の様式の改訂等を通じた事業者の取組の見える化、表彰制度等を通じた優良事例の横展開など、行政や業界における必要な環境の整備を図る。

さらに、物流業界においては、既に庫内作業等の一部をアルバイトとして採用された留学生などの外国人が担っているが、物流業界におけるダイバーシティの確保等の観点も踏まえ、トラックドライバー等への外国人の活用についても今後議論を進めていくほか、空港における航空貨物取扱業務への特定技能外国人の活用について推進する。

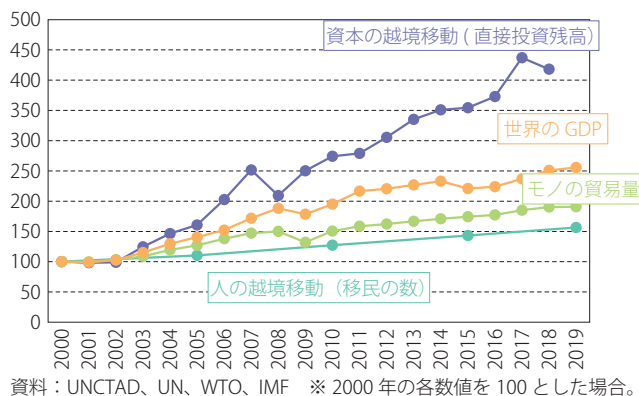
こうした多様な人材の確保・育成に当たっては、経験やスキル等を重視した労働慣行だけに頼らない業務のあり方の検討も重要であり、物流 DX の推進により、AI や IoT 等新技術を活用することで、オペレーションの定型化や標準化を進める。

第3章

目指すべき社会を実現するための 世界と我が国の方向性

グローバリゼーションは、人・物・資金・アイデアが国境を越えて移動・流通（交流）することにより、技術革新、新興国の成長、中間層の拡大、貧困の削減といった付加価値を生み出し、世界経済の発展の大きな原動力となってきた（第Ⅱ-3-0-1図）。

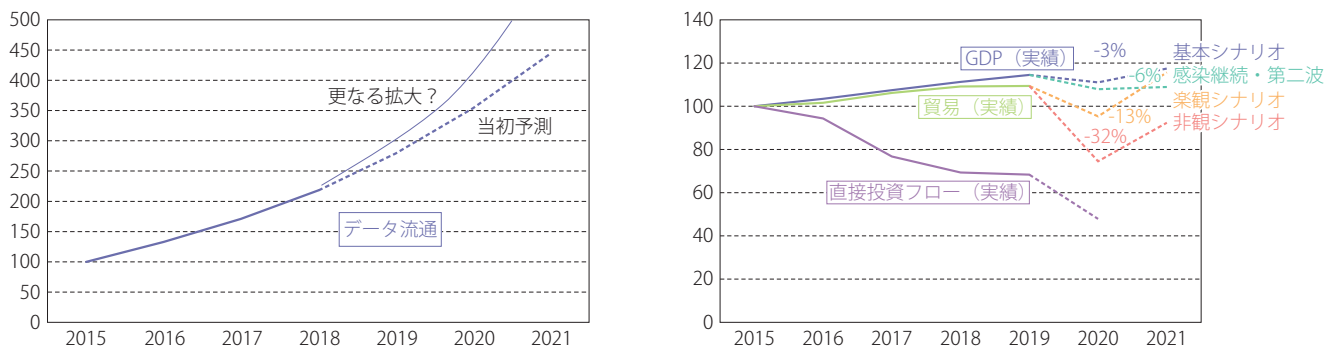
第Ⅱ-3-0-1図
2000年代の国境を越えた貿易、投資、人の移動の伸び



その一方で、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の中で、サプライチェーンの途絶や人の移動の停滞が見られたように、グローバリゼーションの進展に伴って拡大してきた様々な交流の停滞が見られている。

この新型コロナウイルスの感染拡大は第3のアンバンドリング・デジタル化の渦中に発生した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、世界ではデジタル技術の革新や社会実装が急速に進んでいる。物理的な移動への制約によって人同士の対面でのコミュニケーションに制約がかかり、物の移動も停滞する中で、国境を越えた交流による付加価値の追求は、デジタル分野に重心を移動していくことが想定される。

第Ⅱ-3-0-2図 直近の推移と今後の予測



資料：Cisco, 2019、IMF、WTO、UNCTAD ※ 2015年を基準 (=100)
備考：GDPのIMF予測につき、基本シナリオは、感染拡大が2020年第2四半期に収束する場合（中国は第1四半期）を指す。感染継続・第二波シナリオは、2020年中の感染拡大の継続に加え、2021年の第二波の感染拡大も生じた場合の予測を指す。

そこで、この危機の教訓を踏まえ、危機の収束や、危機により顕在化したリスクや経済社会の変化の方向性を見定めながら、現下の危機を克服しつつ、あるべき経済社会システムへの進化を目指すべきである。その教訓は以下の3点である。

第一に、世界規模の課題の発生とその対応に対する遠心力である。世界規模で感染が拡大するパンデミックは自国の対策のみでは収束しないものであり、世界規模での対応が求められるものである。しかし、その対応に当たっては、従前から存在する多国間の枠組への不信が増大する中で、緊急時における自国優先策も見られている。この遠心力に対して、国際協調への求心力を高め、世界規模の課題を解決するため、グローバル化のアップグレードが求められる状況にある。

第二に、経済性・効率性と集中に伴うリスクである。サプライチェーンについては生産活動がグローバル化する中で経済性・効率性による生産拠点の集中が進み、それが緊急時においては供給途絶リスクとして現れた。同様に、デジタル経済についてはプラットフォームへの集中が進んでいる。これらは、経済性・効率性ととどまらない、レジリエントなサプライチェーンや経済構造の重要性を示している。

第三に、感染と経済の相互作用である。感染の拡大を抑制するためには対面の活動を制限せざるを得ず、その結果、世界経済は大幅な景気後退に陥ることとなった。その対面のコミュニケーションの制約を乗り越えるため、デジタルの技術開発と社会実装が急速に加速している。そこで、この危機の中で、人の交流のあり方を進化させ、環境整備も含めた経済社会のデジタル化に取り組むことがますます重要な課題として現れている。

これらの教訓を踏まえて、変化の方向性を見定めながら現下の危機を克服しつつ、危機に柔軟に対応でき、持続可能な発展を可能とする強靱な経済社会システムへの進化を実現することが求められている。その実現に向けて、世界の協調行動やレジリエントなサプライチェーンの構築、人の交流のあり方の進化、世界を持続可能なものとするための社会的な投資、そして、世界のデジタル化の加速における新興国との共創を通じた新事業の創出に注目し、世界と我が国の進むべき方向性を提示する。

Press Release

Newsroom

Stamford, Conn, May 19, 2021

Gartner Announces Rankings of the 2021 Supply Chain Top 25

Cisco Systems Retains Top Position; Four New Companies Join Ranking

Gartner, Inc. has released the results from its annual global Supply Chain Top 25 (<https://www.gartner.com/en/supply-chain/research/supply-chain-top-25/global-report-2021>), identifying supply chain leaders and highlighting their best practices.

"In our 17th edition of the Supply Chain Top 25 we saw organizations continuing to deal with the effects of COVID-19 on their businesses. Therefore resiliency (<https://www.gartner.com/en/newsroom/2021-02-10-gartner-survey-finds-87-of-supply-chain-professionals-plan-to-invest-in-resilience-within-the-next-2-years>) and agility capabilities became essential to survival," said Mike Griswold (<https://www.gartner.com/analyst/36588>), vice president team manager with the Gartner Supply Chain practice. "Our ranking highlights companies that possess these strategies and other differentiating capabilities."

Cisco Systems scored the top spot in the ranking for the second consecutive year, followed by Colgate-Palmolive, Johnson & Johnson, Schneider Electric and Nestlé (see Table 1). Four new companies joined this year's list: Dell Technologies, Pfizer, General Mills, and Bristol Myers Squibb.

"Strong revenue growth, strength in environmental, social and governance (ESG) initiatives, and recognition of leadership in the community opinion polls drove Cisco to the top spot for the second consecutive year," said Mr. Griswold. "Cisco's agility helped them prioritize video conferencing and critical infrastructure capabilities for hospitals and vaccine research."

To recognize sustained supply chain excellence, Gartner introduced the "Masters" category in 2015. To be considered Masters, companies must have attained top-five composite scores for at least seven out of the last 10 years. All of last year's (<https://www.gartner.com/en/newsroom/press-releases/2020-05-20-gartner-announces-rankings-of-the-2020-supply-chain-top-25>) Masters - Amazon, Apple, P&G, McDonald's, and Unilever - qualified for the category this year.

"During times of disruption, these companies continue to lead by example and provide advanced lessons for the supply chain community," Mr. Griswold added. "The Supply Chain Top 25 offer a platform for insights, learning, debate and contributions to the rising influence of supply chain practices on the global economy."

Table 1. The Gartner Supply Chain Top 25 for 2021

Rank	Company	Peer Opinion ¹ (195 voters) (25%)	Gartner Opinion ¹ (42 voters) (25%)	Three-Year Weighted ROPA ² (20%)	Inventory Turns ³ (5%)	Three-Year Weighted Revenue Growth ⁴ (10%)	ESG Component Score ⁵ (15%)	Composite Score ⁶
1	Cisco Systems	842	489	306.4%	13.6	-0.4%	10.00	6.37
2	Colgate-Palmolive	1217	557	65.9%	4.2	2.9%	10.00	5.58
3	Johnson & Johnson	1386	502	73.6%	3.0	1.8%	8.00	5.22

4	Schneider Electric	993	512	59.4%	4.9	-1.2%	10.00	5.07
5	Nestlé	1372	323	40.6%	4.2	-3.6%	10.00	4.41
6	Intel	687	421	37.0%	3.8	7.2%	10.00	4.40
7	PepsiCo	1003	351	43.0%	7.8	3.9%	10.00	4.37
8	Walmart	1668	311	15.3%	9.4	4.5%	8.00	4.23
9	L'Oréal	1062	234	69.9%	2.7	0.8%	10.00	4.05
10	Alibaba	1343	201	69.2%	20.9	44.4%	1.00	3.90
11	AbbVie	182	74	216.4%	4.4	22.5%	5.00	3.78
12	Nike	1189	249	33.1%	3.4	1.2%	8.00	3.60
13	Inditex	816	261	22.0%	3.8	-10.8%	10.00	3.51
14	Dell Technologies	614	293	30.4%	18.5	4.6%	8.00	3.47
15	HP Inc.	343	281	45.7%	8.0	0.8%	10.00	3.46
16	Lenovo	465	343	18.8%	10.4	4.5%	8.00	3.40
17	Diageo	511	259	37.2%	0.8	-2.4%	10.00	3.36
18	Coca-Cola Company	1350	156	68.5%	4.0	-4.2%	6.00	3.34
19	British American Tobacco	187	102	96.5%	0.6	6.5%	10.00	3.13
20	BMW	733	195	18.5%	3.7	-0.5%	10.00	3.13
21	Pfizer	1006	202	40.5%	1.0	-3.3%	6.00	2.97
22	Starbucks	1022	179	30.2%	12.2	-1.4%	6.00	2.87
23	General Mills	317	95	55.3%	7.2	4.6%	10.00	2.83
24	Bristol Myers Squibb	91	29	79.8%	3.7	37.8%	6.00	2.80
25	3M	765	175	50.9%	4.0	0.2%	6.00	2.78

Notes:

1. Gartner Opinion and Peer Opinion: Based on each panel's forced-rank ordering of companies and their possession of end-to-end supply chain maturity.
 2. ROPA: $((2020 \text{ operating income} / 2020 \text{ net property, plant, equipment} + \text{year-end inventory}) \times 50\%) + ((2019 \text{ operating income} / 2019 \text{ net property, plant, equipment} + \text{year-end inventory}) \times 30\%) + ((2018 \text{ operating income} / 2018 \text{ net property, plant, equipment} + \text{year-end inventory}) \times 20\%)$
 3. Inventory Turns: $2020 \text{ cost of goods sold} / 2020 \text{ quarterly average inventory}$.
 4. Revenue Growth: $((\text{change in revenue } 2020-2019) * 50\%) + ((\text{change in revenue } 2019-2018) * 30\%) + ((\text{change in revenue } 2018-2017) * 20\%)$.
 5. ESG Component Score: Index of third-party environmental, social and governance measures of commitment, transparency and performance.
 6. Composite Score: $(\text{Peer Opinion} * 25\%) + (\text{Gartner Research Opinion} * 25\%) + (\text{ROPA} * 20\%) + (\text{Inventory Turns} * 5\%) + (\text{Revenue Growth} * 10\%) + (\text{ESG Component Score} * 15\%)$.
- 2020 data used where available. Where unavailable, latest available full-year data used. All raw data normalized to a 10-point scale prior to composite calculation. "Ranks" for tied composite scores are determined using next decimal point comparison.

Source: Gartner (May 2021)

For 2021, the Top 25 and Masters companies embraced three key trends that highlighted their purpose, enabled transformation, and accelerated digital capabilities:

Integrated, Purpose-Driven Organizations

In 2020, many of the supply chains in Gartner's top 25 study ranking helped keep society running during the darkest days of the pandemic. Now there is an opportunity to solve some of the world's longer-term social and environmental challenges.

(1) 物流現場の多様な人材の確保や高度化する物流システムのマネジメント
を行う人材の育成等

国内における物流現場の多様な人材の確保に資するよう働き方改革等を通じて環境を整備する。

トラック運送業については、荷主とトラック事業者が連携・協働した長時間労働改善の取組の支援などを通じて、働き方改革を推進し、労働条件の改善を図ることに加え、運行形態の見直しや荷役分離等のドライバーの負担を軽減するための方策を通じて女性や若者を含めた多様な人材が活躍できる環境整備を図る。

内航船員については、安定的な海上輸送確保のため、引き続き若年の優秀な船員の確保・育成策に取り組み、その主要な供給源である独立行政法人海技教育機構において、関係教育機関や関係団体等との連携のもと、質が高く、事業者ニーズにマッチした船員の養成に取り組み、教育内容の高度化を図る。併せて、船内居住環境・労働環境の向上を通じた若年船員の雇用促進による年齢構造の改善や働き方改革による生産性の向上のための取組等を行う。

また、アジア諸国における我が国企業の海外展開に資するよう現地の人材の育成等を図る。

高度化する物流システム・マネジメントを企画・設計・管理する人材の育成については、欧米企業ではサプライチェーンやロジスティクスのマネジメントを担当する役員（CSCO(Chief Supply Chain Officer)やCLO(Chief Logistics Officer))が置かれる例もあることを踏まえ、こうした人材の重要性についての産業界での認識が高まるとともに、大学での物流に関する専門的な教育の充実が進むよう、関係者間での取組を促進するとともに、事業主における従業員の人材育成の取組を促進し、加えて物流に関する資格制度について周知等を図る。この際、IoT、BD、AI等の新技術を活用して効率化等を図るために不可欠な情報技術分野の人材の育成も促進する。

(2) 物流に対する理解を深めるための啓発活動

①国民一人一人が、物流の利用者の一員として物流全体について配慮した上で行動を選択するよう、物流の社会的役割や物流が抱える課題に対する理解を深める、②物流業界の果たす役割に相応しい評価が行われるよう、物流サービスが提供する付加価値についての認識を高める、③物流が持続的にその機能を発揮できるよう、協力を得られる環境を作っていく、ことを目指して啓発活動に取り組む。例えば、民間団体と連携した現場見学の実施、物流の社会的役割や抱える課題等に対する理解を深めるためのコンテンツの作成や教育等の機会を通じた理解の増進を促進する。

こうした取組を通じて、国民が物流に対して親しみを持つことによって、物流分野を支える人材の裾野を広げる。

加えて、経済界や荷主に対して、サプライチェーン全体の効率化や物流の生産性向上の必要性等への理解を求めするため、啓発活動等を行う。

我が国の経済活動と国民生活を支える社会インフラたる物流がその機能を十分に発揮していくため、これら6つの視点からの取組の推進を通じて、「強い物流」の構築を図っていく。

たりする力を養う。

- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

2 内容

A 世界と日本の地域構成

(1) 地域構成

次の①と②の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

① 世界の地域構成 ② 日本の地域構成

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解すること。

(イ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。

B 世界の様々な地域

(1) 世界各地の人々の生活と環境

場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解すること。

(イ) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解すること。その際、世界の主な宗教の分布について

も理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を，その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し，表現すること。

(2) 世界の諸地域

次の①から⑥までの各州を取り上げ，空間的相互依存作用や地域などに着目して，主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して，以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

- ① アジア ② ヨーロッパ ③ アフリカ
④ 北アメリカ ⑤ 南アメリカ ⑥ オセアニア

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 世界各地で顕在化している地球的課題は，それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて，現れ方が異なることを理解すること。

(イ) ①から⑥までの世界の各州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) ①から⑥までの世界の各州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現すること。

C 日本の様々な地域

(1) 地域調査の手法

場所などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解すること。

(イ) 地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現すること。

(2) 日本の地域的特色と地域区分

次の①から④までの項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

- ① 自然環境 ② 人口 ③ 資源・エネルギーと産業
- ④ 交通・通信

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。
- (イ) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解すること。
- (ウ) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること。

(エ) 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解すること。

(オ) ①から④までの項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解すること。

(カ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア) ①から④までの項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現すること。
- (イ) 日本の地域的特色を、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

(3) 日本の諸地域

次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

- ① 自然環境を中核とした考察の仕方
- ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方
- ③ 産業を中核とした考察の仕方
- ④ 交通や通信を中核とした考察の仕方
- ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方

【資料1-8】

R2.6.24 国土交通政策研究所 研究発表会

物流分野における高度人材の育成・確保に関する調査研究(中間報告)

令和2年6月24日

国土交通政策研究所
研究官 渡邊 幹

調査研究の目的と本日の報告内容

調査研究の目的

- ①「高度物流人材」の確保・育成の取り組みのあり方
- ②物流分野を支える人材の裾野を広げるための取り組みのあり方

について検討を実施。

本日の報告内容

2019度調査・国内、海外(米国、中国)
文献調査とヒアリング結果から
国内外の企業、大学等での物流教育の状況について報告

【総合物流施策大綱(2017年度～2020年度)】(2017年7月28日閣議決定)

社会状況の変化や新たな課題に対応できる「強い物流」を構築するために、物流の生産性向上に向けた6つの視点からの取組みを推進、取組みの視点の一つとして、「育てる」を位置づけ。

- (1) 人材の確保・育成
- (2) 物流への理解を深めるための国民への啓発活動

(1)物流現場の多様な人材の確保や高度化する物流システムのマネジメントを行う人材の育成等

- ①国内の物流現場の多様な人材の確保に資する働き方改革等の実施
- ②我が国企業の海外展開に資するよう現地人材の育成
- ③高度化する物流システム・マネジメントをを設計・管理する人材の育成

(2)物流に対する理解を深めるための啓発活動

国内が、物流の一利用者として適切な選択が可能となるよう、物流の社会的な役割、物流の抱える課題等について理解を深めるための啓発活動等

①「高度物流人材」の確保・育成の取り組み

物流に求められる役割の変化
～高度物流人材の育成・確保の必要性～

【従来】 単に荷主の要望に応じて物を移動させる

【現在】 企業経営における全体的な視点から
戦略的に物流の効率化、高付加価値化を図ること

背景には
ITの発展を背景としたサプライチェーンの高度化
生産、市場のグローバル化 など

国内大学における物流教育の現状

- ・ 約180名の研究者が存在
- ・ 所属学部・学科は多岐にわたる
- ・ 名称に「物流」「流通」「海事」「海洋」を含むものが多い
- ・ これら以外では、文系では経営学、商学系
理工系では理工学部の経営システム工学系が比較的多い
- ・ 単発的に開設されているケースが殆ど
- ・ 文理横断的な教育や、物流、サプライチェーン分野に特化した
専門的かつ総合的な教育課程を有する大学は、ごく少数

高度物流人材の必要性

企業戦略上の最重要点—サプライチェーン最適化—

物流の「効率化」と「高付加価値化」を図るための企画提案が
できる「高度物流人材」の確保・育成が求められている

具体的な記載—総物流施策大綱(2017年度～2020年度)
「欧米企業ではサプライチェーンやロジスティクスのマネジメントを担当する役員(CSCO-Chief Supply Chain Officer)やCLO(Chief Logistics Officer)が置かれる例もあることを踏まえ、こうした人材の重要性についての産業界での認識が高まるとともに、大学での物流に関する専門的な教育の充実が進むよう、関係者間での取組を促進する」
「事業主における従業員の人材育成の取組を促進し、加えて物流に関する資格制度について周知等を図る。この際、IoT、BD、AI等の新技術を活用して効率化を図るために不可欠な情報技術分野の人材の育成も促進する」

特徴的なカリキュラムの紹介

東京海洋大学 海洋工学部流通情報工学科
・文理融合型

情報系 情報工学科 情報システム学 情報システム学	基礎プログラミング演習	最適化数学	情報数学	大学院
	最適化数学	線形代数	数値解析	
	最適情報システム	高度情報システム	認知情報科学	
	応用プログラミング演習	データ構造とアルゴリズム		
工学系 工学部 工学部 工学部	物流施設設計論	物流リスク工学	流通データ分析	大学院
	コンテナ積込工学	物流システム工学	流通オペレーションズ・リサーチ	
	ロジスティクス概論	流通情報工学実験	物流シミュレーション工学	
		流通情報工学演習	流通実務論	
		流通基礎設計論	交通計画学	
		流通最適化工学	作業管理工学	
		物流管理工学	港湾環境工学	
		物流経済論	マーケティング論	
		産業政策論	保険契約論	
		流通経済論	産業経済論	
社会科学系 社会科学部 社会科学部	交通経済論	国際経済論	流通チャネル論	大学院
	国際経済論	都市交通論		
Practical English 1,2 Basic English 1,2		Interactive English	Intensive English	
		工学系基礎科目		
		文科系、理学・科学論系、社会科学系科目、第二外国語など		
		1年生	2年生	3年生
		4年生		進学

(理系科目)工学系学科、確率論等の数学関連科目、情報システムやプログラミング等のコンピュータサイエンス関連科目、OR(オペレーションズ・リサーチ)、シミュレーション等
(文系科目)物流経済論等の経済学系科目、マーケティング論等の経営学系科目

産学連携による物流教育の事例

東京大学先端科学技術研究センター

- ・ヤマトホールディングス(株)、SBSホールディングス(株)、鈴与(株)により「先端物流科学寄附研究部門」の設置

- ・2019年7月に高度物流人材育成の為に教育を行う事を目的に設置

一般社団法人日本物流団体連合会(物流連)

- ・1995年より首都圏の大学を中心に寄附講座を開設
- ・テーマ毎に企業から業界を代表する講師が講師自らの体験を踏まえた講義を実施

青山学院大学、学習院大学、専修大学

- ・3大学合同でゼミ生向けに企業人が物流・ロジスティクスに関する講義を実施。
- ・公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)の企画協力

リカレント教育の事例

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)

- ・資格認定講座、セミナー等を開設
- ・物流、ロジスティクスの専門知識やマネジメント技術を習得する為の体系的な人材育成を目的

物流・サプライチェーン分野の専門コース (学部・学科)が多く存在

有力校ランキングとして存在が確認できるものだけでも約50の物流・サプライチェーン分野の専門プログラムが存在

-調査を行った大学・大学院のSCMコースの主な特徴-

SCMの各要素(物流、調達、財務等)を含む横断的・包括的プログラムが展開
数学的・統計的モデル等を含む文理横断的な教育がカリキュラムに組み込まれる
理論に加えケーススタディ等の実践教育充実

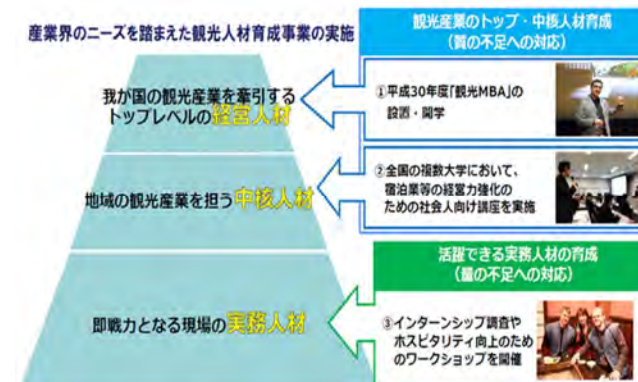
代表的なコース(英語名称)

学部課程: Bachelor of Art in SCM, Bachelor of Science in SCM等

修士課程: Master of Science in SCM, Master of Science in Management Science, Master of Business administration with a concentration in SCM等

観光分野の取組

- ・人材育成における「質の不足」「量の不足」
- ・両面を踏まえて階層別の人材教育を推進



- ・経営人材-大学院にMBA設置(一橋大、京都大)
- ・中核人材-継続的に参加大学を指定
- ・実務人材-各地域にて

学士課程のカリキュラム

(専門分野を学ぶ上で必須となる)

数学、コミュニケーション、財務、会計分野の基礎的な入門教育
+
専門分野のSCM、プロジェクト管理、ビジネス、マーケティング
などの入門的教育

(例)テキサス大学ダラス校

(Naveen Jindal School of Management)

- ・応用微積分等や社会科学・行動科学の理工学系の科目が必修
- ・SCM専攻を選択した段階でマーケティングや財務・会計分野を履修するよう設計

修士課程のカリキュラム

リカレント教育の要素が大きい

理論に加え課題解決対応(実務志向)

SCMの各要素を包含する広範な内容

(例)テキサス大学ダラス校 (Naveen Jindal School of Management)

(SCMの各要素と目的とする理解内容)

分析関係: 大規模データの管理と分析、および組織戦略の開発分析
オペレーション分析、表計算ソフトを使用したモデリングと分析、規範的分析等

小売関係: 小売業務の管理、需要と価格設定と顧客関係
小売業のオペレーション、取引形成戦略、需要と収益管理等

リスク関連: 不確実性の理解、高リスク環境での意思決定、
プロジェクトの予算・日程計画

リスクと意思決定分析、エンジニアリングおよび運用におけるプロジェクト管理、
エネルギー管理(リスク、投資、技術)等

戦略関連: ビジネス戦略、製品開発と品質

柔軟な製造戦略、リーン・シックスシグマ、サプライチェーン戦略、製品ライフサイクル管理等

産業界で必要とされる物流人材の育成を目的に、産業界が
大学のカリキュラム開発、講座運営の支援に積極的に関与

コンソーシアム、アドバイザリーボード等への参加

インターンシップの受け入れ

社会人メンターの派遣

学生の実学的教育推進

企業側の人材獲得
(有望な人材の見極め)

大学側

WIN-WINの関係

企業側

【資料1-9】

1. 次期総合物流施策大綱策定の意義

(1) 物流が果たす社会インフラとしての役割

我が国の国民生活と生産活動は、膨大な量の物資が、必要な場所に必要とされるタイミングで輸送されることで維持されている。

こうした物流の機能は、一般消費者から見えにくい活動であるが、機械製品から生鮮食料品、廃棄物などに至るまで、様々な物資が道路、海上、航空、鉄道を通じて輸送され、また、各地の物流施設等での保管や流通加工のプロセスを経て、日々届けられている。

物流は、我が国における豊かな国民生活や産業競争力、地方創生を支える重要な社会インフラであり、人口の減少や国際経済の不確実性の増大、新型コロナウイルス感染症の流行など社会環境の大きな変化の中にあっても、我が国経済の持続的な成長と安定的な国民生活を維持するため、決して途切れさせてはならず、その機能を十分に発揮させていく必要がある。

(2) 我が国が直面する課題

① 人口減少の本格化や労働力不足への対応

我が国の総人口は 2008 年をピークに減少局面に入っており、2050 年には約 1 億人にまで減少する見通しである。人口減少を年齢階層別に見ると、2015 年から 2050 年にかけて、生産年齢人口は約 2,400 万人、若年人口は約 520 万人減少し、その結果、高齢化率は約 27%から約 38%へ上昇すると見込まれている。

生産年齢人口の減少は労働力不足に拍車をかける可能性があり、今後は、高齢者をはじめ、より多様な働き手の確保が求められる。また、過疎地域をはじめとした多くの地域で買い物や医療など生活に必要なサービスの維持が困難になるおそれもある。

こうした中、地域経済を活性化させ、地方創生を推進していくためには、地域の農林水産物の輸出拡大など地域と海外を直接結び付ける施策なども必要となっている。

② 災害の激甚化・頻発化と国民の安全・安心の確保

我が国は地震多発国であり、南海トラフ巨大地震の発生確率が、今後 30 年以内で 70~80%とされるなど、遠くない将来における巨大地震の発生確率は非常に高い。また、地球温暖化の進行に伴い、風水害や土砂災害が激甚化・頻発化している。

我が国は平地が少なく、ひとたび巨大地震や大水害等が発生すれば、甚大な被害が拡大しやすい傾向にある。このため、国民の生命と財産を守るため、防災・減災への徹底的な対応が必要である。

また、国民の安全・安心の確保のためには、さまざまな輸送機関における重大事故の防止を図ることが重要である。さらに、高度経済成長期に集中的に整備された道路、港湾等のインフラについて、2033 年における建設後 50 年以上経過する施設数の割合は、2018 年時点比で約 2~6 倍増と見込まれるなど、老朽化するインフラの維持管理や更新も喫緊の課題である。

③ Society5.0の実現によるデジタル化・イノベーションの強化

世界の新興国の成長は目覚ましく、2050年には中国やインドをはじめとしたアジア諸国が世界全体のGDPの過半を占めると予測されている。他方、我が国のGDPは、2050年には世界全体の約3%に過ぎなくなる見込みであり、相対的に日本のシェアは低下することが予測されている。

このような状況下で、我が国としては、世界に先駆けて提唱したSociety5.0を実現し、デジタル化とイノベーションを強化することが不可欠である。

現状では、我が国のデジタル化の遅れは顕著であり、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進が急務となっている。近年、AIやIoT等によるイノベーションが飛躍的に進展しているが、人口減少・少子高齢化が急激に進む我が国のおかれた状況を踏まえると、こうした様々な新技術を速やかに社会実装に結びつけることで、今後の持続的な成長と国際競争力を維持していくことが必要である。

その際、ダイバーシティの観点から、女性、高齢者、若者、障がい者、在留外国人等の多様な人が活躍し、交流することにより、多角的なイノベーションが促進される社会を目指すことにも留意が必要である。

④ 地球環境の持続可能性の確保やSDGsへの対応

全世界の気候の温暖化は疑う余地がなく、このまま地球温暖化が進めば、農林水産業や自然生態系、水環境・水資源に深刻な影響を及ぼし、さらに自然災害の激甚化・頻発化のおそれがある。

2015年に策定されたパリ協定では、世界共通の長期目標として、産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑制することなどが定められた。我が国においても、2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減する中期目標を掲げており、さらに令和2年第203回国会（臨時会）の総理大臣所信表明演説において、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことが表明されるなど、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け、さらなる取組の強化が求められている。

また、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、地球上の「誰一人も取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指すこととされており、あらゆる行政分野において、SDGsに規定された17目標・169ターゲットを視野に入れて、政策を立案・実施していくことが必要となっている。

⑤ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症は世界で猛威を振るっており、感染者数は6千万人、死者数は150万人を上回っているほか、我が国でも感染者数が15万人を上回るなど、その脅威が継続している。

これにより、世界経済は世界恐慌以来の後退に見舞われ、今後の回復見通しは不透明であり、グローバルサプライチェーンも世界各地で寸断し、物資の供給等様々なリスクが顕在化した。

我が国においても幅広い産業に影響が広がり、2020年4－6月期の実質GDP成長率は、前期比で年率28.1%減となる一方、7－9月期は年率22.9%増となるなど経済は大きく変動している。

このような中、我が国経済の持続的な成長と感染防止の徹底を両立させるため、「三つの密」の回避をはじめとする「新しい生活様式」の定着が求められるとともに、脆弱性を露呈したサプライ

チェーンの再構築や、他の先進国と比べて大きな遅れが指摘された DX の加速を図ることが極めて重要な課題として認識されている。

(3) 次期総合物流施策大綱策定の意義

物流が果たす社会インフラとしての役割は(1)で述べた通りであるが、(2)で述べたような課題に対応するにあたり、物流の果たすべき役割の重要性は従来にも増して高まっている。

こうした流れは新型コロナウイルス感染症の流行によりさらに顕著となっている。同感染症の流行に伴う外出や移動の自粛により、交通分野における旅客輸送需要が大幅に減少する中、従来からの電子商取引(EC)市場の急成長に拍車をかける形でいわゆる巣ごもり消費等による通販需要が拡大したことに伴い、宅配便の取扱量が増加し、ヒトに比べてモノの動きは相対的に活発である。

こうした旺盛な需要を支える物流は、現場で従事する人が感染リスクに晒されながらも絶えることなく継続し、人々の生活や医療活動、産業等を支えるエッセンシャルサービスとして、社会に多大な貢献を果たしている。感染症の蔓延を契機に、物流の存在感や社会インフラとしての重要性が飛躍的に高まったといえる。

今後、ポストコロナにおいても、新しい生活様式の定着により、こうした傾向は継続することが想定されるとともに、我が国のみならず、世界的にも同様の傾向が広がることが予想される。

一般の新型コロナウイルス感染症の流行による劇的な社会環境の変化は、これまで進捗しなかった物流のデジタル化や、物流業界における構造改革を加速度的に促進させる誘因となる可能性があり、これらを一気呵成に進めるまたとない好機と捉えるべきである。加えて、こうした機を逸せず、エッセンシャルという位置づけが再認識されている物流の社会的価値を広く一般に浸透させることが必要である。

また、国際目標である SDG s や、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた動きの加速化、災害の激甚化・頻発化が進む現状等も踏まえ、物流の観点からも、地球環境の持続可能性を高める取組や国民の安全・安心を確保するための取組について、様々な主体を巻き込みながら推進していく必要がある。

以上のような状況を踏まえると、新しい大綱を定め中長期的な視点に立って物流に関する新たな方向性を示すことは誠に時宜を得たものである。新しい大綱のもと、産官学が連携し、それぞれが社会の環境変化に適応した取組の加速を意識しながら、国民生活と将来の我が国の発展を支えるために不可欠な物流、我が国産業の成長をリードする物流を作り上げていく必要がある。

【資料1-10】

化である。

政府主導のサプライチェーンのデジタル化戦略の皮切りともいえるのが、2011年にドイツが提唱したIndustry 4.0である。Industry 4.0においては、スマート工場を中心としたエコシステムの構築が推進されている。そのようなシステムの中では、人間、機械、その他の企業資源を可視化し、互いに通信し、各製品がいつ製造され、どこに納品されるべきかといった情報を可視化・共有することを通じて、生産のためのエネルギーや資源の効率性の向上、製品の市場導入時間の短縮、製造工程のフレキシビリティを実現することが目指されている。Industry 4.0においては、サプライチェーンに応用しうる新技術として、クラウドやブロックチェーンといった技術を活用したデジタル化に加え、ロボットを用いた工場の自動化（ファクトリーオートメーション）、3Dプリンターといった技術の利活用が推奨されている。

これらの技術は、これまでの国際分業のあり方を大きく変え得るものであり、それぞれ異なる効果をもたらすと指摘されている（第II-1-4-1表）。

特に、サプライチェーンへのデジタル技術の活用は、距離や組織を超えた取引コストの低減を通じて、自社以外のリソースも含めた資源の利活用・企業間連携を加速させると指摘されている。その結果として、例えばこれまで自社内で行われていた製品設計、製造、販売、といった各セクションが制約なしに分離する（ア

ンバンドリング）ことが可能となり、自社企業外への財・サービス生産の委託・外注（アウトソーシング）、さらには物理的に国境を越えた財・サービス生産の委託・外注（オフショアリング）を促進する効果があるとされ、生産工程が柔軟に分散化できるようになり、サプライチェーンの強靱化に貢献する効果があると指摘されている⁶⁰（第II-1-4-2表）。

第II-1-4-2表
デジタル化がもたらす国際分業の構造変化

変化のトレンド	デジタル化のもたらす効果	委細
バンドリング/アンバンドリング	アンバンドリングを促進	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライチェーンの「サービス化」を促進 ・断片化・分散化したサプライチェーンを制御するための新たな手法を提供
オフショアリング/リショアリング	オフショアリングを促進	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速でより効率的、安全な遠隔コミュニケーション、コーディネーション、コントロールが可能となる（ブロックチェーン等の活用を通じて）
アウトソーシング/インソーシング	アウトソーシングを促進	<ul style="list-style-type: none"> ・サードパーティー（第三者企業）や資本関係を伴わない（契約に基づき取引を行う）企業間連携の形で多くアウトソースされるようになる。 ・生産におけるサードパーティーの重要性が向上する

資料：UNCTAD World Investment Report（2020）。

第II-1-4-1表 製造工程及びサプライチェーンへの先端技術の活用とその影響

先端技術	想定される要素技術	サプライチェーンへの影響
サプライチェーンのデジタル化	IoT、クラウド技術、AR/VR、ブロックチェーン、フィンテック、eコマース等の活用、ビッグデータ解析	<ul style="list-style-type: none"> ・外部パートナーとのガバナンス・取引コストの低減により、モジュール化が促進。 ・分散したサプライチェーンの協調・操作にかかるコストが低減し、リスクも減る。 ・顧客データを活用して生産をカスタマイズすることで、バリューチェーンのエンドユーザーに近い側の比重を重くする。
ロボット技術、AIの活用	先進的産業ロボット	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用ロボットやAI駆動型ロボットが安価で提供されるようになることによって、人件費が重要なファクターではなくなる。 ・ロボットのコストが高いため、規模の経済、経済の集中度が高まる。 ・特許技術の利用可能性が重要になるため、内製化を助長する。
3Dプリンター等の先端製造技術	3Dプリンティング	<ul style="list-style-type: none"> ・E2Eの生産プロセスが可能になることにより、モジュール化が抑制される。 ・様々な立地で生産工程の複製が可能になることによって、市場に近接した生産の実現、カスタマイゼーションが可能となる。 ・生産プロセスではなくデザインにおける特許の価値が上がる。

資料：UNCTAD World Investment Report（2020）より作成。

60 アウトソーシング/インソーシング、オフショアリング/オンショアリングの定義については、文脈によって異なるが、例えば「アウトソーシングの国際経済学」（冨浦、2014）等も参照されたい。

2. サプライチェーンマネジメントのデジタル化

本項では、特にサプライチェーンの分散化・レジリエンス強化へ与える効果が大きいとされるサプライチェーンマネジメントのデジタル化について、概要を整理する。

(1) サプライチェーンマネジメントのデジタル化の概要

まず、サプライチェーンマネジメントのデジタル化の具体像を見ていく。

サプライチェーンのデジタル化はその進展段階によって①製造工程のリアルタイムでの把握②他社も含めたデータ連携によるサプライチェーン横断的な生産工程の可視化③サプライチェーンリスクの予測分析と計画への反映、の三段階に分けることができる（第II-1-4-3図）。

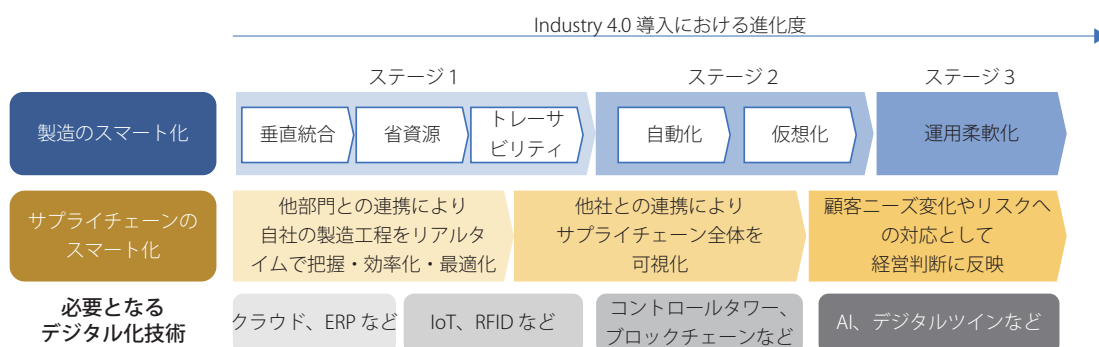
ステージ1では、各製造工程のERP、MES⁶¹等を通じた情報のデジタル化を基礎として、クラウド技術等を活用して、発注・在庫状況などを自社内でリアルタイムに可視化する。ステージ2においては、IoT等の無線通信技術を活用して取得・収集したデータをブロックチェーン等を通じて組織を超えて共有し、ビッグデータとして活用することにより、サプライチェーン全体を通じたリアルタイムでの状況把握、サプライチェーンの最適化を実現できる。さらに、ステージ3においては、AI等の技術を用いたデジタルツインなどの構築を通して、様々なリスクを想定したサプライチェーンの予測分析、それを踏まえた在庫・物流計画

の検討が可能となる。

(2) 業種ごとに異なるサプライチェーン把握の目的

サプライチェーンの把握の目的は、その業種の製品やサプライチェーンの特性によって異なる。例えば、自動車などの輸送機械の業界における生産方式は、インテグラル型（摺り合わせ型）と呼ばれ、製品の部品の機能が複数の部品にまたがって複雑に構成されているため、従前からサプライチェーン全体で部品・製品の流通やその品質を管理する必要性が高かった。そのため、自動車業界ではサプライチェーンマネジメントも先進的に導入されてきた。実際に、実需の情報に応じた柔軟な生産を目的とした「ジャスト・イン・タイム」の生産方式が、トヨタを始めとする自動車業界において取り入れられていることから、そのニーズの高さがうかがえる。他方、電子機器については対照的に、モジュール型⁶²と呼ばれる生産方式となっており、製品の機能が部品ごとに構成され、ある程度規格化が進展している。そのため、業界の特性として、サプライチェーン上でのリスクが生じた際に比較的柔軟に調達先を変更することが可能である。また、食品や素材（ダイヤモンドなどの宝石類など）は、消費者に対する原産地証明の信頼性やトレーサビリティ、鮮度に関する情報把握のニーズが高い一方、医薬品は偽薬の混入、盗難の防止、法的規制への対処の必要性から、サプライチェーンの把握のニーズが高いと考えられる。

第II-1-4-3図 Industry 4.0におけるサプライチェーンのデジタル化の概要



資料：経済産業省令和2年度委託調査「内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（企業の調達先多様化・立地選択とサプライチェーン可視化に関する調査）報告書」より経済産業省作成。

61 ERP (Enterprise Resource Planning)：総務や会計、人事、生産、販売など企業の基幹情報を連携・集約した統合基幹業務システム。MES (Manufacturing Execution System)：製造工程の把握や管理、作業員への指示や支援などを行う製造実行システム。
 62 製造業の「モジュール化」とは、「それぞれ独立に設計可能で、かつ、全体として統一的に機能するより小さなサブシステムによって複雑な製品や業務プロセスを構築すること」(青木昌彦 他「モジュール化」(2002年)と定義される。

掘・共有や、テストベッドや研究プロジェクトの協力、アーキテクチャ等の相互運用性の確保、標準化に関する協力等の取組が進められている。また、2017年2月にはインド全国ソフトウェアサービス企業協会（NASSCOM）と、2017年3月に欧州のIoTイノベーション・アライアンス（AIOTI）とそれぞれMoUを締結した。

図表3-1-1-4 IoT推進コンソーシアムと国際連携

連携先団体	組織概要	MOU締結の狙い
インダストリアル・インターネット・コンソーシアム（IIC）	AT&T、CISCO、GE、IBM、Intel米国5社を創設メンバーに、2014年3月に設立。産業市場におけるIoT関連の産業実装を推進していくことを目指している	実証環境の共有や、共通のアーキテクチャ理解に基づいた実証の実施により、効率的かつ効果的なグローバルIoTソリューションの創出が可能となる。
オープンフォグ・コンソーシアム	ARM、Cisco、Dell、Intel、Microsoft、プリンストン大学が中心となり、2015年11月19日に設立。オープンアーキテクチャ及び分散（処理）コンピューティングの開発（Fogコンピューティング技術）の加速を目指す。	特にリアルタイム性や大量のデータ処理等が求められる分野のIoTソリューションを見据え、分散コンピューティングを意識した実証や標準化等につき、連携を促進する。
インド全国ソフトウェアサービス企業協会（NASSCOM）	1988年に設立された、インドのITビジネス関係の業界団体。会員企業はIT、ソフトウェア、webサービス、電子商取引等のインド企業、多国籍企業約2,000社（2017年2月現在）	グッドプラクティス等の情報交換や両団体会員企業の相互訪問、両団体が連携可能な分野等の検討等の取組を実施する。
IoTイノベーション・アライアンス（AIOTI）	欧州の産業界が加盟するIoT推進団体として2015年3月に設立。会員企業はIndustrie 4.0の参画メンバーや通信キャリア、チップベンダー等、約160社（2017年3月現在）。	優良事例や政策提案等の情報交換、IoTに関する標準化や社会的課題の解決に向けた協力等の取組を実施する。

2 第4次産業革命がもたらす潮流

前項で概観したように世界各国が「第4次産業革命」の到来に注目している。本項では同革命がもたらす潮流の特徴について整理し、なぜ「今」第4次産業革命なのかについて迫る。

1 「つながる経済」の進展

インターネットの普及により、様々なものがつながる社会は、従来「ユビキタス」などと表現され、進化してきた。一方で、近年のIoTに係る取組等にみられるように、生産設備や流通などあらゆる産業やサプライチェーンの中で、デジタル化やネットワーク化により、生産設備や流通（供給）サイドと消費（需要）サイドをICTでつなぐことで、効率的な生産体制を構築しようとしている。このように、今「つながる経済」、「つながる産業」として、より具体的な潮流へと発展している。

ア 技術革新の進展

ネットワーク化によってつながるのは人やモノに留まらず、今まで分散していたキー技術がつながり、今後お互いに影響を及ぼし合うことが予想される。具体的には、ロボティクス（ロボット）、ナノテクノロジー、3Dプリンター、遺伝子工学、バイオ技術、ブロックチェーン技術等など、ネットワークを介することで相互作用する技術的な進化が、新たな産業革命を具現化する。このような点からも、第4次産業革命は、ICT産業に閉じた潮流ではなく様々な産業に及ぶものである。例えば、自動運転技術の革新は、自動運転車の普及と交通事故の減少をもたらす、自動車産業の構造変革のみならず、自動車保険の概念そのものを変革する可能性を秘めている。また、ドローン（無人航空機）の空撮による3次元計測データは、農林水産業や建設業、鉱業の生産性に飛躍的な向上をもたらす可能性を秘める。さらに3Dプリンターの普及は、製造業における生産管理にとどまらず、設計思想や物流政策のあり方自体に再考を迫るものである。

イ 新たなビジネスモデルの創出

「つながる経済」では、つながる前（分断されていた時）には実現できなかったビジネスモデルが成立する。例えば、いつ、どこで誰が商品を使ったかを把握して細かく管理・課金する形態や、売り切り型ではなく多様な貸与・利用許可型ビジネス（いわゆる「モノ」から「コト」へ）の潮流を生んでいる。1章でみたように、AirbnbやUberなどに代表されるシェアリングエコノミー（共有型経済）も、こうした新たなビジネスモデルの発想が、個人が所有するさまざまなモノやサービスの交換や共有などマッチング（つながること）を可能とした、新たな産業革命の一端といえる。加えて、ソーシャルメディア、クラウドファンディング等、情報やお金の流通に係る新しいモデルの普及と進展によって、従来にはない価値創造が可能となりつつある。

一方で、従来つながっていなかったが、つながることで、これまで単独で存在していた商品や市場が代替されることも予想される。このような潮流は分野や業態の垣根を超えた異業種間の競争が進展することを示唆するものである。

② オープンイノベーションの進展

第4次産業革命を社会経済において顕在化させるには、新規需要の拡大等につながるイノベーションを促進し、イノベーションによって新たな財やサービスを創出し続けることが重要と指摘されている。平成28年（2016年）版情報通信白書でもみたとおり、人口減少等の構造的課題を抱える我が国において、今後の成長力を引き上げるためには、社会経済に変化をもたらすイノベーションが活発に生み出され、イノベーション主導経済を実現していくことが肝要である。特に、前項で言及したように、ネットワークや新たな技術を介して、産業・分野横断的に需要者と供給者のビジネスのマッチングを実現するには、企業の枠を超えた新規事業開発や、高度な専門スキルを有する社外の人材の起用など、いわゆる「オープンイノベーション」の推進が期待される。

ア ベンチャー企業

イノベーションの中核的な担い手の一つとして期待されるのが、機動的な意思決定のもと迅速・大胆な挑戦が可能なベンチャー企業の存在である。IoT（Internet of Things）やビッグデータ、人工知能（AI）、ロボット等の分野における技術的ブレークスルーが急速に進み、新たなビジネスや社会変革につながる第4次産業革命時代において、ベンチャーに対する期待感がかつてないほどに高まっている。日本経済団体連合会（経団連）は、ベンチャーに関する報告書「新たな基幹産業の育成に資するベンチャー企業の創出・育成に向けて」（2015年12月）において、「現在、産業界では自前主義を脱却した、本格的なオープンイノベーションの取組が進みつつある」とした上で、産業界が今後、ベンチャー企業との「産産連携」等を一層深めていく方針が表明されている。

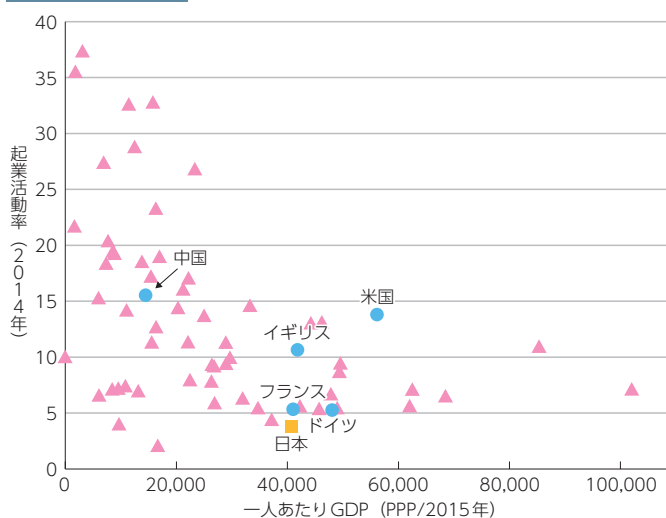
一方、我が国の課題として、企業内部だけでなく産業全体の静的特性が顕著である。起業人材の比率を表す起業活動指数TEA（2014年）は米国13.8%、中国15.5%、英国10.6%に対して日本は3.8%と低いのが現状である。すなわち、他国と比べると、起業人材やベンチャー企業が育っていない（図表3-1-2-1）。

第4次産業革命において、ものづくりやシステム、サービス等が融合したビジネスが今後拡大することが予想される中で、いわゆる大企業中心・生産機能中心の日本型産業構造は、成長性のある事業や産業創出の機会を逸してしまう可能性もある。また、第2章でみたように、今後は、企業が多様なデータや知・ノウハウ等を活用して、付加価値の高い事業領域で継続的な差別化の仕組みを如何にして実現するかが産業変革の重要な論点となる。そのためには、我が国においてもシリコンバレーをはじめ諸外国でみられるベンチャーモデルなども参考としたビジネスモデル変革が期待され、また大企業や創業年数の長い企業、また中小規模企業においても、再度「ベンチャー的」経営のマインドを取り戻し、成長意欲を醸成することが肝要である。こうした企業意識については、本章の第2節において詳細にみていくこととする。

イ 研究開発

第4次産業革命の顕在化に資するイノベーションを加速させるためには研究開発（R&D）への投資と推進が肝要となる。「IoT国際競争力指標」によれば、研究開発の状況を計測する指標としてエンジニア数に着目すると、我が国では、ICT・IoTの両市場で米国企業に次いで高く増加傾向にある（図表3-1-2-2）。

図表3-1-2-1 諸外国の起業人材比率と所得水準



注：TEAは、企業の準備を始めている人、創業後42ヶ月未満の企業を営んでいる人の18-64歳人口100人当たりの割合

（出典）総務省「第4次産業革命における産業構造分析とIoT・AI等の進展に係る現状及び課題に関する調査研究」（平成29年）

第1部

特集

5Gが促すデジタル変革と 新たな日常の構築

第1章 令和時代における基盤としての5G

第2章 5Gがもたらす社会全体のデジタル化

第3章 5G時代を支えるデータ流通と
セキュリティ

第4章 5Gのその先へ

はじめに

1 新型コロナウイルス感染症の収束後の社会に向けて

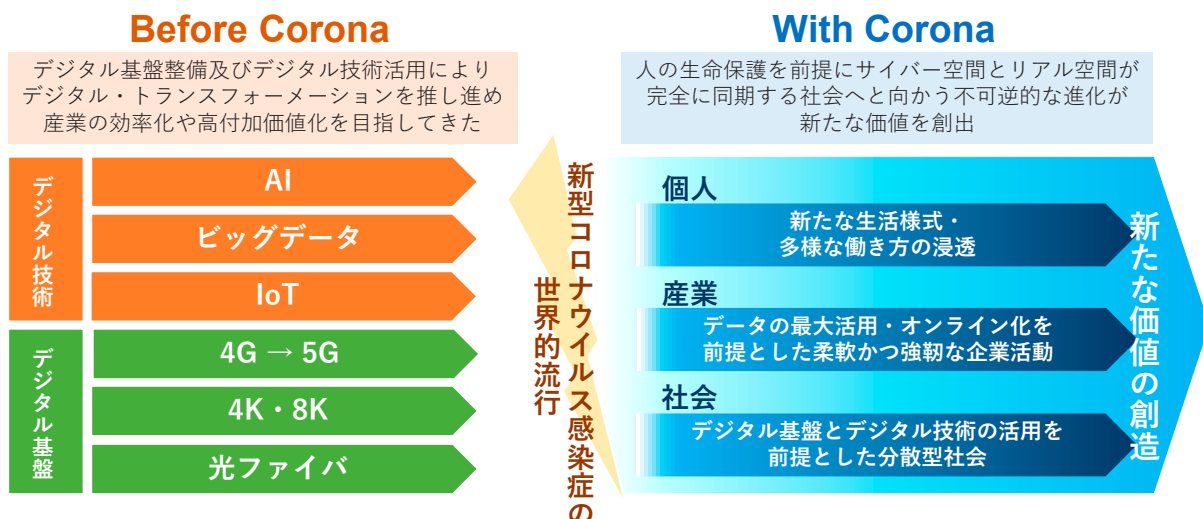
2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において「原因不明のウイルス性肺炎」として確認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、今年（2020年）2月末の時点で全世界の患者数は85,000人を超え、世界保健機関（WHO）は、3月11日に「新型コロナウイルス感染症の拡大がパンデミックと形容される」と評価するなど、グローバル化が進む人流・物流とも相まって、3か月あまりで全世界へと感染が拡大していった。我が国においても、国内の感染者数が3月末の時点で2,100名を超え、4月7日には政府から緊急事態宣言が発出されるに至った。

この事態に対応するため、感染症に関する情報が、国、地方公共団体、報道機関等から通信や放送を通じて積極的に発信されているほか、いわゆる三密（密閉、密集、密接）を回避し、感染リスクを下げる目的から、不要不急の外出やイベント開催の自粛が呼びかけられたことを受け、テレワークの導入やオンライン教育の実施、さらにはオンライン診療に係る規制の緩和などが行われていった。感染症の拡大を契機として、人の生命保護を前提に社会・経済活動の維持を図り、未曾有の困難を乗り越えていく観点から、これまでオンライン化があまり進まなかった領域においても、デジタル化の波が押し寄せつつある。情報通信技術（ICT）は、国民生活や経済活動の維持に必要不可欠な“Essential Tech”として、これまで以上にその重要性が増してきている。

緊急事態宣言は5月25日をもって全都道府県において解除され、今後は感染症の収束状況を見つつ、各種の制限が順次緩和されていくこととなるが、収束後の我が国の社会・経済は、ウイルスの蔓延前とはフェーズを異にする新たな社会・経済へと不可逆的な進化を遂げるであろう。長年にわたる慣行が崩され、デジタル化・リモート化を前提とした活動が定着することで、個人、産業、社会といったあらゆるレベルにおいて変革が生まれ、新たな価値の創造へとつながっていくであろう。

これまでもデジタル基盤の整備やデジタル技術の活用によるデジタル・トランスフォーメーションを通じて、産業の効率化や高付加価値化が進められ、その過程において、サイバー空間とリアル空間の融合が進んでいった。感染症の収束後は、両空間が完全に同期する社会へと向かうとの指摘がある。今後、人々の活動の場は、リアル空間からサイバー空間へと移行していくであろう。そのような移行を妨げる規制・慣行を見直し、リアルとサイバーの垣根を最大限取り除くことが、収束後の社会・経済に向けた重要な取組となる。第5世代移動通信システム（5G）をはじめとするデジタル基盤やIoT、ビッグデータ、AIといったデジタル技術の活用は、今まで以上に重要となっていくであろう。

図表1 Before CoronaとWith Corona



(出典) 総務省作成資料

<0> 調査の概要



D I G I T A L T R A N S F O R M A T I O N

調査の概要①

調査の背景と目的

- ◆ 近年、AI（人工知能）やIoT（Internet of Things）などをはじめとする**先端技術（デジタル技術）**の利活用が急速に進展し、ビジネスの高度化が進む中で、市場における企業間の競争がますます激化している。
- ◆ 特に、デジタル技術を駆使する新興企業が急速に成長し、**従来の産業構造を根底からくつがえす破壊的なイノベーション**が起こることは「**デジタル・ディスラプション**」などと呼ばれ、こうした急激な変化に対する危機感があらゆる産業で強まりつつある。
- ◆ 今後、迫りくるデジタル・ディスラプションによって淘汰されず、**市場における勝ち残りを実現するためには**、デジタル技術を効果的に活用し、他社に先駆けて企業変革を実現することがきわめて重要である。このように、**デジタル技術の活用によって企業のビジネスモデルを変革し、新たなデジタル時代にも十分に勝ち残れるように自社の競争力を高めていくことは「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」**と呼ばれ、これらの取り組みに対する注目が近年急速に高まりつつある。
- ◆ 上のような状況を踏まえて、本調査では、我が国の企業におけるDXの取り組み状況等とともに、DXの推進にあたって企業が感じている課題等の把握を目指して、以下のとおり、文献調査のほか、アンケート調査及びヒアリング調査を実施した。また、これらの結果を踏まえて、**我が国におけるDXの実態**、及び、**今後、我が国の企業においてDXを推進するためのポイント**等を整理し、その結果をとりまとめた。



第1章 事業概要

1. 背景と目的

(1) 背景

経済産業省が平成28年6月に公表した「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査¹⁾」によれば、IT需要が今後拡大する一方で、我が国の労働人口（特に若年人口）は減少が見込まれ、IT人材の需要と供給の差（需給ギャップ）²⁾は、需要が供給を上回り、2030年には、最大で約79万人に拡大する可能性があるとして試算されている。

IT人材は、我が国のIT産業の産業競争力強化のほか、企業等における高度なIT活用、デジタルビジネスの進展等を担っている。特にAI（Artificial Intelligence：人工知能）やビッグデータを使いこなし、第4次産業革命に対応した新しいビジネスの担い手として、付加価値の創出や革新的な効率化等により生産性向上等に寄与できるIT人材の確保が重要となっている。

こうした状況を踏まえ、「未来投資戦略2017³⁾（平成29年6月9日閣議決定）」において、第4次産業革命下で求められる人材の必要性・喫緊性を明確化するため、経済産業省、厚生労働省、文部科学省等が連携してIT人材需給を把握する仕組みを早期に構築することとされた。

(2) 目的

上記を踏まえ、本調査分析では、第4次産業革命に対応したIT人材の需給状況を把握する手法について検討を行うとともに、各種条件のもとでの試算を行い、その試算結果を取りまとめた。

¹⁾ 経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果を取りまとめました」

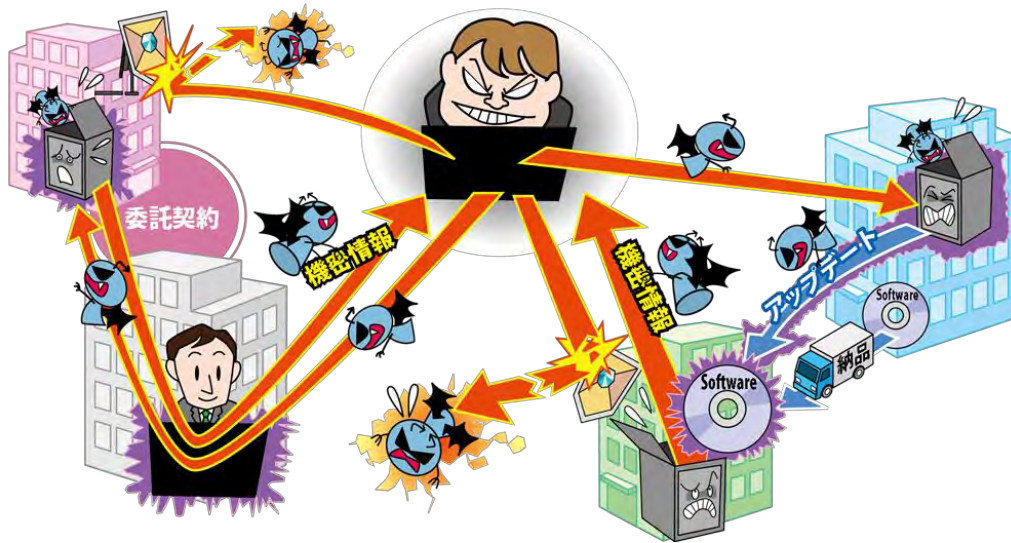
<http://www.meti.go.jp/press/2016/06/20160610002/20160610002.html>

²⁾ 本報告書では、需要と供給の差を需給ギャップと略する場合がある。需給ギャップは、需要が供給を上回る（人材不足）場合と供給が需要を上回る（人材余剰）場合がある。

³⁾ 未来投資戦略2017—Society 5.0の実現に向けた改革—
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/miraitousi2017_t.pdf

4位 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃

～自組織の対策だけでは不十分？ 広がるサプライチェーンを悪用した攻撃被害～



原材料や部品の調達、製造、在庫管理、物流、販売までの一連の商流、およびこの商流に関わる複数の組織群をサプライチェーンと呼ぶ。このサプライチェーンの関係性を悪用し、セキュリティ対策の強固な企業を直接攻撃するのではなく、その企業が構成するサプライチェーンのセキュリティが脆弱な取引先等を標的とする手口がある。取引先が攻撃されると取引先が保有する企業の機密情報が漏えいしたり、取引先を足掛かりとされ、本来の標的である企業が攻撃を受けたりする被害が発生する。

<攻撃者>

- 組織的犯行グループ
- 犯罪者

<被害者>

- 組織（自組織、自組織の商流に関わる組織）

<脅威と影響>

組織には、必ず何らかの形でサプライチェーンとの関係性が存在する。例えば、取引先であったり、委託先であったり、導入しているソフトウェアであったりと多岐にわたる。直接攻撃することが困難な組織に対しそのサプライチェーンの脆弱な部分を攻撃することで、間接的または段階的に標的の組織を狙ってくる。外部に対しては強固なセキュリティ対策を行っている組織でも取引先等のサプライチェーンを足掛かりとされることで、攻撃者の侵入を許してしまうおそれがある。

攻撃を受けた場合、機密情報の漏えいや信用の失墜等、様々な被害が発生する。また、取引先の組織においても、自組織が被害を受けるだけで

なく、取引相手にも損害を与えてしまうことで、取引相手を失ったり、場合によっては、損害賠償を求められたりするおそれがある。

<攻撃手口>

◆ 取引先や委託先が保有する機密情報を狙う

標的となる組織よりもセキュリティが脆弱な委託先等を攻撃し、その組織が委託業務において保有していた標的組織の機密情報等を窃取する。

◆ ソフトウェア開発元等を攻撃し、標的を攻撃するための足掛かりとする

ソフトウェアの開発元等を攻撃し、ソフトウェアのアップデートにウイルスを仕込む。その後、開発元から公開されたアップデートを適用した利用者がウイルスに感染し、そのウイルスを介して標的組織に侵入する。

<事例または傾向>

◆ 中国拠点を足掛かりに国内拠点へ侵入

2020年2月、三菱電機は、2019年に発生した情報流出に関する調査結果の第3報を公開した。その資料によると、攻撃者は同社の中国拠点のサーバーにゼロデイ攻撃を仕掛けウイルスに感染させることで、拠点内の他の端末へと侵入範囲を拡大していった。その後、中国拠点を足掛かりに国内拠点に侵入し、中国拠点と同様に感染を拡大させていった。最終的に感染の疑いのある端末は国内外含め132台であった。

一連の攻撃は、既存の防御をすり抜ける高度かつ巧妙な手法が用いられており、三菱電機はこのような高度な標的型攻撃にも対処していけるように、これまで以上に多層防御態勢を整備していくとしている。¹

◆ ソフトウェアの正規のアップデートにバックドア

2020年12月、SolarWindsは同社のソフトウェア「Orion Platform」にバックドアが含まれていたことを公表した。攻撃者によって「Orion Platform」のアップデートファイルにバックドアが組み込まれ、SolarWindsから配信されたそのアップデートファイルで更新をした組織が感染した。

主に米国を中心に感染が確認され、米政府をはじめ様々な組織で被害が報告されている。また、国内でも感染の形跡が確認されている。感染した組織は、バックドアから攻撃者に侵入され、不正アクセスを受けたとする報告が多くされている。^{2,3}

<対策/対応>

組織

● 被害の予防

- ・業務委託や情報管理における規則の徹底

製造においては原材料や部品の調達経路、物流経路等も考慮する。

● 報告体制等の問題発生時の運用規則整備

攻撃を受けた場合を想定し、インシデント対応計画等を整備することも重要である。

● 信頼できる委託先、取引先組織の選定

商流に関わる組織の信頼性評価や品質基準を導入する。

● 複数の取引先候補の検討

● 納品物の検証

● 契約内容の確認

組織間の取引や委託契約における情報セキュリティ上の責任範囲を明確化し、合意を得る。また、賠償に関する契約条項を盛り込む。

● 委託先組織の管理

委託元組織が責任をもって委託先組織のセキュリティ対策状況と情報資産の管理の実態を定期的に確認できる契約とすることが重要である。

● 被害を受けた後の対応

● 影響調査および原因の追究、対策の強化

● 被害への補償

組織(商流に関わる組織)

● 被害の予防

● セキュリティの認証取得

ISMS、Pマーク、SOC2、ISMAP等

● 公的機関が公開している資料の活用

「サプライチェーンのセキュリティ脅威に備える」⁴(IPA)

「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」⁵(経済産業省/IPA)

● 被害を受けた後の対応

委託元への連絡

参考資料

1. 不正アクセスによる個人情報と企業機密の流出可能性について(第3報)

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/news/2020/0212-b.pdf>

2. SolarWinds Security Advisory

<https://www.solarwinds.com/ja/securityadvisory>

3. SolarWindsのサプライチェーン攻撃についてまとめてみた

<https://piyolog.hatenadiary.jp/entry/2020/12/20/045153>

4. サプライチェーンのセキュリティ脅威に備える

<https://www.ipa.go.jp/files/000073868.pdf>

5. サイバーセキュリティ経営ガイドライン

https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/mng_guide.html

1... ユーザー企業のIT人材を取り巻く変化

Copyright © 2020 Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

6

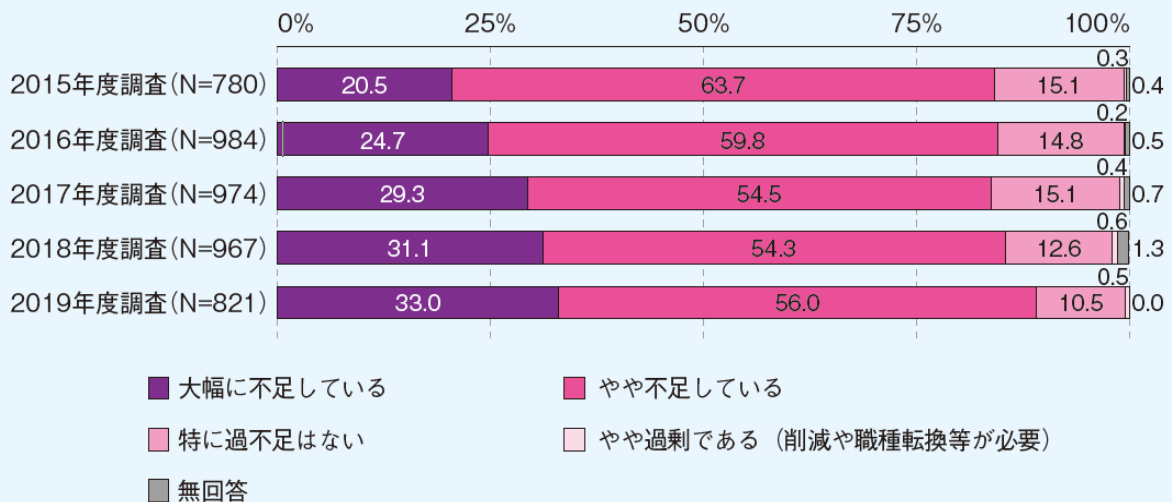
II. 調査結果の重要なポイント

IT人材の“量”に対する過不足感【過去5年の変化】

ユーザー企業

- ユーザー企業におけるIT人材の“量”に対する過不足感について5年間の変化を示したものである。IT人材の“量”に対する過不足感の割合を経年で見ると、2019年度調査結果では「大幅に不足している」割合が1.9ポイント上昇と、上昇幅は小さくなっているものの年々高くなる傾向にある。

ユーザー企業のIT人材“量”に対する過不足感【過去5年間の変化】



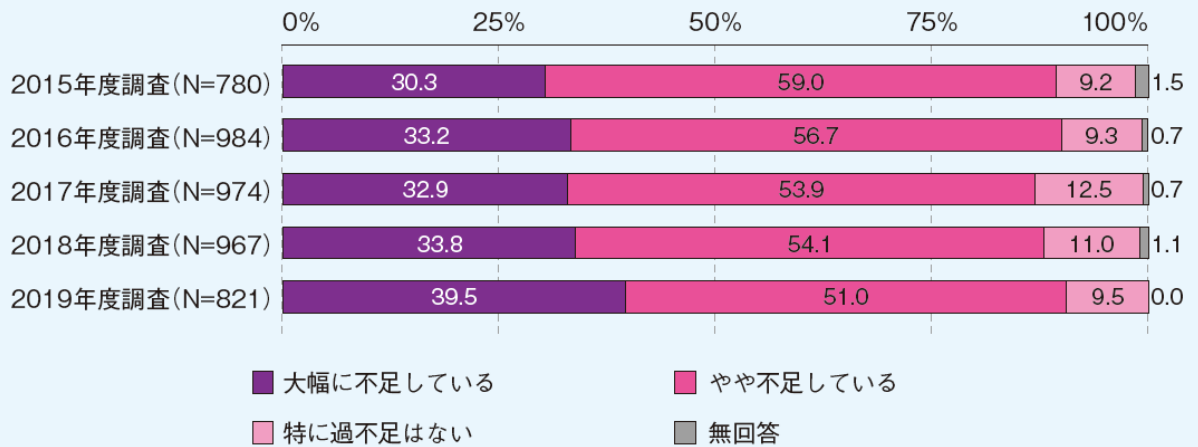
ユーザー企業のIT人材を取り巻く変化

IT人材の“質”に対する不足感【過去5年の変化】

ユーザー企業

- ユーザー企業におけるIT人材の“質”に対する不足感について5年間の変化を示したものである。「大幅に不足している」割合は、2016年度調査から2018年度調査までは33%前後が続いたが2019年度調査では39.5%となった。

ユーザー企業のIT人材“質”に対する不足感【過去5年間の変化】



Copyright © 2020 Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

8

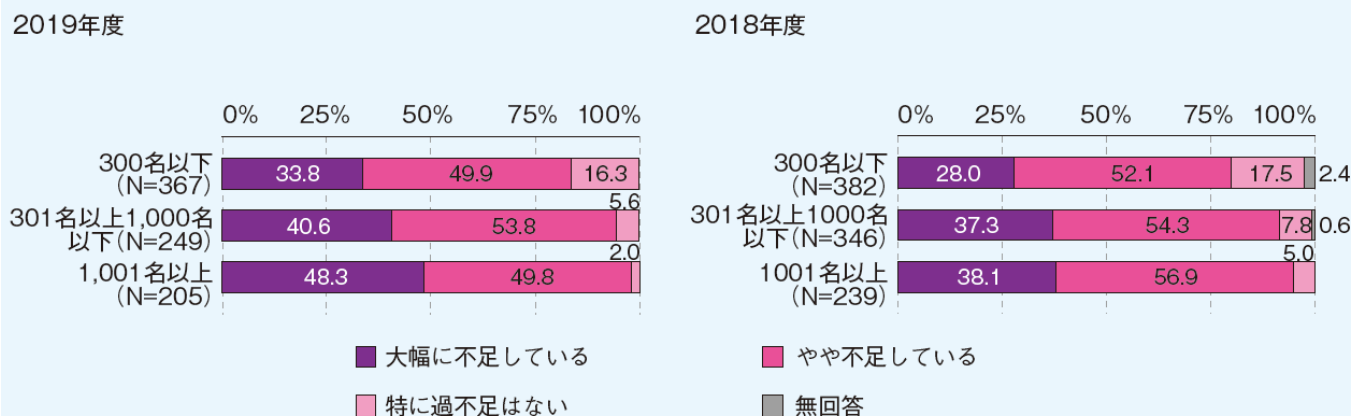
II. 調査結果の重要なポイント

IT人材の“質”に対する不足感【昨年との比較】

ユーザー企業

- ユーザー企業におけるIT人材の“質”に対する不足感について昨年度と比較したものを示す。
- 1001名以上の企業で“質”に対する不足感が増している。「大幅に不足」が今年度は48.3%、昨年度は38.1%で10.2ポイント上昇となった。

ユーザー企業のIT人材“質”に対する不足感【従業員規模別】



【資料1-16】

チェーンに参画するプレイヤーにも変化を与えうる。WTO (2021) では、サプライチェーンマネジメントにおけるブロックチェーンの活用により、貿易への参画コストが低下し、中小企業が国際貿易に参画しやすくなると説明されている。

このように、サプライチェーンのデジタル化は、サプライチェーン全体の把握を通じて生産拠点の選択や柔軟な取引関係の構築、といった経営判断の基礎となりうる。デジタル技術が整備されることによって、多様な関係者がサプライチェーンに参画出来るようになることが見込まれ、より強靱・柔軟なサプライチェーン運用が実現できる。

(2) 業種ごとに異なるデジタル化の恩恵

上記に述べたような強靱化・効率化のメリットが考えられる一方、デジタル化の恩恵を受けやすいか否か

は、業種や製品の特性によってばらつきがある。WTO (2018) では、特にデジタル化による恩恵の大きい製品の特性として、①迅速な運搬が必要とされる製品 (time-sensitive goods、例：小売業における生鮮食品など)、②原産地や運搬経路に関する証明が必要となる製品 (Certification-intensive goods、例：食品、農産品)、③企業間の契約が多く発生する製品 (Contract-intensive goods、例：先端技術を扱う機械など) を挙げている。これらの製品は、デジタル化による時間や費用の面での取引コストの低減、トレーサビリティの向上、スマートコントラクトとの連携などのデジタル技術の特性によって、更に取り引が容易となり、取引規模が拡大するとされる。他方、製品自体のデジタル化が可能な製品 (例：本、CD など) の取引規模は、電子商取引に移行することによって、物理的な取引量・流通量は減少することが見込まれている。

4. サプライチェーンマネジメントのデジタル化の現状

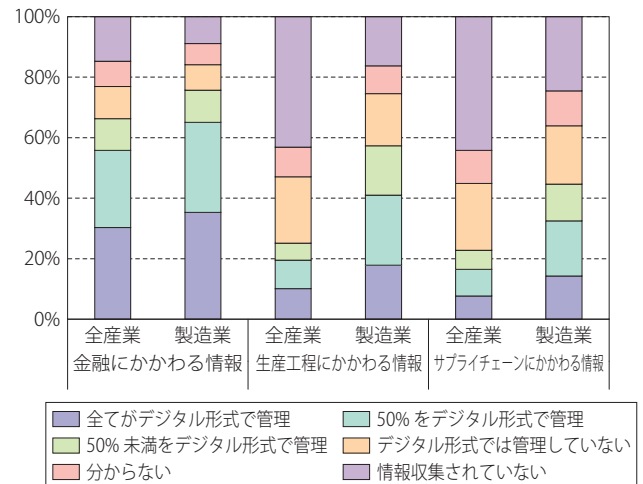
サプライチェーンマネジメントのデジタル化は、上記のような変化やメリットをもたらすことが指摘されている一方、実際に企業がデジタル技術の導入を実施するためには、そのメリットを理解し、コストパフォーマンスを妥当と捉え投資判断に踏み切る必要がある。本項では、実際の各業種におけるサプライチェーンマネジメントのデジタル化の状況について、データからの把握を試みるとともに、デジタル技術の活用にあたっての課題を整理する。

(1) 業種ごとのサプライチェーンマネジメントへのデジタル技術の導入状況

生産プロセスやサプライチェーンマネジメントのデジタル化の進展状況は、業種によって異なる。米国を例にとってみると、企業が保持する情報のデジタル化が最も進んでいるのは、とりわけ金融関係の情報であり、約70%近くの企業が「半分以上のデータをデジタル形式で取り扱っている」と回答している。さらに、製造業では特に製造工程に関わる情報のデジタル化が他の産業と比較して進展していることが分かる。他方、サプライチェーンに関する情報のデジタル化は、金融

や製造工程の情報と比較すると低位に留まることが分かる (第II-1-4-5図)。また、製造業の中でも、サプライチェーンに関わる情報のデジタル化の進展状況には差が見られており、多くの部品数からなり複雑なサプライチェーンを必要とするコンピューター、電子機器、機械産業等といった産業や、安全基準への法的対応が必要となる化学製品⁶⁹、石油・石炭製品等におい

第II-1-4-5図 米国産業全体と製造業における情報のデジタル化の状況

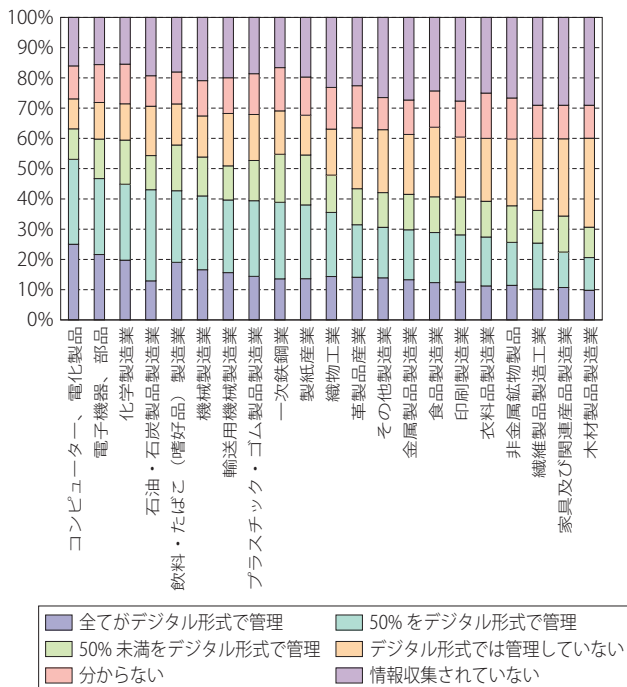


資料：米国国勢調査局「Annual Business Statistics Digital Technology Module 2018 tables」より作成。

69 米国においては、医薬品の安全性担保を目的とした「医薬品サプライチェーン安全保障法 (Drug Supply Chain Security Act)」(2013年 成立) において、医療用医薬品の製品コード、有効期限、ロット番号などを電子管理することが義務付けられていることがデジタル化の実施割合の高さに繋がっているものと推測される。

ては企業の保持する情報のデジタル化は進展している一方、木材製品や家具・繊維製品等を扱う産業においては、デジタル化の進展は低位に留まっている（第II-1-4-6図）。

第II-1-4-6図
米国製造業における業種別のサプライチェーン関連情報のデジタル化の状況



資料：米国国勢調査局「Annual Business Statistics Digital Technology Module 2018 tables」より作成。

上記は米国の企業を対象とした調査であるが、我が国企業におけるデジタル技術を用いた生産プロセスの可視化の取組に関する調査結果を見ると、製造物・部

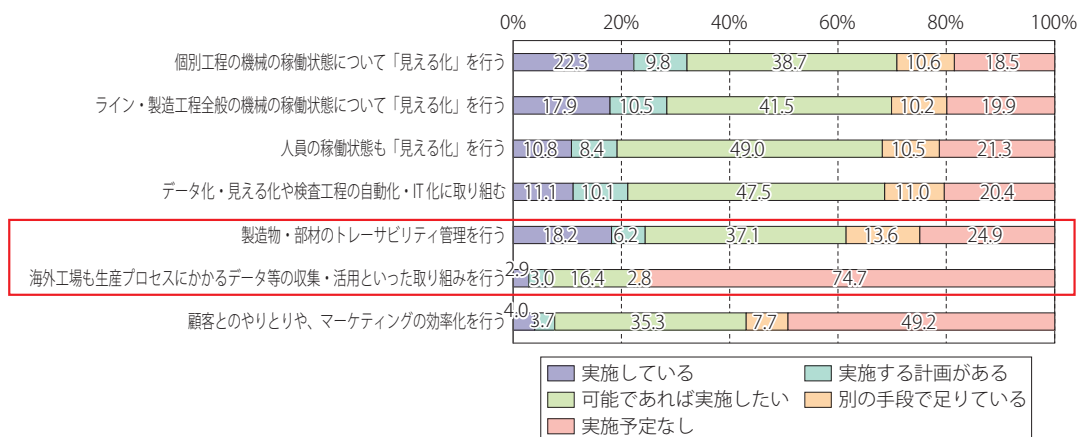
材のトレーサビリティへの取組については、既に実施している企業・実施する計画がある企業が二割超存在する一方で、実施予定がない・他の手段で足りていると回答した企業も三割以上存在し、企業における意識の差が見られることが分かる。さらに、海外工場も含めた可視化の取組に関しては実際に取組を実施している企業の割合はわずかに留まり、サプライチェーンマネジメントに関わる情報のデジタル化の取組は途上であると言える（第II-1-4-7図）。さらに、我が国企業は他国と比較してデジタル技術の導入が遅れており、特に中小企業におけるデジタル技術の導入率が低位に留まっている⁷⁰。

(2) サプライチェーンマネジメントのデジタル化が抱える課題

上記の通り、サプライチェーンマネジメントのデジタル化には強靱化・効率化といった面での企業へのメリットが存在する一方で、実際のデジタル化は進んでいるとは言えないのが実情である。サプライチェーンの最上流から最下流までの把握と最適化を図るためには、製造現場のデジタル化が進み、サプライチェーンに関わる情報がデジタルデータとして取得できるようになっていること⁷¹に加え、コスト・技術面において企業が十分にデジタル化を実施する体力があること、部門・企業間でのデジタル化のメリットの共有と信頼関係の構築、サイバーセキュリティ上の懸念の払拭といった多段階の課題を克服する必要がある。

一般的な企業のデジタル化推進にあたってのコス

第II-1-4-7図 日本企業における生産プロセスの改善・向上等に関する取り組み



資料：令和元年度製造基盤技術実態等調査「我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査報告書」（2021年）より経済産業省作成。

70 総務省『我が国のICTの現状に関する調査研究報告書』（2017年）など。

71 製造現場のデジタル化に関しては、経済産業省「ものづくり白書」も参考にされたい。

ト・技術の観点では、これまでもDXレポート⁷²等でも指摘されてきた。例えば、既存システムの老朽化・肥大化（レガシー・システムの存在）、既存システムの運用・保守の高コスト化、IT人材の不足、経営層からの理解不足等、様々な問題が指摘されている。ここでは、部門・企業を超えて情報を共有するに際して生じる課題に焦点を当てる。

① サプライチェーン上のサイバーセキュリティリスクに対する対応

企業間の情報共有に伴う情報セキュリティの観点からの懸念が高まっている。独立行政法人情報処理推進機構が毎年発表する「情報セキュリティ10大脅威」では、2018年までは圏外だった「サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃」が、2019年以降、四位に急遽浮上している（第II-1-4-8図）ことに加え、2019年と2020年に発生したサイバー攻撃の件数を比較すると、約2.6倍に増えており、製造業に対する攻撃はヘルスケア・金融業界に次ぎ多くなっている⁷³。サプライチェーン上のセキュリティのせい弱な企業が攻撃を受けると、そこを起点としてサプライチェーン全体に機密情報の漏えい等の被害が拡大するリスクがあり、上位サプライヤーも含めたセキュリティ対策が必

要とされる。データ管理の安全性も含めたサプライチェーンのセキュリティ管理については、ISO28000（サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステムの仕様）が策定され、システム上での確認事項、それを元にしたPDCAサイクルをサプライチェーン全体で運用する方法について普及啓発が図られていたり、サイバーセキュリティに関する企業の指針として米国国立標準研究所により定められたサイバーセキュリティ・フレームワークの中にも2017年以降サプライチェーンに関する項目が増設されたりと、関心の高まりに合わせ標準策定も取り組まれている。

② IT人材の不足の観点

また、上記のようなセキュリティ上の懸念がある一方で、各企業においてはIT人材の確保が十分に進んでいると言いがたい現状がある。デジタル技術を活用したサプライチェーンマネジメントの展開には、ITスキルを持った人材の確保が重要である一方で、ユーザー企業におけるIT人材の不足感は「量」「質」の両面で高まっている⁷⁴。さらに、我が国企業は海外の企業と比較して、IT企業以外のユーザー企業側に所属する人材の割合が顕著に低い（第II-1-4-9図）。こ

第II-1-4-8表 情報セキュリティにおける10大脅威

	2018	2019	2020	2021
1位	標的型攻撃による被害	標的型攻撃による被害	標的型攻撃による機密情報の窃取	ランサムウェアによる被害
2位	ランサムウェアによる被害	ビジネスメール詐欺による被害	内部不正による情報漏えい	標的型攻撃による機密情報の窃取
3位	ビジネスメール詐欺による被害	ランサムウェアによる被害	ビジネスメール詐欺による金銭被害	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃
4位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃の高まり	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
5位	脅威に対応するためのセキュリティ人材の不足	内部不正による情報漏えい	ランサムウェアによる被害	ビジネスメール詐欺による金銭被害
6位	ウェブサービスからの個人情報窃取	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	内部不正による情報漏えい
7位	IoT機器の脆弱性の顕在化	インターネットサービスからの個人情報の窃取	不注意による情報漏えい（規則は遵守）	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
8位	内部不正による情報漏えい	IoT機器の脆弱性の顕在化	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	インターネット上のサービスへの不正ログイン
9位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	IoT機器の不正利用	不注意による情報漏えい等の被害
10位	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）	不注意による情報漏えい	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加

備考：2018年調査においては、サプライチェーンの弱点を利用した攻撃はランク外。
資料：独立行政法人 情報処理推進機構「情報セキュリティ10大脅威」2018～2021 より作成。

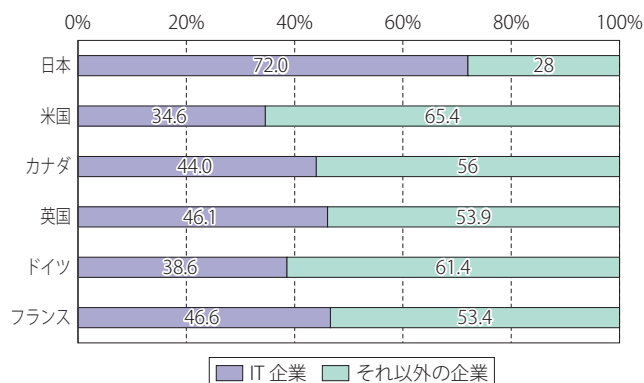
72 経済産業省「DXレポート ～ITシステム『2025年の崖』克服とDXの本格的な展開～」(2018年9月)。

73 zScaler“the 2020 State of Encrypted Attacks report”。調査対象となっているのはSSL/TSLで保護された通信に対する攻撃。

74 独立行政法人情報処理推進機構「IT人材白書2020」。

のような人材の構造は、ユーザー企業側における情報システムのノウハウが蓄積しづらい問題を生み、ユーザー企業側にとってサプライチェーンマネジメントがブラックボックス化する懸念がある。

第Ⅱ-1-4-9 図
IT企業とそれ以外の企業に所属する情報処理・通信に携わる人材の割合



資料：独立行政法人情報処理推進機構「IT人材白書 2017」より作成。
備考：日本は 2015 年国勢調査、米国は職業雇用統計、カナダはカナダ情報局 (Statistics Canada)、英国、ドイツ、フランスは Eurostat のデータを元に集計している。

③ 部門・企業間の利益相反関係

企業内の複数の部門間の情報共有の実施を図る上でも、障壁は存在する。サプライチェーンマネジメントの実施には、調達、生産、物流、販売等の複数の部門、さらには個々の従業員が関与する必要があるが、それぞれの部門が達成すべきと考える運営の目標は、「在庫削減」「安全在庫の確保」「納期の短縮」「需要予測の向上」「サプライチェーン管理の自動化の促進」「雇用の維持」など、それぞれの立場により異なる場合があり、個別最適を超え部門間の連携を目指すことは難しい。

企業を超えた情報共有の推進においては、自社製品を納入した顧客から、データ収集の了解を得られなければ、デジタル・プラットフォーム上での部門を超えた情報共有は困難となることが予想され、特に中規模・小規模企業においては企業秘密の公表に対する抵抗感が強いとの指摘もある⁷⁵。サプライチェーンが多く生産工程によって構成されるような業種においては、中間サプライヤーからそのようなサプライチェーン管理に関わる情報提供の理解が得られないと、さらに上流のサプライヤーの情報を得ることがさらに困難

になるといった声や、仲介業者を介して上流サプライヤーからの調達を実施している場合には、在庫や生産体制といった情報の入手が困難になる、といった声もある。

さらには、人権、環境問題への対処といった国際的な動向は、国際貿易に直接的に関与する大企業を中心に関心が高まっている一方、直接的に国際貿易を行わない上位サプライヤーにはデジタル技術を用いたマネジメントの必要性や国際動向が十分に理解されていないとの指摘もある。そのため、顧客企業との間の win-win な関係を構築することが重要である⁷⁶。

④ データ連携の実施にあたっての問題

部門・企業間でデータを共有する場合に、①共有するデータの規格、取得する単位が企業間で異なってしまう、接続性が失われてしまう問題、②サプライチェーン連携にあたって、どういった情報を共有すれば適切な部門・企業間連携が構築できるのかといった共通認識の欠如、といった問題が存在する。こういった共通のシステム・フレームワークが存在しないことから、各企業がデジタル化に着手する際に手探りで実施する必要が生じてしまう点もデジタル化を妨げる障壁の一つとなる。

①の接続性の問題に関して、サプライチェーン上の変化に対応しうるシステムの構築を図る際、個々の業務に合わせたデータの運用がなされている場合には、ビジネスプロセスの変更、企業の事業統合、危機時におけるサプライチェーンの柔軟な変更への即座の対応が難しいため、共通の規格を土台とした情報共有の仕組みを構築する必要がある。このような規格の使用推奨にあたっては、下請け企業側から大企業に対して導入を依頼することには、既存の取引関係の維持の観点から難しいことが想定され、大企業、または国から働きかける必要があるという指摘もある⁷⁷。

②のサプライチェーン連携にあたっての情報共有の共通認識の問題については、例えば取引される製品の原価や原産地に関わる情報や、他のサプライヤーも含めた取引先の全体像といった情報は、企業の競争力に直結する情報でもあり、むやみに公開することは取引におけるパワーバランスの変化、競争力の低下に直結しかねない。

75 Netsuite.com (2020) “Digital Supply Chain Management : What’s the cost of doing nothing ?”.
76 企業活力研究所「デジタル・プラットフォーム構築による製造業の競争力強化に関する調査研究 ―デジタル時代における新たな企業成長のあり方―」(2020年3月)。
77 日本経済団体連合「Society 5.0時代のサプライチェーン ―商流・金流のデジタル化に向けて―」(2020年9月)。

これらの課題の解決に向けては、企業間の情報の取引に際して共有すべき項目についての共通した規格やフォーマットの策定に向けた取組が行われており、例えば我が国の中小企業間のデータ連携を促進するための取組として、中小企業庁では、国連 CEFACT 標準（UN Centre for Trade Facilitation and Electronic Business）に則った「共通 EDI 標準」（EDI=Electric

Data Interchang）の導入の提唱を通して、参入障壁を低くさせるような工夫が行われている。さらには、一部業界団体では独自の標準設計に取り組んでいる事例もある。自動車業界においては、国際的な業界横断団体である MOBI がサプライチェーンへのブロックチェーンの活用を目指して標準の策定に向けた検討を進めている。

5. まとめ

サプライチェーンマネジメントのデジタル化に向けては、上述のような組織間のデータ共有に関わる課題や、それ以前にサプライチェーンに関わる情報のデジタル化、それを支えるデジタル技術を製造現場へ導入するにあたっての課題が多数存在する一方で、事業環境の不確実性が増す中、デジタル技術を活用したサプライチェーンの強靱化、効率化を戦略的に図っていくことは企業にとってますます重要になることが予想される。デジタル技術の導入は、中小企業の参画を促し、これまで取引の拡大機会が少なかった企業の取引機会を拡大する効果もあり、「包摂的なサプライチェーン」実現の鍵ともなり得る。さらに、企業は今後、経済合理性を目指した従前のサプライチェーンマネジメントのみならず、人権、カーボンニュートラルといった共通価値に関して、サプライチェーン全体で対処する必要性は市場の要請に応じてますます高まる可能性が高

く、サプライチェーンの把握の状況次第では市場機会を逸する可能性さえ生じうる。こういった共通価値への対応にあたってはデジタル技術が活用され始めている。したがって、企業はデジタル技術によるサプライチェーン把握の必要性と今後起こりうるリスクを、取引先も巻き込んだ形で検討・精査し、積極的にデジタル化の推進に取り組むことが必要である。

同時に、サプライチェーンを支える情報共有の円滑化においては、データ移転規制、ローカライゼーション要求、公権力によるアクセスといった地政学的リスクへの対処が必要となる。今後のサプライチェーンの安定性や信頼性を担保する措置として、データ自由流通ルールへのコミットメント、公権力によるアクセス手続きの正当性といった要素も重要となることが予想される。政府、業界団体による標準化、ルール作りといった観点からの努力も同時に必要とされる。

令和元年 全国開港別貿易額表

単位:億円

[確定値]

順位	輸 出				輸 入				総 額			
	港 名	都 道 府 県 名	貿易額	港 名	都 道 府 県 名	貿易額	港 名	都 道 府 県 名	貿易額			
1	名古屋	愛知	123,068	成田国際空港	千葉県	129,560	成田国際空港	千葉県	234,816			
2	成田国際空港	千葉県	105,256	東京国際空港	東京都	114,913	名古屋	愛知	173,916			
3	横浜	神奈川県	69,461	名古屋	愛知	50,849	東京	東京都	173,151			
4	東京	東京都	58,237	横浜	神奈川県	48,920	横浜	神奈川県	118,381			
5	神戸	兵庫県	55,571	大阪	大阪府	47,781	関西国際空港	大阪府	91,567			
6	関西国際空港	大阪府	51,872	関西国際空港	大阪府	39,695	神戸	兵庫県	88,675			
7	大阪	大阪府	37,742	神戸	兵庫県	33,103	大阪	大阪府	85,524			
8	博多	福岡県	29,773	千葉	千葉県	32,682	博多	福岡県	40,238			
9	三河	愛知県	25,424	川崎	神奈川県	23,571	千葉	千葉県	39,861			
10	清水	静岡県	18,239	四日市	三重県	15,869	川崎	神奈川県	34,739			
11	広島	広島県	14,436	堺	大阪府	14,073	三河	愛知県	33,691			
12	川崎	神奈川県	11,167	水島	岡山県	12,717	清水	静岡県	28,460			
13	中部国際空港	愛知県	9,342	東京国際空港	東京都	12,163	四日市	三重県	24,229			
14	苅田	福岡県	8,583	大分	大分県	11,543	水島	岡山県	21,266			
15	水島	岡山県	8,550	鹿島	茨城県	11,494	中部国際空港	愛知県	20,511			
16	門司	福岡県	8,453	中部国際空港	愛知県	11,169	広島	広島県	18,822			
17	四日市	三重県	8,361	博多	福岡県	10,465	堺	大阪府	18,472			
18	日立	茨城県	7,492	清水	静岡県	10,220	大分	大分県	18,443			
19	千葉	千葉県	7,180	木更津	千葉県	9,249	門司	福岡県	17,304			
20	大分	大分県	6,901	門司	福岡県	8,851	鹿島	茨城県	16,099			
21	三田尻中	山口県	6,233	鹿児島	鹿児島県	8,727	東京国際空港	東京都	15,616			
22	下関	山口県	4,775	三河	愛知県	8,267	木更津	千葉県	11,650			
23	鹿島	茨城県	4,605	苫小牧	北海道	7,865	日立	茨城県	11,472			
24	堺	大阪府	4,398	仙台塩釜	宮城県	7,287	仙台塩釜	宮城県	9,519			
25	徳山下	山口県	4,194	新潟	新潟県	5,186	苫小牧	北海道	9,303			
26	福山	広島県	4,036	福山	広島県	4,613	鹿児島	鹿児島県	8,974			
27	戸畑	福岡県	3,666	福岡空	福岡県	4,533	苅田	福岡県	8,901			
28	東京国際空港	東京都	3,453	姫路	兵庫県	4,523	福山	広島県	8,649			
29	東播磨	兵庫県	3,353	広島	広島県	4,386	徳山下	山口県	8,237			
30	御前崎	静岡県	2,828	宇野	岡山県	4,299	三田尻中	山口県	7,255			
31	今治	愛媛県	2,689	今治	愛媛県	4,072	下関	山口県	7,058			
32	和歌山	和歌山県	2,688	徳山下	山口県	4,043	福岡空	福岡県	7,046			
33	福岡空	福岡県	2,513	日立	茨城県	3,980	今治	愛媛県	6,761			
34	木更津	千葉県	2,401	宇部	山口県	3,789	姫路	兵庫県	6,265			
35	新居浜	愛媛県	2,378	新居浜	愛媛県	3,529	新潟	新潟県	6,216			
36	仙台塩釜	宮城県	2,233	小名浜	福島県	3,433	戸畑	福岡県	6,179			
37	坂出	香川県	1,986	下津	和歌山県	2,737	新居浜	愛媛県	5,907			
38	呉	広島県	1,963	戸畑	福岡県	2,514	東播磨	兵庫県	5,689			
39	下津	和歌山県	1,824	東播磨	兵庫県	2,336	宇部	山口県	4,873			
40	岩国	山口県	1,765	下関	山口県	2,283	宇野	岡山県	4,766			
41	姫路	兵庫県	1,743	衣浦	愛知県	1,961	下津	和歌山県	4,560			
42	衣浦	愛知県	1,735	直江津	新潟県	1,936	小名浜	福岡県	4,278			
43	長崎三重式	長崎県	1,706	伏木	富山県	1,908	衣浦	愛知県	3,696			
44	尾道系	広島県	1,639	秋田船	秋田県	1,892	坂出	香川県	3,569			
45	松山	愛媛県	1,511	八戸	青森県	1,739	和歌山	和歌山県	3,221			
46	金沢	石川県	1,487	坂出	香川県	1,583	呉	広島県	3,216			
47	苫小牧	北海道	1,438	相馬	福島県	1,538	岩国	山口県	3,091			
48	佐世保	長崎県	1,429	三島川之江	愛媛県	1,404	御前崎	静岡県	3,076			
49	横須賀	神奈川県	1,325	志布志	鹿児島県	1,388	伏木	富山県	2,980			
50	宇都宮	栃木県	1,276	岩国	山口県	1,326	八戸	青森県	2,936			
51	八戸	青森県	1,197	石狩湾	北海道	1,285	佐世保	長崎県	2,680			
52	つくば	茨城県	1,161	呉	広島県	1,253	秋田船	秋田県	2,630			
53	京都	京都府	1,118	佐世保	長崎県	1,252	金沢	石川県	2,523			
54	宇都宮	栃木県	1,084	室蘭	北海道	1,133	直江津	新潟県	2,375			
55	伏木	富山県	1,072	徳島小松島	徳島県	1,102	長崎三重式	長崎県	2,196			
56	新潟	新潟県	1,030	金沢	石川県	1,035	相馬	福島県	2,132			
57	三池	福岡県	1,008	三田尻中	山口県	1,022	松山	愛媛県	2,093			
58	阪南	大阪府	863	酒田	山形県	994	尾道系	広島県	2,049			
59	小名浜	福島県	845	尼崎西宮芦屋	兵庫県	843	室蘭	北海道	1,764			
60	伊万里	長崎県	827	那覇	沖縄県	824	酒田	山形県	1,689			
61	境	鳥取県	767	釧路	北海道	815	三島川之江	愛媛県	1,687			
62	秋田船	秋田県	738	舞鶴	京都府	729	志布志	鹿児島県	1,673			
63	津	三重県	717	津	三重県	709	宇都宮	栃木県	1,654			
64	酒田	山形県	695	敦賀	福井県	673	横須賀	神奈川県	1,635			
65	細島	宮崎県	690	松山	愛媛県	583	尼崎西宮芦屋	兵庫県	1,515			
66	尼崎西宮芦屋	兵庫県	672	伊万里	長崎県	576	石狩湾	北海道	1,479			
67	室蘭	北海道	631	石巻	宮城県	572	津	三重県	1,426			
68	福井	福井県	607	高松	香川県	554	三池	福岡県	1,407			
69	相馬	福島県	593	金武中	沖縄県	549	伊万里	長崎県	1,403			
70	高松	香川県	541	和歌山	和歌山県	533	阪南	大阪府	1,310			
71	富山	富山県	517	八代	熊本県	502	京都	京都府	1,306			
72	小松空	石川県	482	長崎三重式	長崎県	491	つくば	茨城県	1,301			
73	宇野	岡山県	467	境	鳥取県	490	徳島小松島	徳島県	1,293			
74	直江津	新潟県	439	七尾	石川県	462	境	鳥取県	1,256			
75	舞鶴	京都府	429	阪南	大阪府	447	舞鶴	京都府	1,158			
76	新千歳空	北海道	380	細島	宮崎県	424	細島	宮崎県	1,115			
77	滋賀	滋賀県	374	青森	青森県	414	高松	香川県	1,095			
78	高知	高知県	320	尾道系	広島県	410	敦賀	福井県	959			
79	敦賀	福井県	286	三池	福岡県	399	福井	福井県	950			

単位:億円

順位	輸 出			輸 入			総 額		
	港 名	都 道 府 県 名	貿易額	港 名	都 道 府 県 名	貿易額	港 名	都 道 府 県 名	貿易額
80	志布志	鹿児島	284	浜田	島根	397	釧路	北海道	940
81	三島川之江	愛媛	282	宇都宮	栃木	378	那覇	沖縄	938
82	津久見	大分	279	新千歳	北海道	348	新千歳	北海道	728
83	土生	広島	270	福岡	福岡	342	小松	石川	712
84	鹿児島	鹿児島	246	苅田	福岡	318	金武	沖縄	703
85	佐伯	大分	242	横須賀	神奈川県	311	石巻	宮城	659
86	函館	北海道	234	函館	北海道	299	八代	熊本	646
87	石狩	北海道	195	三	熊	266	富山	富山	585
88	徳島小松島	徳島	191	小樽	北海道	265	函館	北海道	533
89	熊本	熊本	190	御前崎	静岡県	248	高知	高知	524
90	富山	富山	187	田子の浦	静岡県	247	青森	青森	470
91	金武	沖縄	154	熊	熊本	233	滋賀	滋賀	465
92	仙台	宮城	148	小松	石川	231	七尾	石川	463
93	八代	熊本	144	川内	鹿児島	214	土生	広島	438
94	釧路	北海道	125	高知	高知	205	浜田	島根	428
95	那覇	沖縄	114	京都	京都	189	熊本	熊本	423
96	田子の浦	静岡県	114	札幌	北海道	181	田子の浦	静岡県	361
97	大船	岩手	89	土生	広島	168	小樽	北海道	350
98	石巻	宮城	87	詫間	香川	161	津久見	大分	346
99	小樽	北海道	85	十勝	北海道	150	三	熊	306
100	川内	鹿児島	71	唐津	佐賀	144	佐伯	大分	296
101	須崎	高知	65	つくば	茨城	140	川内	鹿児島	285
102	釜石	岩手	64	油津	宮崎	137	札幌	北海道	210
103	宇和	愛媛	61	鹿児島	鹿児島	128	富山	富山	203
104	青森	青森	56	水俣	熊本	107	唐津	佐賀	189
105	広島	広島	49	那覇	沖縄	104	仙台	宮城	169
106	唐津	佐賀	45	滋賀	滋賀	91	詫間	香川	164
107	那覇	沖縄	42	須崎	高知	91	鹿児島	鹿児島	159
108	宮崎	宮崎	41	新宮	和歌山	82	須崎	高知	156
109	三	熊	40	釜石	岩手	68	油津	宮崎	153
110	浜田	島根	32	富山	富山	68	十勝	北海道	150
111	鹿児島	鹿児島	31	津久見	大分	67	那覇	沖縄	146
112	札幌	北海道	29	花咲	北海道	67	大船	岩手	138
113	宮古	岩手	22	留萌	北海道	63	釜石	岩手	132
114	萩	山口	18	枕崎	鹿児島	59	水俣	熊本	111
115	油津	宮崎	16	佐伯	大分	54	新宮	和歌山	82
116	平	山	16	大船	岩手	49	宇和	愛媛	80
117	岡山	岡山	7	紋別	北海道	44	広島	広島	78
118	枕崎	鹿児島	7	宮津	京都	29	花咲	北海道	68
119	水俣	熊本	4	静岡	静岡	29	枕崎	鹿児島	65
120	気仙沼	宮城	4	広島	広島	29	留萌	北海道	64
121	詫間	香川	2	仙台	宮城	21	紋別	北海道	45
122	新潟	新潟	2	岡山	岡山	19	宮崎	宮崎	41
123	紋別	北海道	2	宇和	愛媛	19	宮崎	岩手	38
124	七尾	石川	1	宮古	岩手	16	宮崎	京都	29
125	厳原	長崎	1	富山	富山	16	静岡	静岡	29
126	石垣	沖縄	1	稚内	北海道	13	岡山	岡山	26
127	花咲	北海道	1	気仙沼	宮城	9	平	山	24
128	柏崎	新潟	1	平	山	8	萩	山口	18
129	留萌	北海道	1	網走	北海道	7	稚内	北海道	13
130	長崎	長崎	1	平	長崎	7	気仙沼	宮城	13
131	稚内	北海道	1	長崎	長崎	6	長崎	長崎	7
132	平	長崎	0	高松	香川	6	平	長崎	7
133	静岡	静岡	0	新潟	新潟	3	網走	北海道	7
134	新宮	和歌山	0	柏崎	新潟	3	高松	香川	6
135	青森	青森	0	石垣	沖縄	3	新潟	新潟	6
136	宮	京都	0	厳原	長崎	3	柏崎	新潟	4
137	石垣	沖縄	0	宮崎	宮崎	0	厳原	長崎	4
138	福島	福島	-	青森	青森	0	石垣	沖縄	4
139	高松	香川	-	大分	大分	0	青森	青森	0
140	大分	大分	-	秋田	秋田	0	大分	大分	0
141	熊本	熊本	-	熊本	熊本	0	秋田	秋田	0
142	網走	北海道	-	福島	福島	-	熊本	熊本	0
143	十勝	北海道	-	萩	山口	-	石垣	沖縄	0
144	旭川	北海道	-	旭川	北海道	-	福島	福島	-
145	秋田	秋田	-	石垣	沖縄	-	旭川	北海道	-
	輸 出 合 計 (全 国)			輸 入 合 計 (全 国)			総 合 計 (全 国)		
			769,317			785,995			1,555,312

※1 当該貿易額表は、関税法施行令第1条別表第一及び第二に基づく開港又は税関空港を管轄する税関官署(蔵置税関官署)の貿易額を開港又は税関空港の貿易額として掲載。なお、「気仙沼」、「つくば」、「宇都宮」、「京都」、「滋賀」及び「札幌」は、税関官署(蔵置税関官署)の貿易額を掲載。
 ※2 「京浜港」は「東京」、「横浜」及び「川崎」、「伏木富山港」は「伏木」及び「富山」、「阪神港」は「神戸」、「大阪」、「尼崎西宮芦屋」及び「堺泉北」、「和歌山下津港」は「和歌山」及び「下津」、「関門港」は「門司」、「下関」及び「戸畑」として掲載。
 ※3 「成田国際空港」は、東京航空貨物出張所及び成田航空貨物出張所における貿易額の合計による。
 ※4 「函館」には「函館空港」、「秋田船川」には「能代港」、「大船渡」には「花巻空港」、「直江津」には「姫川港」、「日立」には「常陸那珂港」、「つくば」には「百里飛行場(茨城空港)」、「舞鶴」には「内浦港」、「姫路」には「相生港」、「尾道糸崎」には「竹原港」、「境」には「美保飛行場(米子空港)」、「坂出」には「丸亀港」及び「多度津港」、「徳島小松島」には「橋港」、「松山」には「松山空港」、「門司」には「北九州空港」、「大分」には「佐賀関港」及び「中津港」、「長崎三重式見」には「松島港」、「佐世保」には「松浦港」及び「伊万里港福島地区」、「三池」には「佐賀空港」、「鹿児島」には「喜入港」の貿易額をそれぞれ含む。
 ※5 貿易額欄の単位は「億円」、「0」は単位未満のもの、「-」は実績がなかったものを表す。

全国開港別外国貿易船入港隻数表

(令和元年確定値)

順位	税関名	開港名	隻数	順位	税関名	開港名	隻数	順位	税関名	開港名	隻数
1	横浜	横浜	8,083	46	函館	室蘭	424	90	横浜	横須賀	105
2	名古屋	名古屋	7,500	47	大阪	下津	423	92	沖縄	金武中城	102
3	神戸	神戸	6,512	48	門司	伊万里	418		函館	稚内	102
4	東京	東京	5,205	49	函館	釧路	412		門司	厳原	102
5	大阪	大阪	4,967	50	長崎	長崎三重式見	398	95	東京	姫川	100
6	横浜	千葉	3,851	51	長崎	鹿児島	387	96	名古屋	田子の浦	97
7	神戸	水島	3,198	52	大阪	舞鶴	374	97	神戸	相生	94
8	門司	博多	3,006	53	函館	花咲	368	98	沖縄	平良	89
9	横浜	川崎	2,811	54	長崎	八代	362	99	神戸	多度津	86
10	門司	下関	2,528	55	門司	細島	361		函館	十勝	86
11	門司	門司	2,465	56	大阪	敦賀	338		函館	能代	86
12	神戸	福山	1,982	57	函館	秋田	337	102	函館	釜石	79
13	門司	大分	1,913	58	神戸	高松	315	103	門司	佐伯	78
14	名古屋	清水	1,814	59	函館	小樽	301	104	門司	唐津	73
15	名古屋	四日市	1,812	60	函館	石狩湾	274	105	長崎	水俣	72
16	横浜	鹿島	1,801	61	東京	直江津	271	106	函館	青森	61
17	大阪	堺泉北	1,634	62	長崎	三池	268	107	長崎	佐世保	59
18	門司	徳山	1,628	63	横浜	石巻	258	108	神戸	尼崎西宮芦屋	58
19	門司	戸畑	1,605	64	神戸	須崎	257	109	門司	光	55
20	神戸	広島	1,509	65	名古屋	御前崎	237	110	大阪	内浦	53
21	名古屋	三河	1,169	66	大阪	富山	227		大阪	福井	53
22	横浜	木更津	1,043	67	東京	酒田	217	112	長崎	松島	50
23	函館	苫小牧	1,012	68	神戸	徳島小松島	214	113	函館	紋別	49
24	神戸	東播磨	988	69	神戸	今治	211	114	神戸	宇野	45
25	横浜	仙台塩釜	919	70	横浜	日立	201	115	函館	留萌	37
26	東京	新潟東	753	71	長崎	川内	194	116	神戸	丸亀	36
27	長崎	志布志	676	72	長崎	喜入	186	117	函館	大船渡	34
28	神戸	姫路	664	73	門司	佐賀関	182	118	門司	油津	33
29	横浜	常陸那珂	630	74	長崎	松浦	175	119	長崎	福島	30
30	門司	宇部	619	75	神戸	尾道糸崎	166	120	函館	宮古	29
31	大阪	伏木	604		神戸	坂出	166	121	門司	中津	26
32	門司	岩国	594	77	函館	函館	165	122	神戸	竹原	25
33	門司	苅田	575	78	神戸	詫間	161	123	長崎	枕崎	23
34	神戸	三島川之江	573	79	神戸	高知	153	124	長崎	三角	22
35	名古屋	衣浦	568	80	長崎	熊本	151		名古屋	津	22
36	門司	三田尻中関	515	81	大阪	七尾	148	126	大阪	新宮	18
37	大阪	金沢	511		横浜	相馬	148	127	大阪	宮津	17
38	沖縄	那覇	509	83	門司	津久見	145	128	函館	船川	14
	函館	八戸	509	84	大阪	阪南	142	129	門司	平生	11
40	神戸	呉	475	85	神戸	浜田	140	130	神戸	土生	9
41	神戸	新居浜	474	86	門司	下松	134		東京	柏崎	9
42	神戸	松山	469	87	神戸	橋	133	132	函館	網走	6
43	大阪	和歌山	468	88	沖縄	石垣	120	133	門司	萩	1
44	横浜	小名浜	467	89	東京	新潟	115				
45	神戸	境	446	90	神戸	宇和島	105				
										開港計	95,172

(5) 今後の物流施策の方向性

前大綱においては「強い物流」の構築を目標としてきたところであるが、労働力の不足、トラック積載効率の低迷等物流が抱える多くの課題は継続し、近年のEC市場の更なる成長や災害の激甚化・頻発化などによって、物流を取り巻く環境は厳しさを増している。その上で、今般の新型コロナウイルス感染症の流行により、ヒトに比べてモノの動きは相対的に活発化し、トラックドライバーをはじめとした労働力の不足に拍車がかかることで、物流を取り巻く厳しい状況は更に加速する可能性がある。加えて、新しい生活様式に対応した物流への変革も迫られるなど、我が国の物流は極めて大きな岐路に差し掛かっている。

しかし、一面では、こうした状況下においては、これまで進捗しなかった物流の構造改革や生産性向上に向けた取組を加速的に促進させる大きな好機となる可能性もある。

新しい生活様式への対応には、まず非接触・非対面型の物流への転換が喫緊に求められる。今なお物流の現場では、書面手続や対人・対面に拠るプロセスが多いが、デジタル化による作業プロセスの簡素化や汎用化は、非接触・非対面型物流の構築に必須の施策である。

ウィズコロナとなった現在の社会情勢においては、物流産業におけるDXを積極的に推進できる環境にある。例えば、これまで物流効率化や省人化等を目的に導入されてきた輸配送や庫内作業用のロボットは、非接触・非対面という観点から普及が促進される可能性がある。また、これまで個人の経験や既存の商慣習・様式に依存してきた物流業界において、デジタル技術を駆使して様々なデータを可視化し、関係主体が対人・対面によらずとも即時にそれを共有可能とすることは、作業プロセスの汎用化等を通じた多様な担い手の確保や、検品レスをはじめとしたプロセスの大幅な合理化を促すきっかけともなり得る。

こうしたDXの推進のためには、その前提として各種要素の標準化が必要である。これまでは様々な商慣習等のため、物流の標準化は進捗を得られない面もあったが、物流に対する関係者の危機感が増すにつれ、様々な業界で具体的な取組が進みつつあり、全体的な機運も高まっている。

デジタル技術の社会実装が急速に進みつつある中、我が国の物流のあらゆる局面において、時機を逸せず集中的に物流産業におけるDXと標準化が推進されるべき時期に来ているといえる。

また、2024年度からのトラックドライバーへの時間外労働の上限規制の適用を控えているほか、物流事業に従事する労働者の社会的価値が大きく見直されている現状においては、これまでなかなか進まなかった革新的な取組を実施できる好機である。リードタイムの見直し等による計画的でゆとりのある物流の実現をはじめ、今こそ重点的に構造改革を進めるべきである。

さらに、昨今の災害の激甚化・頻発化や新型コロナウイルス感染症の流行により、有事においても機能する物流ネットワークの構築が一層重視される状況となっているほか、グローバルサプライチェーンの脆弱性が顕在化し、その多元化等の必要性も高まっている。加えて、物流事業者の海外展開や農林水産物・食品の輸出等のほか、SDGsやグリーン社会の実現を目指した取組など、経済や地球環境の持続可能性を高めるための取組も積極的に推進すべき状況にある。

以上のとおり、現下の我が国の物流が直面する課題は、今般の新型コロナウイルス感染症の流行による社会の劇的な変化も相まって、より先鋭化・鮮明化しているといえる。本大綱の下では、

そうした課題に対応した施策に重点的に取り組むべく、今後の物流が目指すべき方向性を下記の①～③の3つの観点とし、関連する施策を強力に推進していく。

- ① 物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化（「簡素で滑らかな物流」の実現）
- ② 労働力不足対策と物流構造改革の推進（「担い手にやさしい物流」の実現）
- ③ 強靱で持続可能な物流ネットワークの構築（「強くてしなやかな物流」の実現）

前大綱においては「強い物流」の構築が大きな目標であったが、新型コロナウイルス感染症の影響による社会の劇的な変化により、既存の慣習や様式にとらわれずに施策を進める環境が醸成されつつあることから、「強い」という概念に限らない、「簡素で滑らかな物流」、「担い手にやさしい物流」、「強くてしなやかな物流」の実現に向けた施策を推進していく。

この認識は、直接物流に携わる事業者、労働者だけでなく、製造事業者、荷主、一般消費者など物流に関わる全ての関係者に共有されることが重要であり、上に掲げた今後の物流が目指す方向性の実現に向け、あらゆる関係者が一致協力して各種の取組を推進していく必要がある。

また、この目標の達成のためには、これまで「競争領域」とされる部分が多かった物流について、「協調領域」もあるという前提のもと、協調領域を積極的に拡大する方向で捉え直すことも重要である。

加えて、あらゆる施策を講じるにあたり、安全の確保が大前提となることは言うまでもない。

京急川崎駅西口地区のまちづくり協定

川崎市（以下「甲」という。）と学校法人深堀学園（以下「乙」という。）、京浜急行電鉄株式会社（以下「丙」という。）とは、甲の施策及び、平成27年3月に甲が策定した『京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針』、令和2年11月に甲が示した『「京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針」に基づく京急川崎駅西口地区の戦略的な整備誘導の考え方について』（以下「西口地区の考え方」という。）等によるまちづくりを実現するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、西口地区の考え方に示す、「整備誘導の概略図」に定める区域内において、甲、乙、丙が協力し、第2条の連携事項の取組を行うことで、地域課題等を解決するとともに、川崎の玄関口にふさわしい多様な賑わいや交流が生み出す魅力と活力にあふれた拠点形成を図るため、連携することを目的とする。

（連携事項）

第2条 前条に定める目的を達成するため、次の各号に連携に向けた検討事項を定める。

- （1） 民間再開発事業の推進・官民が連携して進める都市基盤の整備
 - ・グローバル企業の活動拠点の形成
 - ・アカデミックなダイバーシティ環境基盤の形成と人材育成のための教育施設等の充実
 - ・ゆとりと賑わいを生む滞留空間（広場空間）の確保
 - ・多摩川方面への地域軸となる地区内道路の整備
 - ・駅周辺の防災機能の強化に向けた災害に強い施設整備
 - ・脱炭素社会を目指し環境に配慮したまちづくりの推進
 - ・京急川崎駅前歩行者空間の充実
- （2） 地域資源や所有地等の活用・賑わい創出等
 - ・丙の所有地の有効活用等
 - ・駅周辺における文化資源や図書資源等を活用した活動の推進
 - ・甲乙の体育館、運動場の活用等
- （3） 駅前にふさわしい景観の形成
 - ・まちの顔となる都市空間の形成
- （4） SDGs達成に寄与する取組など

（協定の効力）

第3条 この協定の有効期間は、協定が締結された日から、甲、乙、丙協議により、協定廃止の合意がなされる日まで、もしくは、甲、乙、丙のいずれかより協定廃止の申し出があるまでとする。

(本協定への新規加入)

第4条 本協定第1条の目的に賛同し、新規加入の申し出があった場合、甲乙丙に対し新規加入届(任意書式)を提出するものとする。なお、甲乙丙の合意の意思確認をもって、協定に参加したものとみなす。

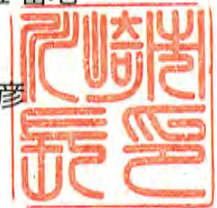
(その他)

第5条 この協定に定めのない事項、その他この協定の各条項について生じた疑義については、甲、乙、丙の協議により書面をもって決定するものとする。

以上、この協定の成立を証するため、本書を3通作成し、甲、乙、丙記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

令和3年 9月 14日

甲 川崎市川崎区宮本町1番地
川崎市
川崎市長 福田 紀彦

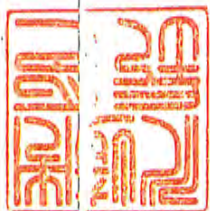


乙 川崎市川崎区駅前本町22番1
学校法人深堀学園
理事長 深堀 和子



丙 横浜市西区高島1丁目2番8号
京浜急行電鉄株式会社
取締役社長 原田 一之





3川ま抛第90号
令和3年9月14日

文部科学大臣
萩生田 光一 様

川崎市まちづくり局
まちづくり局長 奥澤 豊



副申書

本市では、川崎駅周辺地区について、本市の玄関口にふさわしい多様な賑わいや交流が生み出す魅力と活力にあふれた拠点形成の展開を施策の中で位置づけております。

当該地区において、今回新たに多様な学生が集うこととなる、学校法人深堀学園グローバル Biz 専門職大学（設置構想中）の設置は、本市の施策推進に向けた大変有効な取組であると考えております。

上記を踏まえ、本市に設置予定の、学校法人深堀学園グローバル Biz 専門職大学による、川崎図書館、カルッツかわさきに係る下記使用計画に対し、本市として、学校法人深堀学園グローバル Biz 専門職大学による施設の利用を最大限支援してまいります。

図書館や体育館の利用等を通じ、学生の皆様に心身の充実図って頂きたいと存じます。つきましては、ご配慮をよろしくお願いいたします。

記

- 1 施設名・所在地
 - ・川崎図書館（川崎区駅前本町12-1）
 - ・カルッツかわさき（川崎区富士見1-1-4）
- 2 施設
 - ・図書館（川崎図書館）
 - ・体育室、武道室、ホール、会議室等（カルッツかわさき）
- 3 使用計画
 - ・グローバル Biz 専門職大学学生の図書館端末の利用（川崎図書館）
 - ・グローバル Biz 専門職大学学生のサークル活動、部活動等の利用（カルッツかわさき）
 - ・グローバル Biz 専門職大学の体育祭等のイベント利用（カルッツかわさき）

令和3年9月30日

文部科学大臣 萩生田 光一 様

川崎商工会議所 会頭 草壁 悟朗



グローバル Biz 専門職大学（仮称）の設立賛同書

この度深堀学園が設立計画をしている、グローバル Biz 専門職大学（仮称）の設立を強く要望いたします。

川崎市の要所である川崎区は、これまで先進的な高等教育機関の誘致が長年求められてきました。

特に専門職大学が設立されることにより、より高度な実践力を有する学生が当市の経済・産業を支えていくことに期待しております。

事実、東京国際空港に隣接する川崎区は、物流人材の確保は肝要となっております。グローバル Biz 専門職大学（仮称）においては、貿易物流・ICT・国際経営を中心にイノベーションを推進する実践教育を進めると聞いております。

新設される専門職大学卒業生が川崎市の経済・産業を支え、将来的には神奈川県、ひいては国の発展に寄与していくと考えております。

国におかれましては、このような背景をご理解いただき、グローバル Biz 専門職大学（仮称）の設置認可につきまして、格別のご高配を賜りますよう強く要望いたします。宜しくお願い申し上げます。

令和3年9月27日

文部科学大臣
荻生田 光一 様

公益財団法人川崎市産業振興財団
理事長 三 浦 淳



要 望 書

川崎市は、人口154万人、政令指定都市中第6位の元気な都市であり、多様な産業からなる大企業、中堅・中小企業、ベンチャーが多数集積する日本有数の産業都市です。

当財団は、川崎市内の中小企業・ベンチャーを対象として、総合的な経営支援サービスの提供や科学技術振興を通じて地域経済の活性化に寄与することを目指す公益財団法人です。

このたび、73年にわたり多くの学生を川崎市の産業界に輩出してきた学校法人深堀学園が、ウェブや物流における実務のエキスパートや企業内起業家を育成するプログラムを構築する『グローバル Biz 専門職大学（仮称）』の設立を進めています。

川崎市は、産業振興プランの理念として「多様な人材と産業が創り出す、活力と魅力にあふれるオープンイノベーション都市かわさき」を掲げております。

当財団も産業を振興する財団として、学校法人深堀学園と協力し、グローバル Biz 専門職大学（仮称）から輩出される多様な人材が地域で活躍することを期待するとともに、地域経済の発展に一層取り組んでまいりたいと存じます。

つきましては、学校法人深堀学園のグローバル Biz 専門職大学（仮称）の設置認可にあたっては、特別のご配慮を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1. Our strongest recommendation

Globiz Professional University (GPU)

This name best represents the Japanese (Global Biz) name without becoming a generic descriptive name. In the case of a generic descriptive name using the word “business” it actually deviates from the youthful future centric use of the word “biz” in the Japanese name. Meanwhile if the name is “Global Biz” it still sounds like a shortened nickname of sorts. Thus creating an original brand with the implication of Global Biz is “Globiz”.

Additionally there are plenty of names including phrases such as “Global Business, Global Biz” etc that in essence there will be some sort of overlap when it comes to using the words “global” and “business or biz”.

In which case a simpler name that mirrors the Japanese name while representing our school theme is desirable.

Thus Globiz Professional University is the best choice.

2. About department and course name

Department names should be generic and descriptive in order to convey what it is clearly. Therefore in theory they should both be (according to the Japanese name)

Global Business Department

Global Business Course

But if the repeat of “Global Business” is not desirable the course name could be adjusted to

International Business Course

In this case the merit is that it avoids confusion between the dept. and course while conveying similar meaning. The demerit is that it slightly deviates from the Japanese name in sound, but the meaning is intact.

** It is best not to change the dept name but the course name. Courses are more easily adjustable to suit future needs while departments usually become tradition. In other words, department names should try to be as timeless as possible while courses do not follow as strongly of a culture.*

Examples of generic descriptive school names

PUIC - Professional University of International Commerce

PUGC - Professional University of Global Commerce

catchy acronym

IPUB - International Professional University of Business

non acronym sounds best but acronym is bad

IPUC - International Professional University of Commerce

Sounds a bit generic

PUIB - Professional University of International Business

Sounds like the world leading game PUBG

PUGB - Professional University of Global Business

Sounds a bit awkward (Very ESL like)

ICPU - International Commerce Professional University

GCPU - Global Commerce Professional University

Doesn't sound smooth

GBPU - Global Business Professional University

Substitute "University" with "Institute" or "College"?

College would collide with CBC so no.

Professional Institute of Global Business

The acronym includes "pig"

PIIC - Professional Institute of International Commerce

Sounds catchy

PIIB - Professional Institute of International Business

Sounds catchy too

• "International Commerce" makes it sound like "Marketing and Trade" and is a big part of the curriculum and identity. But the pamphlet makes it look like there is a huge chunk of "Online" and "Internet" related curricula and identity.

グローバルBiz専門職大学 グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科 カリキュラムマップ

● 必修科目 黄色は共通 緑色は演習

CP1(全体)
流通・物流・貿易分野でビジネスを行うための基礎となる実務能力を修得するために必要な基礎となる専門知識、応用力を身に付けるカリキュラムとする。

・学習上の到達点として理論の理解を深める。
・実習・実習で学習した知識、経験をもち、企業現場で実践実習することにより、学習内容の理解を深める。
・専門人材としてグローバルビジネスを行う気力と起業家マインドを醸成し、時代環境の変化に即応したビジネスを遂行するために必要な基礎となる能力を身に付けること。
・実習科目を中心として志向・態度を学び、発想力、創造力、イノベーション力を涵養する科目を配する。

CP1(基礎科目)
社会人、職業人として自ら考え行動する能力を身に付ける。専門分野のみならず幅広い幅広い知識を学び、基礎的な知識や真文化を理解する態度を身に付ける。

CP2-(国際コミュニケーション科目群)
英語を総合的に学習し、グローバルな考え方や交渉力を習得することにより、グローバルビジネスの現場で求められる基礎運用能力を修得する。

CP2-2(専門基礎科目群)
経営、経済、法律、マーケティング、プロジェクト管理などを学び、経営に貢献するための基礎知識を習得する。
企業の経営課題を分析し、経営提案をできるよに習得する。また、事業創出計画を学び、事業化提案ができるようにすることを目標とする。

CP2-3(専門基礎科目群)
流通・物流・貿易分野に関する仕組や業務知識を身に付け、専門知識を習得し、グローバルな視点から「流通・物流」の現場を回るために必要な専門知識を習得する。
また、流通・物流の現場を回り、流通・物流の現場を回り、グローバルな視点から「流通・物流」の現場を回るために必要な専門知識を習得する。

CP3(基礎科目群)
流通・物流・貿易分野に関連する他分野での創造的な発想を培うものとして、ビジネス情報の活用による新発想・改善・改善に繋がるための基礎となる能力を身に付ける。
ビジネス情報の活用に関するメディア・デジタルを学び、多岐にわたるビジネス情報を扱うメディア・デジタルの企画、制作を行えるようにする。

CP4(総合科目)
理論・実習で学習した知識、経験をもち、総論として事業創出を支援し、主体的に問題解決する能力を身に付ける。また、基礎となる幅広い知識を身に付けることにより、専門知識を応用し、実践する能力を身に付ける。

CP1(全体)

流通・物流・貿易分野でビジネスを行うための基礎となる実務能力を修得するために必要な基礎となる専門知識、応用力を身に付けるカリキュラムとする。

・学習上の到達点として理論の理解を深める。
・実習・実習で学習した知識、経験をもち、企業現場で実践実習することにより、学習内容の理解を深める。
・専門人材としてグローバルビジネスを行う気力と起業家マインドを醸成し、時代環境の変化に即応したビジネスを遂行するために必要な基礎となる能力を身に付けること。
・実習科目を中心として志向・態度を学び、発想力、創造力、イノベーション力を涵養する科目を配する。

CP1(基礎科目)
社会人、職業人として自ら考え行動する能力を身に付ける。専門分野のみならず幅広い幅広い知識を学び、基礎的な知識や真文化を理解する態度を身に付ける。

CP2-(国際コミュニケーション科目群)
英語を総合的に学習し、グローバルな考え方や交渉力を習得することにより、グローバルビジネスの現場で求められる基礎運用能力を修得する。

CP2-2(専門基礎科目群)
経営、経済、法律、マーケティング、プロジェクト管理などを学び、経営に貢献するための基礎知識を習得する。
企業の経営課題を分析し、経営提案をできるよに習得する。また、事業創出計画を学び、事業化提案ができるようにすることを目標とする。

CP2-3(専門基礎科目群)
流通・物流・貿易分野に関する仕組や業務知識を身に付け、専門知識を習得し、グローバルな視点から「流通・物流」の現場を回るために必要な専門知識を習得する。
また、流通・物流の現場を回り、流通・物流の現場を回り、グローバルな視点から「流通・物流」の現場を回るために必要な専門知識を習得する。

CP3(基礎科目群)
流通・物流・貿易分野に関連する他分野での創造的な発想を培うものとして、ビジネス情報の活用による新発想・改善・改善に繋がるための基礎となる能力を身に付ける。
ビジネス情報の活用に関するメディア・デジタルを学び、多岐にわたるビジネス情報を扱うメディア・デジタルの企画、制作を行えるようにする。

CP4(総合科目)
理論・実習で学習した知識、経験をもち、総論として事業創出を支援し、主体的に問題解決する能力を身に付ける。また、基礎となる幅広い知識を身に付けることにより、専門知識を応用し、実践する能力を身に付ける。

CP1(基礎科目)

社会人、職業人として自ら考え行動する能力を身に付ける。専門分野のみならず幅広い幅広い知識を学び、基礎的な知識や真文化を理解する態度を身に付ける。

CP2-(国際コミュニケーション科目群)
英語を総合的に学習し、グローバルな考え方や交渉力を習得することにより、グローバルビジネスの現場で求められる基礎運用能力を修得する。

CP2-2(専門基礎科目群)
経営、経済、法律、マーケティング、プロジェクト管理などを学び、経営に貢献するための基礎知識を習得する。
企業の経営課題を分析し、経営提案をできるよに習得する。また、事業創出計画を学び、事業化提案ができるようにすることを目標とする。

CP2-3(専門基礎科目群)
流通・物流・貿易分野に関する仕組や業務知識を身に付け、専門知識を習得し、グローバルな視点から「流通・物流」の現場を回るために必要な専門知識を習得する。
また、流通・物流の現場を回り、流通・物流の現場を回り、グローバルな視点から「流通・物流」の現場を回るために必要な専門知識を習得する。

CP3(基礎科目群)
流通・物流・貿易分野に関連する他分野での創造的な発想を培うものとして、ビジネス情報の活用による新発想・改善・改善に繋がるための基礎となる能力を身に付ける。
ビジネス情報の活用に関するメディア・デジタルを学び、多岐にわたるビジネス情報を扱うメディア・デジタルの企画、制作を行えるようにする。

CP4(総合科目)
理論・実習で学習した知識、経験をもち、総論として事業創出を支援し、主体的に問題解決する能力を身に付ける。また、基礎となる幅広い知識を身に付けることにより、専門知識を応用し、実践する能力を身に付ける。

CP4(総合科目)
理論・実習で学習した知識、経験をもち、総論として事業創出を支援し、主体的に問題解決する能力を身に付ける。また、基礎となる幅広い知識を身に付けることにより、専門知識を応用し、実践する能力を身に付ける。

CP4(総合科目)
理論・実習で学習した知識、経験をもち、総論として事業創出を支援し、主体的に問題解決する能力を身に付ける。また、基礎となる幅広い知識を身に付けることにより、専門知識を応用し、実践する能力を身に付ける。

CP4(総合科目)
理論・実習で学習した知識、経験をもち、総論として事業創出を支援し、主体的に問題解決する能力を身に付ける。また、基礎となる幅広い知識を身に付けることにより、専門知識を応用し、実践する能力を身に付ける。

必修科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	●スタディスキルズ 1	●キャリア・デビュープログラム 1	●法学 I 2	●キャリア・デビュープログラム II 2	●キャリア・デビュープログラム III 1	国際メディア 2	グローバルキャリア・デビュープログラム 1	国際基礎論 2
	ICT演習 2	English and Current Issues 2	●次世代 SDGs I 2	English and Popular Culture 2	中国語・中国事情 I 1	法学 II 2	中国語・中国事情 II 1	次世代 SDGs II 2
専門基礎科目	●国際実務実習 I 5	●国際実務実習 II 5	●国際実務実習 III 5	●国際実務実習 IV 5	●国際実務実習 V 5	●国際実務実習 VI 5	●国際実務実習 VII 5	●国際実務実習 VIII 5
	●English Fundamentals I 1	●応用英語 コミュニケーション I 2	●英語学 2	●英語学 II 2	●グローバルマーケティング実習 2	●Discussion for Global Business 1	Presentation for Global Business 1	●グローバルビジネスの現場で、自らの意思や議論を交わすことができる基礎運用能力の養成を身に付けている。
専門科目	●IT概論 2	●DX概論 I 2	●DX概論 II 2	●DX概論 III 2	●プロジェクトリーダー養成実習 2	経営概論 2	●グローバルマーケティング実習 2	●国際金融論 2
	●グローバルサプライチェーンマネジメント概論 2	●グローバルマーケティング実習 2	●グローバルマーケティング実習 2	●グローバルマーケティング実習 2	●グローバルマーケティング実習 2	●グローバルマーケティング実習 2	●グローバルマーケティング実習 2	●グローバルマーケティング実習 2
履修科目	●デザイン設計 2	メディア戦略 2	メディア戦略 2	メディア戦略 2	メディア戦略 2	メディア戦略 2	メディア戦略 2	メディア戦略 2
	●国際実務実習 I 5	●国際実務実習 II 5	●国際実務実習 III 5	●国際実務実習 IV 5	●国際実務実習 V 5	●国際実務実習 VI 5	●国際実務実習 VII 5	●国際実務実習 VIII 5
総合科目	●国際実務実習 I 5	●国際実務実習 II 5	●国際実務実習 III 5	●国際実務実習 IV 5	●国際実務実習 V 5	●国際実務実習 VI 5	●国際実務実習 VII 5	●国際実務実習 VIII 5
	●国際実務実習 I 5	●国際実務実習 II 5	●国際実務実習 III 5	●国際実務実習 IV 5	●国際実務実習 V 5	●国際実務実習 VI 5	●国際実務実習 VII 5	●国際実務実習 VIII 5

学年学期別科目・担当教員一覧

新

●は必修科目

黄色は実習

緑色は演習

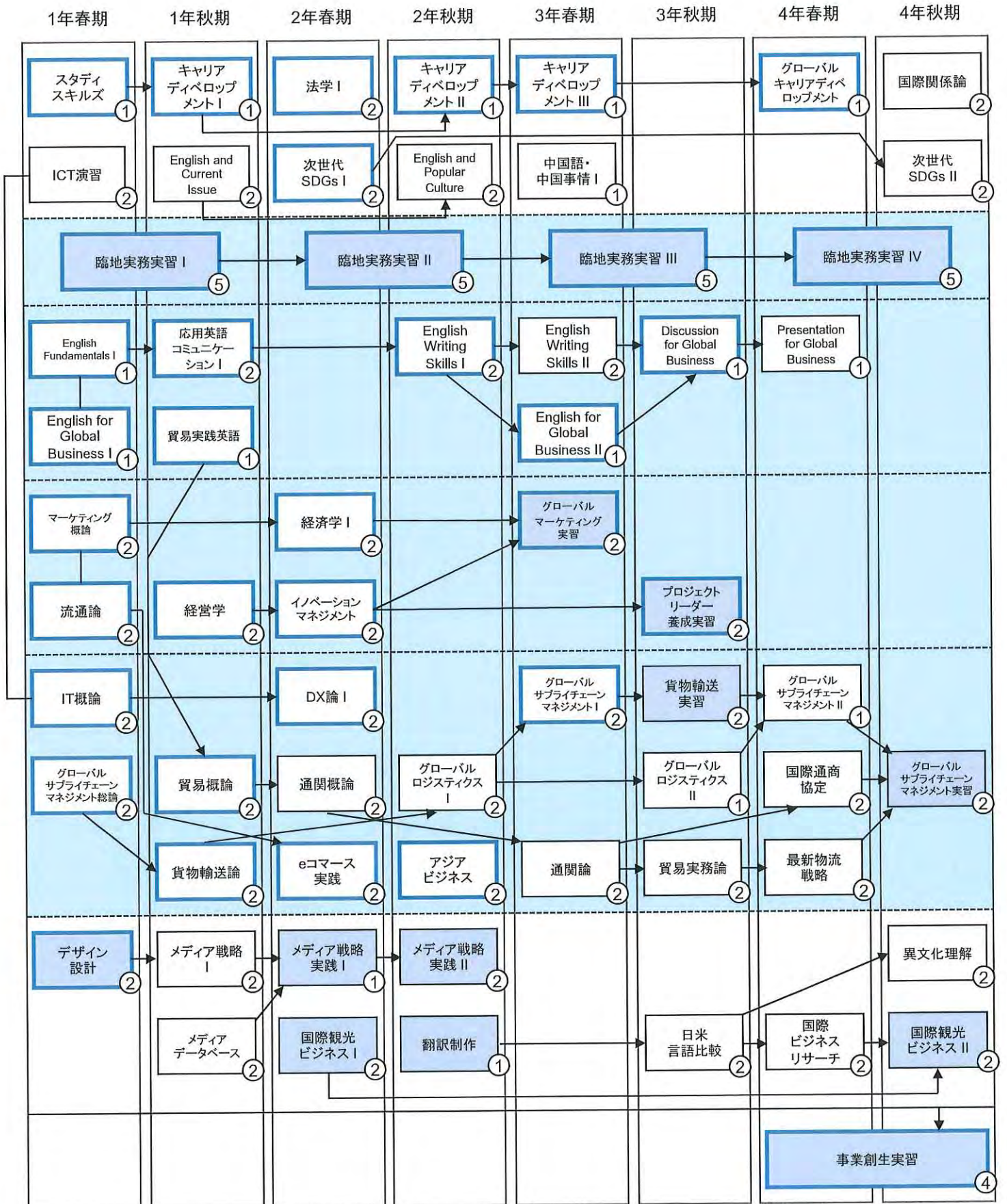
基礎科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	●スタディスキルズ 津村 利昭	●キャリア ディベロップメント I 津村 利昭	●法学 I 横溝 久美	●キャリア ディベロップ メント II 笠井 直子	●キャリア ディベロップ メント III 笠井 直子	国際メディア 渋谷 和彦	グローバル キャリア ディベロップメント 笠井 直子	国際関係論 武末 朝生
ICT演習 渋谷 和彦	English and Current Issues Sean	●次世代 SDGs I 笠井 直子	English and Popular Culture Brittany	中国語・中国事情 I 林 怡州	法学 II 横溝 久美	中国語・中国事情 II 林 怡州	次世代SDGs II 笠井 直子	
●臨地実務実習 I 平岩 賢志、内田 成		●臨地実務実習 II 渋谷 和彦、石川 雅啓		●臨地実務実習 III 武藤 彰英、松本 昭夫		●臨地実務実習 IV 武藤 彰英、石川 雅啓		
国際 コミュニケーション 科目群	●English Fundamentals I Brett / Sean	●応用英語 コミュニケーション I Ikhlas	応用英語 コミュニケーション II Sean	米英 ビジネス ジャーナル読 解 小張 敬之	English Writing Skills II Ikhlas / Sean	●Discussion for Global Business Brittany	Presentation for Global Business 桜井 / Ikhlas	
	●English for Global Business I Brett	●貿易実践 英語 齋藤 宏	English Fundamentals II Ikhlas	●English Writing Skills I 小張 / Brett	●English for Global Business II Ikhlas	English for Global Business III Brittany	English for Global Business IV Brittany	
	●マーケティング 概論 平岩 賢志	経営とDX 武藤 彰英	●経済学 I 松本 昭夫	経済学 II 松本 昭夫	ビジネス ファイナンス 小林 健教	●プロジェクト リーダー 養成実習 武藤 彰英	経営組織論 今岡 善次郎	国際金融論 三野 薫
	●流通論 内田 成	●経営学 今岡 善次郎	●イノベーション マネジメント 今岡 善次郎	国際 経済学総論 松本 昭夫	●グローバル マーケティング実習 内田 成			
専門 基礎 科目群	●IT概論 津村 利昭		●DX論 I 武藤 彰英	DX論 II 平岩 賢志	データ解析 武藤 彰英	貨物 輸送実習 味岡 裕之	グローバル サプライチェーン マネジメント II 今岡 善次郎	DX論 III 佐藤 悦典
	グローバルサブ ライチェーンマネジ メント総論 今岡 善次郎	●貨物 輸送論 味岡 裕之	●eコマース実践 本田 進太郎	グローバル ロジスティクス I 齋藤 宏	●グローバル サプライチェーン マネジメント I 今岡 善次郎	グローバル ロジスティクス II 齋藤 宏	最新物流戦略 角井 亮一	グローバル サプライチェーン マネジメント実習 齋藤 宏
		●貿易概論 石川 雅啓	通関概論 石川 雅啓	●アジアビジネス 小林 健教	通関論 石川 雅啓	貿易実務論 石川 雅啓	国際通商協定 石川 雅啓	
展開 科目	●デザイン設計 本田・野口	メディア戦略 I 野口・津村		メディア戦略 II 本田・野口	メディア戦略 III 本田・野口			
		メディア データベース 渋谷 和彦	メディア戦略実践 I 藤村 純	メディア戦略実践 II 藤村 純	メディア プログラム I 渋谷・風間	メディア プログラム II 渋谷・風間	メディア戦略実践 III 藤村 純	異文化理解 小張 敬之
			国際観光 ビジネス I 長屋 明子	翻訳制作 桜井 淳		日米言語比較 小張 敬之	国際ビジネス リサーチ 大沼 正樹	国際観光 ビジネス II 長屋 明子
総合科目							●事業創生実習 平岩、内田、松本、今岡、武藤、角井、石川、渋谷、津村、本田	

履修モデル 1 カリキュラムツリー

流通、物流、貿易分野の企業で
経営・ビジネスで実務を牽引する人材を育成

実習科目	必修科目	職業専門 科目	新
------	------	------------	---

② 2単位 ① 1単位



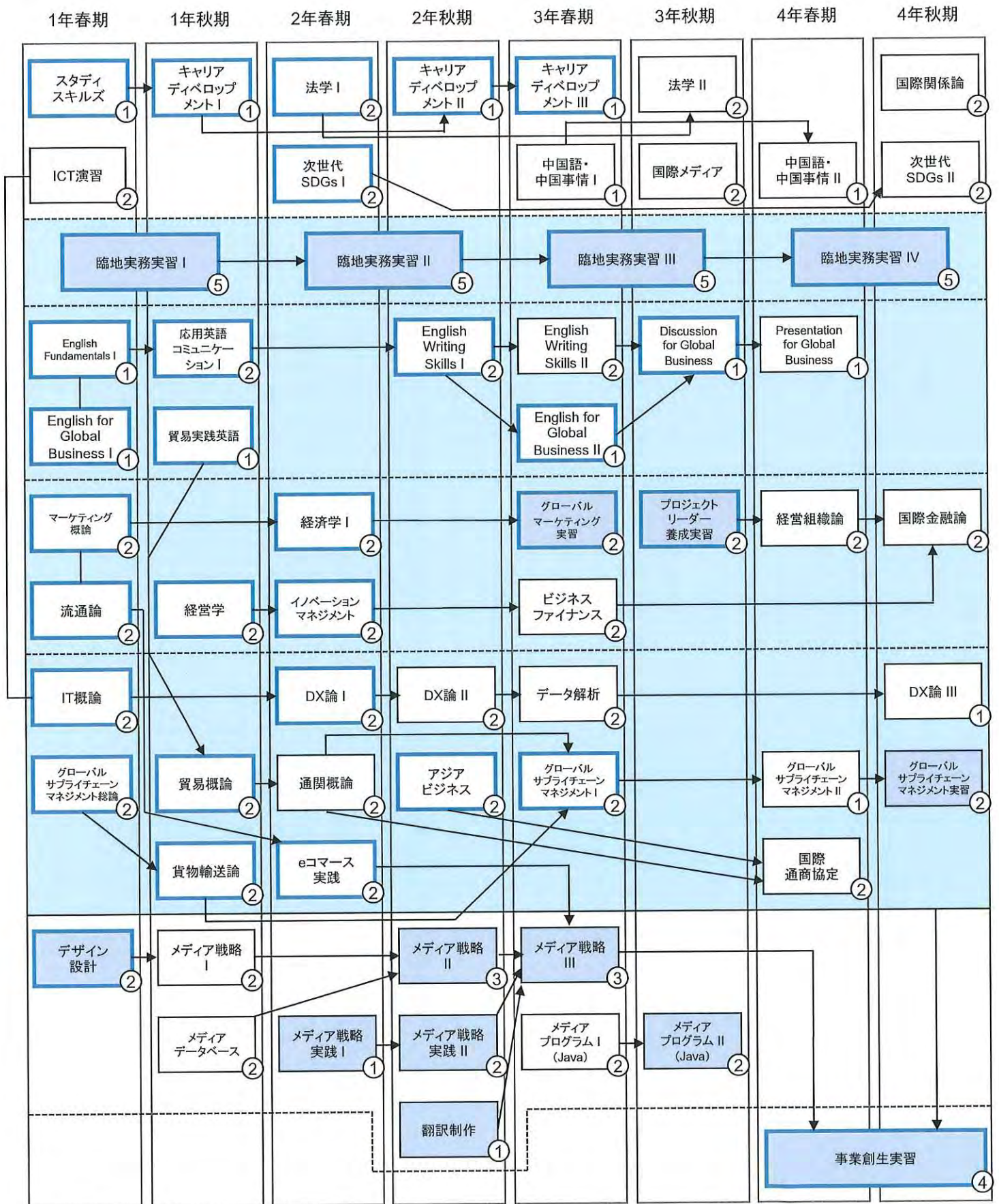
履修モデル 2 カリキュラムツリー

流通、物流、貿易分野で

DX・メディアビジネスを牽引する人材を育成

実習科目	必修科目	職業専門科目	新
------	------	--------	---

② 2単位 ① 1単位



教育課程に対する教員組織構成

教育課程		教員組織構成				
授業科目	授業科目狙い	担当教員名	職位	区分	教員配置の考え方	備考
マーケティング概論	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創生実習）で共通したテーマであるマーケティング・事業戦略立案に関わる基礎知識を修得。	平岩賢志	教授	実(研)	マーケティング、新事業開発・展開の実務実績、研究実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。理論・実務両面からのマーケティング教育を目指す。	
	経済学Ⅰ	松本昭夫	教授	専	経済学分野の教授経歴、実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
経済学Ⅱ	専門基幹科目群各専門科目、各論で共通して必要になる経済学に関わる基礎知識を修得。					
経営学	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創生実習）で共通して必要になる経営学に関わる基礎知識を修得。	今岡善次郎	教授	実(研)	経営学・サブプライチエーマネジメント分野の教授経歴、及び本分野での実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。理論・実務両面からのマーケティング教育を目指す。	
ビジネスファイナンス	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創生実習）で共通して必要になる実務観点での会計とファイナンスに関わる基礎知識を修得。	小林健教	講師	兼任	企業での事業推進部長、CEO実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。実務的な会計、ファイナンス基礎知識の習得を目指す。	
イノベーション マネージメント	専門基幹科目群各専門科目、各論で共通して必要になる経営学に関わる基礎知識を修得。経営学の一環として、実例を学ぶ。	今岡善次郎	教授	実(研)	経営学・サブプライチエーマネジメント分野の教授経歴、及び本分野での実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
プロジェクトリーダー 養成実習	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創生実習）で共通して必要になる実務観点でのプロジェクト管理に関わる基礎知識及びスキルを実習にて修得。	武藤彰英	教授	実(研)	システム工学分野での研究実績、及びシステム開発、プロジェクト管理での実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
経営組織論	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創生実習）で共通して必要になる経営学に関わる基礎知識、特に「事業創出」に関わる基礎知識、技術を修得。	今岡善次郎	教授	実(研)	経営学・サブプライチエーマネジメント分野の教授経歴、及び本分野での実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。実務的な経営組織論に経営学の理論的な背景を加味した実践的な教育を目指す。	
流通論	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創生実習）で共通して必要になる流通関わる基礎知識を修得。特に、流通は、商流、物的流通、情報流通の3つを基本とするものであり、この流通論で物流および物流とロジスティクスについての基礎的な知識を身に付ける。それをもとに2年次以降グローバルロジスティクス、その他の科目で物流を体系的に学ぶ。	内田成	教授	専	流通経済分野の教員経歴、実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。流通の仕組み（製造、調達、物流、販売を含む）の理解をさせるとともに、物流、ロジスティクスについての基礎的な知識を身に付け、専門基幹科目群での物流各科目の導入の位置づけとなる教育を目指す。	

専門基礎科目群

職業専門科目

国際経済学総論	専門基幹科目群各専門科目、各論で共通して必要になる経済学に関わる基礎知識を修得。経済学教育一環として、特に、国際的な経済交易観点で、ミクロ経済、マクロ経済を学ぶ。	松本昭夫	教授	専	経済学分野の教授経歴、実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
グローバルマーケティング実習	専門基幹科目群各専門科目、各論で共通して必要になるマーケティングに関わる基礎知識を修得。特に、グローバル市場での事例から実践的な知識を習得。	内田成	教授	専	流通経済分野の教員経歴、実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
国際金融論	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創実習）での共通したテーマとなる「事業創出」に関わる基礎知識、技術を修得の一環として、国際金融に関わる基礎知識を理論、政策面を含む実務観点で学ぶ。	三野薫	講師	兼任	銀行における金融証券管理業務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
経営とDX	専門基幹科目群各専門科目、各論、及び総合科目（事業創実習）での共通したテーマとなる「流通・物流・貿易」分野でのIT化の方向性の一環として、DXについて、特に企業戦略視点での理解を深める。	武藤彩英	教授	実(研)	システム工学分野での研究実績、及びシステム開発、プロジェクト管理での実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
グローバルサプライチェーンマネジメント総論	物流分野の理論を学ぶための科目として、「グローバルSCM総論」「グローバルSCMⅠ」「グローバルSCMⅡ」を必修科目として、また「グローバルSCMⅡ」を選択科目として設置。「グローバルSCM総論」では、物流の基礎となるSCMについて、原材料の調達から製造、販売に至るサプライチェーン全プロセスの仕組みを中心に全体像を習得することを狙う。そして、「グローバルSCMⅠ」「グローバルSCMⅡ」では、調達、製造、販売の各部位の仕組みを個別に詳細を学ぶ。	今岡善次郎	教授	実(研)	経営学・サプライチェーンマネジメント分野の教授経歴、及び実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。物流分野の理論的なアプローチを概論、各論にわたり分掌。	審査意見に対応して教員変更
グローバルサプライチェーンマネジメントⅠ						
グローバルサプライチェーンマネジメントⅡ						
グローバルロジスティクスⅠ	物流分野の実務知識を学ぶための科目として、「グローバルロジスティクスⅠ」「グローバルロジスティクスⅡ」を設置。「グローバルロジスティクスⅠ」では、物流の基礎となるSCMについて、原材料の調達から製造、販売に至るサプライチェーンを主として実例を通して習得することを狙う。「グローバルロジスティクスⅡ」では、さらに、具体事例を掘り下げ、サプライチェーンマネジメントにおける課題、取り組みを理解する。	斎藤宏	講師	兼任	企業の物流部門のマネージャ実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。物流分野の実務的なアプローチを分掌。	
グローバルロジスティクスⅡ						

専門基礎科目群

専門基幹科目群

アジアビジネス	物流分野の実務知識を学ぶ一環として、経済成長の著しい中国を中心とするアジア企業のビジネスモデルを事例として学び、物流実務知識の理解を深める。	小林健教	講師	兼任	企業での事業推進部長、CEO実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。物流分野の実務的なアプローチを分掌。	
最新物流戦略	物流分野の実務知識を学ぶ一環として、企業における物流戦略を事例として学び、物流実務知識の理解を深める。	角井亮一	教授	実み	物流会社CEOとしての実績、大学教員実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。物流分野の実務的なアプローチを分掌。	
貨物輸送論	物流分野で、①(理論)、②(実務能力)両面から修得を深めるために、「貨物輸送論」を設置。さらには、理論、実務能力の定着を図ることを狙いとした実習科目として、「グローバルSCM実習」「貨物輸送実習」を配置。	味岡裕之	講師	兼任	企業物流部門マネージャ実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。物流分野での理論的アプローチ及び実習を含め実務的なアプローチを分掌。	
グローバルサプライチェーンマネジメント実習		斎藤宏	講師	兼任	企業の物流部門のマネージャ実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
貿易概論						
貿易実務論	貿易実務知識を習得し実務能力を育成するための科目として、「貿易実務概論」を導入として学び、「貿易実務論」「通関論」、「国際通商協定」などの実務各論を体系的に修得。	石川雅啓	教授	実専	貿易分野での公的機関実務実績、及び本分野での大学教員実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。貿易分野での実務的なアプローチを分掌。	
通関論						
国際通商協定						
IT概論	グローバルSCMのシステム化技術の導入概論。IT、情報システムを構成するコンピュータのアーキテクチャ等の基本的な知識を修得。	津村利昭	講師	実専	IT分野教員実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
DX論Ⅰ	DXを担う人材を育成するために、本学DX定義の主旨に沿い、関連する専門知識を習得することを旨とする。 (1)置かれている環境とDXへの要件の理解 (2)DXへの要件を満たすための仕組みの理解 (3)仕組みを実現するための具体手法の理解、専門知識の修得。 (3)は、システム開発面(DX要件)のシステム化技法、ソフトウェア開発技法(DXⅠ)、システム運用面(性能評価や安全性確保など)システム運用技法(DXⅢ)、ビジネス開発面(新たな仕組みを使ったビジネスモデル化技法(DXⅡ))について、具体手法を理解し専門知識を習得。また「データ解析」では、DXの戦略策定、実装において重要な役割を果たすビッグデータの分析手法、市場データ、経営データの分析手法を学ぶ。	武藤彰英	教授	実(研)	システム工学分野での研究実績、及びシステム開発、プロジェクト管理での実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
DX論Ⅱ		平岩賢志	教授	実(研)	マーケティング、新事業開発・展開の実務実績、研究実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
DX論Ⅲ		佐藤悦美	講師	兼任	企業でのIT分野での開発、システム運用実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
データ解析		武藤彰英	教授	実(研)	システム工学分野での研究実績、及びシステム開発、プロジェクト管理での実務実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	
eコマース実践	インターネットを活用した典型的なビジネスモデルであるeコマースの業務の理解を通じ、グローバルSCMの理論面、実務面の理解を深める。	本田進太郎	講師	実み	IT企業CEO実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。	

専門基幹科目群

職業専門科目

職業専門科目		国際コミュニケーション科目群	
English Fundamentals I	英語運用能力のグローバルスタンダードに照らし、十分な英語運用能力を身に付けるために、Listening, Reading, Speaking, 及びWritingを包括的、集中的に学ぶ。	Brett Laybutt/ Sean Michell	講師 実専 実専
English Fundamentals II		Sean Michell	講師 実専
応用英語コミュニケーション I	English Fundamentals I、English Fundamentals IIでの学習内容の発展形として、Listening, Reading, Speaking, 及びWritingを包括的、集中的に学ぶ。	Abdul Hndi, Nurul Ikhlas BT	講師 実(研)
応用英語コミュニケーション II		Sean Michell	講師 実専
English Writing Skills I	articles, journalsなど英語での文章の書き方を学ぶ。英語表現力とともに、構成力を身に付けるために、Nativeと日本人の組み合わせにより指導。	小張 Brett Laybutt	教授 講師 実専
English Writing Skills II	articles, journalsなど英語での文章の書き方を学ぶ。英語表現力向上を主眼として指導。	Abdul Hndi, Nurul Ikhlas BT Sean Michell	講師 講師 実(研) 実専
English for Global Business I		Brett Laybutt	講師 実専
English for Global Business II	応用コミュニケーション I、IIの展開形として、ビジネスで使われる発展的な英語を修得。	Abdul Hndi, Nurul Ikhlas BT	講師 実(研)
English for Global Business III		Brittany Widney	講師 実専
English for Global Business IV		Brittany Widney	講師 実専
Discussion for Global Business	ビジネスシーンでのコミュニケーション向上を狙う。	Brittany Widney	講師 実専
Presentation for Global Business		桜井淳 Abdul Hndi, Nurul Ikhlas BT	准教授 講師 実(研) 実専
米英ビジネスジャーナル読解	欧米のビジネスジャーナルを読み、グローバルビジネスの状況を学ぶ。	小張敬之	教授 専
貿易実践英語	貿易分野のビジネスジャーナルを読み、グローバルビジネスの状況を学ぶ。	斎藤宏	講師 兼任
			米国、英国、オーストラリア、南アフリカ等出身英語Nativeとして英語教育修士、博士号を持つ英語講師としての教育実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。
			Native講師実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。文章力、構成力向上の観点からは、日本人教授が指導。
			米国、英国、オーストラリア、南アフリカ等出身英語Nativeとして英語教育修士、博士号を持つ英語講師としての教育実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。
			英語教授経歴、実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。
			企業の物流部門のマネージャー実績を活かし、左記狙いを遂行すべく配置。

デザイン設計	展開科目	基礎科目
メディア戦略Ⅰ	<p>展開科目は、本学が養成を目指す流通・物流・貿易分野において、職業専門科目で学ぶ専攻分野と関連し、創造的な役割を担うための能力を展開させる科目を設置する。本学がディプロマ・ポリシーとして掲げている「時代や環境の変化に対応していく能力を身に付けること」は、「ビジネスの改善に寄与することのできる」人材を育成するために不可欠な要素である。そのための重要な能力として、「ビジネス情報の活用能力」がある。</p> <p>展開科目では、ビジネス情報活用を学ぶ科目を設置し、ビジネス情報の受信、発信能力を基本とする「メディア戦略」を学ぶ。ビジネス情報は、流通・物流・貿易分野をみても、経営・経済、国際、情報など多岐にわたったり、ビジネス現場において柔軟に対応できる汎用的かつ応用的な知識体系を形成する。</p>	<p>メディア戦略のもう一方の狙いとして、Web以外のメディアを紹介したビジネス情報の発信能力を育成することがある。「国際観光ビジネスⅠ」「国際観光ビジネスⅡ」では、観光立国を目指す日本の文化、歴史、地理など、多面的なビジネス情報の発信の在り方を学ぶ。さらには、日本の文化と英語圏の文化を異文化コミュニケーションの観点から比較し、それぞれ背景にある世界観、思想を学ぶことにより、より説得力のある情報発信の在り方を学ぶ。</p> <p>大学での学びの目的は何かを職業的キャリアの観点から考え目標を設定する。</p>
メディア戦略Ⅱ		
メディア戦略実践Ⅰ		
メディア戦略実践Ⅱ		
メディア戦略実践Ⅲ		
メディアデータベース		
メディアプログラム		
異文化理解	<p>メディア戦略のもう一方の狙いとして、Web以外のメディアを紹介したビジネス情報の発信能力を育成することがある。「国際観光ビジネスⅠ」「国際観光ビジネスⅡ」では、観光立国を目指す日本の文化、歴史、地理など、多面的なビジネス情報の発信の在り方を学ぶ。さらには、日本の文化と英語圏の文化を異文化コミュニケーションの観点から比較し、それぞれ背景にある世界観、思想を学ぶことにより、より説得力のある情報発信の在り方を学ぶ。</p>	<p>メディア戦略のもう一方の狙いとして、Web以外のメディアを紹介したビジネス情報の発信能力を育成することがある。「国際観光ビジネスⅠ」「国際観光ビジネスⅡ」では、観光立国を目指す日本の文化、歴史、地理など、多面的なビジネス情報の発信の在り方を学ぶ。さらには、日本の文化と英語圏の文化を異文化コミュニケーションの観点から比較し、それぞれ背景にある世界観、思想を学ぶことにより、より説得力のある情報発信の在り方を学ぶ。</p>
日米言語比較		
翻訳制作		
国際ビジネスリサーチ		
国際観光ビジネスⅠ		
国際観光ビジネスⅡ		
キャリアデベロップメントⅠ	<p>キャリアデベロップメントⅠ</p> <p>キャリアデベロップメントⅡ</p> <p>キャリアデベロップメントⅢ</p> <p>グローバルキャリア</p> <p>デベロップメント</p> <p>スタディスキルズ</p>	<p>キャリアデベロップメントⅠ</p> <p>キャリアデベロップメントⅡ</p> <p>キャリアデベロップメントⅢ</p> <p>グローバルキャリア</p> <p>デベロップメント</p> <p>スタディスキルズ</p>
キャリアデベロップメントⅡ		
キャリアデベロップメントⅢ		
グローバルキャリア		
デベロップメント		
スタディスキルズ	<p>津村利昭</p> <p>笠井直子</p> <p>笠井直子</p> <p>笠井直子</p> <p>津村利昭</p>	<p>津村利昭</p> <p>笠井直子</p> <p>笠井直子</p> <p>笠井直子</p> <p>津村利昭</p>
デザイン設計	<p>本田進太郎</p> <p>野口寛渡</p>	<p>実任 兼任</p>
メディア戦略Ⅰ	<p>藤村純</p>	<p>講師</p> <p>講師</p>
メディア戦略Ⅱ	<p>渋谷和彦</p> <p>渋谷和彦</p> <p>藤村純</p>	<p>教授</p> <p>教授</p> <p>講師</p>
メディアデータベース	<p>小張敬之</p>	<p>教授</p>
国際観光ビジネスⅠ	<p>梶井淳</p>	<p>准教授</p>
国際観光ビジネスⅡ	<p>大沼正樹</p>	<p>講師</p>
キャリアデベロップメントⅠ	<p>長屋明子</p>	<p>講師</p>
キャリアデベロップメントⅡ	<p>津村利昭</p>	<p>講師</p>
キャリアデベロップメントⅢ	<p>笠井直子</p>	<p>准教授</p>
グローバルキャリア	<p>笠井直子</p>	<p>准教授</p>
デベロップメント	<p>笠井直子</p>	<p>准教授</p>
スタディスキルズ	<p>津村利昭</p>	<p>講師</p>

法学 I		<p>専門分野のみにとらわれない幅広い知識を学び、生涯にわたる自らの資質を向上させ、社会的・職業人としての明確な目標を持ちつつ、自ら考え行動するために必須となる能力を身に付ける。</p>	横溝久美	講師	兼任	<p>各分野専門家が、左記趣旨で、一般教養の科目を教える。</p>	審査意見に対応して教員変更
法学 II			横溝久美	講師	兼任		
国際関係論			武末朝生	講師	兼任		
中国語・中国事情 I			林怡州	准教授	専		
中国語・中国事情 II			林怡州	准教授	専		
English and Current Issues			Sean Michell	講師	実専		
English and Popular Culture			Brittany Widney	講師	実専		
次世代SDGs I			笠井直子	准教授	実(研)		
次世代SDGs II			笠井直子	准教授	実(研)		
ICT演習			津村利昭	講師	実専		
国際メディア		渋谷和彦	教授	専			
<p>臨地実務実習</p>	<p>現場の実務に対応可能な実践的な能力を育成することを狙いとしている。</p>	<p>平岩賢志 内田成 松本昭夫 武藤彰英 石川雅啓 渋谷和彦</p>	<p>教授 教授 教授 教授 教授 教授</p>	<p>実(研) 専 専 専 実(研) 実専 専</p>	<p>職業専門科目各分野の教授を中心に配置。実習指導体制は、指導教員(教授)、キャリアアセンタ一職員及び助手からなり、臨地実務実習の事前、期間中、及び事後の指導にあたる。</p>		
<p>総合科目(事業創生実習)</p>	<p>これまでの学びの総纏めとしてチームで「事業創生プロジェクト実習」を4年次の必修科目として全学生が履修する。自らの発想と主体的に課題を発見・解決できる能力とチーム調整能力を養い、経営に貢献するための基礎となる能力を身に付けることを狙いとして、学生の志向により話し合いを通して具体的な事業の企画から運営までをチームで経験する。</p>	<p>平岩賢志 内田成 松本昭夫 今岡善次郎 武藤彰英 角井亮一 石川雅啓 渋谷和彦 津村利昭 本田進太郎</p>	<p>教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 講師 講師</p>	<p>実(研) 専 専 専 実(研) 実(研) 実み 実専 専 実専 実み</p>	<p>職業専門科目各分野の教授を中心に配置。実習は、チームで主体的に検討を進めることが基本で、教員がチームを巡回し、学生の討議に参加し、討議の促進、進捗の管理を含め学生の指導にあたる。また、実習と並行し、特定の領域(企業経営や経営管理など実習に共通するテーマ)や卒業論文の指導について、ゼミ形式での授業を行う。</p>		

基礎科目

別記様式第2号 (その2の1)		(用紙 日本産業規格A4縦型)															
教育課程等の概要																	
グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目	スタディスキルズ	1前	1			○			1		1						
	ICT演習	1前		2			○										
	キャリアディベロップメントⅠ	1後	1			○					1						
	キャリアディベロップメントⅡ	2後	1			○				1							
	キャリアディベロップメントⅢ	3前	1			○				1							
	グローバルキャリアディベロップメント	4前		1		○				1							
	法学Ⅰ	2前	2			○											兼1
	法学Ⅱ	3後		2		○											兼1
	次世代SDGsⅠ	2前	2			○				1							
	次世代SDGsⅡ	4後		2		○				1							
	English and Current Issues	1後		2			○					1					
	English and Popular Culture	2後		2			○					1					
	中国語・中国事情Ⅰ	3前		1		○					1						
	中国語・中国事情Ⅱ	4前		1		○					1						
	国際メディア	3後		2		○				1							
	国際関係論	4後		2		○											兼1
小計 (16科目)		-	8	17	0			-	1	2	3	0	0			2	
実習科目群	臨地実務実習Ⅰ	1前または後	5					臨	2						3		
	臨地実務実習Ⅱ	2前または後	5					臨	2						3		
	臨地実務実習Ⅲ	3前または後	5					臨	2						3		
	臨地実務実習Ⅳ	4前または後	5					臨	2						3		
	小計 (4科目)		-	20	0	0			-	6	0	0	0	3	0		
国際コミュニケーション科目群	English FundamentalsⅠ	1前	1				○				2						共同
	English FundamentalsⅡ	2前		1			○				1						
	English for Global BusinessⅠ	1前	1				○				1						
	English for Global BusinessⅡ	3前	1				○				1						
	English for Global BusinessⅢ	3後		1			○				1						
	English for Global BusinessⅣ	4前		1			○				1						
	Discussion for Global Business	3後	1				○				1						
	Presentation for Global Business	4前		1			○			1	1						共同
	応用英語コミュニケーションⅠ	1後	2				○				1						
	応用英語コミュニケーションⅡ	2前		2			○				1						
	米英ビジネスジャーナル読解	2後		2			○			1							
	English Writing SkillsⅠ	2後	2				○			1		1					共同
	English Writing SkillsⅡ	3前		2			○					2					共同
	貿易実践英語	1後	1				○										兼1
小計 (14科目)		-	9	10	0			-	1	1	4	0	0		1		
専門基礎科目群	マーケティング概論	1前	2			○			1								
	流通論	1前	2			○			1								
	グローバルマーケティング実習	3前	2					○	1						1		
	経営とDX	1後		2		○			1								
	経営学	1後	2			○			1								
	イノベーションマネジメント	2前	2			○			1								
	プロジェクトリーダー養成実習	3後	2					○	1						1		
	経営組織論	4前		2		○			1								
	経済学Ⅰ	2前	2			○			1								
	経済学Ⅱ	2後		2		○			1								
	国際経済学総論	2後		2		○			1								
	ビジネスファイナンス	3前		2		○											兼1
	国際金融論	4後		2		○											兼1
小計 (13科目)		-	14	12	0			-	5	0	0	0	1		2		

【資料6-2】

学校法人 深堀学園
グローバル Biz 専門職大学（仮）
長期履修生規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、グローバル Biz 専門職大学（以下「本学」という。）の学則 35 条（長期履修生）に基づき、長期履修に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（対象者）

第2条 長期履修の申請をすることができる者は、通常の学生に比べて時間的に履修や研究に制限があるものとして、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- （1） 職業を有し、就業している者（自営業や臨時雇用を含む）。ただし、履修や研究に影響を与えない範囲での軽微なアルバイトやパートタイムに従事する者については、適用は認められない。
- （2） 出産、育児又は親族の介護を行う必要のある者
- （3） その他疾病等により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

（長期履修機関および在学年限）

第3条 長期履修の期間は、本学学則第 18 条（修業年限）に定める年限に、2 年を超えない範囲内で学長が許可した期間を加えた年数とする。

2 長期履修を行う学生の在学年限（長期履修を行う期間以外の期間を含む。）は、修業年限の 2 倍の年数に、学長が許可した期間を加えた年数とする。

（申請手続き）

第4条 長期履修の適用を希望する者は、入学予定者においては学生募集要項等で定めた時期、在学生においては毎年度末 1 月末までに、それぞれ次の書類を添えて、学長に願い出なければならない。

- ① 長期履修学生申請書（本学所定の様式）
- ② 第2条第1項の各号に定める申請資格を証明する書類
- ③ その他、学長が必要と認める書類

（決定）

第5条 長期履修の適用は、前条の申請に基づき、教授会の議を経て、学長が決定する。

(授業料等)

第6条 授業料を標準修業年限で乗じ長期履修期間で除した額を、年度ごとに納入、なお、授業料以外の学費（施設設備費など）については、通常の額となる。

(長期履修期間の変更)

第7条 長期履修認可学生が、認可された長期履修機関の延長または短縮を希望する場合は、認可を受けようとする学年開始の2か月前までに、本学所定の書類を添えて学長に申請しなければならない。ただし、修了する予定のセメスターにおける延長の申請はできない。

2 前項の申請については、長期履修学生として入学した者のみ受け付けることとし、教授会の議を経て、学長が許可する。

3 長期履修期間の変更は1年単位で申請できるものとし、本学在学中1回に限り許可することができる。

4 変更申請が許可された場合における授業料その他納付金の額は、別に定める。

(長期履修の許可の取消し)

第8条 長期履修認可学生が本学学則および諸規定に違反したとき、または長期履修に関し虚偽の申請をしたとき、学長は、教授会の議を経て、長期履修の許可を取り消すことができる。

(規定の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教務委員会の意見を聴き、教授会の議を経て、学長が定める。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、運用上必要な事項は、細則等で定める。

2 前項の運用細則の定めた場合は、運営会議に報告するものとする。

附

この規程は、○年○月○日より施行する。

【資料6-2】

学校法人 深堀学園
グローバル Biz 専門職大学（仮）
長期履修生規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、グローバル Biz 専門職大学（以下「本学」という。）の学則 35 条（長期履修生）に基づき、長期履修に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（対象者）

第2条 長期履修の申請をすることができる者は、通常の学生に比べて時間的に履修や研究に制限があるものとして、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- （1） 職業を有し、就業している者（自営業や臨時雇用を含む）。ただし、履修や研究に影響を与えない範囲での軽微なアルバイトやパートタイムに従事する者については、適用は認められない。
- （2） 出産、育児又は親族の介護を行う必要のある者
- （3） その他疾病等により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

（長期履修機関および在学年限）

第3条 長期履修の期間は、本学学則第 18 条（修業年限）に定める年限に、2 年を超えない範囲内で学長が許可した期間を加えた年数とする。

2 長期履修を行う学生の在学年限（長期履修を行う期間以外の期間を含む。）は、修業年限の 2 倍の年数に、学長が許可した期間を加えた年数とする。

（申請手続き）

第4条 長期履修の適用を希望する者は、入学予定者においては学生募集要項等で定めた時期、在学生においては毎年度末 1 月末までに、それぞれ次の書類を添えて、学長に願い出なければならない。

- ① 長期履修学生申請書（本学所定の様式）
- ② 第2条第1項の各号に定める申請資格を証明する書類
- ③ その他、学長が必要と認める書類

（決定）

第5条 長期履修の適用は、前条の申請に基づき、教授会の議を経て、学長が決定する。

(授業料等)

第6条 授業料を標準修業年限で乗じ長期履修期間で除した額を、年度ごとに納入、なお、授業料以外の学費（施設設備費など）については、通常の額となる。

(長期履修期間の変更)

第7条 長期履修認可学生が、認可された長期履修機関の延長または短縮を希望する場合は、認可を受けようとする学年開始の2か月前までに、本学所定の書類を添えて学長に申請しなければならない。ただし、修了する予定のセメスターにおける延長の申請はできない。

2 前項の申請については、長期履修学生として入学した者のみ受け付けることとし、教授会の議を経て、学長が許可する。

3 長期履修期間の変更は1年単位で申請できるものとし、本学在学中1回に限り許可することができる。

4 変更申請が許可された場合における授業料その他納付金の額は、別に定める。

(長期履修の許可の取消し)

第8条 長期履修認可学生が本学学則および諸規定に違反したとき、または長期履修に関し虚偽の申請をしたとき、学長は、教授会の議を経て、長期履修の許可を取り消すことができる。

(規定の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教務委員会の意見を聴き、教授会の議を経て、学長が定める。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、運用上必要な事項は、細則等で定める。

2 前項の運用細則の定めた場合は、運営会議に報告するものとする。

附

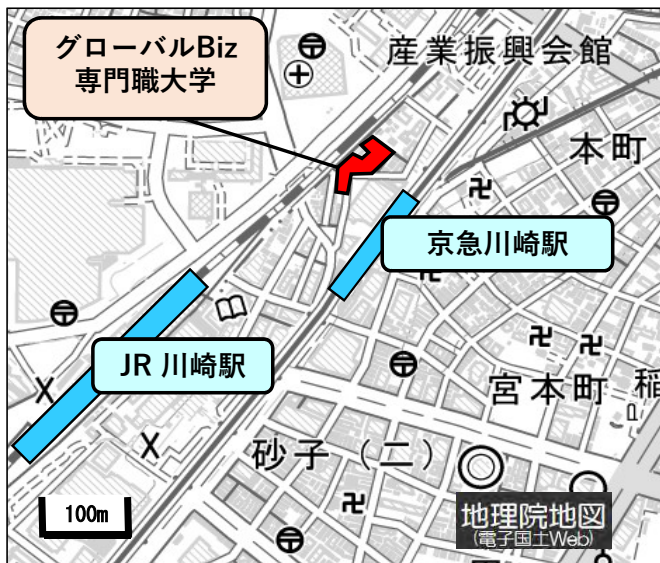
この規程は、○年○月○日より施行する。

資料8-1 校地校舎等の図面

①都道府県における位置関係



②最寄り駅からの距離及び所要時間



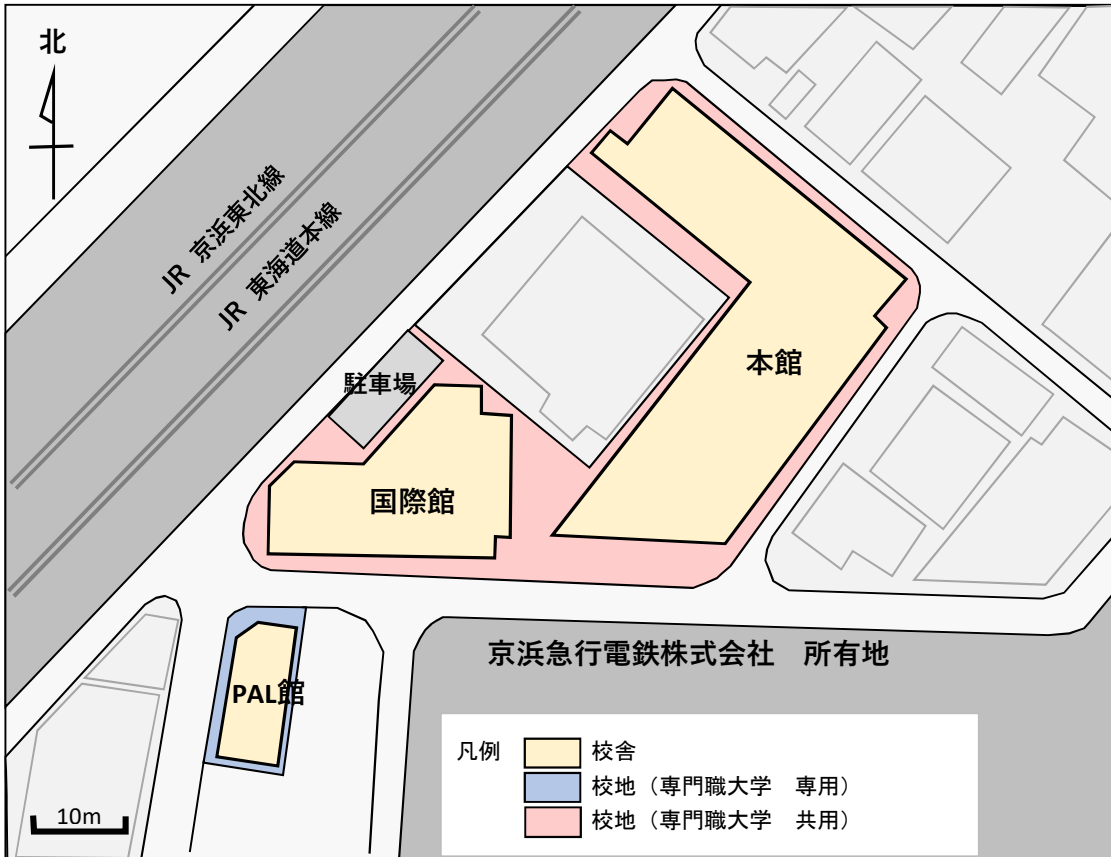
最寄り駅

JR東日本	川崎駅
京浜急行電鉄	京急川崎駅

距離

JR 川崎駅から	300m	徒歩4分
京急川崎駅から	90m	徒歩1分

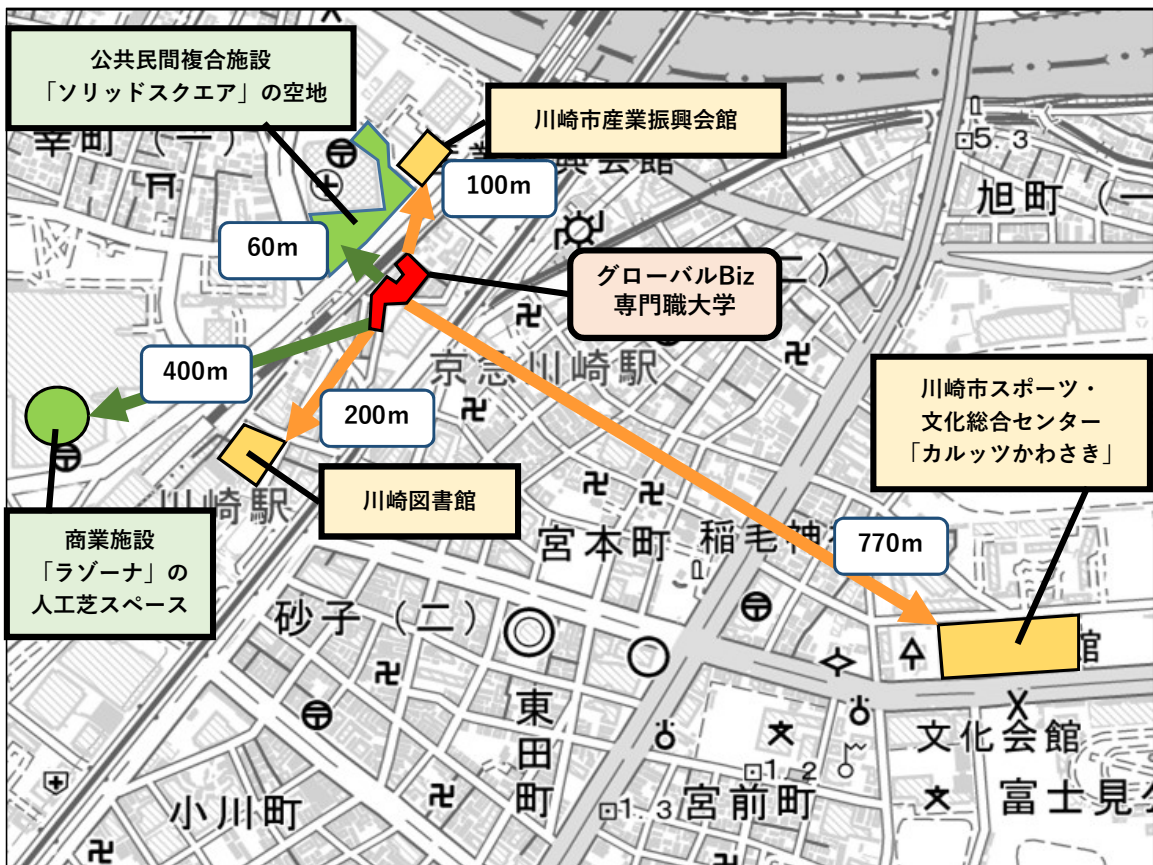
③校舎等の配置図



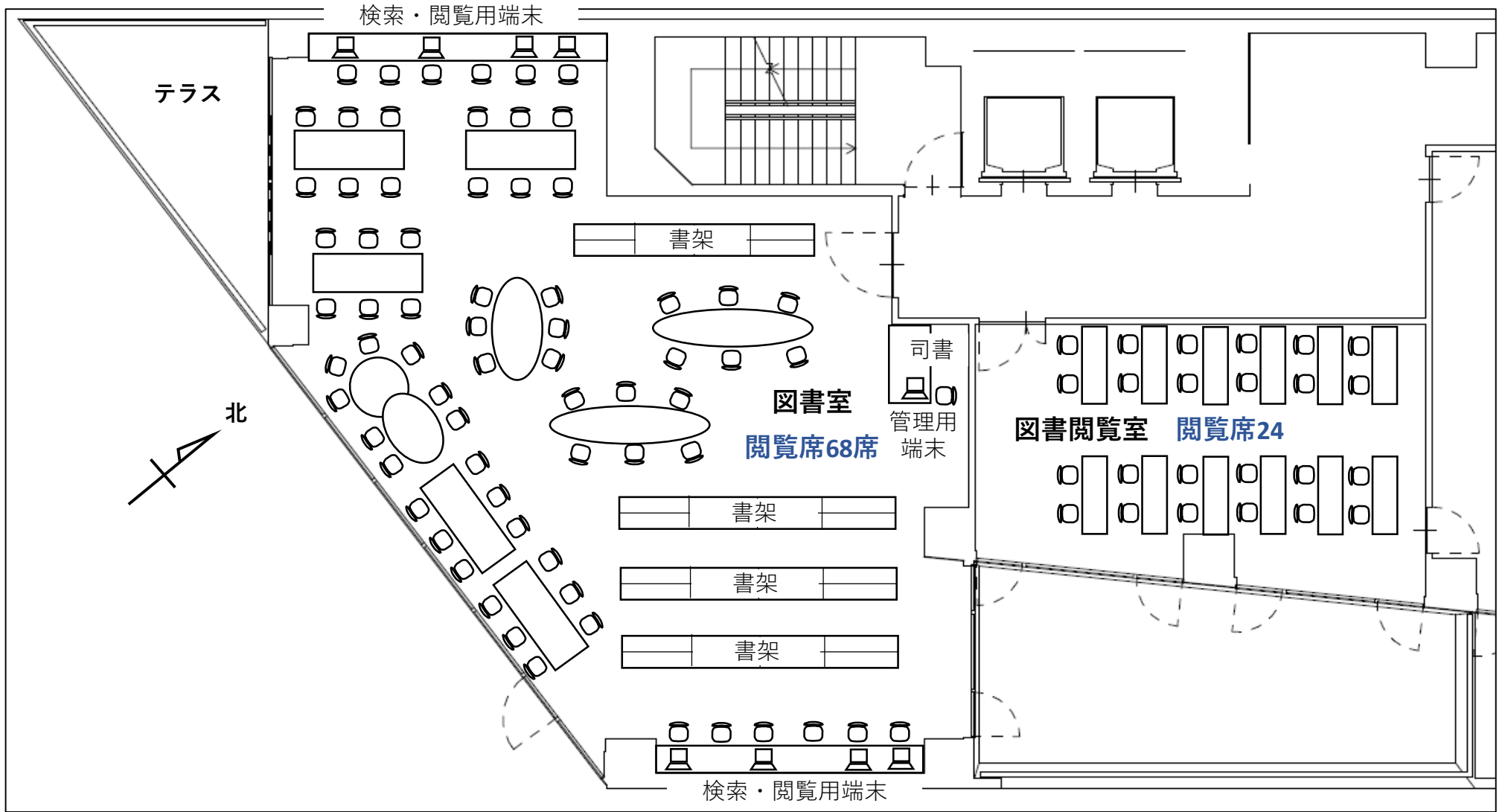
校地面積

内訳	面積 (内訳毎)	面積 (合計)
専門職大学 専用 (部分)	118.21 m ²	1,628.93 m ²
専門職大学 共用 (部分) (駐車場 (72.03m ²) は含まず)	1,510.72 m ²	

④周辺施設の位置



資料8-2 図書室及び図書閲覧室 フロアマップ



必要校地面積の減算に関する説明書

(グローバルBiz 専門職大学)

必要校地面積の減算に関する説明					備考			
校地面積を減ずる事由等	立地等	校地の所在地	神奈川県川崎市川崎区駅前本町 22-1					
		その場所に立地することが特に必要な事由	本学は貿易グローバルロジスティクスプロジェクトリーダー育成を目的としており、貿易重要拠点の川崎港を擁し、東京港・横浜港・羽田空港に隣接する川崎市において、通学と地域連携の利便性を重視して JR 及び京浜急行電鉄の主要駅の至近距離に立地する。					
	所要の土地の取得が困難な事由	既設専修学校の校地を転用するが、周辺は鉄道、企業、公共施設等が高密度に集積しており、さらに自治体による都市基盤再編が計画され、新たな用地取得が極めて困難である。						
	教育上必要な環境の整備の状況	校舎面積は設置基準を満たしており、学生の休息・交流に必要なスペースを屋上・テラス等に設けると共に、川崎市の支援により徒歩圏内の市立スポーツ総合センターが利用できる。						
その他特記事項								
保有する校地等の面積	区分		当該専門職大学等の校地等面積			共用する他の学校等の専用	合計	外語ビジネス専門学校 (必要面積 358.46㎡、 収容定員 414名)と共用 借用面積： 598.66㎡ 借用期間： 25年
			専用	共用	小計			
	校地	校舎敷地 (うち空地)	118.21㎡ ()	1,510.72㎡ ()	1,628.93㎡ ()	0㎡ ()	1628.93㎡ ()	
		運動場用地	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	
		小計	118.21㎡	1,510.72㎡	1,628.93㎡	0㎡	1628.93㎡	
	その他		0㎡	72.03㎡	72.03㎡	0㎡	72.03㎡	
合計		118.21㎡	1,582.75㎡	1,700.96㎡	0㎡	1700.96㎡		
収容定員	区分		員数	収容定員等に関する特記事項				
	昼間		392人					
	夜間		0人					
	昼夜開講		0人					
	計		392人					
収容定員上の学生一人当たり校地面積		4.155㎡						

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1	現行輸入制度一覧 商品別輸入制度 輸入税率〈基本・協定・暫定・特惠〉 統計品目番号、関税番号 令和3年度版	経済産業調査会	経済産業調査会
2	現行輸入制度一覧 商品別輸入制度 輸入税率〈基本・協定・暫定・特惠〉 統計品目番号、関税番号 令和元年度版	経済産業調査会	経済産業調査会
3	日蘭貿易の史的研究 オンデマンド版	石田千尋	吉川弘文館
4	関税六法 令和3年度版	-	日本関税協会
5	上級国際貿易 理論と実証	ロバート・C・フィンス トラ、伊藤元重、下井直 毅	日本評論社
6	関税関係個別通達集 令和3年度版	-	日本関税協会
7	関税関係個別通達集 令和元年度版	-	日本関税協会
8	通商白書 2019 自由貿易に迫る危機と新たな国際秩序構築の必要性	経済産業省	勝美印刷
9	貿易実務ハンドブック 「貿易実務検定」A級・B級 オフィシャルテキスト アドバンスト版 第6	日本貿易実務検定協会	日本能率協会マネ ジメントセンター
10	戦略的貿易政策 オンデマンド版 ゲーム理論の政策 への応用	柳川範之	有斐閣
11	超不確実性時代のWTO ナショナリズムの台頭とW TOの危機	深作喜一郎	勁草書房
12	貿易用語辞典 改訂第3版	石田貞夫、中村那詮	白桃書房
13	国際ビジネス用語事典	国際商取引学会	中央経済社
14	多極時代のEUと日本 世界における日欧EPA/S PAの意義 日本EU学会年報 第41号(2021 年)	日本EU学会	〔日本EU学会〕
15	輸出入通関実務マニュアル 貿易実務シリーズ 2	石原伸志、松岡正仁	成山堂書店
16	通関士過去問題集 通関士試験学習書 2021年版 通関士教科書	ヒューマンアカデミー、 笠原純一	翔泳社
17	国際貿易 グローバル化と政策の経済分析	ジョン・マクラレン、柳 瀬明彦	文眞堂
18	貿易実務完全バイブル 改訂版	黒岩章	かんき出版
19	世界貿易のネットワーク	国際連盟経済情報局、佐 藤純	創成社
20	Amazon輸入ビジネスの極意 第2版	竹内亮介	秀和システム
21	関税評価ドリル 2019 通関士試験補習シリーズ	-	日本関税協会
22	計算問題ドリル 2019 通関士試験補習シリーズ	-	日本関税協会
23	公式ガイド通関ビジネス実務検定要点整理&練習問題	日本貿易実務検定協会	秀和システム
24	受渡実務マニュアル 輸入編 最新版 シッピングガ イド 海の日BOOKS	-	オーシャンコマー ス
25	図解よくわかるこれからの貿易 最新版 DO BO OKS なるほど!これでわかった	高橋靖治	同文館出版
26	実はとっても簡単!儲かる輸入部門のつくり方・は じめ方	大須賀祐	明日香出版社
27	米中貿易戦争アメリカの真の狙いは日本	増田悦佐	コスミック出版
28	Amazon個人輸出&輸入で実現する「雇われない 生き方」	大越雄介	幻冬舎メディアコ ンサルティング
29	こうして始まったTPP交渉	石田勝之	中央公論事業出版
30	これならわかる貿易書類入門塾 改訂版	黒岩章	かんき出版
31	はじめての人の貿易入門塾 [2021] 改訂版	黒岩章	かんき出版
32	マンガでやさしくわかる貿易実務 改訂版	片山立志、もとむらえり	日本能率協会マネ ジメントセンター

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
33	リモート輸入ビジネス成功マニュアル いつでも、どこでも、低コストで始められる！	大須賀祐	あさ出版
34	絵でみる貿易のしくみ 改訂2版 絵でみるシリーズ	片山立志	日本能率協会マネジメントセンター
35	米韓FTA 日本への示唆	品川優	筑波書房
36	「ゆる副業」のはじめかた輸入・ネット販売 時間も手間もセンスもいらないから誰でもできる！	梅田潤	翔泳社
37	交易の世界史 シュメールから現代まで 下 ちくま学芸文庫 ハ52-2	ウィリアム・バーンスタイン, 鬼澤忍	筑摩書房
38	交易の世界史 シュメールから現代まで 上 ちくま学芸文庫 ハ52-1	ウィリアム・バーンスタイン, 鬼澤忍	筑摩書房
39	図解いちばんやさしく丁寧に書いた貿易実務の本 [2021] 最新改訂版	片山立志	成美堂出版
40	図解仕事の流れが一目でわかる！はじめての貿易実務最新版	木村雅晴	ナツメ社
41	1日30分からはじめるはじめてのeBay	荒井智代	自由国民社
42	1日30分からはじめるはじめてのeBay 第2版	荒井智代	自由国民社
43	貿易の世界史 大航海時代から「一帯一路」まで ちくま新書 1538	福田邦夫	筑摩書房
44	国際貿易法入門 WTOとFTAの共存へ ちくま新書 1585	関根豪政	筑摩書房
45	現代海洋法の潮流 第4巻 日本海洋法研究会叢書 国家管轄権外区域に関する海洋法の新展開	坂元茂樹, 薬師寺公夫, 植木俊哉, 西本健太郎	有信堂高文社
46	尖閣問題の変化と中国の海洋進出	亀田晃尚	三和書籍
47	地域社会と開発 第3巻 日本福祉大学COEプログラム地域社会開発叢書 住民組織化の地域メカニズム	重富真一	古今書院
48	グロティウス『戦争と平和の法』の思想史的研究 自然権と理性を行使する者たちの社会 MINERVA人文・社会科学叢書 249	山内進	ミネルヴァ書房
49	運動としての大衆文化 協働・ファン・文化工作	大塚英志	水声社
50	縦断データの分析 2 イベント生起のモデリング	JUDITH D. SINGER, JOHN B. WILLET, 菅原ますみ, 松本聡子	朝倉書店
51	都市と文明 文化・技術革新・都市秩序 2	ピーター・ホール, 佐々木雅幸	藤原書店
52	SDGsで見る現代の戦争 知って調べて考える	伊勢崎賢治, 関正雄	学研プラス
53	異文化コミュニケーション学への招待 新装版	鳥飼玖美子, 野田研一, 平賀正子, 小山亘	みすず書房
54	国際犯罪の指導者処罰 国際刑事裁判所の理論と実践を中心に 神戸学院大学法学研究叢書 26	木原正樹	法律文化社
55	キーコンセプト社会学	ジョン・スコット, 白石真生, 柝澤健史, 内海博文	ミネルヴァ書房
56	怒号の日々 リンドバーグとルーズベルトの闘い大戦前夜1939-1941	リン・オルスン, 河内隆弥	国書刊行会
57	膨張する安全保障 冷戦終結後の国連安全保障理事会と人道的統治	上野友也	明石書店
58	BASIC公共政策学 11 費用対効果	長峯純一	ミネルヴァ書房
59	アローの不可能性定理 枠組みの検討と応用可能性	松本保美	勁草書房
60	ケース・スタディの方法 新装版 第2版 bibliotheque chikura	ロバート K. イン, 近藤公彦	千倉書房

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
61	ポスト新自由主義のビジョン パンデミックから見える世界 1 共生社会システム研究 Vol. 15, No. 1	-	農林統計出版
62	社会のなかの数理 新装版 行列とベクトル入門	イアン・ブラッドリー, ロナルド・L・ミーク, 小林淳一, 三隅一人	九州大学出版会
63	比較ガバナンス おうふう政治ライブラリー	大山耕輔	おうふう
64	米中争覇とアジア太平洋 関与と封じ込めの二元論を超えて 明治大学社会科学研究所叢書	鈴木健人, 伊藤剛	有信堂高文社
65	グローバルな複雑性 叢書・ユニベルシタス 1011	ジョン・アーリ, 吉原直樹, 伊藤嘉高, 板倉有紀	法政大学出版局
66	メディアの未来 歴史を学ぶことで、新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、SNSの将来は導き出せる	ジャック・アタリ, 林昌宏	プレジデント社
67	規範の造成学 「造られる」規範と「政策」のはざま	重森臣広, 田林葉, 宮脇昇, 荻谷千尋	勁草書房
68	自治と教育の地域づくり 新・地域社会論 2 シリーズ社会・経済を学ぶ	内田和浩	日本経済評論社
69	社会調査の方法論	松本渉	丸善出版
70	都市を終わらせる 「人新世」時代の精神、社会、自然	村澤真保呂	ナカニシヤ出版
71	アサーション・トレーニング活用術 ささまざまな現場での臨床応用 精神療法増刊 第8号	平木典子, 「精神療法」 編集部	金剛出版
72	協働と参加 コミュニティづくりのしくみと実践	金川幸司, 後房雄, 森裕亮, 洪性旭	晃洋書房
73	公共政策の歴史と理論	大山耕輔, 笠原英彦, 桑原英明	ミネルヴァ書房
74	国際機構 新版 岩波テキストブックス	庄司克宏	岩波書店
75	社会を読みとく数理トレーニング オンデマンド版 計量社会科学入門	松原望	東京大学出版会
76	社会科学における数と量 増補新装版 UPコレクション	竹内啓	東京大学出版会
77	人権判例報 第2号(2021.6)	小畑郁, 江島晶子	信山社
78	政策リサーチ入門 仮説検証による問題解決の技法	伊藤修一郎	東京大学出版会
79	政策研究 学びのガイダンス	中道寿一, 狭間直樹, 横山麻季子, 竹中佳彦, 上脇博之, 森裕亮, 松田憲忠, 丸山正次, 力久	福村出版
80	日本の社会科学 増補新装版 UPコレクション	石田雄	東京大学出版会
81	帰属財産研究 韓国に埋もれた「日本資産」の真実	李大根, 金光英実, 黒田勝弘	文藝春秋
82	コミュニケーション場のメカニズムデザイン	谷口忠大, 石川竜一郎, 中川智皓	慶應義塾大学出版会
83	米中覇権競争と日本	三船恵美	勁草書房
84	「政策思考力」基礎講座 政策を創る！考える力を身につける！	宮脇淳	ぎょうせい
85	海外相続ガイドブック プランニングおよび相続実務におけるQ&A 66 3訂版	三輪壮一, 住田哲也, 鈴木あかね, 中田朋子	きんざい
86	公共政策学の基礎 有斐閣ブックス 106	秋吉貴雄, 伊藤修一郎, 北山俊哉	有斐閣
87	国際法判例百選 第3版 別冊ジュリスト No. 255	森川幸一, 兼原敦子, 酒井啓亘, 西村弓	有斐閣
88	残余の声を聴く 沖縄・韓国・パレスチナ	早尾貴紀, 呉世宗, 趙慶喜	明石書店

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
89	世界の宇宙ビジネス法	小塚莊一郎, 笹岡愛美	商事法務
90	パターン・ランゲージ 創造的な未来をつくるための言語 リアリティ・プラス	井庭崇, 中埜博, 江渡浩一郎, 中西泰人, 竹中平蔵, 羽生田栄一	慶應義塾大学出版会
91	リスク学入門 1 新装増補 リスク学とは何か	橋木俊詔, 長谷部恭男, 今田高俊, 益永茂樹	岩波書店
92	リスク学入門 2 新装増補 経済からみたリスク	橋木俊詔	岩波書店
93	家庭における活動と学び エスノメソドロジー住まいの中の小さな社会秩序 身体・ことば・モノを通じた対話の観察から	是永論, 富田晃夫	明石書店
94	政策学入門 私たちの政策を考える	新川達郎, 真山達志	法律文化社
95	なぜあなたは自分の「偏見」に気づけないのか 逃れられないバイアスとの「共存」のために	ハワード・J・ロス, 御船由美子	原書房
96	メディア史研究 50 特集=メディア史研究再訪1	メディア史研究会	ゆまに書房
97	移民の人権 外国人から市民へ	近藤敦	明石書店
98	国際人権法の考え方	川島聡, 菅原絵美, 山崎公士	法律文化社
99	人間狩り 狩猟権力の歴史と哲学	グレゴワール・シャムユー, 平田周, 吉澤英樹, 中山俊	明石書店
100	奥行きをなくした顔の時代 イメージ化する身体、コスメ・自撮り・SNS	米澤泉, 馬場伸彦	晃洋書房
101	LISTEN 知性豊かで創造力がある人になれる	ケイト・マーフィ, 篠田真貴子, 松丸さとみ	日経BP
102	コミュニケーション・スタディーズ アイデンティティとフェイスからみた景色 ワードマップ	末田清子	新曜社
103	市民と社会を考えるために 改訂版 放送大学教材	天川晃, 高木保興	放送大学教育振興会
104	政策情報学の視座 新たなる「知と方法」を求めて	千葉商科大学政策情報学部10周年記念論集刊行会	日経事業出版センター
105	戦争と平和ブックガイド 21世紀の国際政治を考える	小田桐確	ナカニシヤ出版
106	日本の人間性の研究 変遷する日本のアイデンティティと不変の西歐的ロゴスとの双方を見据えつつ新訂	徳武邦男	東京図書出版
107	イノベーションの未来予想図 専門家40名が提案する20年後の社会	水野勝之, 土居拓務	創成社
108	一神教の終わり 悪魔の13血族とバビロニア奴隷管理帝王学の崩壊	ベンジャミン・フルフォード	秀和システム
109	差別はたいてい悪意のない人がする 見えない排除に気づくための10章	キムジへ, 尹怡景	大月書店
110	思想の免疫力 賢者はいかにして危機を乗り越えたか	中野剛志, 適菜収	ベストセラーズ
111	新型コロナの起源と101年目を迎える中国共産党	石平, 掛谷英紀	かや書房
112	祖国の英雄を「売国奴」と断罪する哀れな韓国人	金文学	ビジネス社
113	日本人はなぜ欠けた茶碗を愛でるのか 日本のことがよくわかる本	中山理	育鵬社
114	必ず取れる日本永住権!外国人の永住権許可申請ガイド 改訂版	河原木惇	セルバ出版
115	立花隆最後に語り伝えたいこと 大江健三郎との対話と長崎大学の講演	立花隆	中央公論新社
116	?と感情論で封殺された5つの日本の真実	高橋洋一	徳間書店

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
117	DX進化論 つながりがリブートされた世界の先	尾原和啓, 宮田裕章, 山口周	エムディエヌコーポレーション
118	アメリカ解体 自衛隊が単独で尖閣防衛をする日	島田洋一	ビジネス社
119	モダニティと自己アイデンティティ 後期近代における自己と社会 ちくま学芸文庫 キ32-1	アンソニー・ギデンズ, 秋吉美都, 安藤太郎, 筒井淳也	筑摩書房
120	公共哲学からの応答 3・11の衝撃の後に 筑摩選書 0030	山脇直司	筑摩書房
121	多様性(ダイバーシティ)が日本を変える	鈴木雄二	幻冬舎メディアコンサルティング
122	話すより10倍ラク!新聞く会話術 57 Lessons for Making Good Conversation	西任暁子	ディスカヴァー・トゥエンティワン
123	国民會館の主張「金言」 武藤治太の「思うまゝ」第2巻	武藤治太	国民會館
124	10歳からの伝える力	齋藤孝, 井上いろは原作, 松浦まどか	フォレスト出版
125	コミュニケーションのもどかしさがなくなる本 言えない聞けない伝わらない	中村青瑚	イースト・プレス
126	まっすぐ人間関係術 きみと世界をつなぐ 1時間で一生分の「生きる力」 2	山崎聡一郎, 藤川大祐, 茅なや	講談社
127	運がいい人の「話し方」、運が悪い人の「しゃべり方」 話し方を変えるだけで幸運がやってくる!	有川真由美	廣済堂出版
128	世界の黒幕「悪魔のシナリオ」東京五輪&新型コロナクチン超陰謀大全	国際情勢ファクト研究所	宝島社
129	敵対から共生へ 平和づくりの実践ガイド 改訂 ヨベル新書 072	ジョン・ポール・レデラック, 水野節子, 宮崎蒼	ヨベル
130	「ものごと」の核心をとらえる テキストブック 2 惑わないための学び	志良以孝	ウインかもがわ
131	モデル・コミュニティ コミュニティづくりの原点を探る 人と住まい文庫 vol. 9	中野茂夫, 尾崎せい子	西山卯三記念すまい・まちづくり文庫
132	やさしくない国ニッポンの政治経済学 日本人は困っている人を助けられないのか 講談社選書メチエ 755	田中世紀	講談社
133	物語消費論 「ビクリマン」の神話学 星海社新書 185	大塚英志	星海社
134	転形期の世界 パンデミックの後のビジョン PHP新書 1277	Voice編集部, 柳井正	PHP研究所
135	いい人間関係は「敬語のくずし方」で決まる 青春新書 INTELLIGENCE PI-630	藤田尚弓	青春出版社
136	コロナ制圧 その先の盛衰 日経プレミアシリーズ 464	梅屋真一郎	日経BP日本経済新聞出版本部
137	シン・モノガタリ・ショウヒ・ロン 歴史・陰謀・労働・疎外 星海社新書 191	大塚英志	星海社
138	なぜ世界を知るべきなのか 小学館YouthBooks	池上彰	小学館
139	フィールドは問う 越境するアジア	山口覚, 中川加奈子, 鈴木晋介, 林梅, 川端浩平	関西学院大学先端社会研究所
140	数字を読めない「文系バカ」が日本をダメにする コロナ騒動で分かった! WAC BUNKO B-349	高橋洋一	ワック

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
141	世論調査の真実 日経プレミアシリーズ 459	鈴木督久	日経BP日本経済新聞出版本部
142	卒業生が語る総合政策 関西学院大学総合政策学部の15年を振り返って K. G. りぶれっと No. 27	関西学院大学総合政策学部	関西学院大学出版会
143	大下流国家 「オワコン日本」の現在地 光文社新書 1160	三浦展	光文社
144	知らない恥をかく世界の大問題 12 角川新書 K-362 世界のリーダー、決断の行方	池上彰	KADOKAWA
145	分断のニッポン史 ありえたかもしれない敗戦後論 中公新書ラクレ 737	赤上裕幸	中央公論新社
146	暴走するジェンダーフリー 異論を許さない時代 WAC BUNKO B-347	橋本琴絵	ワック
147	楽観論 新潮新書 918	古市憲寿	新潮社
148	世間体国家・日本 その構造と呪縛 光文社新書 1149	犬飼裕一	光文社
149	中国「国恥地図」の謎を解く 新潮新書 927	譚?美	新潮社
150	ニュースの未来 光文社新書 1151	石戸諭	光文社
151	新世界秩序と日本の未来 米中の狭間でどう生きるか 集英社新書 1074	内田樹, 姜尚中	集英社
152	台湾有事 米中衝突というリスク 平凡社新書 987	清水克彦	平凡社
153	リスクとの遭遇 日経プレミアシリーズ 198	植村修一	日本経済新聞出版社
154	異文化コミュニケーション学 岩波新書 新赤版 1887	鳥飼玖美子	岩波書店
155	日本の気配 増補版 ちくま文庫 た96-1	武田砂鉄	筑摩書房
156	無理ゲー社会 小学館新書 400	橋玲	小学館
157	米中戦争 「台湾危機」驚愕のシナリオ 朝日新書 836	官家邦彦	朝日新聞出版
158	リスク心理学 危機対応から心の本質を理解する ちくまプリマー新書 379	中谷内一也	筑摩書房
159	近代：社会科学の基礎 近代法・近代経済・近代政治の基礎的特徴	酒井峻一	ブイツーンソリューション
160	国際人権入門 現場から考える 岩波新書 新赤版 1845	申恵?	岩波書店
161	政策学部でどう学ぶか 政策学ブックレット 5	井口貢, 多田実	学芸出版社
162	平等バカ 原則平等に縛られる日本社会の異常を問う 扶桑社新書 405	池田清彦	扶桑社
163	私たちはどう生きるか コロナ後の世界を語る 2 朝日新書 831	マルクス・ガブリエル, オードリー・タン, 東浩紀, 桐野夏生, 阿川佐和子, 朝日新聞社	朝日新聞出版
164	困ったときの言いかたルール 王様文庫 B226-1	大野萌子	三笠書房
165	シブリー英語語源辞典	ジョーゼフ T. シブリー, 梅田修, 真方忠道, 穴吹章子	大修館書店
166	イギリス英語音声学	ポール・カーリー, インガ・M.・メイス, ビバリー・コリンズ, 三浦弘	大修館書店
167	英語音声学・音韻論入門 新版	フィリップ・カー, 竹林滋, 清水あつ子	研究社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
168	英語固有名詞語源小辞典	荻部恒徳	研究社
169	公式TOEIC Listening & Reading問題集 8	ETS	国際ビジネスコミュニケーション協会
170	ウソと欺瞞のレトリック ポスト・トゥルース時代の語用論	山本英一	関西大学出版部
171	英語教師がおさえておきたいことばの基礎的知識	白畑知彦	大修館書店
172	TOEIC L&R TEST 990点獲得Part 5&6 難問模試	メディアビーコン	ベレ出版
173	ジョージとおぼえるおとのでる♪ABCのえほん アニメおさるのジョージ	-	金の星社
174	国連英検特A級・A級面接対策	日本国際連合協会, 高橋基治, Lawrence Karn	三修社
175	世界一わかりやすい英検準1級に合格する過去問題集「聞こえる耳」をつくるリスニング解説が充実! 2021-2022年度用	関正生, 桑原雅弘	KADOKAWA
176	英語リスニングこれ一冊 リスニング問題に強くなる徹底トレーニング 無料音声ダウンロード付	津村元司	ベレ出版
177	聴けば自分の気持ちが見えてくる英語スピーチ 世界共有の課題リスニング	足立恵子	三修社
178	直前対策英検準1級3回過去問集 文部科学省後援 2021-2022年対応 旺文社英検書	-	旺文社
179	書いて覚える楽しいフォニックス 最新版	齋藤留美子, 齋藤了	ナツメ社
180	英語リスニング試験「完全攻略」ストラテジー	和泉有香, 横山カズ	IBCパブリッシング
181	速聴×速読トレーニング 英語の思考回路をつくる!	森田勝之	DHC
182	世界一わかりやすい英検2級に合格する過去問題集「聞こえる耳」をつくるリスニング解説が充実! 2021-2022年度用	関正生, 竹内健	KADOKAWA
183	世界一わかりやすい英検準2級に合格する過去問題集「聞こえる耳」をつくるリスニング解説が充実! 2021-2022年度用	関正生, 竹内健	KADOKAWA
184	あいうえおフォニックス 2 英語の子音編	スーパーファジー	KADOKAWA
185	オウム返しするだけでみるみる上達! はじめての長文英語リスニング	安武内ひろし	秀和システム
186	ふりがなではなそう! えいごえほんHello! えほん百科シリーズ	-	講談社
187	意味論から見る英語の構造 移動と状態変化の表現を巡って 開拓社言語・文化選書 15	米山三明	開拓社
188	英語耳 発音ができるとリスニングができる 改訂3版	松澤喜好	KADOKAWA
189	語源でひもとく西洋思想史	渡部昇一	海竜社
190	WHAT DO YOU HAVE?	はやししほ, にしごおりその	三恵社
191	英語で小喃! イングリッシュ・パフォーマンス実践教本 2	大島希巳江	研究社
192	英語の声トレ 国際ヴォイストレーナーが教える「やさしい英語発音」	山下まさよ	ダイヤモンド社
193	語学マニアが教える! コスバ最強の英語学習法	吉野周	自由国民社
194	語源力 英語の語源でわかる人間の思想の歴史	渡部昇一	海竜社
195	直前対策英検2級3回過去問集 文部科学省後援 2021-2022年対応 旺文社英検書	-	旺文社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
196	アッと驚く英語の語源 時空を超えて英単語誕生の秘密に迫る120の物語	小泉牧夫	サンマーク出版
197	英語の意味とニュアンス 入門講座	吉川洋, 友繁義典	大修館書店
198	言外の意味 下 新版 開拓社言語・文化選書 2	安井稔	開拓社
199	言外の意味 上 新版 開拓社言語・文化選書 1	安井稔	開拓社
200	発音ボーイズの英語ボイトレ48 発音できればリスニング力が格段に伸びる! 発音できる音をどんどん増やそう!	山崎祐一	ジェイ・リサーチ出版
201	knowの「k」はなぜ発音しないのか? 語源でわかる中学英語	原島広至	KADOKAWA
202	TOEIC L&R TEST長文読解問題集TARGET 900 本当にスコアが上がる900点レベルの良問93問	野村知也	Jリサーチ出版
203	マンガで合格のこつがわかる英検2級二次試験・面接完全対策 文部科学省後援 英検マンガで合格シリーズ	江藤友佳, 青柳ちか・イラスト	ジャパンタイムズ出版
204	CNN Student News 初級者からのニュース・リスニング 2021〈春〉	『CNN English Express』編集部	朝日出版社
205	英語の語源探訪 ことばと民族の歴史を訪ねて	織田哲司	大修館書店
206	英語の正しい発音学習 アルファベットの発音ルールから始める	上村禎子	三省堂書店/創英社
207	ハイスコア! 共通テスト攻略英語リスニング 新装版	水野卓	Z会
208	マンガで合格のこつがわかる英検準2級二次試験・面接完全対策 文部科学省後援 英検マンガで合格シリーズ	江藤友佳, 青柳ちか・イラスト	ジャパンタイムズ出版
209	大学入学共通テスト実戦問題集英語リスニング 2022年版 駿台大学入試完全対策シリーズ	-	駿台文庫
210	英検準2級必ず☆でる単スピードマスター 合格英単語800+派生語反意語	植田一三, 藤井めぐみ, 川本美和, 上田敏子	Jリサーチ出版
211	マンガで合格のこつがわかる英検3級二次試験・面接完全対策 文部科学省後援 英検マンガで合格シリーズ	江藤友佳, 青柳ちか・イラスト	ジャパンタイムズ出版
212	語源でふやそう英単語 岩波ジュニア新書 661	小池直己	岩波書店
213	ミッフィーはじめてのABCずかん にほんご えいご げんきのえほん	ディック・ブルーナ	講談社
214	毎日続ける! 英語リスニング 1 英検3級~準2級レベル	木村達哉	三省堂
215	毎日続ける! 英語リスニング 2 英検2級レベル	木村達哉	三省堂
216	TOEIC L&R TEST 5分間特急超集中リスニング	八島晶	朝日新聞出版
217	東アジア長期経済統計 7 金融	渡辺利夫, 拓殖大学アジア情報センター 徳原悟	勁草書房
218	産業連関表〈延長表〉 平成29年	経済産業調査会	経済産業調査会
219	企業と法をめぐる現代的課題 川濱昇先生・前田雅弘先生・洲崎博史先生・北村雅史先生還暦記念	齊藤真紀, 愛知靖之, 岡田昌浩, 河村尚志, 高橋陽一, 山口幸代, 山下徹哉, 和久井理子	商事法務
220	反緊縮の経済学	野口旭	東洋経済新報社
221	シリーズ「日本の開発協力史を問いなおす」 5 インフラ協力の歩み	山田順一	東京大学出版会
222	ピエロ・スラッファ 非主流の経済学者	松本有一	関西学院大学出版会

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
223	経済学辞典 新版	辻正次, 竹内信仁, 柳原光芳	中央経済社
224	貿易戦争は階級闘争である 格差と対立の隠された構造	マシュー・C・クレイン, マイケル・ペティス, 小坂恵理	みすず書房
225	EU法研究 第10号(2021/6)	中西優美子	信山社
226	コロナ禍の途上国と世界の変容 軋む国際秩序、分断、格差、貧困を考える	佐藤仁志	日経BP日本経済新聞出版本部
227	成長・連帯・持続可能性ー「豊かさ」の再考から 共通論題 経済社会学会年報 Vol. 43	経済社会学会	現代書館
228	シリーズ「日本の開発協力史を問いなおす」 1 日本型開発協力の形成	下村恭民	東京大学出版会
229	マクロ経済統計と構造分析 もう一つの国民経済勘定体系を求めて	辻村雅子, 辻村和佑	慶應義塾大学出版会
230	トランプ時代の世界経済 中央大学経済研究所研究叢書 76	吉見太洋	中央大学出版部
231	現代国際協力論 学融合による社会科学の試み	柳田辰雄	東信堂
232	マルクス晩年の歴史認識と21世紀社会主義	青柳和身	桜井書店
233	市場を創る バザールからネット取引まで 新版	ジョン・マクミラン, 瀧澤弘和, 木村友二	慶應義塾大学出版会
234	宗教の経済学 信仰は経済を発展させるのか	ロバート・J・バロー, レイチェル・M・マックリアリー, 田中健彦	慶應義塾大学出版会
235	水を招く	中山博喜	赤々舎
236	世界経済の歴史 グローバル経済史入門 第2版	金井雄一, 中西聡, 福澤直樹	名古屋大学出版会
237	天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い 英文版 JAPAN LIBRARY	中村哲, カール・フレーレ	出版文化産業振興財団
238	マクロ経済学入門 第2版 トリアーデ経済学 3	坂上智哉, 小葉武史	日本評論社
239	開発経済学入門 第2版 経済学叢書 Introduction	戸堂康之	新世社
240	合理的な経済人と風を読む投資家 時間の流れる市場が織りなす物語	亀川雅人	文眞堂
241	これからの東アジア 保護主義の台頭とメガFTAs	木村福成	文眞堂
242	バタイユ エコノミーと贈与 極限の思想 講談社選書メチエ le livre	佐々木雄大	講談社
243	ビジネス・エコノミクス 第2版 マネジメント・テキスト	伊藤元重	日経BP日本経済新聞出版本部
244	ミクロ経済学入門 第2版 トリアーデ経済学 2	金栄緑, 坂上紳	日本評論社
245	世界牛魔人 グローバル・ミノタウロス 米国、欧州、そして世界経済のゆくえ	ヤニス・バルファキス, 早川健治	那須里山舎
246	地球経済入門 人新世時代の世界をとらえる	妹尾裕彦, 田中綾一, 田島陽一	法律文化社
247	経済論叢 第192巻第2号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
248	経済論叢 第192巻第3号 成生達彦教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
249	経済論叢 第192巻第4号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
250	経済論叢 第193巻第1号 小島専孝教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
251	経済論叢 第193巻第2号 岡田知弘教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
252	経済論叢 第193巻第3号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
253	開発協力白書 2020年版 日本の国際協力	外務省	日経印刷

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
254	基礎から学ぶ実証分析 計量経済学のための確率と統計 経済学叢書 Introductory 別巻	丸茂幸平	新世社
255	経済論叢 第194巻第1号 宇仁宏幸教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
256	経済論叢 第194巻第2号 塩地洋教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
257	経済論叢 第195巻第1号 久本憲夫教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
258	経済論叢 第195巻第2号 徳賀芳弘教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
259	経済論叢 第195巻第3号 梶山泰生教授退職記念号	京都大学経済学会	京都大学経済学会
260	お金はどこへいった? 明日の仕事に使える経済小話 Next Publishing New Thinking and New Ways	大西秀亜	インプレスR&D
261	国際経済学へのいざないコンパクト 演習問題で学ぶ	友原章典	日本評論社
262	日本化におびえる世界 ポストコロナの経済の罨	太田康夫	日経BP日本経済新聞出版本部
263	経済財政白書 平成30年版 「白書」:今、Society 5.0の経済へ	内閣府	日経印刷
264	経済財政白書 令和元年版 「令和」新時代の日本経済	内閣府	日経印刷
265	CBT EREミクロ・マクロ経済学検定試験対策問題集	-	経済法令研究会
266	Japan in the World Economy An Introduction to International Economics	熊倉正修	大学教育出版
267	くらす、はたらく、経済のはなし 1 経済とお金のはじまり	山田博文, 赤池佳江子	大月書店
268	くらす、はたらく、経済のはなし 2 銀行の誕生と株式のしくみ	山田博文, 赤池佳江子	大月書店
269	くらす、はたらく、経済のはなし 3 会社のなりたちとはたらくルール	山田博文, 赤池佳江子	大月書店
270	くらす、はたらく、経済のはなし 4 経済のしくみと政府の財政	山田博文, 赤池佳江子	大月書店
271	くらす、はたらく、経済のはなし 5 経済の主人公はあなたです	山田博文, 赤池佳江子	大月書店
272	コロナ禍と世界経済 KINZAIバリュー叢書	田中理, 西濱徹, 桂畑誠治, 星野卓也	金融財政事情研究会
273	ビジネスデザインのための行動経済学ノート バイアスとナッジでユーザーの心理と行動をデザインする	中島亮太郎	翔泳社
274	教養としてのグローバル経済 新しい時代を生き抜く力を培うために	齊藤誠	有斐閣
275	金融メルトダウンが世界を襲う マネーと時間と心の一般理論	本間裕	社会評論社
276	国際協力と想像力 イメージと「現場」のせめぎ合い	松本悟, 佐藤仁	日本評論社
277	市場化時代の経済と安全保障 改訂増補版 叢書日本の安全保障 第5巻	関井裕二	内外出版
278	ERE経済学検定試験問題集 2018年12月受験用	-	経済法令研究会
279	ERE経済学検定試験問題集 2018年7月受験用	-	経済法令研究会
280	ERE経済学検定試験問題集 2019年12月受験用	-	経済法令研究会
281	ERE経済学検定試験問題集 2019年7月受験用	-	経済法令研究会

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
282	WEAK LINK コロナが明らかにしたグローバル経済の悪夢のような脆さ	竹森俊平	日経BP日本経済新聞出版本部
283	ケニアの陽光 野生生物との共生を目指して ポストコロナの海外ボランティア	中川宏治	子どもの未来社
284	海外で国際協力をしたい人のための活動ハンドブック 事前準備から、現地の暮らし、仕事、危機管理、帰国まで	岡本美代子	遠見書房
285	開発コンサルタントという仕事 国際協力の現場を駆けめぐる	笹尾隆二郎	日本評論社
286	記憶(とき)の居場所(すみか) エコノミストがみた日常	矢嶋康次	慶應義塾大学出版会
287	経済のトリセツ	山形浩生	亜紀書房
288	1ドル札の動きでわかる経済のしくみ	ダーシーニ・デイヴィッド, 花塚恵, 池上彰	かんき出版
289	なぜ「よ者」とつながることが最強なのか 生存戦略としてのネットワーク経済学入門	戸堂康之	プレジデント社
290	ネオ・エコノミー 世界の知性が挑む経済の謎	日本経済新聞社	日経BP日本経済新聞出版本部
291	経済財政白書 縮刷版 平成30年版 「白書」: 今、Society 5.0の経済へ	内閣府	日経印刷
292	経済財政白書 縮刷版 令和元年版 「令和」新時代の日本経済	内閣府	日経印刷
293	経済用語イラスト図鑑	鈴木一之	新星出版社
294	新型コロナウイルスは世界をどう変えたか 21世紀大不況で資本主義が崩壊する	増田悦佐	ビジネス社
295	マンガでわかる! 10歳からの「経済」のしくみ 改訂新版 まなぶっく	「子どもと経済」研究会, ササキマコト	メイツユニバーサルコンテンツ
296	21世紀型大恐慌 「アメリカ型経済システム」が変わるとき	山崎養世	PHP研究所
297	2020年世界大恐慌 資産家は恐慌時に生まれる	浅井隆	第二海援隊
298	30年分の経済ニュースが1時間で学べる	崔真淑	大和書房
299	お金のむこうに人がいる 元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが書いた予備知識の知らない経済新入門	田内学	ダイヤモンド社
300	この一冊でわかる世界経済の新常識 2021	熊谷亮丸, 大和総研	日経BP
301	コロナ後の世界経済 米中新冷戦と日本経済の復活!	エミン・ユルマズ	集英社
302	コロナ大不況生き残りマニュアル	浅井隆	第二海援隊
303	ポストコロナの資本主義 挑戦される国家・企業・通貨	岩村充	日経BP日本経済新聞出版本部
304	危機の時代 伝説の投資家が語る経済とマネーの未来	ジム・ロジャーズ	日経BP
305	図解でわかる経済の基本いちばん最初に読む本	遠山真人	アニモ出版
306	世界市場の形成 ちくま学芸文庫 マ49-1	松井透	筑摩書房
307	世界同時破産! 3割の企業と国が潰れる	浅井隆	第二海援隊
308	分断される世界経済 「闇の支配者」が目論むポスト・コロナ時代の新世界秩序	ベンジャミン・フルフォード	清談社Publi co
309	北欧式お金と経済がわかる本 12歳から考えたい9つのこと	グンヒル・J. エクルンド, 枇谷玲子, 氏家祥美	翔泳社
310	今さら聞けない! 経済のキホンが2時間で全部頭に入る	吉田泰史	ずばる舎
311	図解90分でわかる経済のしくみ 物価の決まりかたから仮想通貨まで	長瀬勝彦	ディスカヴァー・トゥエンティワン
312	日経新聞を「読む技術」「活用する技術」	山本博幸	ディスカヴァー・トゥエンティワン

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
313	入社前から先取り！日経新聞の読み方・活かし方 就活にもスタートダッシュにも 火曜日からはじめて14日間で完全マスター	大石泉	ずばる舎
314	新型コロナはいかに世界を変えたか？ COVID-19 エイムック 4651	-	柘出版社
315	世界と日本経済大予測2021 ECONOMIC RISKS TO BUSINESS AND INVESTMENT	渡邊哲也	PHP研究所
316	ジム・ロジャーズ大予測 激変する世界の見方	ジム・ロジャーズ, 花輪陽子・翻訳, アレックス・南レッドヘッド・翻訳	東洋経済新報社
317	大転換の時代 伝説の投資家が予言	ジム・ロジャーズ, 花輪陽子・翻訳, アレックス・南レッドヘッド・翻訳	プレジデント社
318	経済まるわかり デキる大人になるレシピ	大江英樹	日経HR
319	世界一受けたいお金の授業	和仁達也	三笠書房
320	産業革命史 イノベーションに見る国際秩序の変遷 ちくま新書 1609	郭四志	筑摩書房
321	がんばってるのになぜ僕らは豊かになれないのか	井上純一, 飯田泰之	KADOKAWA
322	図解明日を生きるための「資本論」 超・格差社会に持っておきたい武器 青春新書PLAY BOOKS P-1186	的場昭弘	青春出版社
323	キミのお金はどこに消えるのか 令和サバイバル編	井上純一, 飯田泰之	KADOKAWA
324	バングラデシュIT人材がもたらす日本の地方創生協力隊から産官学連携へとつながった新しい国際協力の形	狩野剛	佐伯印刷株式会社出版事業部
325	国際協力キャリアガイド 2020-21 世界をアップデートしよう	-	国際開発ジャーナル社
326	統合欧州の危うい「いま」 「中央」が失われた経済と右傾化する政治 詩想社新書 34	浜矩子	詩想社
327	お金まるわかり 一生お金に困らない大人になる マンガでわかる一生モノのちしきの宝箱 1	横山光昭, ニシノアポロ, 主婦の友社	主婦の友社
328	未完の資本主義 テクノロジーが変える経済の形と未来 PHP新書 1201	ポール・クルーグマン, トーマス・フリードマン, デヴィッド・グレーバー, トーマス・セドラチェック, タイラー・コーエン, ルトガー・ブレグマン,	PHP研究所
329	カルト化するマネーの新世界 元経済ヤクザが明かす「黒い経済」のニューノーマル 講談社+α新書 830-2C	猫組長	講談社
330	経済危機はいつまで続くか コロナ・ショックに揺れる世界と日本 平凡社新書 956	永濱利廣	平凡社
331	SDGsがひらくビジネス新時代 ちくま新書 1599	竹下隆一郎	筑摩書房
332	商業動態統計年報 2020年	経済産業調査会	経済産業調査会
333	ビジネス日本語における副詞の研究	呉雨	郵研社
334	「重要英単語と例文」で英文契約書の読み書きができる	本郷貴裕	中央経済社
335	ゼロからわかる電子契約の実務	鬼頭政人	中央経済社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
336	一橋商学論叢 Vol. 15 No. 2 (2020 November)	一橋商学会	白桃書房
337	電子契約導入ガイドブック 海外契約編	佐々木毅尚, 久保光太郎	商事法務
338	初歩からきちんと英文契約書 第2版	仲谷栄一郎	中央経済社
339	世界基準のビジネス英会話重要交渉戦略15パターン	竹村和浩, ビル・ベン フィールド	三修社
340	(通訳メソッド) で学ぶ状況・場面別ビジネス英会話	石黒弓美子, 新崎隆子	大修館書店
341	ネイティブ思考でしっかり伝わるビジネス英会話	チャールズ・マッケ ニー, 長尾和夫	三修社
342	英語で仕事をしたい人の必修14講	松崎久純	慶應義塾大学出版 会
343	日本人のためのインド英語入門 ことば・文化・慣習を知る ビジネスライターとリスニングで13億人とつながるインド英語を学ぶ	本名信行, SHARMA Anamika	三修社
344	英語で読むマーケティング	相島淑美	研究社
345	電子契約導入ガイドブック 国内契約編	高林淳, 商事法務	商事法務
346	日本人も外国人もケース学習で学ぼうビジネスコミュニケーション “異文化”トラブル解決のヒント!	金孝卿, 近藤彩, 池田玲 子	日経HR
347	英会話ペラペラビジネス100 ビジネス・コミュニケーションを成功に導く 世界に通用するパワーワーズ&フレーズを身につける! 改訂版	ステイブ・ソレイ シイ, ロビン・ソレイ シイ	アルク
348	究極のビジネス英語フレーズ Standard Vocabulary List 1-3 3000語レベルでネイティブ感覚をつかむ	Peter Brans combe, Owen Schaefer, Vi ctoria Wils on	アルク
349	知のビジネス英単語 いま、たくわえておきたいビジネスパーソンの知識と教養	成重寿	DHC
350	本当に役立つ英文ビジネスEメール 第2版	島村東世子	日刊工業新聞社
351	電子契約の教科書 基礎から導入事例まで 3訂版	宮内宏	日本法令
352	NFTの教科書 ビジネス・ブロックチェーン・法律・会計まで デジタルデータが資産になる未来	天羽健介, 増田雅史	朝日新聞出版
353	究極のビジネス英語リスニング Standard Vocabulary List 1-3 VOL. 1 改訂版 3000語レベルでアメリカ人と渡り合う	-	アルク
354	究極のビジネス英語リスニング Standard Vocabulary List 1-6 VOL. 2 改訂版 6000語レベルでライバル会社と戦う	-	アルク
355	即戦力がつくビジネス英会話 携帯版 基本から応用まで	日向清人	DHC
356	ビジネスデータを説明するための英語表現	長尾和夫, トーマス・ マーティン	DHC
357	稼げるビジネス英語 ビジネス英語を学べば英会話能力も向上する!	飯田健雄	IBCパブリッ シング
358	残念なビジネス英語 ひとつと変えれば、あなたの仕事はうまくいく	岡田兵吾	アルク
359	世界基準のビジネス英語表現 売上1000億円超! 海外営業のプロが教える	原一宏, Peter B ranscombe, M argaret Sta lker, Randal l Grace	アルク

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
360	おうちではじめるリモートビジネス入門 これからの時代の新しい起業のカタチ!	望月 高清	つた書房
361	テレワーク時代のメール術 評価される人は1通のメールで仕事が終わる	平野友朗	WAVE出版
362	英語で仕事をするようになったら読む本 初めてでも成功するための25のQ&A	マヤ・バーダマン, ジェームス・M・バーダマン	アルク
363	英語のWeb会議直前3時間の技術 「しごとのミニマム英語」シリーズ 7	柴山かつの, Paul Dorey, Peter Branscombe	アルク
364	英語はつながりで覚えよう 同時通訳者が教えるビジネス英語必須表現	関谷英里子	ディスカヴァー・トゥエンティワン
365	段取り上手のメール さくさく仕事が進む超速文章術	中川路亜紀	文藝春秋
366	チャット&メールの「ムダミス」がなくなるストレスフリー文章術	山口拓朗	KADOKAWA
367	ひとり副業で月13万円	みすと	ぱる出版
368	現代商業経営序説	松井温文	五紘舎
369	世界のビジネスシーンで使われている大人の「格上げ」英単語 講談社パワー・イングリッシュ	マヤ・バーダマン	講談社
370	超一流できる大人の語彙力	安田正	プレジデント社
371	頭がいい人のモノの言い方 デキる!と思われる45のフレーズ	齋藤孝	きずな出版
372	そのまま使える! ビジネスメール文例大全	平野友朗	ナツメ社
373	グローバル・タックス 国境を超える課税権力	諸富徹	岩波書店
374	コンテナ物語 増補改訂版	マルクレビンソン	日経BP社
375	図解即戦力物流業界のしくみとビジネスがこれ1冊でしっかりわかる教科書	ロジ・ソリューション株式会社	技術評論社
376	インバウンド業務入門	-	日本添乗サービス協会
377	絵で見る貿易のしくみ 改訂版	片山立志	日本能率協会マネジメントセンター
378	図解仕事の流れが一目でわかる! はじめての貿易実務	木村雅晴	ナツメ社
379	図解貿易実務ハンドブック ベーシック版	-	日本能率協会マネジメントセンター
380	貿易の実務と通信文	小城双平	-
381	通関士教科書 通関士 完全攻略ガイド 2018年版	笠原純一	翔泳社
382	通関士試験問題・解説集 平成29年度版	日本関税協会	日本関税協会
383	環太平洋パートナーシップ協定TPP	内閣官房TPP政府対策本部	日本国際問題研究所
384	環太平洋パートナーシップ協定(TPP) TPP12協定	-	信山社
385	日EU経済連携協定(EPA) 附属書	-	信山社
386	輸出令Q&A 改訂2版 化学実務者のためのガイドブック	輸出令Q&A編集委員会	化学工業日報社
387	日EU経済連携協定(EPA) / 日EU戦略的パートナーシップ協定(SPA)	-	信山社
388	輸出統計品目表 2022	-	日本関税協会
389	日英包括的経済連携協定(日英EPA) 1 協定本体	-	信山社
390	日米貿易協定/日米デジタル貿易協定	-	信山社
391	貿易物流実務マニュアル 増補改訂	石原伸志	成山堂書店
392	戦前期日豪通商問題と日豪貿易 1930年代の日豪羊毛貿易を中心に	秋谷紀男	日本経済評論社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
393	日英包括的経済連携協定〈日英EPA〉 2 附属書1	-	信山社
394	日英包括的経済連携協定〈日英EPA〉 3 附属書2・議定書	-	信山社
395	貿易自由化と規制権限 WTO法における均衡点	邵洪範	東京大学出版会
396	国際貿易紛争処理の法的課題	阿部克則	信山社
397	RCEPコンメンタール	-	日本関税協会
398	関税関係個別通達集 令和2年度版	-	日本関税協会
399	ポスト冷戦期アメリカの通商政策 自由貿易論と公正貿易論をめぐる対立	藤木剛康	ミネルヴァ書房
400	唐船法帖の研究	馬成芬	清文堂出版
401	貿易自由化と女性 WTOシステムに関するフェミニスト分析	近江美保	尚学社
402	実践国際取引業務ハンドブック IBA T国際取引業務検定Advanced Level公式テキスト	国際取引業務検定協会	三恵社
403	不公正貿易報告書 2020年版 WTO協定及び経済連携協定・投資協定から見た主要国の貿易政策	産業構造審議会	樹芸書房
404	日本の通商政策転換の政治経済学 FTA/TPPと国内政治	金ゼンマ	有信堂高文社
405	Shutdown : How Covid Shook the World's Economy	Tooze, Adam	Penguin Books Ltd
406	Winners and Losers : The Psychology of Foreign Trade (Princeton Studies in Political Behavior)	Mutz, Diana C.	Princeton Univ Pr
407	Navigating the Free Trade-Fair Trade Fault-Lines	Trebilcock, Michael	Edward Elgar Pub
408	日本の比較優位 国際貿易の変遷と源泉	清田耕造	慶應義塾大学出版会
409	China and the WTO : Why Multilateralism Still Matters	Mavroidis, Petros C. / Sapir, Andre	Princeton Univ Pr
410	途上国からみた「貿易と環境」 新しいシステム構築への模索	箭内彰子	アジア経済研究所
411	新・国際売買契約ハンドブック 第2版	住友商事株式会社法務部	有斐閣
412	貿易実務ハンドブック アドバンス版 第6版 「貿易実務検定」A級・B級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会	日本能率協会マネジメントセンター
413	China and Africa : The New Era	Large, Daniel	Polity Pr
414	関税〈品目〉分類詳解 2 第6部から第10部まで	宮崎千秋	日本関税協会
415	実践国際取引業務ハンドブック IBA T国際取引業務検定Basic Level公式テキスト	国際取引業務検定協会	三恵社
416	新・中国税関実務マニュアル 改訂増補版	岩見辰彦	成山堂書店
417	日・EU経済連携協定が意味するものは何か 新たなメガFTAへの挑戦と課題	長部重康	ミネルヴァ書房
418	日中貿易必携 2020 中国ビジネスの実用ガイドブック 特集：ポストコロナ危機の中国経済と経済政策の展望	-	日本国際貿易促進協会
419	貿易実務の基礎がわかる本 改訂4版	曾我しのぶ	シーアンドアール研究所
420	海外債権管理の実務ハンドブック	保阪賀津彦	中央経済社
421	図解貿易実務ハンドブック 第7版 ベーシック版 「貿易実務検定」C級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会	日本能率協会マネジメントセンター
422	体系流通論 新版第2版	田口冬樹	白桃書房
423	貿易実務検定C級合格ガイド 第3版	日本貿易実務検定協会	税務経理協会
424	コミットメント制度としてのEU 特惠的貿易協定の政治経済学	井上裕司	文理閣
425	貿易実務ガイドライン 初級編 第2版	寺尾秀雄	文眞堂

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
426	貿易電子化で変わる中小企業の海外進出 経営力強化支援法のファイナンス実務に不可欠!	中村中	中央経済社
427	貿易売買契約とリスク対応実務	大貫雅晴	同文館出版
428	「ポスト貿易自由化」時代の貿易ルール WTOと「メガFTA」	林正徳	農林統計出版
429	FTAの基礎と実践 賢く活用するための手引き	伊藤博敏	白水社
430	WTO FTA CPTPP 国際貿易・投資のルールを比較で学ぶ	飯野文	弘文堂
431	ココで差がつく!貿易・輸送・通関実務	春山利廣	成山堂書店
432	関税評価303 改訂8版 Q&A形式/関係法令・評価協定付	-	日本関税協会
433	基礎からの商業と流通 第4版	石川和男	中央経済社
434	米国通商政策リスクと対米投資・貿易	大木博巳	文眞堂
435	米州の貿易・開発と地域統合 新自由主義とポスト新自由主義を巡る相克	所康弘	法律文化社
436	保税ハンドブック 改訂8版	-	日本関税協会
437	貿易実務の基本と三国間貿易完全解説 第2版	中矢一虎	中央経済社
438	Outside the Box : How Globalization Changed from Moving Stuff to Spreading Ideas	Levinson, Marc	Princeton Univ Pr
439	メガFTA時代の新通商戦略 現状と課題	石川幸一	文眞堂
440	英文販売・代理店契約 第2版 その理論と実際	大貫雅晴	同文館出版
441	実践貿易実務 第12版	石川雅啓	日本貿易振興機構
442	Trade Wars Are Class Wars : How Rising Inequality Distorts the Global Economy and Threatens International Peace	Klein, Matthew C. / Pettis, Michael	Yale Univ Pr
443	FTAガイドブック 2014	梶田朗	ジェトロ
444	新貿易取引 改訂 基礎から最新情報まで	石原伸志	経済法令研究会
445	日本のTPP交渉参加の真実 その政策過程の解明	作山巧	文眞堂
446	日本の自由貿易協定 (FTA) の貿易創出効果	山ノ内健太	三菱経済研究所
447	不公正貿易報告書 2014年版 WTO協定及び経済連携協定・投資協定から見た主要国の貿易政策	産業構造審議会	進英プリント
448	流通政策入門 第4版 市場・政府・社会	渡辺達朗	中央経済社
449	TPPの期待と課題 アジア太平洋の新通商秩序	馬田啓一	文眞堂
450	環境物品交渉・貿易の経済分析 国際貿易の活用による環境効果の検証	日野道啓	文眞堂
451	基礎から学ぶ中国貿易実務	岩見辰彦	日本関税協会
452	基礎から学ぶ貿易実務 日英対訳	曾我しのぶ	日本関税協会
453	国際貿易 モデル構築から応用へ	多和田眞	名古屋大学出版会
454	詳解経済連携協定	渡邊頼純	日本経済評論社
455	詳細かつ明解ゼロからの貿易実務	寺尾秀雄	文眞堂
456	税関概説	青木一郎	日本関税協会
457	不公正貿易報告書 2013年版 WTO協定及び経済連携協定・投資協定から見た主要国の貿易政策	産業構造審議会	勝美印刷
458	FTA戦略の潮流 課題と展望	石川幸一	文眞堂
459	TPPと日本の決断 「決められない政治」からの脱却	石川幸一	文眞堂
460	TPPと農林業・国民生活	田代洋一	筑波書房
461	TPP協定の全体像と日本農業・米国批准問題	服部信司	農林統計協会
462	TPP交渉と日米協議 日本政府の対応とアメリカの動向	服部信司	農林統計協会
463	TPP米国の視点	トーマス カトウ	パブリック・ブレイン
464	新しい国際経済学 理論と実証から学ぶ	友原章典	ミネルヴァ書房

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
465	FTA/EPAでビジネスはどう変わるか メリットを活用する実務ガイド	FTAビジネス研究会	東洋経済新報社
466	WTO・FTA法入門 第2版 グローバル経済のルールを学ぶ	小林友彦	法律文化社
467	リンガー家秘録1868-1940 長崎居留地資料で明かすホーム・リンガー商会の盛衰記	ブライアン・バークガフニ	長崎文献社
468	関税〈品目〉分類詳解 1 通則及び品目表第1部から第5部まで	宮崎千秋	日本関税協会
469	2021～2022年版どこでもできる通関士選択式徹底対策	片山立志	日本能率協会
470	2021年度版 通関士試験の指針	-	日本関税協会
471	2021年版通関士試験合格ハンドブック	片山立志	日本能率協会
472	AEOハンドブック	-	日本関税協会
473	HSコードが誰でも簡単に素早く探せる HS商品インデックス 改訂版	-	日本関税協会
474	TPPコンメンタール	-	日本関税協会
475	新しい貿易実務の解説	石川雅啓	文眞堂
476	関税〈品目〉分類詳解 I	宮崎千秋	日本関税協会
477	関税〈品目〉分類詳解 II	宮崎千秋	日本関税協会
478	関税関係基本通達集 上巻下巻	-	日本関税協会
479	関税関係個別通達集 令和3年度版	-	日本関税協会
480	関税評価303 改訂8版	-	日本関税協会
481	関税六法 令和三年度版	-	日本関税協会
482	基礎から学ぶ貿易実務 日英対訳	曾我しのぶ	日本関税協会
483	国際取引の消費税Q&A 七訂版	上杉秀文	税務研究会出版局
484	国際貿易法入門 WTOとFTAの共存へ	関根豪政	ちくま新書
485	実行関税率表(付・輸入統計品目表) 2021	-	日本関税協会
486	新訂 特殊関税コンメンタール	-	日本関税協会
487	図解貿易実務ハンドブックアドバンス版「貿易実務検定」A級・B級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会	日本能率協会
488	図解貿易実務ハンドブックベーシック版「貿易実務検定」C級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会	日本能率協会
489	注釈モントリオール条約	藤田勝利・落合誠一・山下友信	有斐閣
490	通関士教科書 通関士過去問題集	ヒューマンアカデミー	翔泳社
491	通関士教科書 通関士完全攻略ガイド2021年版	ヒューマンアカデミー	翔泳社
492	通関士試験「通関実務」集中対策問題集第3版	ヒューマンアカデミー	翔泳社
493	通関士試験ゼロからの申告書 2021	-	日本関税協会
494	通関士試験補習シリーズ 関税評価ドリル2021	-	日本関税協会
495	通関士試験まるわかりノート2020	日本関税協会	日本関税協会
496	通関士試験まるわかりノート2021	-	日本関税協会
497	通関士試験問題・解説集 2021年度版	-	日本関税協会
498	日本貿易の現状2021	山本大介	日本貿易会
499	貿易と保険 実務マニュアル	石原伸志・土屋爲由・水落敬太郎・吉永恵一	成山堂書店
500	貿易用語事典 改訂第3版	石田貞夫・中村那詮	白桃書房
501	保税ハンドブック 改訂8版	-	日本関税協会
502	メガEPA時代の貿易と関税の基礎知識	片山立志	税務経理協会
503	輸出統計品目表 2021	-	日本関税協会
504	輸出入通関実務マニュアル	石原伸志・松岡正仁	成山堂書店
505	令和3年版 租税条約関係法規集	清文社	納税協会連合会
506	通関士試験補習シリーズ 計算問題ドリル2021	-	日本関税協会
507	貿易実務の基本と仕組みがよ〜くわかる本	布施 克彦	-
508	関税関係基本通達集	日本関税協会	-

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
509	関税六法	日本関税協会	-
510	図解 輸出と輸入の実務がよくわかる本	片山立志	-
511	EF 海外留学体験談	-	Education First
512	留学ジャーナル別冊 学生・社会人のための大学・大学院留学徹底ガイド	-	留学ジャーナル
513	宇宙への秘密の鍵	ルーシーホキング・ステューブンホーキング	岩崎書店
514	科学者と中国古典名言集	藤嶋昭・守屋洋	朝日学生新聞社
515	カラスの教科書	松原始	雷鳥社
516	グレートネイチャー生きものの不思議大図鑑	DK社	河出書房新社
517	最新情報をやさしく解説光触媒実験法	藤嶋昭	北野書店
518	人物でよみとく物理	田中幸	朝日学生新聞社
519	すごい科学者のアカン話	藤嶋昭	ナツメ社
520	星座を見つけよう	H. Aレイ	福音館書店
521	世界の科学者まるわかり図鑑	藤嶋昭	学研プラス
522	世界のふしぎ400	藤嶋昭	ナツメ社
523	小さな疑問から大きな発見へ！知的世界が広がる世の中の不思議400	藤嶋昭	ナツメ社
524	地球 その中をさぐる	加古里子	福音館書店
525	天皇皇后両陛下が受けた特別講義 講書始のご進講	川金正法	角川
526	人間	加古里子	福音館書店
527	万里の長城	加古里子	福音館書店
528	ビジュアル大百科元素と周期表	トムジャクソン	化学同人
529	開け！科学の扉①イベントで育つ科学の心	藤嶋昭	学研プラス
530	開け！科学の扉②ワクワクドキドキ科学がはじまる	藤嶋昭	学研プラス
531	開け！科学の扉③小さな発見大きな感動	藤嶋昭	学研プラス
532	開け！科学の扉④指導者が学ぶプログラムづくり	藤嶋昭	学研プラス
533	開け！科学の扉⑤幼児のための科学プログラム	藤嶋昭	学研プラス
534	開け！科学の扉⑥地域が育てる科学の芽	藤嶋昭	学研プラス
535	開け！科学の扉⑦中高生の科学の教室	藤嶋昭	学研プラス
536	開け！科学の扉⑧科学をもっとおもしろく	藤嶋昭	学研プラス
537	ピラミッド その歴史と科学	かこさとし	偕成社
538	もしも月が2つあったなら ありえたかもしれない地球への10の旅	ニールFカミンズ	東京書籍
539	やさしい科学者のことばと論語	藤嶋昭	朝日学生新聞社
540	理系のための中国古典名言集	藤嶋昭	朝日学生新聞社
541	レイチェル・カーゾン	ジンジャーワズワース	偕成社
542	「おいしさ」の錯覚 最新科学でわかった、美味の真実	チャールズ・スペンス	KADOKAWA
543	「聞く力」ことが最強の武器である	國武大紀	フォレスト出版
544	「論語」がわかれば日本がわかる	守屋淳	筑摩書房
545	A beautiful Mind	Sylvia Nasar	Simon&Schuster
546	Crefting Selves	Dorinne k. Kondo	The University of Chicago Press
547	Culuture and imperialism	Edward w. said	vintage
548	Everybody writes: Your go-to guide to creating ridiculously good content	Ann Handley	Wiley
549	FACTFULLNESS 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣	ハンスロスリング・オーラロスリング・アンナロスリングロランド	日経BP社
550	In Search of excellence	Thomas J. peters・Robert H. Waterman, JR	HarperCollins
551	Lean in: For graduates	Sheryl Sandberg	Knopf

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
552	Life along the Silk Road second Edition	Susan Whitfield	University of California Press
553	Rock, Paper, Scissors: Game theory in Everyday life	len Fisher	Basic Books
554	SDGs 危機の時代の羅針盤	南博・稲場雅紀	岩波書店
555	SDGsの実践 自治体・地域活性化編	村上周三・遠藤健太郎・藤野純一・佐藤真久・馬奈木俊介	事業構想大学院大学出版部
556	Shoe Dog: Amemoir by the creator of NIKE	Phil Knight	Simon&Schuster
557	sneaker wars	Barbara Smit	HarperCollins
558	Steve Jobs	Walter Isaacson	Abacus
559	The 7 habits of Highly effective people	Stephen R. Covey	Simon&Schuster
560	The art of strategy	Avinash k. dixit・barry J. Nalebuff	Norton
561	The art of war	John Minford	Penguin Classics
562	The Elements of Style	William Strunk Jr	Singer
563	The next 100 years: A forecast for the 21st Century	George Friedman	Anchor
564	The Tipping Point: How little things can make a big difference	Malcolm Gladwell	Back Boy Books
565	Thinking, fast and slow	Daniel Kahneman	Farrar, States and Giroux
566	一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書【経済編】	山崎圭一	S Bクリエイティブ
567	いちばん美しい世界の絶景遺産	尾崎憲和・葛西陽子	ナショナルジオグラフィック
568	遺伝子 健康長寿、容姿、才能まで秘密を解明！	NHKスペシャル「人体」取材班	講談社
569	犬が伝えたかったこと	三浦健太	サンクチュアリ出版
570	いまいちばん美しい日本の絶景	山口康夫	インプレス
571	海の世界地図	こどもくらぶ訳	丸善出版
572	お医者さんが薦める免疫力をあげるレシピ かんたん美味しくがん&ウイルス対策	大塚亮	三空出版
573	おもしろい！進化のふしぎ ざんねんないきもの事典	今泉忠明	高橋書店
574	おもしろい！進化のふしぎ 続ざんねんないきもの事典	今泉忠明	高橋書店
575	おもしろい！進化のふしぎ もっとざんねんないきもの事典	今泉忠明	高橋書店
576	科学捜査ケースファイル 難事件はいかにして解決されたか	ヴァルマクダーミド	化学同人
577	川島隆太教授の脳を鍛える大人の書写ドリル 俳句・短歌60日	川島隆太	くもん出版
578	感染症の世界史	石弘之	KADOKAWA
579	危機と人類(下)	ジャレド・ダイヤモンド	日本経済出版社
580	危機と人類(上)	ジャレド・ダイヤモンド	日本経済出版社
581	教養として知っておきたい「宗教」で読み解く世界史	宇山貞栄	日本実業出版社
582	公立高校教師YouTuberが書いた一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書	山崎圭一	S Bクリエイティブ
583	国際政治史 主権国家体系のあゆみ	小川浩之・板橋拓己・青の利彦	有斐閣
584	コミュニケーションの教科書	朝倉千恵子	フォレスト出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
585	こんな会社で働きたいSDGs編	クロスメディアHR総合研究所	クロスメディア・パブリッシング
586	最高の戦略教科書 孫子	守屋淳	日本経済出版社
587	最新科学の常識がわかる本	科学雑学研究倶楽部	ワン・パブリッシング
588	地震・火山や生物でわかる地球の科学	松田准一	大阪大学出版会
589	実践スタンフォード式デザイン思考	ジャスパー・ウ	インプレス
590	失敗だらけの人類史 英雄たちの残念な決断	ステファンウェイア	日経ナショナルジオグラフィック
591	銃・病原菌・鉄 上	ジャレドダイヤモンド	草思社
592	神学の技法 キリスト教は役に立つ	佐藤優	平凡社
593	数学が好きになる数の物語100話	コリンスチュアート	ニュートンプレス
594	図解 教養事典数学 INSTANT Mathematics	ポールパーソンズ・ゲイルディクソン	ニュートンプレス
595	世界文化遺産の思想	西村幸夫・本中眞	東京大学出版会
596	戦後国際関係史 二極化世界から混迷の時代へ	モーリスヴァイス	慶応義塾大学出版会
597	空のふしぎがすべてわかる! すごすぎる天気の本	荒木健太郎	KADOKAWA
598	中東テロリズムは終わらない イラク戦争以後の混迷の源流	村瀬健介	KADOKAWA
599	東大教授の考え続ける力がつく思考習慣	西成活裕	あさ出版
600	ドーナツを穴だけ残して食べる方法	大阪大学ショセキカプロジェクト=編	日本経済出版社
601	夏井いつきの世界一わかりやすい俳句の授業	夏井いつき	PHP研究所
602	日中関係史1500年の交流から読むアジアの未来	エズラ・F・ヴォーゲル	日本経済出版社
603	日本の伝統 発酵の科学	中島春紫	講談社
604	微分積分のすべてがわかる本	科学雑学研究倶楽部	ワン・パブリッシング
605	風味は不思議 多感覚と「おいしい」の科学	ボブホルムズ	原書房
606	ポスト・コロナ 業界の未来	アクセンチュア	日本経済出版社
607	本当の知性を見につけるための中国古典	守屋淳	PHP研究所
608	マッキンゼーが読み解く食と農の未来	アンドレ・アンドニアン / 川西剛史 / 山田唯人	日本経済出版社
609	身の回りを数学で説明する事典	コリンベバリッジ	ニュートンプレス
610	ミミズによる腐植土の形成	ダーウィン	光文社
611	ミュシャ パリの花、スラヴの魂	小野尚子・本橋弥生・阿部賢一・鹿島茂	新潮社
612	女神信仰と日本神話	吉田敦彦	青土社
613	量子論のすべてがわかる本	科学雑学研究倶楽部	ワン・パブリッシング
614	ルノワールへの招待	首藤由之	朝日新聞出版
615	六人の嘘つきな大学生	浅草秋成	KADOKAWA
616	ロボット 職を奪うか、相棒か	ジョンジョーダン	日本評論社
617	若い読者のための文学史	ジョンサザーランド	ずばる舎
618	真訳シェイクスピア四大悲劇	ウィリアムシェイクスピア	河出書房新社
619	The Code Breaker : Jennifer Doudna, Gene Editing, and the Future of the Human Race	Isaacson, Walter	Simon & Schuster
620	Twelve Caesars : Images of Power from the Ancient World to the Modern	Beard, Mary	Princeton Univ Pr
621	Great Cities: The Stories Behind the World's most Fascinating Places	DK	Dorling Kindersley

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
622	Home in the World : A Memoir -- Hardback	Sen, Amartya, Fba	Penguin Books Ltd
623	New Map : Energy, Climate, and the Clash of Nations	Yergin, Daniel	Penguin Books Ltd
624	Britain Alone : The Path from Suez to Brexit	Stephens, Philip	Faber & Faber
625	In Pursuit of the Perfect Portfolio : The Stories, Voices, and Key Insights of the Pioneers Who Shaped the Way We Invest	Lo, Andrew W. / Foerster, Stephen R.	Princeton Univ Pr
626	Atlas of Ai : Power, Politics, and the Planetary Costs of Artificial Intelligence	Crawford, Kate	Yale Univ Pr
627	How to Avoid a Climate Disaster : The Solutions We Have and the Breakthroughs We Need	Gates, Bill	Penguin Books Ltd
628	Geopolitics for the End Time : From the Pandemic to the Climate Crisis	Macaes, Bruno	C Hurst & Co Publishers Ltd
629	The Future of Real Estate : What's Next after New Tech and Covid-19?	Ku, Swee Yong	Marshall Cavendish Business
630	Effortless: Make It Easy to Do What Matters	McKeown, Greg	Currency
631	Boy, the Mole, the Fox and the Horse	Mackesy, Charlie	Ebury Publishing
632	Shutdown -- Paperback	Tooze, Adam	Penguin Books Ltd
633	Digital Body Language: How to Build Trust and Connection, No Matter the Distance	Dhawan, Erica	HarperCollins Publishers Ltd
634	Jerusalem : The Biography	Montefiore, Simon Sebag	Orion Publishing Co
635	Power of Geography : Ten Maps That Reveal the Future of Our World	Marshall, Tim	Elliott & Thompson Limited
636	Short History of Humanity	Krause, Johannes / Trappe, Thomas	Ebury Publishing
637	Thinking Better	Sautoy, Marcus du	Harpercollins Publishers
638	The Power of Ignorance : How Creative Solutions Emerge When We Admit What We Don't Know	Trott Dave	Harriman House Pub
639	Growth : From Microorganisms to Megacities	Smil, Vaclav	Mit Pr
640	Investing in the Covid Era	Tiruchelvam, Nirgunan	Marshall Cavendish Business
641	The 7 Habits of Highly Effective People	Covey, Stephen R. / Covey, Sean / Collins, Jim (FRW)	Simon & Schuster
642	Future Skill	Polonen, Perttu / Owen, Witesman F. (TRN)	Viva Editions
643	Story of China	Wood, Michael	Simon & Schuster Ltd
644	The Mediterranean in History	Abulafia, David (EDT) / Rackham, Oliver (TXT)	Thames & Hudson Ltd
645	The World : A Brief Introduction	Haass, Richard	Penguin Group USA
646	Opportunity : Sieze the Day, Win at Life	Moore, Rob	Teach Yourself
647	The Great Journeys in History	Hanbury-Tenison, Robin (EDT)	Thames & Hudson
648	How to Save Our Planet : The Facts	Maslin, Mark A.	Penguin Life

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
649	Head Hand Heart: The Struggle for Dignity and Status in the 21st Century	Goodhart, David	Penguin Books Ltd
650	Sway : Unravelling Unconscious Bias	Agarwal, Pragya	Bloomsbury Sigma
651	The Polymath : A Cultural History from Leonardo Da Vinci to Susan Sontag	Burke, Peter	Yale Univ Pr
652	Elizabethans : A History of How Modern Britain Was Forged	Marr, Andrew	William Collins & Sons Ltd
653	How Spies Think : Ten Lessons in Intelligence	Omand, David	Penguin Uk
654	How to Make the World Add Up: Ten Rules for Thinking Differently About Numbers	Harford, Tim	The Bridge Street Press
655	Humankind : A Hopeful History --	Bregman, Rutger	Bloomsbury Publishing Plc
656	No Filter : The inside Story of Instagram	Frier, Sarah	Cornerstone
657	The Future We Choose : 'everyone should read this book' Matt Haig	Figueres, Christiana/ Rivett-carnac, Tom	Bonnier Books Ltd
658	The Practice of Not Thinking: A Guide to Mindful Living	Koike, Ryunosuke	Penguin Books Ltd
659	Do It Like a Woman : And Change the World	Criado-perez, Caroline	Granta Books
660	Climate Change (Wired guides) : How We Can Get to Carbon Zero	Nogrady, Bianca/ Wired	Cornerstone (
661	Two Lost Mountains : The Brand New Jack West Thriller (Jack West Series)	Reilly, Matthew	Orion Publishing Co
662	[オンデマンド版] 教師論	米山弘	玉川大学出版部
663	2021年版 くらしの豆知識	港区立消費者センター	独立行政法人国民生活センター
664	BEAUTIFUL Wedding Crafts	Heidi Tyline King & Nancy Worrell	LARK BOOKS
665	creative Wedding keepsakes you can make	Terry L. Rye&Laurel Tudor	BETTERWAY BOOKS
666	HANDCRAFTED Weddings	-	CREATIVE PUBLISHING international
667	OLのための冠婚葬祭ブック	-	フレール館
668	PORTUGUES	Emma Eberlein O. F. Lima Samira A. lunes	E. P. U
669	宇宙の謎に迫る	太田猛彦・藤嶋照	学研プラス
670	美しく見せておいしく食べるテーブルマナー	田中節男	ナツメ社
671	エチオピアからの手紙	南木佳士	文春文庫
672	縁遇恩師-藤嶋研から飛び立った中国の英才たち-	藤嶋昭	中国総合研究交流センター
673	開館記念誌 ここで これから 語りあう川崎の歴史と文化	東海道かわさき宿交流館	-
674	改訂版 人格心理学	鈴木乙史/佐々木正宏	日本放送出版協会
675	学長リーダーシップの条件	両角亜希子	東信堂
676	冠婚葬祭入門 いざというとき恥をかかないために	塩月弥栄子	光文社
677	簡単に人に感銘を与える上手な式辞・挨拶の仕方	望月昭三	日本文芸社
678	聞き語りシリーズ リーダーが紡ぐ大学士① 文化学園大学 大沼淳	平山一城	悠光堂
679	教育機会確保法の誕生 子供が安心して学び育つ	フリースクール全国ネットワーク・多様な学び保障法を実現する会	東京シューレ出版
680	郷土を愛する心 社会奉仕に生涯を	斉藤 文夫	神奈川新聞社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
681	クリティカルシンキング入門編	E. B. ゼックミスタ J. E. ジョンソン	北大路書房
682	グローバル社会で生き抜ける子どもに 育てる方法	松久保朱美	現代書林
683	ゲシュタルト療法 その理論と実際	F. S. パールズ	ナカニシヤ出版
684	健康な人格 人間の可能性と七つのモデル	D・シュルツ著/上田吉一監訳	川島書店
685	心の持ち方と上手なことばの表現法	松永洋忠	神奈川新聞社
686	こころの病がわかる辞典	人見一彦	朱鷺書房
687	コスモポリタンになろう	マンリオカデロ	日本加除出版
688	サンマリノ共和国	ジュゼッペロッシ	日商データバンク
689	司会じょうずにこなせる実例百科	辻大樹	池田書店
690	司会進行 コツと実例集	神坂恵理子	西東社
691	しぐさ・ふるまいでわかる相手の心理	渋谷昌三	日本実業出版社
692	仕事で使える心理学	榎本博明	日経文庫
693	自然災害 そのメカニズムに学ぶ	太田猛彦・藤嶋昭	学研プラス
694	始動！江戸城天守閣再建計画	松沢成文	ワニブックス
695	自分を躍動させる本 -愛と汗の人間教育-	山口 彰	日本法令
696	常識として知っておきたい日本語	柴田武	幻冬舎
697	詳説 世界史研究	木下康彦 木村靖二 吉田寅	山川出版社
698	図解雑学機械のしくみ	大矢浩史	ナツメ社
699	世界が感動する日本の「当たり前」	マンリオカデロ	小学館
700	世界のパワーシフトとアジア	朱建榮	花伝社
701	世界白地図	-	JTB総合研究所
702	続々冠婚葬祭入門 親族・地域社会・職場のしきたり390	塩月弥栄子	光文社
703	第一人者が明かす光触媒のすべて	-	ダイヤモンド社
704	大学院大学編入学 社会人入試の小論文 [改訂版]	吉岡友治	実務教育出版
705	太平洋戦争と日系アメリカ人の軌跡	吉浜精一郎	芙蓉書房出版
706	だから日本は世界から尊敬される	マンリオカデロ	小学館
707	楽しい学びの園で	認定NPO法人かわさき市民アカデミー	認定NPO法人かわさき市民アカデミー
708	誰にも聞けない公式の場での挨拶	鎌田勝・本多勇	池田書店
709	誰も教えてくれない 一人前の受け答えと話し方	村岡正雄	日本実業出版社
710	人間関係入門 いきいきした人生のために	安藤延男	ナカニシヤ出版
711	パラサイト社会のゆくえ	山田昌弘	ちくま新書
712	人もお金も引き寄せる 伝え方の魔法	安達元一	すばる舎リンクージ
713	ファーストレディのスピーチ ミシェル・オバマ夫人が語る家庭・夫・アメリカ	監修 クリス岡崎 翻訳 渡邊玲子	角川学芸出版
714	平安女学院大学の奇跡	山岡景一郎	PHP研究所
715	ホテル・旅館の経営者から次世代へおくる熱いメッセージ	-	オータパブリケーションズ
716	元CA訓練部長が書いた日本で一番やさしく、ふかく、おもしろいホスピタリティの本	-	中村真典
717	問題な日本語番外 かなり役立つ日本語ドリル	北原保雄	大修館書店
718	文部科学省後援 色彩検定 公式テキスト3級編	-	株式会社A・F・T企画
719	臨床心理学	馬場謙一	弘文堂
720	ロンアンの蓮華 日本人になったベトナム青年の物語	三城久男	七草書房
721	ワールドガイド オランダ、ベルギー、ルクセンブルク	-	JTBパブリッシング

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
722	今がわかる時代がわかる世界地図 2017年版 巻頭特集: 地政学で読み解く最新世界情勢	成美堂出版編集部	成美堂出版
723	論語の人間学	守屋洋	プレジデント社
724	4万号の遺伝子 下 神奈川新聞120年	神奈川新聞社	神奈川新聞社
725	4万号の遺伝子 上 神奈川新聞120年	神奈川新聞社	神奈川新聞社
726	基礎日本語辞典	森田 良行	-
727	国際文化交流名言集	国際文化フォーラム編	-
728	質問力/話し上手はここがちがう	筑摩書房	-
729	社会人になるということ	山藤賢	-
730	諸外国の学校教育 アジア・オセアニア・アフリカ編	文部省編	-
731	速読法	佐藤 泰正	-
732	正しい言葉づかいのための 似た言葉 使い分け事典	類語研究会編	-
733	日本語の成立	安本美典	-
734	読むだけ小論文 ①入門編	樋口 裕一	-
735	読むだけ小論文 ②応用編	樋口 裕一	-
736	ライシャワーの日本史	エドウィン・O・ライシャ ワー	-
737	新・外国人が日本人によく聞く100の質問	秋山宣夫/秋山キャロル	-
738	もしも・・・あなたが外国人に「日本語を教える」と したら	荒川 洋平	-
739	これが週刊こどもニュースだ	池上 彰	-
740	知らないと恥をかく世界の大問題 2	池上 彰	-
741	伝える力	池上 彰	-
742	川崎空襲 戦災の記録	川崎市	-
743	かわさき百年企業	川崎商工会議所	-
744	かなり役立つ日本語ドリル	北原保雄	-
745	人間国宝シリーズ - 10 森口華弘 友禅	講談社 人間国宝シリー ズ	-
746	フランス革命小史	河野健二	-
747	グローバル時代の武道 -比較文化論的考察とグローバ ル化に向けての課題-	国際武道大学附属 武 道・スポーツ科学研究所	-
748	手紙・ハガキ・FAX・メール・一筆箋 ビジネス文書書き方使 い方	国分 浩太郎	-
749	西洋の美術 その空間表現の流れ	国立西洋美術館	-
750	ことばの意味 3 辞書に書いてないこと	國廣哲彌 編	-
751	7日のできる! 一問一答 一般常識頻出問題集	小林公夫	-
752	全国専修学校総覧 × 2	財団法人 専修学校教育 振興会	-
753	三色ボールペンで読む日本語	齊藤孝	-
754	常識として知っておきたい日本語	柴田 武	-
755	ことばの意味 2 辞書に書いてないこと	柴田武 編	-
756	縄文 2 0 号	特定非営利活動法人国際 縄文学協会	-
757	縄文 2 1 号	特定非営利活動法人国際 縄文学協会	-
758	縄文 2 3 号	特定非営利活動法人国際 縄文学協会	-
759	もうダメだ...と思ったときから始まる就活大逆転術	戸山 孝	-
760	知っておきたい日本の教育! 帰国便利帳	Y's publishing co. ltd.	-
761	日本語教育学を学ぶ人のために	青木直子/尾崎明人/土岐 哲	-
762	東京大学建築学科難波研究室	安藤 忠雄	-
763	話し方・聞き方のビジネスマナー	唐沢明	-

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
764	社会学への招待	倉沢進/川本勝	-
765	データでみる県勢	公益財団法人 矢野恒太 記念会	-
766	厚生保護法人川崎自立会70周年記念誌 地域と共に 生きる	厚生保護法人	-
767	すぐに使える実践日本語シリーズ4 副詞(上級)	小山恵美子/渡部撰	-
768	苦情対応実践マニュアル	関根 真一	-
769	新教育産業	千葉誠一	-
770	一問一答一般常識頻出1500問	-	-
771	今すぐ話せる!いちばんはじめのフランス語単語	倉方秀憲	東進ブックス
772	しっかり学ぶスペイン語文法と練習問題	桜庭雅子・貫井一美	ペレ出版
773	英語の「なぜ?」に答えるはじめての英語史	堀田隆一	研究所
774	スペリングの英語史	サイモンホロビン	早川書房
775	同時通訳者が教えるビジネスパーソン of 英単語張 エッセンシャル	関谷英里子	ディスカヴァー・ トゥエンティワン
776	ネイティブがネットで使っている英語	Nicholas Woo	ペレ出版
777	No Rules Rules -- Paperback (English Language Edition)	Hastings, Reed/ Meyer, Erin	Ebury Publishing
778	Think Again -- Paperback (English Language Edition)	Grant, Adam	Ebury Publishing
779	20日間完成TOEICテスト文法特訓プログラム	白野伊津夫	アルク
780	2カ月で攻略 新TOEICテスト730点!	横本勝也 早川幸治	アルク
781	2か月で攻略 新TOEICテスト730点!	横本勝也/早川幸治 共著	アルク
782	7日間完成 英検準2級予想問題ドリル	-	-
783	Be Brave! 直前対策英検4級	-	東京書籍
784	Better English Pronunciation NEW EDITION	-	CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS
785	Big Steps to Pass STEP Tests 英検3級合格セミナー 筆記・リスニング・面接	-	旺文社
786	Building TOEIC Skills	Andrea Janzen	Seed Learning
787	Business Grammar Intermediate	Bourke and Maris	OXFORD UNIVERSITY PRESS
788	Dr. コーパス直伝:ボキャブラリーの攻め方	投野由紀夫	アルク
789	E-MAIL:A WRITE IT WELL GUIDE	Janis Fisher Chan	Wiw Write it Well
790	English Booster!	Robert Hickiling Yasuhiro Ichikawa	KINSEIDO
791	English for Everyday Activities	Kawrence J. Zwier	Compass Publishing
792	English Pronunciation in Use(Audio CDs)	Mark Hancock	CAMBRIDGE
793	english Vocabulary in Use Elementary	-	Cambridge
794	GETTING (MORE OF) WHAT YOU WANT	MARGARET A. NEALE AND THOMAS Z. LYS	BASIC BOOKS
795	L. A. Hill WORD POWER 1500 Answer Key and Example Sentences	-	OXFORD UNIVERSITY PRESS
796	Listen In Student Second Edition Book2	David Nunan	THOMSON HEINLE
797	LONGMAN PREPARATION SERIES FOR THE TOEIC TEST WITH ANSWER KEY ADVANCED COURSE 5TH EDITION	Lin Lougheed	PEARSON
798	New English Elementary Student's Book	-	OXFORD
799	New English Elementary workbook	-	OXFORD
800	New English File pre-intermediate Student's Book	-	OXFORD
801	New English File pre-intermediate workbook	-	OXFORD

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
802	Open Forum 2	Angera Blackwell Therese Naber	OXFORD
803	Over the TOEIC Bridge TEST	Atsushi Mizumoto/Mark D. Stafford	Kirihara Shoten
804	Oxford Collocations dictionary for students of English	-	OXFORD ENGLISH
805	PASSPORT	Angela Buckingham Norman Whitney	OXFORD
806	Power Listening -New Basics in Listening	-	ピアソン・エデュ ケーション
807	Step-by-Step Prep for the TOEIC TEST Step1 Basic course	鈴木希明 辰巳友昭 小山 克明	ALC
808	Step-by-Step Prep for the TOEIC TEST Step2 Intermediate course	鈴木希明 辰巳友昭 小山 克明	ALC
809	Step-by-Step Prep for the TOEIC TEST Step3 Advanced course	ヒロ前田 小山克明 早 川幸治 横本勝也	アルク
810	SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1	Atsushi Mizumoto/Mark D. Stafford	Kirihara Shoten
811	SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 2	Atsushi Mizumoto/Mark D. Stafford	Kirihara Shoten
812	SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 3	Atsushi Mizumoto/Mark D. Stafford	Kirihara Shoten
813	The STEP Test in Practical English Proficiency 【英検】文で覚えるプラス単熟語 CD 2級DISK1 第1章	-	-
814	The STEP Test in Practical English Proficiency 【英検】文で覚えるプラス単熟語 CD 2級DISK3 第2章 第3章 トピック9 1 3	-	-
815	TOEIC Anallyst Second Edition	Anne Taylor	Compass Publishing
816	TOEIC TEST 全パート完全攻略	石井辰哉	アルク
817	TOEIC TEST リーディングベーシックマス ター	成重寿 V i c k i G l a s s	Jリサーチ出版
818	TOEIC新公式問題集 Vol.3	-	国際ビジネスコ ミュニケーション 協会
819	TOEICテスト620点攻略本	P a r k Deuk-Woo Choi Byong-Gil	旺文社
820	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー	-	一般財団法人国際 ビジネスコミュニ ケーション協会
821	TOEICテスト文法/語法・リーディング730点	-	旺文社
822	Vocabulary in practice 1	-	CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS
823	W r i t i n g from Within	-	CAMBRIDGE
824	青山学院大の英語	長谷博之	教学社
825	英検 文で覚える単熟語準2級	-	旺文社
826	英検2級 必須単・熟語2000カセット	-	Obunsha
827	英検合格3級 必須単・熟語1400 カセットテープ	-	Eikyo
828	英検合格準1級 必須単・熟語2300 カセットテープ	-	Eikyo
829	英検合格トレーニングセンター 英検合格指導プログラ ム	-	日本英語協会
830	英検合格トレーニングセンター 英検合格指導プログラ ム 2級 ワークシート	-	日本英語教育協会

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
831	英検合格トレーニングセンター 英検合格指導プログラム 準2級 ワークシート	-	日本英語教育協会
832	英検合格トレーニングセンター英検合格指導プログラム2級 指導マニュアル	-	日本英語教育協会
833	英検合格トレーニングセンター英検合格指導プログラム2級 テキスト (別冊有り 1部解答、模擬テスト1部)	-	日本英語教育協会
834	英検合格トレーニングセンター英検合格指導プログラム2級 ワークシート 別冊有り(解答集1部、CD2枚)	-	日本英語教育協会
835	英検合格ハイパープログラム 回答・解説	-	日本英語協会
836	英検合格ハイパープログラム 準1級 テキスト	-	日本英語協会
837	英検準2級文で覚える単熟語	-	旺文社
838	英検トレーニングセンター英検合格指導プログラム2級 学習者用DISK 1 DISK 2	-	日本英語教育協会
839	英語応対能力検定公認教材 とにかくにとこと まちかど英会話	-	旺文社
840	英語面白ゼミナール 爆笑ウンチク満載号	トミー植松	実業之日本社
841	英語スピーチ虎の巻	トミー植松	毎日新聞社
842	英語でSNSトーク	Nicholas Woo	ベレ出版
843	韓国語基本単語プラス2000	金東漢	GOKEN
844	漢字読み書きトレーニング 2000年度版	-	一ツ橋書店
845	基礎中国語会話 改訂版	康玉華・王徳珮	東方書店
846	基礎中国語会話 [全25課]	康玉華・王徳珮	東方書店
847	究極の英語スピーキングVol.1	-	アルク
848	これを英語で言えますか?	講談社インターナショナル [編]	講談社
849	サービス接客検定2級受験ガイド	-	早稲田教育出版
850	システム英単語	霜康司/刀祢雅彦	駿台文庫
851	実用中国語会話	林芳	白水社
852	新 TOEIC TESTスピードマスター完全模試 問題	ビッキー・グラス	Jリサーチ出版
853	新 TOEIC TEST 英単語 できるとこだけ!	小石裕子	アルク
854	新TOEIC形式で読む総合英語	寺西雅之/パトリックドゥーティ	南雲堂
855	新TOEICテスト 1週間でやりとげる英文法	安河内哲也	中経出版
856	新TOEICテスト「直前」模試3回分	ロバート・ヒルキ/ポール・ワーデン/ヒロ前田	アルク
857	新 TOEIC TEST 470点攻略本	-	旺文社
858	新TOEICテストはじめての解答技術	ヒロ前田	アルク
859	新装版まるごと使える仕事英会話ミニフレーズ	細井京子 松岡昇 Burton C. Turner	アルク
860	新明解漢和辞典	長澤規矩也	三省堂
861	新明解国語辞典	金田一京介	三省堂
862	新リトル英和和英辞典	研究社辞書編集部編	研究社
863	すぐに書ける やさしい英文手紙文例集	田辺洋二	池田書店
864	そのまま使える英文レター かんたん実例集	喜田英屋	高橋書店
865	中央大の英語	濱村千賀子	教学社
866	中学英語で通訳ができる	-	ジャパンタイムズ
867	中国語基礎会話	香坂順一	光生館
868	東北大の英語 15カ年	濱村千賀子	教学社
869	日常会話の英語ディスカッション	Nicholas Woo	ベレ出版
870	ネイティブならこう書くこう返すEメール英語表現	Nicholas Woo	ベレ出版
871	貿易実務検定 B級試験問題集 第2版	日本貿易実務検定協会編	MHJ出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
872	貿易実務検定 C級試験問題集 第2版	日本貿易実務検定協会編	MHJ出版
873	法政大の英語	久米芳之	教学社
874	ユーモア英語表現法	トミー植松	玉川大学出版部
875	レストランの実務英会話	ホテルニューオータニ研修課 編	-
876	早稲田大学国際教養学部	-	教学社
877	早稲田の英語	武知千津子	教学社
878	900点突破！TOEICテスト リーディング完全制覇	ジャパンタイムズ&コミュニケーション英語研究所	-
879	A Dictionary of SLANG	ERIC PARTRIDGE	-
880	ACTIVE Skills for Reading:Book1	Neil J. Anderson	-
881	ACTIVE Skills for Reading:Book3	Neil J. Anderson	-
882	BARRON'S PRACTICE EXERCISES FOR THE TOEFL	BARRON'S EDUCATIONAL SERIES	-
883	BARRON'S The Leader in Test Preparation GRE	BARRON'S EDUCATIONAL SERIES	-
884	COLLEGE LIGHTHOUSE JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY	研究社	-
885	Communication in SIMPLE ENGLISH	Kazuko Morita他	-
886	CONTEMPORARY TOPICS THIRD EDITION	David Peglar/Neil Murray	-
887	DELTA'S Key to the TOEFL Test	Nancy Gallagher	-
888	ESSENTIAL WORDS FOR THE GRE	BARRON'S EDUCATIONAL SERIES	-
889	GMAT 10 practice tests	McGraw-Hill's	-
890	GRE EXAM COURSE BOOK	KAPLAN	-
891	GRE EXAM MATH WORKBOOK	KAPLAN	-
892	GRE Workbook	KAPLAN	-
893	GREEN LIGHTHOUSE ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY	研究社	-
894	HOW TO PREPARE FOR THE TOEFL ESSAY	BARRON'S EDUCATIONAL SERIES	-
895	INTENSIVE COURSE IN ENGLISH ADVANCED, 1	ENGLISH LANGUAGE SERVICES	-
896	LIVING ENGLISH SPEECH	W. STANNARD ALLEN	-
897	Make Your Point! Debate for ESL/EFL Students	Michael H. Lubetsky	-
898	MY FIRST STEP IN BEAUTIFUL KOREAN (Japanese)	Korean School	-
899	MY FIRST STEP IN BEAUTIFUL KOREAN (Korean)	Korean School	-
900	NHK 英語でしゃべらナイト	主婦の友社	-
901	Practicing to Take the GRE	ETS	-
902	Preparation Course for the TOEFL Test	DEBORAH PHILLIPS/LONGMAN	-
903	PRIME ENGLISH-KOREAN DICTIONARY	DONG-A	-
904	Reading Images The Grammar of Visual Design	Gunther Kress/Theo van Leeuwen	-
905	READING STRUCTURE AND STRATEGY2	Kyo Yanaura	-
906	SELECT READINGS Intermediate	Linda Lee/Erik Gundersen	-
907	SELECT READINGS Preintermediate	Linda Lee/Erik Gundersen	-
908	The Official Guide to the NEW TOEFL iBT	ETS	-
909	TIME The Book of Synonyms and Antonyms	The TIME Essential Reference Set	-

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
910	TIME The Dictionary of Good English	The TIME Essential Reference Set	-
911	TOEFLテスト英単語3800	神部 孝	-
912	TOEIC OFFICIAL TEST-PREPARATION GUIDE	ETS	-
913	TOEIC TEST 英文法・語法 問題集	安河内哲也・魚水憲	-
914	TOEIC公式ガイド&問題集	TOEIC運営委員会	-
915	TOEICテスト600点をめざす英語力アップ・トレーニング	DAISO	-
916	イタリア語小辞典	大学書林	-
917	英会話ペラペラ練習帳	ステイブ・ソレイシイ &ロビン・ソレイシイ	-
918	英語スタイルブック	廣渡 太郎	-
919	英語スピーキングスキルアップBOOK	上田一三/妻鳥千鶴子	-
920	英語長文と演習	金口儀明	-
921	英語のしくみと訳し方	真野 泰	-
922	英語は絶対、勉強するな!	鄭讃容	-
923	英語らしい表現400	岩田 一男	-
924	エイザーのわかって使える英文法 上	ベティ・S・エイザー	-
925	英文ビジネスEメールの正しい書き方	松崎 久純	-
926	起きてから寝るまで表現550	編集部編	-
927	起きてから寝るまで表現550 会社編	編集部編	-
928	会議通訳者 国際会議における通訳	ダニツァ・セレスコ ヴィッチ	-
929	外国映画英語シナリオNo. 47 ダイハード2	スクリーンプレイ出版	-
930	外国映画英語シナリオNo. 54 ボディガード	スクリーンプレイ出版	-
931	会社で使う英会話	ディー・オー・エム・フ ロンティア	-
932	韓国語 JAPAN 2	SAMSUNGBOOKS.COM	-
933	韓国語 JAPAN 3	SAMSUNGBOOKS.COM	-
934	韓国語会話	鄭寅玉、申奎燮	-
935	韓国語講座 1	白帝社/金東順 著	-
936	韓国語上達の近道	李 昌烈	-
937	韓国語をはじめよう 初級	李 昌圭	-
938	韓国語をはじめよう 中級	李 昌圭	-
939	韓国語を学ぼう 中級	朝日出版社/李 昌圭	-
940	韓国朝鮮語テキスト ことばの架け橋 中級表現表	白帝社	-
941	決定版英語シャドーイン具	門田修平/玉井健	-
942	現代イタリア語入門	興松 明	-
943	語根で覚える英単語プラス	池田 和夫	-
944	こんなときどう言う? 英会話110番 海外旅行編	東後勝明	-
945	最新 英語音声学教本	三宅川正・増山節夫	-
946	自己紹介の英語	山本圭介/ポール・スノー ドン	-
947	新・英語をもう一度最初から	江藤正明	-
948	スピーキング英語辞典	松本 道弘	-
949	千田潤一のTOEIC Testトレーニング法徹底ガイド	千田潤一	-
950	楽しく学ぶハングル2	白帝社	-
951	だんだん韓国語	朝日出版社	-
952	日語簡易学習法	山本 哲一	-
953	日常会話韓国語	ダイソー	-
954	入試英語問題総演習EXPERT CD付	高橋輝男/高橋聡	-
955	ハングル 未来への架け橋	朝日出版社	-
956	秘書の英語<実務ハンドブック>	西 真理子	-
957	標準イタリア会話	坂本 鉄男	-

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
958	頻出 英単語・熟語3500	第一学習社	-
959	フランス基本語5000辞典	白水社	-
960	マネジメント・コミュニケーション グローバル時代の6つのスキルと英語力	浅田 浩志	-
961	もっとできる！30日間完成 新装版TOEICテストボキャブラリー応用編	桜井雅人	-
962	やさしく学べる韓国語 初級	白帝社/金 三順・北村唯司 著	-
963	よく使うことばで学ぶ韓国語	イ・ユニ/水谷清佳	-
964	ロシア語のすすめ	東郷 正延	-
965	英単語・熟語ダイアログ1800	秋葉利治 森秀夫	-
966	驚くほど身につく中国語 CDレッスン	朝倉摩理子	-
967	改訂版・韓国語の世界へ 入門編	朝日出版社	-
968	韓国語へ旅しよう 初級	朝日出版社	-
969	パランセ韓国語 中級	朝日出版社	-
970	新TOEICテスト3ステップリスニング	小菅淳吉	-
971	ジーニアス和英辞典	小西友七	-
972	即聴即解！TOEIC TEST990奪取	小林薫/橋本光郎	-
973	理屈でわかる英文法	西村 喜久	-
974	TOEIC®テスト600点 ココが狙い目！	横本勝也	-
975	2ヶ月で攻略 新TOEIC®テスト730点！	横本勝也/早川幸治 共著	-
976	これで合格！中国語検定準4級・4級	林 怡州	-
977	中国語をはじめからていねいに	林 怡州	-
978	GRE Vocabulary Classified	Qunyan Press	-
979	A History of English Literature	Kaoshi Koriyama	-
980	ABC World News	Katheleen Yamane	-
981	Active Listening TEACHER'S EDITION	MARC HELGESEN/STEVEN BROWN	-
982	WRITING AS THINKING	MARCELLA FRANK	-
983	the Official guide to the GRE 2nd edition	Mc Graw Hill	-
984	ハートで感じる英文法 NHK3か月トピック英会話	大西泰斗/ポール・マクベイ	-
985	COLLEGE LIGHTHOUSE JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY	研究社	-
986	英語で教える日本の暮らしのマナーとコソ I l l u s t r a t e d B o o k	下山布妃都/訳 伊藤美樹/絵	-
987	英会話1000本ノック 基本のあいさつから意見まで自分のことばでしっかり答える	スティーブ・ソレイシイ	-
988	新しい英文手紙の書き方	泰文堂編集部	-
989	電話英語ハンドブック	田崎清忠	-
990	ゼットイ話せる英文法	田辺正美	-
991	英語は単語だ！	富永直久	-
992	ポライトネス	ペネピ・フランク/ヴァイツ	-
993	数の英語	松居司/ポール・スートン	-
994	新TOEIC TEST 実力診断模試 New Version 対応	-	-
995	AXIS 変わるニッポンのインハウス	-	株式会社アクシス
996	The Profit Paradox : How Thriving Firms Threaten the Future of Work	Eeckhout, Jan	Princeton Univ Pr
997	Meet-Up! : Better Meetings through Nudging	Eppler, Martin J./Kernbach, Sebastian	Cambridge Univ Pr
998	Becoming a Critical Thinker : For Your University Studies and Beyond	Ivory, Sarah Birrell	Oxford Univ Pr

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
999	A Very Short, Fairly Interesting and Reasonably Cheap Book about Management (Very Short, Fairly Interesting and Reasonably Cheap)	Cunliffe, Ann L.	Sage Pubns Ltd
1000	「お金の流れ」がたった1つの図法でぜんぶわかる会計の地図	近藤哲朗・沖山誠	ダイヤモンド社
1001	2030年すべてが「加速」する世界に備えよ	ピーターディアマンデイス・ステイーブンコトラー	ニューズピックス
1002	The inevitable: Understanding the 12 technological forces that will shape our future	Kevin Kelly	Viking
1003	アグリビジネス進化論	有限責任監査法人トーマツ・農林水産業ビジネス推進室	プレジデント社
1004	アジアのグローバル経済とビジネス	田中則仁	文眞堂
1005	売上最小化、利益最大化の法則	木下勝寿	ダイヤモンド社
1006	買い物ゼロ秒時代の未来地図 2025年、人は「買い物」をしなくなる	望月智之	クロスメディア・パブリッシング
1007	国際関係論 第3版	佐渡友哲・信夫隆司・柑元英雄	弘文堂
1008	これからの「正義」の話をしよう	マイケルサンデル	早川書房
1009	社会的共通資本	宇沢弘文	岩波書店
1010	スマートサプライチェーンの設計と構築の基本	鈴木邦成・中村康久	白桃書房
1011	多国籍企業・グローバル企業と日本経済	小栗嵩資・夏目啓二	新日本出版社
1012	小さな地球の大きな世界	J. ロックストローム・M. クルム	丸善出版
1013	超加速経済アフリカ LEAPFROGで変わる未来のビジネス地図	椿進	東洋経済新報社
1014	日本人として世界に挑む	安田哲	カナリアコミュニケーションズ
1015	人新世の「資本論」	斎藤幸平	集英社
1016	欲望の資本主義	丸山俊一	東洋経済新報社
1017	欲望の資本主義2	丸山俊一	東洋経済新報社
1018	欲望の資本主義3	丸山俊一	東洋経済新報社
1019	The Power of Creative Destruction : Economic Upheaval and the Wealth of Nations	-	Belknap Pr
1020	The Aristocracy of Talent: How Meritocracy Made the Modern World	Wooldridge, Adrian	Allen Lane
1021	Marketing 5.0 : Technology for Humanity	Kotler, Philip/ Kartajaya, Hermawan/ Setiawan, Iwan	-
1022	The Data Detective : Ten Easy Rules to Make Sense of Statistics	Harford, Tim	Riverhead Books
1023	Quantum Marketing : Mastering the New Marketing Mindset for Tomorrow's Consumers	Rajamannar, Raja	Harpercollins Leadership
1024	Stakeholder Capitalism : A Global Economy That Works for Progress, People and Planet	Schwab, Klaus/ Vanham, Peter (CON)	John Wiley & Sons Inc
1025	What Capitalism Needs : Forgotten Lessons of Great Economists	Campbell, John L./ Hall, John A.	Cambridge Univ Pr
1026	HBR's 10 Must Reads 2021 : The Definitive Management Ideas of the Year from Harvard Business Review (Hbr's 10 Must Reads)	Harvard Business Review (COR)	Harvard Business School Pr
1027	How to Start Your Own Business: And Make it Work	DK	Dorling Kindersley

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1028	Business Made Simple : 60 Days to Master Leadership, Communication, Sales, and More	Miller, Donald (COR)	Harpercollins Leadership
1029	The Year in Tech, 2021 : The Insights You Need from Harvard Business Review (Hbr Insights)	-	Harvard Business School Pr
1030	Consequences of Capitalism	Chomsky, Noam/ Waterstone, Marv	Penguin Books Ltd
1031	Day the World Stops Shopping	Mackinnon, J. B.	Vintage Publishing
1032	Free Lunch Thinking : How Economics Ruins the Economy	-	-
1033	The Visual MBA: A Quick Guide to Everything You'll Learn in Two Years of Business School	Barron, Jason	Portfolio Penguin
1034	World for Sale -- Paperback	Blas, Javier/ Farchy, Jack	Random House
1035	The Price of Peace : Money, Democracy, and the Life of John Maynard Keynes	Carter, Zachary D.	Random House Inc
1036	Less Is More : How Degrowth Will Save the World	Hickel, Jason/ Klu, Kofi (FRW)/ Read, Rupert (FRW)	Windmill Books
1037	Narrative Economics	Shiller, Robert J.	Princeton Univ Pr
1038	The Simplicity Playbook for Innovators	Mller, Jin Kang	Marshall Cavendish Intl
1039	Richer, Wiser, Happier : How the World's Greatest Investors Win in Markets and Life	Green, William	Profile Books Ltd
1040	How to Break Up with Fast Fashion	Bravo, Lauren	Headline Book Pub Ltd
1041	Essentialism : The Disciplined Pursuit of Less	Mckeown, Greg	Ebury Publishing
1042	Good Economics for Hard Times: Better Answers to Our Biggest Problems	Banerjee, Abhijit V. / Duflo, Esther	Penguin Books Ltd
1043	Kleptopia: How Dirty Money is Conquering the World	Burgis, Tom	William Collins
1044	Factfulness -- Paperback	Rosling, Hans/ Rosling, Ola/ Ronnlund, Anna Rosling	Hodder & Stoughton
1045	【シリーズ国際ビジネス】〈1〉国際ビジネス入門〈第2版〉	江夏 健一 (編集), 太田正孝 (編集), 藤井 健 (編集)	中央経済社
1046	1からのデジタル・マーケティング	西川英彦・渋谷寛	碩学舎
1047	お父さんが教える13歳からの金融入門	デヴィッド・ビアンキ	日本経済新聞出版社
1048	カップヌードルをぶつつぶせ!	安藤宏基	中公文庫
1049	基本を押さえて内定を取る! 面接の大原則	酒井正敬	高橋書店
1050	求人詐欺 内定後の落とし穴	今野晴貴	幻冬舎
1051	金融商品ガイドブック2016年度版	金融財政事情研究会	きんざい
1052	経済は世界史から学べ!	茂木誠	ダイヤモンド社
1053	国内白地図	-	JTB総合研究所
1054	コミック版プロジェクトX 82億食の奇跡 魔法のラーメン<日清カップヌードル>	加藤唯史	宙おおぞら出版
1055	五輪への挑戦 第44回技能五輪全国大会	-	中央職業能力開発協会

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1056	食の現場 第一線で働く フードコーディネーターという仕事	ジャパン・フードコーディネーター・スクール =監修	現代書林
1057	すぐに役立つ国内旅行地理ベーシック300+α	-	JTB総合研究所
1058	絶対内定2019エントリーシート・履歴書	杉村太郎 熊谷智宏	ダイヤモンド社
1059	超AI時代の生存戦略 シンギュラリティに備える34のリスト	落合陽一	大和書房
1060	超転職術	田畑晃子	CCCメディアハウス
1061	ツアーコンダクター入門	-	JTB総合研究所
1062	帝国ホテルの不思議	村松友視	文芸春秋
1063	徹底分析 長生き商品の秘密	日本経済新聞社	日本経済新聞出版社
1064	伝説のホテルマンが教える大人のためのホテルの使い方	窪山哲雄	SB新書
1065	なぜビジネスホテルは一泊四千円でやっていけるのか	牧野知弘	祥伝社
1066	日経業界地図 2018年版	-	日本経済新聞出版社
1067	はじめて学ぶ国際経済	浦田秀次郎, 小川英治, 澤田康幸	有斐閣
1068	はじめて学ぶ人のためのグローバル・ビジネス【改訂新版】	梶浦 雅己	文真堂
1069	ビジネスおたすけNOTES	-	日経連出版部
1070	ビジネス文書実務	石井典子、三村善美	早稲田教育出版
1071	簿記がわかる本	城戸宏之	日本実業出版社
1072	マイナビ2019 内定獲得のメソッド 面接担当者の質問の意図	才木弓加	マイナビ
1073	ラオス経済の基礎知識	鈴木基義	ジェトロ
1074	ラオス人民民主共和国における特別経済区および特定経済区の開発に関する法令集 (非公式日本語訳)	ラオス国家経済特区委員会事務局	-
1075	論点解説 日経TEST -あなたの経済知力を磨く-	日本経済新聞社	日本経済新聞出版社
1076	例題で学ぶ入門国際経済学	D. サルバトーレ (著), Dominick Salvatore (原著), 小田 正雄 (翻訳)	シーエーピー出版
1077	激変する世界経済の読み方	原田和明	-
1078	これだけは知っておきたい経済重要語	日本経済新聞社編	-
1079	戦後世界経済史	猪木 武徳	-
1080	疲れる時代の元気が出る経済学	和田 秀樹	-
1081	日本経済新聞パーフェクトガイド	日本経済新聞社	-
1082	やさしい日経経済用語辞典	日本経済新聞社	-
1083	日銀を知れば経済がわかる	池上彰	-
1084	やさしい日経経済用語辞典	日本経済新聞社	-
1085	故事成語でわかる経済学のキーワード	梶井 厚志	-
1086	就職本のバイブル『面接の達人』模擬面接ビデオ MENTATSU ビデオ面接の達人	ダイヤモンド社	-
1087	就職活動に勝つ	中田 研一郎	-
1088	お仕事のマナーとコツ	西出 博子	-
1089	日経就職ガイド 業界MAP	日経就職NAVI	-
1090	ビジネス実務 ホスピタリティと観光産業	塹江 隆	-
1091	福祉産業マネジメント	渡辺孝雄・服部治・小島理一	-
1092	マーケティング・ビジネス実務検定 第7版	-	税務経理協会

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1093	社長がブランディングを知れば、会社が変わる！付加価値の法則	関野吉記	プレジデント社
1094	ヤマトグループ100年の歴史	ヤマトホールディングス株式会社	大日本印刷
1095	HBR's 10 Must Reads on Leading Digital Transformation (HBR's 10 Must Reads)	-	Harvard Business School Pr
1096	Marketing 5.0 : Technology for Humanity	Kotler, Philip/ Kartajaya, Hermawan/ Setiawan, Iwan	Wiley
1097	The Great Lockdown : Lessons Learned during the Pandemic from Organizations around the World	Das, Shivaji/ Zutshi, Aroop/ Janardhanan, Janesh	Wiley
1098	Global Recession (Insights You Need from Harvard Business Review)	-	Harvard Business School Pr
1099	The Technology Fallacy : How People Are the Real Key to Digital Transformation (Management on the Cutting Edge)	Kane, Gerald C./ Phillips, Anh Nguyen/ Copulsky, Jonathan R./ Andrus,	Mit Pr
1100	Digital Makeover : How L'oreal Put People First to Build a Beauty Tech Powerhouse	Collin, Beatrice/ Taillard, Marie	Wiley
1101	A Very Short, Fairly Interesting and Reasonably Cheap Book about Management Theory (Very Short, Fairly Interesting & Cheap Books)	Bridgman, Todd/ Cummings, Stephen	Sage Pubns Ltd
1102	「文章術のベストセラー100冊」のポイントを一冊にまとめてみた。	藤吉豊・小川真理子	日経BP社
1103	2030年のフード&アグリテック 農と食の未来を変える世界の先進ビジネス	佐藤光泰・石井佑基	同文館出版
1104	EU付加価値税の実務 第2版	溝口史子	中央経済社
1105	一生使えるプレゼン上手な資料作成入門	岸啓介	インプレス
1106	一生使える見やすい資料のデザイン入門	森重湧太	インプレス
1107	会計クイズを解くだけで財務3表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方	大手町のランダムウォーカー	KADOKAWA
1108	会社のことよくわからないまま社会人になった人へ	池上彰	海竜社
1109	紙1枚に書くだけでうまくいくプロジェクト進行の技術が身につく本	前田考歩・後藤洋平	翔泳社
1110	経営という冒険を楽しもう！売上ゼロ！コロナ禍から120日でV字回復した奇跡の物語	仲村恵子	島影社
1111	国際ビジネス用語事典	国際商取引学会	中央経済社
1112	ここだけ押さえる！会社法のきほん第2版	神田秀樹	ナツメ社
1113	この一冊で全部わかるビジネスモデル 基本・成功パターン・作り方が一気に学べる	根来龍之 富樫佳織 足代訓史	S Bクリエイティブ
1114	これからの経営戦略と働き方 ダイバーシティ&インクルージョン経営	荒金雅子	日本規格協会
1115	知りたいことがすぐわかる 図解会社法のしくみ 令和元年改正法対応	中島成	日本実業出版社
1116	成果・イノベーションを創出するダイバーシティマネジメント大全	西村直哉	インプレス
1117	組織行動論	開本浩矢	中央経済社
1118	誰も教えてくれないお金の話	うだひろえ	サンクチュアリ出版
1119	登記法入門 実務の道しるべ	鈴木龍介	庄司法務
1120	統計嫌いのための心理統計の本	白井祐浩	創元社
1121	入門起業の科学	田所雅之	日経BP社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1122	ニューヨークのアートディレクターがいま、日本のビジネスリーダーに伝えたいこと	小山田育・渡邊デルーカ	クロスメディア・パブリッシング
1123	ビジネスで1番よく使う英会話	松井こずえ	Jリサーチ出版
1124	ビジネスの世界で生き残るための現場の会計思考	安本隆晴	クロスメディア・パブリッシング
1125	ビジネスを強力にバックアップするメール・テクニック 改訂新版 ビジネスメールの書き方・送り方	平野友朗	あさ出版
1126	ビル・ゲイツ I マイクロソフト帝国の誕生	脇英世	東京電機大学出版局
1127	プロダクトマネジメントのすべて 事業戦略・IT開発・UXデザイン・マーケティングからチーム・組織運営まで	及川卓也・曾根原春樹・小城久美子	翔泳社
1128	メガEPA原産地規則 自己申告制度に備えて	-	日本関税協会
1129	The Story of Work	Lucassen, Jan	Yale Univ Pr
1130	Empowered : Ordinary People, Extraordinary Products	Cagan, Marty/ Jones, Chris	John Wiley & Sons Inc
1131	Investing for Growth	Smith, Terry/ Barber, Lionel (FRW)	Harriman House Pub
1132	Beyond Entrepreneurship 2.0 : Turning Your Business into an Enduring Great Company	Collins, Jim/ Lazier, Bill	Portfolio
1133	Negotiate without Fear : Strategies and Tools to Maximize Your Outcomes	Medvec, Victoria H., Dr.	John Wiley & Sons Inc
1134	How to Do the Work : The Sunday Times Bestseller	Lepera, Nicole	Orion Publishing Co
1135	Amazon Unbound -- Paperback	Stone, Brad	Simon & Schuster Ltd
1136	Choose Possibility	Cassidy, Sukhinder Singh	Pan Macmillan
1137	Ride of a Lifetime	Iger, Robert	Transworld
1138	How to Write an Impressive Cv and Cover Letter : A Comprehensive Guide for Jobseekers	Whitmore, Tracey	Robinson
1139	The Kremlin School of Negotiation	Ryzov, Igor/ Fleming, Alex (TRN)	Canongate Books Ltd
1140	Already Brilliant : Play to Your Strengths in Work and Life	Bridge, Rachel	Piatkus Books
1141	Radical Uncertainty	Kay, John/ King, Mervyn	W W Norton & Co Inc
1142	2017 レクチャー&トレーニング 日商リテールマーケティング(販売士)検定試験3級	上岡史郎	実教出版
1143	2018年版 会社の流儀 厳選100社	江辺聡	日本シニアリビング新聞社
1144	READY TO BE A THOUGHT LEADER?	DENISE BROSSAU	JOSSEY-BASS
1145	THE LEAN STARTUP	ERIC RIES	CROWN BUSINESS
1146	インスタントラーメン発明王安藤百福かく語りき	安藤百福	中央公論新社
1147	会社四季報 2018年1集新春号	-	東洋経済新報社
1148	会社四季報未上場会社版 2018年上期	-	東洋経済新報社
1149	会社を立て直す仕事	小森哲郎	B&Tブックス日刊工業新聞社
1150	企業再生プロフェッショナル	西浦裕二	日経ビジネス文庫
1151	京都大学の経営学講義 いま日本を代表する経営者が考えていること	河北英隆 奥野一成	ダイヤモンド社
1152	銀行の仕事ABC	松嶋泰・加藤浩康	ビジネス教育出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1153	グローバルSCM—サプライチェーン・マネジメントの新しい潮流	山下洋史	有斐閣
1154	グローバル経営入門 (マネジメント・テキストシリーズ)	浅川 和宏	日本経済新聞社
1155	経営人材を育てる！ CEO人材欠乏症の日本を変える	慶応義塾大学ビジネス・スクール	慶応義塾大学出版会
1156	検証 ビジネススクール 日本でMBAを目指す全ての人に	-	慶応義塾大学出版会
1157	残業ゼロ！チームの成果を3倍UPする 課長のダンドリ・リーダー術	吉山勇樹	明日香出版社
1158	実践版孫子の兵法	鈴木博毅	プレジデント社
1159	社会保障法入門 補訂版	西村健一郎	有斐閣
1160	就職四季報 優良・中堅企業版 2019年版	-	東洋経済新報社
1161	就職四季報総合版 2019年版	-	東洋経済新報社
1162	商業法規便覧	商業法規実務研究会	東京法令出版
1163	人事のプロが明かす評価基準	西尾太	三笠書房
1164	図解実践マーケティング戦略	佐藤義典	日本能率協会マネジメントセンター
1165	図解で早わかり 給与計算と社会保険事務	森本幸人	三修社
1166	ストーリーとしての競争戦略 —優れた戦略の条件	楠木 建	東洋経済新報社
1167	ゼロ なにもない自分に小さなイチを足していく	堀江貴文	ダイヤモンド社
1168	日商簿記2級 工業簿記Ⅰスタディガイド	-	株式会社リンクアカデミー
1169	日商簿記2級 工業簿記Ⅱスタディガイド	-	株式会社リンクアカデミー
1170	日商簿記2級 商業簿記Ⅰスタディガイド	-	株式会社リンクアカデミー
1171	日商簿記2級 商業簿記Ⅱスタディガイド	-	株式会社リンクアカデミー
1172	日商簿記2級 未来のための過去問題集	桑原知之	ネットスクール出版
1173	日商簿記ゼミ 工業簿記2級 教本	蛭川幹夫	実教出版
1174	日商簿記ゼミ 工業簿記2級 問題演習	蛭川幹夫	実教出版
1175	日商簿記ゼミ 商業簿記2級 教本	蛭川幹夫	実教出版
1176	日商簿記ゼミ 商業簿記2級 問題演習	蛭川幹夫	実教出版
1177	日商簿記ゼミ 商業簿記3級 教本	蛭川幹夫	実教出版
1178	日商簿記ゼミ 商業簿記3級 問題演習	蛭川幹夫	実教出版
1179	ビジネス文書検定3級受験ガイド	-	早稲田教育出版
1180	秘書検定 2級 集中講義 改訂版	実務技能検定協会	早稲田教育出版
1181	富士フィルムの『変える力』	伊藤公介	ぱる出版
1182	ブランド～STORY設計とは～	関野吉記	プレジデント社
1183	ブランドファースト 中小・ベンチャーの成長はブランドから始まる	木村裕紀	日経BP
1184	ポケット労働法 2020	港区	-
1185	よくわかる税法入門 税理士・春香のゼミナール 第5版	三木義一	ゆうひかく選書
1186	リクルートのすごい構“創”力 アイデアを事業に仕上げる9メソッド	杉田浩章	日本経済新聞出版社
1187	MBAの基本が面白いほどわかる本	中経出版	-
1188	MBA留学GMAT完全攻略	アルク	-
1189	MBA留学ハンドブック	文芸社	-
1190	SEOを超えたホームページ集客術	細木康裕	-

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1191	かながわモデル工場協議会 会員ガイド	かながわモデル工場協議会	-
1192	基本簿記演習	蛭川幹夫/ほか執筆	-
1193	基本簿記演習	蛭川幹夫/ほか執筆	-
1194	経営幹部の全社戦略	ケネス・R・アンドルーズ	-
1195	合格するための過去問題集日商簿記3級	TAC出版	-
1196	これからの薬局開設・経営戦略ハンドブック	戸口つとむ	-
1197	サクッとわかる日商3級商業簿記トレーニング	ネットスクール	-
1198	産業・組織心理学入門	岡村 一成	-
1199	社長で成功する人 会社を伸ばす人	新将命	-
1200	女性の企業が成功する秘訣	佐藤 史郎	-
1201	すっきりわかる日商簿記3級	TAC出版	-
1202	独立開業絶対に成功する88カ条 起業のセオリーと実践	戸口つとむ	-
1203	特許管理士に合格する本	中野勝征	-
1204	内部告発 潰れる会社 活きる会社	諏訪園貞明/杉山浩一	-
1205	日商簿記3級LIVE合格テキスト	ネットスクール	-
1206	日商簿記3級光速マスター	LEC東京リーガルマインド	-
1207	日商簿記3級これだけ仕訳マスター	TAC出版	-
1208	日商簿記3級仕訳問題集	大原出版	-
1209	ビジネス・プレゼンテーションの要領と技術	黒川 和夫	-
1210	ビジネス実務 ホスピタリティと観光産業	塹江 隆	-
1211	ビジネスマンのためのCSRハンドブック	経営倫理実践研究センター	-
1212	法人税が分かれば、会社のお金のすべてが分かる	奥村 佳史	-
1213	ホテル経営教本	鈴木 博	-
1214	マーケティングの基本	野口 智雄	-
1215	らくらく理解 決算書の見方がわかる本	長信 麻子 吉田 敏宏	-
1216	図解 ひと目でわかる!日立製作所	明 豊	-
1217	日商1級 工業簿記・原価計算サクセス集中講座 Part1	大原出版	-
1218	日商1級 工業簿記・原価計算サクセス集中講座 Part2	大原出版	-
1219	日商1級 工業簿記・原価計算問題集 Part1	大原出版	-
1220	日商1級 工業簿記・原価計算問題集 Part2	大原出版	-
1221	日商1級 商業簿記・会計学サクセス集中講座 Part1	大原出版	-
1222	日商1級 商業簿記・会計学サクセス集中講座 Part2	大原出版	-
1223	日商1級 商業簿記・会計学問題集 Part1	大原出版	-
1224	日商1級 商業簿記・会計学問題集 Part2	大原出版	-
1225	サービス接客検定1-2級 実問題集 第23~27回	財団法人 実務技能検定協会	-
1226	サービス接客検定1-2級 実問題集 第23~27回	財団法人 実務技能検定協会	-
1227	サービス接客検定1-2級 実問題集 第23~27回	財団法人 実務技能検定協会	-
1228	行政書士になろう! やりがいある「街の法律家」の資格を徹底紹介	戸口つとむ	-
1229	日商簿記3級 これだけ仕訳マスター	TAC出版	-
1230	簿記ワークブック3級	中央経済社	-
1231	簿記能力検定試験3級	ネットスクール出版	-
1232	日立インスパイア環境経営	(株)日立製作所 地球環境戦略室	-

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1233	Fundamentals of Cost Accounting Second Edition	Lanen / Anderson / Maher	-
1234	物流コスト調査報告書 2020年度	日本ロジスティクスシステム協会 J I L S 総合研究所	日本ロジスティクスシステム協会 J I L S 総合研究所
1235	A S E A N 物流ネットワーク・マップ 英語版	-	〔日本貿易振興機構〕
1236	アメリカ流通概要資料集 2021年改訂版	流通経済研究所	流通経済研究所
1237	グローバル・サプライチェーンロジスティクス	黒須誠治	白桃書房
1238	ロジスティクス K P I とベンチマーキング調査報告書 2014	日本ロジスティクスシステム協会 J I L S 総合研究所	日本ロジスティクスシステム協会 J I L S 総合研究所
1239	ロジスティクス英語辞典 第2版	SHIPPING ガイド編集局	オーシャンコマース
1240	チャネル間競争の経済分析 流通戦略の理論	成生達彦	名古屋大学出版会
1241	地図とデータで読み解くメコン物流事情	石田正美	文眞堂
1242	流通政策の理路 流通システムの再編と政策展開	大驛潤	千倉書房
1243	企業経営の物流戦略研究 第3版 ロジスティクス・マーケティングの創出	丹下博文	中央経済社
1244	現代流通の理論と実相	坂本秀夫	同友館
1245	物流と都市地域計画 ロジスティクスが創る新たな社会	苦瀬博仁	大成出版社
1246	物流改革大全 改善を進めるための実践ノウハウ	船井総研ロジ株式会社ロジスティクスコンサルティング部	中央経済社
1247	マーケティング・チャネル管理と組織成果	結城祥	千倉書房
1248	現代流通の諸相	坂本秀夫	同友館
1249	地域物流とグローバル化の諸相	吉岡秀輝	時潮社
1250	流通モード進化論	田村正紀	千倉書房
1251	流通論教室	坂本英樹	白桃書房
1252	現代のチャネル戦略 チャネル戦略研究への招待	住谷宏	同文館出版
1253	現代物流の基礎 第3版	森隆行	同文館出版
1254	ロジスティクス概論 増補改訂版 基礎から学ぶシステムと経営	苦瀬博仁	白桃書房
1255	インターネットは流通と社会をどう変えたか	阿部真也	中央経済社
1256	グローバル・ロジスティクス・ネットワーク 国境を越えて世界を流れる貨物	柴崎隆一	成山堂書店
1257	グローバル競争と流通・マーケティング 流通の変容と新戦略の展開	齋藤雅通	ミネルヴァ書房
1258	ロジスティクスの改革最前線と新しい課題	芦田誠	税務経理協会
1259	ロジスティクスの論点 図表でせまる現状と展望	石井徹郎	生産性出版
1260	新流通・マーケティング入門	金弘錫	成山堂書店
1261	世界流通史	谷澤毅	昭和堂
1262	流通の基礎講座	曾我信孝	五絃舎
1263	オムニチャネル小売業のロジスティクス統合	大下剛	同友館
1264	流通チャネル・リンケージ論 第2版 マーケティングとロジスティクスの均衡をめざして	田村公一	中央経済社
1265	流通・都市の理論と動態	佐久間英俊	中央大学出版部
1266	流通システムの基礎と展開	藤岡芳郎	同文館出版
1267	流通論の基礎 第3版	住谷宏	中央経済社
1268	1からの流通論 第2版	石原武政	碩学舎
1269	ブランド流通革命	梶原勝美	森山書店
1270	基礎から学ぶ流通の理論と政策 第3版	番場博之	八千代出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1271	現代流通の基礎理論	岩永忠康	五紘舎
1272	現代流通変容の諸相	木立真直	中央大学出版部
1273	物流エンジニアリングの温故知新	尾田寛仁	三恵社
1274	物流論 第2版	齊藤実	中央経済社
1275	入門・現代流通論	野口智雄	日本評論社
1276	物流自動化設備入門	尾田寛仁	三恵社
1277	流通システムとサプライチェーン・マネジメント	遠藤雄一	同文館出版
1278	流通業のためのMBA入門 リーダーに求められる経営視点を学ぶ	宮副謙司	ダイヤモンド・フリードマン社
1279	物流戦略見るだけノート ECサイトからリアル店舗のオムニチャネル化まで成功事例の仕組みが面白いほどわかる!	角井亮一	宝島社
1280	はじめての流通	崔容熏	有斐閣
1281	現代流通政策	岩永忠康	五紘舎
1282	物流が一番わかる 生産者から消費者へ物資を効率よく届けるための包装・保管・輸送方法	齋藤正宏	技術評論社
1283	流通と法 新版	野木村忠度	尚学社
1284	図解でわかる物流とロジスティクスいちばん最初に読む本	湯浅和夫	アニモ出版
1285	流通・マーケティングの基礎	長谷川博	成文堂
1286	ロジスティクス業界大研究 新版	二宮護	産学社
1287	戦略思考の物流管理入門 キャリアアップを目指す人のための	千本隆司	税務経理協会
1288	物流革命 2022	角井亮一	日経BP日本経済新聞出版本部
1289	日中観光ビジネスの人類学 多文化職場のエスノグラフィ	田中孝枝	東京大学出版会
1290	航空法 国際法と航空法令の解説 2訂版	池内宏	成山堂書店
1291	全国会場Navi ビジネスシーンの会場探しに 2021年版	-	ピーオーピー
1292	日本の観光 昭和初期観光パンフレットに見る	谷沢明	八坂書房
1293	JNTO日本の国際観光統計 2019年	日本政府観光局	国際観光サービスセンター
1294	航空・空港政策の展望 アフターコロナを見据えて	関西空港調査会, 加藤一誠, 西藤真一, 幕亮二, 朝日亮太	中央経済社
1295	マーケティングを活用した港まち再生と観光開発 第2ゴールデンルート瀬戸内「創造的内海」	松本英之	大阪公立大学共同出版会
1296	観光地誌学 観光から地域を読み解く	飯塚遼, 菊地俊夫	二宮書店
1297	観光立国政策と観光都市京都 インバウンド、新型コロナウイルスに翻弄された京都観光	広原盛明	文理閣
1298	世界の観光地域	辰己真知子	古今書院
1299	都市・地域観光の新たな展開 地域づくり叢書 7	安福恵美子, 天野景太	古今書院
1300	変化する旅行ビジネス 個性化時代の観光をになうハブ産業 改訂版	小林弘二, 廣岡裕一	文理閣
1301	旅行者と地域が創造する「ものがたり観光」 宇治・伏見観光のいまとこれから 京都文教大学地域協働研究シリーズ 3	片山明久	ミネルヴァ書房
1302	宿泊産業論 ホテルと旅館の事業展開	徳江順一郎, 石川達也	創成社
1303	ホスピタリティ産業論	飯嶋好彦, 内田彩, 黒崎文雄, 佐々木茂, 徳江順一郎, 八木京子, 安宅真由美, 渡邊勝仁	創成社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1304	観光地理学入門 美観の観光資源の活用	池永正人	同文館出版
1305	三宅島学 三宅島観光白書 地域をより深くするための観光読本・三宅島の素顔～これまでの三宅島、そしてこれからの三宅島～	大下茂, 大森哲至	ミライカナイ
1306	エアライン・ビジネス入門 第2版	稲本恵子	晃洋書房
1307	エアライン入門 逆風で飛翔する両翼	宮平望	大学教育出版
1308	成田空港 進化続ける日本の表玄関 イカロスMOOK	-	イカロス出版
1309	旅行業務取扱管理者試験の分析	廣岡裕一	文理閣
1310	JAL客室乗務員になる本 [2020] 最新版 イカロスMOOK	月刊〈エアステージ〉編集部	イカロス出版
1311	英国ホテルに魅せられて 英国住宅の建築家がお薦めする英国ホテル20軒	小尾光一	ブリティッシュ・プライド
1312	星野リゾートの事件簿 2 なぜお客様は感動するのか?	中沢康彦	日経BP
1313	農泊のススメ	宮田静一	弦書房
1314	リッツ・カールトンの究極のホスピタリティ 新装版	四方啓暉	河出書房新社
1315	コロナ後のエアライン	鳥海高太郎	宝島社
1316	だれもがキラボシ笑顔あふれるテーマパークの秘密	山本雅史	幻冬舎メディアコンサルティング
1317	ドローン飛行許可の取得・維持管理の基礎がよくわかる本	佐々木慎太郎	セルバ出版
1318	ブライダルのお仕事 ブライダル業界就活ブック MY WORK STYLE BOOK 2022 GEIBUN MOOKS	-	ウエディングジョブ
1319	輝く人・輝く宿が日本を元気にする 磨き合う旅館甲子園	桑原才介	言視舎
1320	惚れるホテルを創る愛されるホテルリエたち	近藤寛和	オータパブリケーションズ
1321	日本一小さな航空会社の大きな奇跡の物語 業界の常識を破った天草エアラインの「復活」	奥島透	[地球の歩き方]
1322	変革の勇氣 観光・サービス業が生まれ変わる方法	佐々木司	金融ブックス
1323	観光のレッスン ツーリズム・リテラシー入門	山口誠, 須永和博, 鈴木涼太郎	新曜社
1324	基礎からわかる空港大百科 改訂新版 イカロスMOOK	-	イカロス出版
1325	空港の解体新書 “空の玄関口”をイラストで詳解!! イカロスMOOK	-	イカロス出版
1326	東京ディズニーリゾートグッズコレクション 2020-2021 My Tokyo Disney Resort 160	ディズニーファン編集部	講談社
1327	Disney イッツ・ア・クイズワールド公式クイズブック	-	講談社
1328	観光を科学する 観光学批判 観光を見る眼 創刊号	山田良治	晃洋書房
1329	東京ディズニーシーベストガイド 2021-2022 Disney in Pocket	-	講談社
1330	観光は減びない 99.9%減からの復活が京都からはじまる 星海社新書 168	中井治郎	星海社
1331	四大空港&ローカル空港の謎 思わず行ってみたくなる「全国の空港」大全 イースト新書Q Q068	風来堂	イースト・プレス
1332	東京ディズニーランド&シーお得&裏技徹底ガイド 2020-21 COSMIC MOOK	-	コスミック出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1333	JALの心づかい グランドスタッフが実践する究極のサービス 河出文庫 う16-1	上阪徹	河出書房新社
1334	ロジスティクス概論：基礎から学ぶシステムと経営	苦瀬 博仁	白桃書房
1335	100年に向けて 岡本物流90余年の歴史	岡本物流株式会社	株式会社出版文化社
1336	アマゾンと物流大戦争	角井 亮一	NHK出版
1337	グローバル・サプライチェーンロジスティクス	黒須誠治 (著, 編集), 岩間正春 (著, 編集), 早稲田大学ネオ・ロジスティクス共同研究会 (著)	白桃書房
1338	グローバルロジスティクスと貿易	小林 潔司 古市 正彦	ウェイツ
1339	国際関係論入門 (新版)	斉藤 孝	有斐閣
1340	この1冊ですべてわかる 物流とロジスティクスの基本	湯浅 和夫	日本実業出版社
1341	これからのロジスティクス -2020年に向けた50の指針-	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
1342	サプライ・チェーンの設計と管理—コンセプト・戦略・事例	D. スミチ・レビ (著), E. スミチ・レビ (著), P. カミンスキ (著), 久保 幹雄 (監修), 伊佐田文彦 (翻訳), 田熊 博志 (翻訳), 佐藤 泰現 (翻訳), 宮本 裕一郎 (翻訳)	朝倉書店
1343	サプライチェーン・マネジメント概論：基礎から学ぶSCMと経営戦略	苦瀬 博仁	白桃書房
1344	平成24年度版 詳細にして明解 通関士試験の指針	-	日本関税協会
1345	貨物海上保険・貨物賠償クレームのQ&A	小路丸 正夫	成山堂書店
1346	外航海運概論	森 隆行	成山堂書店
1347	国際海上コンテナ輸送概論	今井 昭夫	東海大学出版会
1348	国際航空貨物輸送	ピーター・S. モレル (著), Peter S. Morrell (原著), 木谷 直俊 (翻訳), 塩見 英治 (翻訳), 本間 啓之 (翻訳)	成山堂書店
1349	国際物流の理論と実務	鈴木 暁	成山堂書店
1350	自動車部品調達システムの中国・ASEAN展開—トヨタのグローバル・ロジスティクス	根本 敏則, 橋本 雅隆	中央経済社
1351	東アジア物流新時代—グローバル化への対応と課題 (アジ研選書 No. 8)	池上 寛	日本貿易振興機構アジア経済研究所
1352	物流論 (【ベーシック+】)	齊藤 実, 矢野裕児, 林 克彦	中央経済社
1353	産業と会社研究シリーズ6 トラベル・航空	中村正人	-
1354	The smart revolution towards the susustainable digital society	Hitoshi Mitomo・Hidenori Fuke・Erik Bohlin	Edward Elgar Publishing
1355	DX (デジタルトランスフォーメーション) 経営戦略成熟したデジタル組織をめざして	ジェラルド・C・ケイン	NTT出版
1356	DXの基礎知識 具体的なデジタル変革事例と方法論	山本修一郎	近代科学社Digital
1357	DXを成功に導くデータマネジメント データ資産価値向上と問題解決のための実務プロセス75	小川康二	翔泳社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1358	マッキンゼーが解き明かす生き残るためのDX	黒川通彦	日経BP日本経済新聞出版本部
1359	中堅・中小企業のための「DX」実践講座 担当になったら知っておきたい	船井総合研究所デジタルイノベーションラボ	日本実業出版社
1360	DX戦略見るだけノート RPA導入からビジネスモデル改革まで最新事例が丸わかり!	内山悟志	宝島社
1361	Digital-Oriented革命 DXが進化した究極の姿を描く	安部慶喜	日経BP
1362	DX×3P経営 日本企業のポテンシャルを解放	福原正大	英治出版
1363	DXスタートアップ革命	守屋実	日経BP日本経済新聞出版本部
1364	DXの教養 デジタル時代に求められる実践的知識	志度昌宏	インプレス
1365	DXの真髄 日本企業が変革すべき21の習慣病	安部慶喜	日経BP
1366	アカン!DX (デジタルトランスフォーメーション)	木村岳史	日経BP
1367	いちばんやさしいDX (デジタルトランスフォーメーション)の教本 人気講師が教えるビジネスを変革する攻めのIT戦略	亀田重幸	インプレス
1368	コンポーザブル経営 加速度的な成長を実現させるDX戦略	桃谷英樹	プレジデント社
1369	データレバレッジ経営 デジタルトランスフォーメーションの現実解	ベイカレント・コンサルティング	日経BP
1370	デジタルトランスフォーメーション 破壊的イノベーションを勝ち抜くデジタル戦略・組織のつくり方	ベイカレント・コンサルティング	日経BP社
1371	デジタルトランスフォーメーション経営 生産性世界一と働き方改革の同時達成に向けて	レイヤーズ・コンサルティング	ダイヤモンド・ビジネス企画
1372	今すぐ知りたいDXの基礎	中村建助	日経BP
1373	勝ち残る中堅・中小企業になるDXの教科書	野口浩之	日本実業出版社
1374	新しいDX戦略	内山悟志	エムディエヌコーポレーション
1375	戦略論とDXの交点 DXの核心を経営理論から読み解く	ベイカレント・コンサルティング	東洋経済新報社
1376	イラスト&図解でわかるDX (デジタル・トランスフォーメーション) デジタル技術で爆発的に成長する産業、破壊される産業	兼安暁	彩流社
1377	成功=ヒト×DX デジタル初心者のためのDX企業変革の教科書	鈴木康弘	プレジデント社
1378	大前研一DX (デジタルトランスフォーメーション)革命	大前研一	プレジデント社
1379	テクノロジーをもたない会社の攻めのDX (デジタルトランスフォーメーション)	内山悟志	クロスメディア・パブリッシング
1380	図解まるわかりDXのしくみ	西村泰洋	翔泳社
1381	90日で成果をだすDX (デジタルトランスフォーメーション)入門	須藤憲司	日本経済新聞出版社
1382	図解でわかるDXいちばん最初に読む本	神谷俊彦	アニモ出版
1383	世界一わかりやすいDX (デジタルトランスフォーメーション)入門 GAFANA働き方を普通の日本の会社でやってみた。	各務茂雄	東洋経済新報社
1384	成功するDX、失敗するDX 形だけのデジタル・トランスフォーメーションで滅びる会社超進化する会社	兼安暁	彩流社
1385	DXの思考法 日本経済復活への最強戦略	西山圭太	文藝春秋
1386	Hope for tomorrow 進化するデジタルトランスフォーメーション	松井昌代	プレジデント社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1387	これからのDXデジタルトランスフォーメーション	内山悟志	エムディエヌコーポレーション
1388	なぜDX（デジタルトランスフォーメーション）はバックオフィスから始めるとうまくいくのか	中小企業DX推進研究会	金融ブックス
1389	失敗しないDX企画48のネタ！ダーウィンから学ぶ、ビジネスモデル進化論	三浦一大	プレジデント社
1390	中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）は会計事務所に頼め！キホンと導入事例から知る働き方改革	中小企業DX推進研究会	金融ブックス
1391	あなたの会社は、なぜDXが進まないのか？先進事例に学ぶNew Normalの処方箋	牧田幸弘	幻冬舎メディアコンサルティング
1392	デジタルトランスフォーメーションで何が起きるのか「スマホネイティブ」以後のテック戦略	西田宗千佳	講談社
1393	仕事のムダをゼロにする超効率DXのコツ全部教えます。	内田光治	アスコム
1394	成功するDX 2022 ニューズウィーク日本版SPECIAL ISSUE	-	CCCメディアハウス
1395	60分でわかる！DXデジタルトランスフォーメーション最前線	兼安暁	技術評論社
1396	DXとは何か 意識改革からニューノーマルへ	坂村健	KADOKAWA
1397	DX（デジタルトランスフォーメーション）大全 2022 ARで楽しむ！最新動向を専門記者集団が徹底取材DXの“今”を理解するための決定版	日経クロステック	日経BP
1398	IGPI流DXのリアル・ノウハウ	富山和彦	PHP研究所
1399	1冊ですべてわかるネットワーク運用・保守の基本	岡野新	SBクリエイティブ
1400	AdobeXDではじめるWebデザイン&プロトタイピング 一歩先行く現場のスキル	松下絵梨	翔泳社
1401	AI・データサイエンスの基礎	吉原幸伸	アイテック
1402	AI・データサイエンスのための図解でわかる数字プログラミング	松田雄馬・露木宏志・千葉彌平	ソーテック社
1403	Arduinoをはじめよう 第3版	massimo Banzi・Michael Shiloh	オライリー・ジャパン
1404	CentOS8実践ガイド サーバ構築編	古賀政純	インプレス
1405	CentOS9実践ガイド システム管理編	古賀政純	インプレス
1406	CentOS徹底入門第4版	中島能和	翔泳社
1407	CSS3開発者ガイド 第2版	Pater Gasston	オライリー・ジャパン
1408	CSSシークレット 47のテクニックでCSSを自在に操る	Lea Verou	オライリー・ジャパン
1409	Cultures and Organizations: software of the mind	Geert Hofstede・Gert Jan Hofstede・Michael Minkov	Mc Graw Hill
1410	DNSがよくわかる教科書	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)渡邊結衣、佐藤新太、藤原和典	SBクリエイティブ
1411	Effective Python 第2版 Pythonプログラムを改良する90項目	Brett Slatkin	オライリー・ジャパン
1412	Excel Hacks プロが教える究極のテクニック140選	David Hawley・Raina Hawley	オライリー・ジャパン
1413	Excelデータ分析の「引き出し」が増える本	木村幸子	翔泳社
1414	Excelでわかる機械学習超入門	涌井良幸・涌井貞美	技術評論社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1415	GitHubツールビルディング	Chris Dawson・Ben Straub	オライリー・ジャパン
1416	GoogleColaboratoryで学ぶ!あたらしい人工知能技術の教科書	我妻幸長	翔泳社
1417	Googleアナリティクスのやさしい教科書。手を動かしながら学ぶアクセス解析の基本と実践ポイント	株式会社ラグランジュポイント山野勉	インプレス
1418	Head First PHP&MySQL 頭とからだで覚えるWebアプリケーション開発の基本	Lynn Beighley・Michael Morrison	オライリー・ジャパン
1419	HTML5&CSS3しっかり入門教室 ゼロからよくわかる、使える力が身につく	山崎響	翔泳社
1420	HTML5&CSS3標準デザイン講座30LESSONS 第2版	草野あけみ	翔泳社
1421	Illustrator&Photoshopデザインの作り方アイデア図鑑	上司ニシグチ・長井康行・楠田論史・森一機	S Bクリエイティブ
1422	IoTの基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書	株式会社ウフル IoTイノベーションセンター 八子知礼 杉山恒司 竹之下航洋 松浦真弓 土本寛子	S Bクリエイティブ
1423	ITエンジニアがときめく自動化の魔法	増井敏克	ソシム
1424	ITエンジニアのための「業務知識」がわかる本	三好康之	翔泳社
1425	ITエンジニアのための機械学習理論入門	中井悦司	技術評論社
1426	ITエンジニアのやさしい法律Q&A	河瀬季	技術評論社
1427	ITと数学	中井悦治、橘慎太郎、石川聡彦、貞光九月、中西崇文、辻真吾、飯尾淳、上野貴史、真嘉比愛、伊勢幸一、吉岡弘隆、平林純、及川卓也、増井俊之、藤原博文、五味弘	技術評論社
1428	IT用語図鑑エンジニア編 開発・Web制作で知っておきたい頻出キーワード256	増井敏克	翔泳社
1429	IT用語図鑑ビジネスで使える厳選キーワード256	増井敏克	翔泳社
1430	JavaScript 第6版	David Flanagan	オライリー・ジャパン
1431	JavaScript逆引きレシピ第2版	山田祥寛	翔泳社
1432	JavaScriptコードレシピ集	株式会社ICS池田泰延・鹿野社	技術評論社
1433	JavaScriptデザインパターン	Addy Osmani	オライリー・ジャパン
1434	JavaScriptによるデータビジュアライゼーション入門	Stephen A. Thomas	オライリー・ジャパン
1435	JavaScriptモダンプログラミング完全ガイド 堅牢なコードを効率的に開発できる!	CayS. Horstmann	インプレス
1436	JavaScriptリファレンス 第6版	David Flanagan	オライリー・ジャパン
1437	JavaエンジニアのためのEclipseパーフェクトガイド	横田一輝	技術評論社
1438	Java逆引きレシピ第2版	竹添直樹・高橋和也・島本多可子・佐藤聖規	翔泳社
1439	Javaによる関数型プログラミング Java8ラムダ式とStream	Venkat Subramaniam	オライリー・ジャパン
1440	Javaパフォーマンス	Scott Oaks	オライリー・ジャパン
1441	jQueryクックブック	jQuery Community Experts	オライリー・ジャパン

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1442	LIFESPAN 老いなき世界	デビットAシンクレア	東洋経済新報社
1443	Linuxサーバ入門CentOS8対応 ITプロへの第一歩CUIの徹底攻略	大津真	インプレス
1444	MySQL徹底入門第4版MySQL8.0対応	yoko0825・坂井恵・鶴長鎮一・とみたまさひろ・深町日出海・福山裕大・班石悦夫・山崎由章	翔泳社
1445	MySQLトラブルシューティング	Sveta Smirnova	オライリー・ジャパン
1446	Node.jsデザインパターン 第2版	Mrio Casciato・Luciano Mammino	オライリー・ジャパン
1447	NumPyによるデータ分析入門	Umit mert Cakmak・Mert Cuhadaroglu	オライリー・ジャパン
1448	Photoshop&Illustratorデザインテクニック大全	楠田論史・トントンタン	S Bクリエイティブ
1449	Photoshopレタッチ「伝わる」写真補正&加工を学ぶ現場の教本	大谷キミト	インプレス
1450	Photoshopレタッチ・加工 アイデア図鑑 [第2版]	楠田論史	S Bクリエイティブ
1451	PHPフレームワークLaravel Webアプリケーション開発	竹澤有貴・栗生和明・新原雅司・大村創太郎	ソシム
1452	PHPフレームワークLaravel入門 第2版	掌田津耶乃	秀和システム
1453	PHPフレームワークLarave実践開発	掌田津耶乃	秀和システム
1454	PHP本格入門下	大家正登	技術評論社
1455	PHP本格入門上	大家正登	技術評論社
1456	Python2年生スクレイピングのしくみ	森巧尚	翔泳社
1457	Python2年生データ分析のしくみ	森巧尚	翔泳社
1458	Pythonからはじめる数学入門	Amit Saha	オライリー・ジャパン
1459	Python機械学習クックブック	Chris Albon	オライリー・ジャパン
1460	Python機械学習プログラミング 達人データサイエンティストによる理論と実践	sebastian Raschka・Vahid Mirjalili	インプレス
1461	Python基礎&実践プログラミング プロへのスキルアップ+プロジェクトサンプル	Magnus Lie Hetland	インプレス
1462	Pythonクロールリング&スクレイピング増補改訂版	加藤耕太	技術評論社
1463	Pythonコードレシピ集	黒住敬之	技術評論社
1464	Python実践機会学習システム100本ノック	下山輝昌・伊藤淳二・三木孝行	秀和システム
1465	Python実践データ加工/可視化100本ノック	下山輝昌・伊藤淳二・露木宏志	秀和システム
1466	Python実践データ分析100本ノック	合同会社アイキューベータ 共同代表 下山輝昌・松田雄馬・三木孝行	秀和システム
1467	Pythonチュートリアル 第4版	Guido van Rossum	オライリー・ジャパン
1468	Pythonで動かして学ぶ!あたらしい機械学習の教科書	伊藤真	翔泳社
1469	Pythonではじまる機械学習	Andreas C. Muller	オライリー・ジャパン
1470	Pythonではじめる教師なし学習	Ankur A. Patel	オライリー・ジャパン
1471	Pythonではじめる数学の冒険	Peter Farrell	オライリー・ジャパン

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1472	Pythonではじめるデータラングリング データの入手、準備、分析、プレゼンテーション	Jacqueline Kazil・Katharine Jarmul	オライリー・ジャパン
1473	Pythonで学ぶ音声合成	山本龍一・高道慎之介	インプレス
1474	Pythonで学ぶはじめてのAIプログラミング 自然言語処理と音声処理	小高知宏	オライリー・ジャパン
1475	PythonによるAIプログラミング入門	Prateek Joshi	オライリー・ジャパン
1476	PythonによるWebスクレイピング	Ryan Mitchell	オライリー・ジャパン
1477	Pythonによるあたらしいデータ分析の教科書	寺田学・辻真吾・鈴木たかのり・福島真太郎	翔泳社
1478	Pythonによるアルゴリズム入門	酒井和哉	オーム社
1479	Pythonによるデータ分析入門 第2版	Wes Mckinney	オライリー・ジャパン
1480	Pythonプログラミング完全入門 ノンプログラマーのための実務効率化テキスト	高橋宣成	技術評論社
1481	Python文法詳解	石本敦夫	オライリー・ジャパン
1482	Raspberry Piクックブック	Simon Monk	オライリー・ジャパン
1483	Raspberry Piで学ぶコンピュータアーキテクチャ	Eben Upton・jeff Duntenmann・Ralph Roberts・Tim Mamtora・Ben Everard	オライリー・ジャパン
1484	Raspberry Piをはじめよう 第3版	水原文	オライリー・ジャパン
1485	RaspberryPiはじめてガイド RaspberryPi4完全対応	山内直・大久保俊介・森本梨聖	技術評論社
1486	RPAのはじめかた ～ツールを見ながら巡る！RPAの楽しい世界	カワサキタカシ	技術評論社
1487	scikit-learn、Keras、tensorflowによる実践機械学習	Aurelien Geron	オライリー・ジャパン
1488	Scratchではじめる機械学習 作りながら楽しく学べるAIプログラミング	石原淳也・倉本大資	オライリー・ジャパン
1489	TCP/IPの絵本第2版 ネットワークを学ぶ新しい9つの扉	株式会社アंक	翔泳社
1490	TCP/IPをめぐる88問88答	渡邊郁郎	オーム社
1491	TECHNICMASTER はじめてのPHPプロフェッショナル開発	伊藤翔・金城秀樹・高野福晃・永井勝一郎	秀和システム
1492	UIデザイナーのためのSketch入門&実践ガイド 改訂第2版	吉竹遼	ビー・エヌ・エヌ新社
1493	UIデザインの教科書 マルチデバイス時代のインタフェース設計	原田秀司	翔泳社
1494	UnityによるARゲーム開発	Micheal Lanham	オライリー・ジャパン
1495	UnityによるVRアプリケーション開発	Janathan Linowes	オライリー・ジャパン
1496	UNIXシェルスクリプトコマンドブック第3版	山下哲典	S Bクリエイティブ
1497	UXデザインの法則 最高のプロダクトとサービスを支える心理学	Jon Yablonski	オライリー・ジャパン
1498	Visual Studio Code実践ガイド	森下篤	技術評論社
1499	Visual Studio パーフェクトガイド	ナルボ	技術評論社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1500	Web開発のためのMySQL超入門	掌田津耶乃	秀和システム
1501	withコロナ時代のためのセキュリティの新常識	那須慎二	ソシム
1502	WordPressによるWebアプリケーション開発	Rakhitha nimesh Ratnayake	オライリー・ジャパン
1503	WordPress標準デザイン講座20LESSONS	野村圭・石原隆志	翔泳社
1504	WordPressレッスンブック WordPress5. X初対応	エビスコム	ソシム
1505	Youtube Secrets	Sean cannell ・Benji Travis	Lioncrest
1506	ZOOM&Slack完全マニュアル	八木重和	秀和システム
1507	揚げて炙ってわかるコンピュータのしくみ	秋田純一	技術評論社
1508	あなたの知らないところでソフトウェアは何をしているのか？	V. Anton Spraul	オライリー・ジャパン
1509	アルゴリズムの基礎 第2版	小口達夫・石川英樹	アイテック
1510	いちばんよくわかるWebデザインの基本第2版	伊藤庄平・益子貴寛・久保知己・宮田優希・伊藤由暁	S Bクリエイティブ
1511	異文化理解力 相手と自分の真意がわかるビジネスパーソン必須の教養	エリンメイヤー	英治出版
1512	いまずぐ始めるテレワークの教科書	大串肇・清野奨・小関匡	秀和システム
1513	イメージでわがせて、すぐに使えるアイデア集 配色デザイン良質見本帳	たじまちはる	S Bクリエイティブ
1514	イメージをパッと形に変えるデザイン大全	尾沢早飛	S Bクリエイティブ
1515	イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb技術の基本	NRIネットコム株式会社 小林恭平 坂本陽	S Bクリエイティブ
1516	イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本	NRIネットコム株式会社 小出修平 塚田一政 時津祐己 羽廣憲世	S Bクリエイティブ
1517	イラスト図解式 この一冊で全部わかるクラウドの基本第2版	林 雅之	S Bクリエイティブ
1518	イラストでそこそこわかるLinuxコマンド入力からネットワークのきほんのきまで	河野寿	翔泳社
1519	インタフェースデザインのお約束	Will Grant	オライリー・ジャパン
1520	インフラ/ネットワークエンジニアのためのネットワーク・デザインパターン	みやたひろし	S Bクリエイティブ
1521	浮世絵に見る江戸の食卓	林綾野	美術出版社
1522	浮世絵の解剖図鑑	牧野健太郎	エクスマレッジ
1523	美しい住まいの教科書	石渡健文	マガジンハウス
1524	英語多読 すべての悩みは量が解決する！	繁村一義・酒井邦秀	アルク
1525	英語でSNS そのまま使えるネイティブ表現800	Nicholas Woo	ベレ出版
1526	絵で見てわかるITインフラの仕組み 新装版	山崎泰史・三繩慶子・畔勝洋平・佐藤貴彦	翔泳社
1527	絵で見てわかるRPAの仕組み	西村泰洋	翔泳社
1528	絵と図でわかるAIと社会	江間有沙	技術評論社
1529	絵と図でわかるデータサイエンス 一難しい数式なしに考え方の基礎が学べる	上籐一郎	技術評論社
1530	エンジニアのためのWord再入門講座新版 美しくメンテナンス性の高い開発ドキュメントの作り方	佐藤竜一	翔泳社
1531	演習で力がつくHTML/CSSコーディングの教科書	磯博	S Bクリエイティブ
1532	エンタープライズシステムクラウド活用の教科書	南大輔	技術評論社
1533	お城の地図帳 ハンディ版	廣瀬和二	辰巳出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1534	お寺と神社の地図帳 ハンディ版	廣瀬和二	辰巳出版
1535	オブジェクト指向JavaScriptの原則	Nicholas C. Zakas	オライリー・ジャパン
1536	オブジェクト指向UIデザイン 使いやすいソフトウェアの原理	ソシオメディア株式会社・上野学・藤井幸多	技術評論社
1537	オブジェクト指向でなぜつくるのか第3版 知っておきたいOOP、設計、アジャイル開発の基礎知識	平澤章	日経BP社
1538	オブジェクト指向の考え方5edition 概念から学べる開発のエッセンス	Matt Weisfeld	インプレス
1539	海外で結果を出す人は「異文化」を言い訳にしない	グロービス	英治出版
1540	開眼！JavaScript 言語仕様から学ぶJavaScriptの本質	Cody lindley	オライリー・ジャパン
1541	改訂3版Javaポケットリファレンス	高江賢	技術評論社
1542	改訂版 PythonユーザのためのJupyter実践入門	池内孝啓・片柳薫子・@driller	技術評論社
1543	仮想通貨VS.中央銀行 デジタル通貨の次なる覇者	中島真志	新潮社
1544	学校の情報セキュリティ実践マニュアル	NTTラーニングシステムズ株式会社	翔泳社
1545	完全版ExcelVBAのスキルを実務で活かし切るための本	永井雅明	ソシム
1546	かんたんJavaScript	高橋広樹・佐藤美保・鈴木堅太郎・小松さおり・小野寺章・佐々木浩司	技術評論社
1547	かんたんPython	掌田津耶乃	技術評論社
1548	機械学習・統計処理のための数学入門	小酒井亮太	技術評論社
1549	機械学習エンジニアになりたい人のための本 AIを天職にする	石井大輔	翔泳社
1550	機械学習がわかる統計学入門	涌井良幸・涌井貞美	技術評論社
1551	機械学習による実用アプリケーション構築	Emmanuel Ameisen	オライリー・ジャパン
1552	企画立案からシステム開発まで本当に使えるDXプロジェクトの教科書	下田幸祐・飯田哲也	日経BP社
1553	技術者のための確立統計学 大学の基礎数学を本気で学ぶ	中井悦司	翔泳社
1554	技術者のための線形代数学 大学の基礎数学を本気で学ぶ	中井悦司	翔泳社
1555	基礎からのプログラミングリテラシー	増井敏克	技術評論社
1556	基礎からわかるTCP/IPネットワークコンピューティング入門 第3版	村山公保	オーム社
1557	基礎からわかるはじめての短歌 上達のポイント	高田ほのか	メイツ出版
1558	基礎も実務知識もこれ1冊で！管理会計 本格入門	駒井伸俊	ソシム
1559	帰宅が早い人がやっているパソコン仕事最強の習慣112	橋本和則	翔泳社
1560	逆引きPython標準ライブラリ	大津真・田中健一郎	インプレス
1561	ギリシア神話の光と影 アキレウスとオデュッセウス	吉田敦彦	青土社
1562	極める。Excel	きたみあきこ	翔泳社
1563	組み込みLinuxシステム構築	Karim Yaghmour・Jon Masters・Gilad Ben-Yossef・Philippe Gerum	オライリー・ジャパン
1564	クラウド時代のネットワーク入門 要素技術、設計運用の基本、ネットワークパターン	大喜多利哉	翔泳社
1565	経済のことよくわからないまま社会人になった人へ	池上彰	海竜社
1566	ゲーム&モダンJavaScript文法で2倍楽しいグラフィックプログラミング入門	杉本雅広	技術評論社
1567	けっきょく、よはく	ingectar-e	ソシム

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1568	現代地政学 国際関係地図	パスカルボンファス	ディスカヴァー・トゥエンティワン
1569	現場のプロがやさしく書いたWebサイトの分析・改善の教科書 第2版	小川卓	マイナビ出版
1570	抗がん剤の世界的権威が伝授！最強の野菜スープ	前田浩・古澤靖子	マキノ出版
1571	航空・貨物の謎と不思議	谷川一巳	東京堂出版
1572	国宝の地図帳 ハンディ版	廣瀬和二	辰巳出版
1573	ゴッホ作品集	富田章	東京美術
1574	これ1冊で完璧！ExcelとAccessの連携実務のための技術	沢内晴彦	ソシム
1575	これ1冊で丸わかり完全図解ネットワークプロトコル入門	吉田琢也	日経BP社
1576	これ1冊で丸わかり完全図解無線LAN入門	吉田琢也	日経BP社
1577	これからはじめる人のプログラミング言語の選び方	掌田津耶乃	秀和システム
1578	これからはじめるプログラミング基礎の基礎	谷尻かおり（メディックエンジニアリング）	技術評論社
1579	これから学ぶJavaScript	WINGSプロジェクト齊藤新三	インプレス
1580	これから学ぶmacOSターミナル	大津真	インプレス
1581	コロナ後のエアライン	鳥海高太郎	宝島社
1582	こわくてゆかいな漢字	張莉	二玄社
1583	コンピュータシステムの基礎 第17版	石川英樹	アイテック
1584	コンピュータシステムの理論と実装 モダンなコンピュータの作り方	Noam Nisan・Shimon Schocken	オライリー・ジャパン
1585	最新気象学のキホンがよ〜くわかる本	岩槻秀明	秀和システム
1586	最短距離でゼロからしっかり学ぶPython入門 実践編	Eric Matthes	技術評論社
1587	最短距離でゼロからしっかり学ぶPython入門 必修編	Eric Matthes	技術評論社
1588	サイバーセキュリティプログラミング Pythonで学ぶハッカーの思考	justin Seitz	オライリー・ジャパン
1589	佐藤優の裏読み！国際関係論	佐藤優	毎日新聞出版
1590	仕組み・動作が見てわかる図解入門TCP/IP	みやたひろし	S Bクリエイティブ
1591	仕事を自動化する！Python入門講座	廣瀬豪	ソーテック社
1592	システムはなぜダウンするのか 知っておきたいシステム障害、信頼性の基礎知識	大和田尚孝	日経BP社
1593	実践DeepLearning	Nikhil Buduma	オライリー・ジャパン
1594	実践JavaScript3	Mark Summerfield	オライリー・ジャパン
1595	実践機械学習システム	Willi Richert	オライリー・ジャパン
1596	実用Git	Jon Loeliger	オライリー・ジャパン
1597	銃・病原菌・鉄 下	ジャレドダイヤモンド	草思社
1598	集中演習SQL入門GoogleBigQueryではじめるビジネスデータ分析	木田和廣	インプレス
1599	詳解HTML&CSS&JavaScript事典 第7版	大藤幹・半場方人	秀和システム
1600	詳解Tomcat	藤野圭一	オライリー・ジャパン
1601	詳解WordPress	プライム・ストラテジー株式会社	オライリー・ジャパン
1602	詳細！PHP8+MySQL入門ノートXAMPP+MAMP対応	大重美幸	ソーテック社
1603	詳細！Python3入門ノート	大重美幸	ソーテック社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1604	詳説DeepLearning 実務者のためのアプローチ	Josh Patterson・Adam Gibson	オライリー・ジャパン
1605	詳説イーサネット 第2版	Charles E. Spurgeon・Joann Zimmerman	オライリー・ジャパン
1606	詳説正規表現 第3版	jeffrey E. F. Friedl	オライリー・ジャパン
1607	詳説データベース	Alex Petrov	オライリー・ジャパン
1608	情報アーキテクチャ 第4版	Louis Rosenfeld・Pater Morville・Jorge Arango	オライリー・ジャパン
1609	情報リテラシー入門2021年度	中川裕治ほか	日経BP社
1610	初級ビジネスコンプライアンス第2版	元榮太一郎	東洋経済新報社
1611	女性の視点で見直す人材育成	中原淳・トーマツイノベーション	ダイヤモンド社
1612	人口減少社会のデザイン	広井良典	東洋経済新報社
1613	人工知能のアーキテクトたち	松尾豊	オライリー・ジャパン
1614	新人エンジニアのためのインフラ入門	株式会社BFT	インプレス
1615	新世代Javaプログラミングガイド JavaSE10/11/12/13と言語拡張プロジェクト	MalaGupta	インプレス
1616	新わかりやすいJavaオブジェクト指向徹底解説	川場隆	ソシム
1617	新わかりやすいJava入門編 第2版	川場隆	秀和システム
1618	数学大百科事典 仕事で使う公式・定理・ルール127	蔵本貴文	翔泳社
1619	数式をプログラムするってつまりこういうこと	鈴木雅也・渡辺将人・井上史斗	ソシム
1620	図解！HTML&CSSのツボとコツがゼッタイにわかる本	中田亨	秀和システム
1621	図解！Pythonのツボとコツがゼッタイにわかる本「プログラミング実践編」	立山秀利	秀和システム
1622	図解！SQLのツボとコツがゼッタイにわかる本	五十嵐貴之・芳賀勝紀	秀和システム
1623	図解即戦力 機械学習&ディープラーニングのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書	山口達輝・松田洋之	技術評論社
1624	図解即戦力 ビックデータ分析のシステムと開発がこれ一冊でしっかりわかる教科書	渡部徹太郎	技術評論社
1625	図解即戦力 要件定義のセオリーの実践方法がしっかりわかる教科書	上村有子	技術評論社
1626	図解即戦力AIエンジニアの実務と知識がこれ1冊でしっかりわかる教科書	AIエンジニア研究会	技術評論社
1627	図解まるわかりWeb技術者のしくみ	西村泰洋	翔泳社
1628	図解まるわかりクラウドのしくみ	西村泰洋	翔泳社
1629	図解まるわかりサーバーのしくみ	西村泰洋	翔泳社
1630	図解まるわかりセキュリティのしくみ	増井敏克	翔泳社
1631	図解まるわかりデータベースのしくみ	坂上幸大	翔泳社
1632	図解まるわかりネットワークのしくみ	Gene	翔泳社
1633	図解まるわかりプログラミングのしくみ	増井敏克	翔泳社
1634	スタンフォード大学で一番人気の経済学入門	池上彰	かんき出版
1635	スッキリわかるJava入門実践編第3版	中山清喬	インプレス
1636	スッキリわかるJava入門第3版	国本大悟・中山清喬	インプレス
1637	スッキリわかるPython入門	須藤秋良・国本大悟	インプレス
1638	スッキリわかるPythonによる機械学習入門	須藤秋良	インプレス
1639	スッキリわかるSQL入門ドリル222問付き！	中山清喬・飯田理恵子	インプレス
1640	スッキリわかるサーバレット&JSP入門	国本大悟	インプレス

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1641	ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修第3版 エンジニアになったら押さえておきたい基礎知識	飯村結香子・大森久美子・西原琢夫	翔泳社
1642	スティーブ・ジョブズ 青春の光と影	脇英世	東京電機大学出版局
1643	すべての不調は自分で治せる	藤川徳美	方丈社
1644	スラスラわかるネットワーク&TCP/IPのきほん	リブワークス	S Bクリエイティブ
1645	政治のことよくわからないまま社会人になった人へ	池上彰	海竜社
1646	世界遺産キューガーデンに学ぶはじめての英国流園芸テクニック	館林正也	講談社
1647	世界で最も美しい問題解決法	リチャードEエスベット	青土社
1648	世界の英語ができるまで	唐澤一友	亜紀書房
1649	世界のビジネスエリートは知っているルーヴルに学ぶ美術の教養	木村泰司	ディスカヴァー・トゥエンティワン
1650	攻めと守りで変革を実現 DX最前線	日経クロステック	日経BP社
1651	ゼロから覚えるHTML&CSSの基本	吉岡豊	ソシム
1652	ゼロから作るDeepLearning	斎藤康毅	オライリー・ジャパン
1653	ゼロから作るDeepLearning2	斎藤康毅	オライリー・ジャパン
1654	ゼロからはじめるデータサイエンス 第2版	Joel Grus	オライリー・ジャパン
1655	先輩がやさしく教えるセキュリティの知識と実務	橋本和則	翔泳社
1656	増補改訂 Pythonによるスクレイピング&機械学習「開発テクニック」	クジラ飛行機	ソシム
1657	増補改訂 ビックデータを支える技術	西田圭介	技術評論社
1658	増補改訂版 良いコードを書く技術	懸俊貴	技術評論社
1659	続・ドローン産業応用のすべて 進化する自立飛行が変える未来	野波健蔵	オーム社
1660	退屈なことはPythonにやらせよう ノンプログラマーにもできる自動化処理プログラミング	AI Sweigart	オライリー・ジャパン
1661	達人に学ぶSQL徹底指南書第2版 初級者で終わりたいあなたへ	ミック	翔泳社
1662	たった1日で基本が身に付く!Unity超入門	リブワークス	技術評論社
1663	たった1日で基本が身に付く!Androidアプリ開発超入門 改訂2版	中川幸哉	技術評論社
1664	小さな会社ではじめてIT担当になった人のセキュリティ入門	奥田英太郎	秀和システム
1665	知識ゼロからのJavaScript入門	小笠原寛	技術評論社
1666	知識ゼロからのWebアプリ開発入門	町田耕	技術評論社
1667	知識ゼロからの機械学習入門	太田和樹	技術評論社
1668	知識ゼロからのプログラミング学習術	北村拓也	秀和システム
1669	知識ゼロからはじめるWordPressの教科書	早崎祐介	ソシム
1670	中国オンラインビジネスモデル図鑑	王沁	かんき出版
1671	中国とビジネスをするための鉄則55	吉村章	アルク
1672	直感DeepLearning Python×Kerasでアイデアを形にするレシピ	Antonio Gulli・Sujit Pal	オライリー・ジャパン
1673	つくってマスターPython 機械学習・Webアプリケーション・スクレイピング・文書処理ができる!	掌田津耶乃	技術評論社
1674	データサイエンスのための統計学入門 第2版	Peter Bruce・Andrew Bruce・Peter Gedeck	オライリー・ジャパン

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1675	データサイエンスの扉を開くための技術 SQLデータ分析・活用入門	西潤史郎	ソシム
1676	データサイエンス講義	Rachel Schutt・cathy O'Neil	オライリー・ジャパン
1677	データサイエンティスト養成読本ビジネス活用編	高橋威知郎・矢部章一・奥村エルネスト純・樫田光・中山心太・伊藤徹郎・津田真樹・西田勘一郎・大成弘子・加藤エルテス聡志	技術評論社
1678	データ視覚化のデザイン	永田ゆかり	S Bクリエイティブ
1679	データを集める技術	佐々木拓郎	S Bクリエイティブ
1680	デザイナーのためのプロの制作術が身につくWebディレクションの教科書	NPO法人クリエイター育成協会高田信宏・池田真知子・松野尾絢三・藤井梨恵・前田絵里	S Bクリエイティブ
1681	デザインの基本ノート仕事で使えるセンスと技術が一冊で身につく本	尾沢早飛	S Bクリエイティブ
1682	デジタルイラストの「キャラ塗り」最強事典 CLIP STUDIO PAINT PRO/EXで描く！紙面開設と動画でわかる良質テク68	株式会社レミック	S Bクリエイティブ
1683	デジタルイラストの「ポーズ」見つかる事典 使えるしぐさ・姿勢・動きのアイデア480	サイドランチ	S Bクリエイティブ
1684	徹底図解 IoTビジネスがよくわかる本	株式会社富士通総研 細井和宏/池田義幸/佐々木哲也/黒木昭博/菊本徹/小田和樹	S Bクリエイティブ
1685	天空の地図 人類は頭上の世界をどう描いてきたのか	アンルーニー	ナショナルジオグラフィック
1686	独習Java	山田祥寛	翔泳社
1687	独習PHP第4版	山田祥寛	翔泳社
1688	独習Python	山田祥寛	翔泳社
1689	土日で学べる「AI&自動化」プログラミング	中野敦	日経BP社
1690	トリーズの9画面法	高木芳徳	ディスカヴァー・トゥエンティワン
1691	なぜ、いま学校でプログラミングを学ぶのか ーはじまる「プログラミング教育」必修化	平井聡一郎、利根川裕太	技術評論社
1692	なんでもPythonプログラミング平林万能IT技術研究所の奇妙な実験	平林純	技術評論社
1693	ニュートン別冊 食と栄養の大百科 増補第2版	高森康雅	ニュートンプレス
1694	ニュートン別冊 ゼロからわかる天気と気象	高森康雅	ニュートンプレス
1695	ニュートン別冊 脳とは何か活用編	高森康雅	ニュートンプレス
1696	入門Python3 第2版	Bill Lubanovic	オライリー・ジャパン
1697	入門Webゲーム開発	Evan Burcbrd	オライリー・ジャパン
1698	入門機械学習	Drew Conway・John Myles White	オライリー・ジャパン
1699	入門自然言語処理	Steven Bird・Ewan Klein・Edward Loper	オライリー・ジャパン

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1700	入門データ構造とアルゴリズム	Narasimba Karumanchi	オライリー・ジャパン
1701	ネットワークがよくわかる教科書	有限会社インタラクティブ プリサーチ福永勇二	S Bクリエイティブ
1702	ネットワークセキュリティHACKS第2版 プロが使うテクニック&ツール100+	Andrew Lockhart	オライリー・ジャパン
1703	ネットワークはなぜつながるのか第2版 知っておきたいTCP/IP, LAN光ファイバの基礎知識	-	日経BP社
1704	眠れなくなるほど面白い建築の話	スタジオワーク	日本文芸社
1705	年表でわかる現代の社会と宗教	渡邊直樹	平凡社
1706	パーフェクトPython	露木誠・小田切篤・大谷弘喜	技術評論社
1707	配色アイデア手帖 世界を彩る色と文化	桜井輝子	S Bクリエイティブ
1708	パケットキャプチャの教科書	みやたひろし	S Bクリエイティブ
1709	初めてのAndroid 第4版	Ed Burnette	オライリー・ジャパン
1710	はじめてのHTML+CSS HTML5対応	大藤幹	ソシム
1711	初めてのJavaScript 第3版	Ethan Brown	オライリー・ジャパン
1712	初めてのPHP, MySQL, JavaScript&CSS	Robin Nixon	オライリー・ジャパン
1713	初めてのPHP, MySQL, JavaScript&CSS	David Sklar	オライリー・ジャパン
1714	初めてのSQL 第3版	Alan Beaulieu	オライリー・ジャパン
1715	はじめてのSQLエンジニア入門編	堀江美彦	秀和システム
1716	初めてのプログラミング 第2版	Cbirs Pine	オライリー・ジャパン
1717	はじめて学ぶ人でも深くわかる 武器になる「法学」講座	木山泰嗣	ソシム
1718	はじめまして、法学 身近なのに知らなさすぎる「これって法的にどうなの？」	遠藤研一郎	ウェッジ
1719	話し方で得する人損する人	五百田達成	ディスカヴァー・トゥエンティワン
1720	ハンズオンJavaScript	あんどろやすし	オライリー・ジャパン
1721	ビジネスサイトを作って学ぶWordPressの教科書	プライム・ストラテジー株式会社小川欣一・穂苅智哉・森下竜行・株式会社カイエン・岩本修	ソシム
1722	ビジネス資料のデザイン編集 資料作成の編集とデザインがわかる本	ingectar-e	ソシム
1723	ひとり副業で月13万円	みすと	ぼる出版
1724	フェアトレード学 私たちが創る新経済秩序	渡辺龍也	新評論
1725	フェアトレードタウン 誰も置き去りにしない校正と共生のまちづくり	渡辺龍也	新評論
1726	富岳 世界4冠スパコンが日本を救う 圧倒的1位に輝いた国産技術の神髄	日経クロステック	日経BP社
1727	普通の会社員でもできる日本版FIRE超入門	山崎俊輔	ディスカヴァー・トゥエンティワン

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1728	フレキシブルボックスで作るHTML5&CSS3レッスンブック	エビスコム	ソシム
1729	プログラマーになりたい!	長岡英史	日経BP社
1730	プログラマーの本気がExcelを覚醒させる超絶ExcelVBA	クジラ飛行机	ソシム
1731	プログラマが知るべき97のこと	Kevlin Henney	オライリー・ジャパン
1732	プログラマのためのディープラーニングのしくみがわかる数学入門	増井敏克	ソシム
1733	プログラマのための文字コード技術入門	矢野啓介	技術評論社
1734	プログラミングHTML5 Canvas	David Geary	オライリー・ジャパン
1735	プログラミングTypeScript	Boris Cherny	オライリー・ジャパン
1736	プログラミング言語図鑑	増井敏克	ソシム
1737	プログラミング未経験の文系が独学で年収1000万ITエンジニアになるための入門書	齊藤和樹	秀和システム
1738	プログラムはなぜ動くのか第3版 知っておきたいプログラミングの基礎知識	矢沢久雄	日経BP社
1739	プロジェクト・マネージャーが知るべき97のこと	Barbee Davis	オライリー・ジャパン
1740	フロントエンド開発入門 プロフェッショナルな開発ツールと設計・実装	安達綾・武田論	秀和システム
1741	文系でも必ずわかる中学数学×Python 超簡単プログラミング入門	谷尻かおり (メディックエンジニアリング)	日経BP社
1742	ベタープログラマ 優れたプログラマになるための38の考え方とテクニック	Pete Goodliffe	オライリー・ジャパン
1743	ホームページ事典第6版 HTML・CSS・JavaScript	株式会社アଙ୍କ	翔泳社
1744	ホワイトハッカー入門	阿部ひろき	インプレス
1745	本格学習Java入門 改訂3版	佐々木整	技術評論社
1746	本気で学ぶLinux実践入門	有限会社ナレッジデザイン 大竹龍史・山本道子	S Bクリエイティブ
1747	本当によくわかるWordPressの教科書改訂2版 初めての人も、挫折した人も、本格サイトが必ず作れる	赤司達彦	S Bクリエイティブ
1748	ほんとに、フォント フォントを活かしたデザインレイアウトの本	ingectar-e	ソシム
1749	ほんの一手間で劇的に変わるHTML&CSSとWebデザイン実践講座	Mana	S Bクリエイティブ
1750	マキャベリの「君主論」	ニッコロマキャベリ	ウェッジ
1751	マスタリングTCP/IP情報セキュリティ編	齊藤孝道	オーム社
1752	マスタリングTCP/IP入門編 第6版	井上直也・松山公保・竹下隆史・荒井透・荻田幸雄	オーム社
1753	みずほ銀行システム統合、苦悩の19年史 史上最大のITプロジェクト「3度目の正直」	日経コンピュータ山端宏実・岡部一詩・中田敦・大和田尚孝・谷島宣之	日経BP社
1754	見て試してわかる機械学習アルゴリズムの仕組み 機械学習図鑑	秋庭伸也・杉山阿聖・寺田学	翔泳社
1755	みんなでアジャイル 変化に対応できる顧客中心組織のつくりかた	Matt LeMay	オライリー・ジャパン
1756	みんなのIoT	柴田淳	S Bクリエイティブ

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1757	みんなのJava OpenJDKから始まる大変革期!	きしだなおき、吉田真也、山田貴裕、蓮沼賢志、阪田浩一、前多賢太郎	技術評論社
1758	みんなのPHP 開発環境構築から活用テクニックまで	石田絢一、石山宏幸、遠藤太徳、大橋佑太、岡田正平、川原翔吾、木村俊彦、小山哲志、高橋邦彦、竹澤有貴、富所亮、長谷川智希、東口和暉、めもりー、山本ノリコ、吉田裕平、若葉章、渡辺一宏	技術評論社
1759	みんなのブロックチェーン	柴田淳	S Bクリエイティブ
1760	目的別に探せて、すぐに使えるアイデア集 Webデザイン良質見本帳	久保田涼子	S Bクリエイティブ
1761	モダンWeb 新しいWebプラットフォームの基盤技術	Pater Gasston	オライリー・ジャパン
1762	問題解決のPythonプログラミング 数学パズルで鍛えるアルゴリズム的思考	Srini Devadas	オライリー・ジャパン
1763	やさしくわかるPythonの教室	リブワークス	技術評論社
1764	よくわかる組込みシステム開発入門	一般社団法人組込みシステム技術協会人材育成事業本部	技術評論社
1765	リーダブルコード より良いコードを書くためのシンプルで実践的なテクニック	Dustin Boswell・Trevor Foucher	オライリー・ジャパン
1766	レイアウト・デザインの教科書	米倉明男・生田信一・青柳千郷 (ベーコン)	S Bクリエイティブ
1767	ロゴデザインの教科書 良質な見本から学べるすぐに使えるアイデア帳	植田阿希	S Bクリエイティブ
1768	わかりやすいIT基礎入門 第3版	アイテックIT人材教育研究部	アイテック
1769	わかりやすいJakartaEEウェブシステム入門	川場隆	ソシム
1770	仕事ではじめる機会学習 第2版	有賀康顕・中山心太・西林孝	オライリー・ジャパン
1771	世界でいちばん簡単なネットワークのe本 ネットワークとTCP/IPの考え方がわかる	金城俊哉	秀和システム
1772	.NETのクラスライブラリ設計 開発チーム直伝の設計原則、コーディング標準、パターン 改訂新版 The Addison-Wesley Microsoft Technology Series	Krzysztof Walina, Jeremy Barton, Brad Abrams, 猪股健太郎, 河合宜文, 藤原雄介	日経BP
1773	無線機器システム 第一級・第二級陸上無線技術士試験対応	井手輝二	日本理工出版会
1774	経験者が語るQ&A電子契約導入・運用実務のすべて	柴山吉報, 高岸亘, 桑名直樹, 水井大, 富山京子	中央経済社
1775	EDIUS 10 Proパーフェクトガイド 改訂2版	阿部信行	技術評論社
1776	Final Cut Pro実践講座Reboot 速読・速解シリーズ 20	斎賀和彦, 高田昌裕	玄光社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1777	一橋商学論叢 Vol. 16 No. 1 (2021 May)	一橋商学会	白桃書房
1778	無線工学B 第3版 1・2 陸技受験教室 3	吉川忠久	東京電機大学出版局
1779	The Youtube Formula : How Anyone Can Unlock the Algorithm to Drive Views, Build an Audience, and Grow Revenue	Eves, Derral/ Donaldson, Jimmy (FRW)	John Wiley & Sons Inc
1780	The Ultimate LinkedIn Sales Guide : How to Use Digital and Social Selling to Turn LinkedIn into a Lead, Sales and Revenue Generating Machine	Disney, Daniel	John Wiley & Sons Inc
1781	商学入門	石川和男	中央経済社
1782	これからはじめるPremiere Proの本 改訂2版 デザインの学校	佐藤太郎, 中菌洗太, ロクナナワークショップ	技術評論社
1783	Seishun	芹沢瞬	宝島社
1784	1級2級第2次検定電気通信工事施工管理技士突破攻略 2021年版	高橋英樹	技術評論社
1785	おしゃれなライフスタイル動画撮影&編集術 Vlog by sueddu	sueddu, 村山哲也	ビー・エヌ・エヌ
1786	これ1冊で丸わかり完全図解ネットワーク構築入門 日経BPムック	日経NETWORK	日経BP
1787	ロジカルに伝わる英語プレゼンテーション 必須英語表現、資料作成のノウハウ、オンラインでのプレゼンの段取り	江藤友佳	クロスメディア・ランゲージ
1788	これだけで基本がしっかり身につくHTML/CSS & Webデザイン1冊目の本 つくりながら楽しく学べる	竹内直人, 竹内瑠美	翔泳社
1789	プライベートワイヤレスネットワーク入門 Wi-Fi 6、802.11ah、ローカル5G徹底解説	小林忠男・著, 無線LANビジネス推進連絡会, 802.11ah推進協議会	リックテレコム
1790	正しく怖がるフィッシング詐欺	大角祐介	オーム社
1791	入社1年目のビジネス英語大全	出口朋美, 小坂貴志	ジャパンタイムズ出版
1792	Becoming Data Literate : Building a Great Business, Culture and Leadership through Data and Analytics	Reed, David/ Gregory, Adrian (FRW)	Harriman House Pub
1793	TikTok Boom : China's Dynamite App and the Superpower Race for Social Media	Stokel-Walker, Chris	Canbury Pr Ltd
1794	画像ラボ Vol. 32 No. 10 (2021-10) 〈特集〉色味の検査・照合・判別 1 〈特別企画〉USB & GigEインタフェース対応製品写真集	画像ラボ編集委員会	日本工業出版
1795	インフラエンジニアの知識と実務がこれ1冊でしっかりわかる教科書 図解即戦力:豊富な図解と丁寧な解説で、知識0でもわかりやすい!	インフラエンジニア研究会	技術評論社
1796	Social Warming : The Dangerous and Polarising Effects of Social Media	Arthur, Charles	Oneworld Pubns Ltd
1797	IoTモノのインターネット やさしく知りたい先端科学シリーズ 9	高安篤史	創元社
1798	ライブ配信ハンドブック 知識ゼロ・機材ゼロから始める	田口真行	玄光社
1799	人を動かす、気配りの英語表現 相手も自分も大事にしたい人のためのフレーズ集	マヤ・バーダマン	ジャパンタイムズ出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1800	超入門！サイトM&A 1年目の教科書 売却編	中島優太	コーシン出版
1801	Web技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書 図解即戦力：豊富な図解と丁寧な解説で、知識0でもわかりやすい！	鶴長鎮一	技術評論社
1802	YouTubeの教科書 視聴者がグングン増える！撮影・編集・運営テクニック	大須賀淳	インプレス
1803	アメリカ英語によるアメリカ流交渉術	浅見ベートーベン	IBCパブリッシング
1804	ビジネスで1番よく使う中国語Eメール&SNS そのまま使える文例140 BIZ No. 1	CCアカデミー, 大羽りん, 趙青	Jリサーチ出版
1805	ライセンスフリー無線完全ガイド デジタル簡易無線から新CB機まで Vol. 6 三オムック	-	三オブックス
1806	映画で学ぶビジネス英語 改訂版	鶴岡公幸, Matthew Wilson, 早川知子, Mark Hill	フォーインスクリーンプレイ事業部
1807	超図解クラウドサイン入門 これからの100年、新しい契約のかたち。ゼロから学べる電子契約導入・運用のポイント	弁護士ドットコムクラウドサイン	日本能率協会マネジメントセンター
1808	できるZoom ビデオ会議やオンライン授業、ウェビナーが使いこなせる本 最新改訂版	法林岳之, 清水理史, できるシリーズ編集部	インプレス
1809	だから僕は大人になれない	ぺいんと	KADOKAWA
1810	ひねくれ者の分析力	よーらい	KADOKAWA
1811	WEB+DB PRESS Vol. 125 特集 作って学ぶプログラミング言語 GraphQL DynamoDB Scala 3	-	技術評論社
1812	なぜか惹かれる言葉のつくりかた	能勢邦子	サンマーク出版
1813	ビジネスで1番よく使う電話&オンライン英会話 受け答えからマナーまで BIZ No. 1	大島さくら子	Jリサーチ出版
1814	告発 誰も晒せなかったSNSのヤバすぎる闇	コレコレ	宝島社
1815	逃げの才能 やりたいことだけやってみただけ、意外と人生なんとかなってる。	カノックスター	KADOKAWA
1816	暮らしvlogのはじめ方 SHOOTING/EDITING/POSTING/WATCHING	ドウガテック, futaba, 朝日新聞出版	朝日新聞出版
1817	もっと自由に駆け抜ける！ ネガティブな毎日をポジティブに変換 AMENBOPLUS HOME RUN TALK	あめんぼぶらす	KADOKAWA
1818	目からウロコのSEO対策「真」常識	柏崎剛	幻冬舎メディアコンサルティング
1819	Instagram基本+活用ワザ 最新改訂版 できるfit	田口和裕, いしたにまさき, できるシリーズ編集部	インプレス
1820	スッキリ！がってん！IoTの本	安本慶一, 荒川豊, 松田裕貴	電気書院
1821	5分でわかる安心ネット術 小学生実用BOOKS	手塚信貴, 岩崎つばさ	学研プラス
1822	60歳からはじめるリモート生活 マキノ出版ムック 特選街「やさしくわかる！」シリーズ	-	マキノ出版
1823	2019 事例でわかる情報モラル30テーマ	-	実教出版
1824	30時間アカデミック情報活用Excel	-	実教出版
1825	30時間でマスターExcel	-	実教出版
1826	30時間でマスターWord	-	実教出版
1827	Access マスター演習問題集 Access	-	ムゲンダイ出版
1828	Excel マスター演習問題集 応用編	-	ムゲンダイ出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1829	Excel マスター演習問題集 応用編	-	ムゲンダイ出版
1830	IT時代の危機管理入門 情報セキュリティ読本 五訂版	-	実教出版
1831	PowerPoint マスター演習問題集 PowerPoint	-	ムゲンダイ出版
1832	Word マスター演習問題集 Word	-	ムゲンダイ出版
1833	これからはじめるPhotoshopの本	I&D 宮川千春・木俣カイ	技術評論社
1834	よくわかるMicrosoft Excel応用	-	FOM出版
1835	よくわかるMicrosoft Excel基礎	-	FOM出版
1836	よくわかるTCP/IPとインターネットプロトコルの基本と仕組み	谷口 功	-
1837	マニュアル不要のパソコン術	朝日新聞 b e 編集部	朝日新聞社
1838	すぐわかるEXCEL関数大活用	アスキーDOTPC編集部	-
1839	情報システム基礎	神沼 靖子	-
1840	Information Technology Project Management 6e	Kathy Schwalbe	-
1841	経済学・入門 第3版	塩澤修平	有斐閣アルマ
1842	経済学講義	飯田泰之	筑摩書房
1843	経済学入門 ミクロ編	ティモシー・テイラー	かんき出版
1844	経済学入門・マクロ編	ティモシー・テイラー	かんき出版
1845	経済学の歴史ー市場経済を読み解く	中村達也・八木紀一郎 他	有斐閣
1846	現代経済学への招待	根井雅弘	丸善ライブラリー
1847	行動経済学の使い方	大竹文雄	岩波新書
1848	この世で一番おもしろいミクロ経済学	ヨラム・パウマン	ダイヤモンド社
1849	実践行動経済学	リチャード・セイラー、 キャス・サンステイーン	日経BP社
1850	ゼミナール 経営学入門	伊丹敬之 加護野 忠男	日本経済新聞出版
1851	ゼロから始める経済入門	横浜国立大学経済学部テ キストプロジェクトと チーム/編	有斐閣
1852	入門 経済学	伊藤元重	日本評論社
1853	入門書を読む前の経済学入門	中矢俊博	同文館出版
1854	Principle of Economics	N. G. Mankiw	South-Western Pub
1855	Principle of Macroeconomics	N. G. Mankiw	South-Western Pub
1856	Principle of Microeconomics	N. G. Mankiw	South-Western Pub
1857	アウトソーシングの国際経済学	富浦英一	日本評論社
1858	アメリカ航空宇宙産業でまなぶミクロ経済学	宮田由紀夫	関西学院大学出版 会
1859	エレメンタルマクロ経済理論	庭田文近	晃洋書房
1860	クルーグマンの国際経済学：理論と政策 上	P. R. クルーグマン 他	丸善出版
1861	クルーグマンの国際経済学：理論と政策 下	P. R. クルーグマン 他	丸善出版
1862	クルーグマンマクロ経済学 マクロ編 第2版	ポール・クルーグマン、 ロビン・ウェルス	東洋経済新報社
1863	コア・テキスト国際経済学 第2版	大川昌幸	新世社
1864	どうなる世界経済：入門国際経済学	伊藤元重	光文社
1865	ネットニュースではわからない本当の日本経済入門	伊藤元重	東洋経済新報社
1866	ビギナーのための国際経済学 改訂版	井手豊也	晃洋書房
1867	マクロ経済学：入門の「一歩前」から応用まで	平口良司 他	有斐閣
1868	マクロ経済学・入門	福田慎一、照山博司	有斐閣
1869	マクロ経済学の核心	飯田泰之	光文社
1870	やさしいマクロ経済学	塩路悦朗	日本経済新聞出版 社

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1871	例題から学ぶマクロ経済学の理論	武隈 愼一	新世社
1872	マンキュー経済学 マクロ編 第4版	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社
1873	マンキュー入門経済学 第3版	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社
1874	マンキュー経済学 ミクロ編 第4版	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社
1875	ミクロ経済学の力	神取道宏	日本評論社
1876	ミクロ経済学 第3版	伊藤元重	日本評論社
1877	ミクロ経済学・入門： ビジネスと政策を読みとく	柳川隆 他	有斐閣
1878	ミクロ経済学とは：資源の配分を考える	浅子和美, 山澤成康	サン・エデュケーションナル
1879	ミクロ経済学の第一歩：First steps in microeconomics 新版	安藤至大	有斐閣
1880	ミクロ経済学入門 第2版	金榮緑, 坂上紳	日本評論社
1881	読むミクロ経済学	井上義朗	新世社
1882	入門マクロ経済学 第6版	中谷巖, 下井直毅, 塚田裕昭	日本評論社
1883	入門ミクロ経済学	井堀 利宏	新世社
1884	ミクロ経済分析：はじめて学ぶ人へ	佐々木浩二	創成社
1885	マンガでわかるミクロ経済学	滝川好夫	新星出版社
1886	演習問題で学ぶ国際経済学へのいざないコンパクト	友原章典	ミネルヴァ書房
1887	国際経済をつかむ 第2版	石川城太 他	有斐閣
1888	国際経済学の基礎「100項目」 第5版	多和田眞	創成社
1889	職をめぐる日中経済関係：国際経済学からの検証	姚国利	批評社
1890	新しい農業経済論：マクロ・ミクロ経済学とその応用 新版	山口三十四 他	有斐閣
1891	水資源の国際経済学—気候・人口問題と水利用のネットワーク化	佐藤正弘	慶應義塾大学出版会
1892	世界のエリートが学ぶマクロ経済学：ハーバード・ビジネススクール教授の実践講座	デヴィッド・モス	日本経済新聞出版社
1893	1からの経営学	加護野 忠男	碩学舎
1894	1からのリテール・マネジメント	清水信年	碩学舎
1895	21世紀のマーケティング戦略	近藤文雄・陶山計介 他	ミネルヴァ書房
1896	ASEANマーケティング	コトラー, P.ほか	日本出版貿易
1897	MBAマーケティング	㈱グロービス	ダイヤモンド社
1898	アジア発・グローバル小売競争	ロス・デービス/矢作敏行編	日本経済新聞社
1899	アメリカ・マーケティング史研究	薄井和夫	大月書店
1900	アメリカの高校生が読んでいる経済の教科書	山田道男, 浅野忠克	アスペクト文庫
1901	アメリカ大企業の海外マーケティング	日本セールス幹部協会	日本生産性本部
1902	アンゾフ 戦略経営論	H. I. アンゾフ	中央経済社
1903	イノベーションのDNA	クリステンセン	翔泳社
1904	イノベーションの最終解	クリステンセン	翔泳社
1905	イノベーションのジレンマ	クリステンセン	翔泳社
1906	競争戦略論 I	M. E. ポーター	ダイヤモンド社
1907	競争戦略論 II	M. E. ポーター	ダイヤモンド社
1908	競争優位の終焉	リタ・マグレイス	日本経済新聞出版
1909	教養としての経済学	一橋大学経済学部/編	有斐閣
1910	グローバル・マーケティング	諸上茂登・藤澤武史	中央経済社
1911	グローバル・マーケティング戦略	三浦俊彦	有斐閣
1912	グローバル・マーケティングの進化と課題	高井眞編	同文館

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1913	グローバルSCM	山下洋史 諸上茂登 村田潔編	有斐閣
1914	グローバルビジネス戦略	小田部正明/クリスチアン・ヘンセン	同文館
1915	経営戦略の論理	伊丹敬之	日本経済新聞出版
1916	ケースで学ぶ マーケティング	井原久光	ミネルヴァ書房
1917	ケースブック 経営戦略の論理	伊丹敬之 西野和美	日本経済新聞主版
1918	コア・コンピタンス経営	ゲイリー・ハメル/C・K・プラハード	日本経済新聞出版
1919	コトラー 競争力を高めるマーケティング	フィリップ・コトラー	丸善出版
1920	コトラーのマーケティング4.0	フィリップ・コトラー	朝日新聞出版
1921	コモディティ化市場のマーケティング論理	恩蔵直人	有斐閣
1922	実践的グローバル・マーケティング	大石芳裕	ミネルヴァ書房
1923	事例で学ぶ BtoBマーケティングの戦略と実践	栗原康太	ずばる舎
1924	新訂 競争の戦略	M. E. ポーター	ダイヤモンド社
1925	世界標準の経営理論	入山章栄	ダイヤモンド社
1926	ゼミナール マーケティング入門	石井淳蔵	日本経済新聞
1927	ゼロからの経営戦略	沼上 幹	ミネルヴァ書房
1928	戦略サファリ 第2版	ヘンリー・ミンツバーグ	東洋経済新報社
1929	ダイナミック・ケイパビリティ戦略	デビッド・J・ティース	ダイヤモンド社
1930	知識創造企業	野中郁次郎	東洋経済新報社
1931	知識創造の方法論ーナレッジワーカーの作法	野中郁次郎	東洋経済新報社
1932	テキスト経営学 第3版	井原久光	ミネルヴァ書房
1933	テキストブック 現代マーケティング<新版>	木綿良行・懸田豊・三村優美子	有斐閣ブックス
1934	ドラッカー名著集 1	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1935	ドラッカー名著集 2	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1936	ドラッカー名著集 3	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1937	ドラッカー名著集 4	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1938	ドラッカー名著集 5	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1939	ドラッカー名著集 6	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1940	ドラッカー名著集 7	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1941	ドラッカー名著集 8	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1942	ドラッカー名著集 9	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1943	ドラッカー名著集 10	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1944	ドラッカー名著集 11	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1945	ドラッカー名著集 12	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1946	ドラッカー名著集 13	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1947	ドラッカー名著集 14	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1948	ドラッカー名著集 15	ピーター・ドラッカー	ダイヤモンド社
1949	ナッジで、人を動かす	キャス・サンステイーン	NTT出版
1950	はじめて学ぶマーケティング 基礎編 現代マーケティング戦略	薄井和夫	大月書店
1951	はじめて学ぶマーケティング 応用編 マーケティングと現代社会	薄井和夫	大月書店
1952	ビジネススクールでは学べない世界最先端の経営学	入山章栄	日経BP社
1953	ビジネスモデル全史	三谷宏治	ディスカバー・ウエンティワン
1954	さあ、才能(じぶん)に目覚めよう 新版 ストレngthス・ファインダー2.0	トム・ラス	日本経済新聞出版
1955	ビジョナリーカンパニー	ジム・コリンズ	日経BP社
1956	ファスト&スロー 上	ダニエル・カーネマン	早川書房
1957	ファスト&スロー 下	ダニエル・カーネマン	早川書房

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
1958	ベーシック・マーケティング	日本マーケティング協会	同文館
1959	ベトナム現地化の国際経営比較	丹野勲・原田仁丈	文真堂
1960	マーケティング	上田隆穂・江原淳	新世社
1961	マーケティング	小原 博	新世社
1962	マーケティング	恩蔵直人	日本経済新聞出版
1963	マーケティング・エッセンシャルズ	P. コトラー	東海大学出版会
1964	マーケティング・マネジメント	P. コトラー	プレジデント社
1965	マーケティング原理	P. コトラー	ダイヤモンド社
1966	マーケティング戦略<新版>	和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦	有斐閣アルマ
1967	マーケティングに強くなる	恩蔵直人	ちくま新書
1968	マーケティングの神話	石井淳蔵	日本経済新聞社
1969	マーケティング力: 大量集中から機動集中へ	田村正紀	千倉書房
1970	マーケティング論 (増補改訂版)	深見義一編	有斐閣
1971	マーケティングを学ぶ	石井淳蔵	ちくま新書
1972	マーケティング革新の時代 第1巻 顧客創造	嶋口充輝ほか	有斐閣
1973	マーケティング革新の時代 第2巻 製品開発革新	嶋口充輝ほか	有斐閣
1974	マーケティング革新の時代 第3巻 ブランド構築	嶋口充輝ほか	有斐閣
1975	マーケティング革新の時代 第4巻 営業・流通革新	嶋口充輝ほか	有斐閣
1976	マーケティング学説の発展	R. パーテルズ	ミネルヴァ書房
1977	マーケティング学説史 アメリカ編	マーケティング史研究会編	同文館
1978	マーケティング学説史 日本編	マーケティング史研究会編	同文館
1979	マーケティング研究の新地平	田村正紀・石原武政・石井淳蔵編	千倉書房
1980	マーケティング読本	久保村隆祐・出牛正芳・吉村寿	東洋経済
1981	マーケティング論の源流	光澤滋朗	千倉書房
1982	マイケル・ポーターの競争戦略	ジョアン・マグレッタ	早川書房
1983	マス・マーケティング史	R. S. テドロウ	ミネルヴァ書房
1984	メーカーのための海外マーケティング	蔭山敦	ダイヤモンド社
1985	柔らかいマーケティングの論理	嶋口充輝	ダイヤモンド社
1986	良い戦略 悪い戦略	ルメルト	日本経済新聞出版
1987	予想通りに不合理	ダン・アリエリー	早川書房
1988	ロシア市場戦略論	富山栄子	ミネルヴァ書房
1989	ワールド・マーケティング	村田昭治編	日本生産性本部
1990	わかりやすいマーケティング戦略	沼上 幹	有斐閣アルマ
1991	欧州の小売りイノベーション	矢作敏行	白桃書房
1992	海外マーケティング	日本商業学会編	千倉書房
1993	海外市場と輸出マーケティング	前田昌利	精文館
1994	関係性マーケティングの構図	和田充夫	有斐閣
1995	企業のパラダイム変革	加護野 忠男	講談社
1996	経営革新と流通支配	G. ポーター/H. リブセイ	ミネルヴァ書房
1997	現代のマーケティング① 「製品・ブランド戦略」	青木幸助・恩蔵直人編	有斐閣
1998	現代のマーケティング② 「価格・プロモーション戦略」	上田隆穂・守口剛編	有斐閣
1999	現代のマーケティング③ 「流通・営業戦略」	小林哲・南知恵子編	有斐閣
2000	現代のマーケティング④ 「消費者・コミュニケーション戦略」	田中洋・清水聰	有斐閣
2001	顧客ロイヤルティの時代	嶋口充輝/内田和成	同文館出版
2002	顧客満足マーケティングの構図	嶋口充輝	有斐閣
2003	国境を越えるマーケティングの移転	林 廣茂	同文館

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
2004	国際マーケティング	竹田志郎	日経新書
2005	国際マーケティング	クリスチアン・ヘンセン	中央経済社
2006	国際マーケティング (マーケティング講座第7巻)	深見義一他編	有斐閣
2007	国際マーケティング政策	生島広治郎編	中央経済社
2008	国際マーケティング体系	角松正雄・大石芳裕編著	ミネルヴァ書房
2009	新版 マーケティング	三浦信・来住元朗・市川貢	ミネルヴァ書房
2010	神話のマネジメトーコカ・コーラの経営史ー	河野昭三/村山貴俊	まほろば書房
2011	日本マーケティング史	森田克徳	慶応義塾大学出版
2012	輸出マーケティング戦略論	生島広治郎編	千倉書房
2013	ESG財務戦略	保田 隆明 他	ダイヤモンド社
2014	経営戦略としての異文化適応力ホフステッドの6次元モデル実践的活用法	宮森 千嘉子 他	日本能率協会マネジメントセンター
2015	GDPR and Biobanking Individual Rights, Public Interest and Research Regulation across Europe	Slokenberga, Tzortzatou& Reichel	Springer
2016	BASIC MARKETINGベーシックマーケティング	恩蔵直人・三浦俊彦他	日本マーケティング協会 同文館
2017	BLUE OCEAN SHIFT BEYOND COMPETINGブルー・オーシャン・シフト	W. チャン. キム・レネ. モボルニュ	ダイヤモンド社
2018	Harvard Business Review プロジェクトマネジメント	ハーバードビジネスレビュー編集部	ダイヤモンド社
2019	Harvard Business Review 戦略の教科書	ハーバードビジネスレビュー編集部	ダイヤモンド社
2020	ダイレクトレスポンスマーケティングの教科書	クロード. C. ホプキンス	ダイレクト出版
2021	プロジェクトマネジメント実践講座	伊藤大輔	日本実業出版社
2022	マーケティング Marketing: Consumer Behavior and Strategy	池尾恭一	有斐閣
2023	マーケティングの理論・新展開	松井温文	五紘舎
2024	マーケティング概論	奥本勝彦	中央大学出版部
2025	マーケティング戦略 (第6版)	和田充夫	有斐閣
2026	マネジメントー基本と原則 MANAGEMENT: TASKS, RESPONSIBILITIES, PRACTICES	P. F. ドラッカー	ダイヤモンド社
2027	開発プロセスー本当に使える開発プロセス	岡大勝、三宅和之	日経BP
2028	経営戦略 環境適応から環境創造へ	伊藤賢次	創成社
2029	経営戦略の基本	日本総合研究所経営戦略研究会	日本実業出版社
2030	差異としてのマーケティング	片山富弘	五紘舎
2031	入門・マーケティング戦略	池尾恭一	有斐閣
2032	DX経営図鑑	金澤一央 他	アルク
2033	DX戦略立案書	デビッド ロジャース	白桃書房
2034	(ライブラリ経済学コア・テキスト&最先端) コア・テキスト統計学 (第3版)	大屋 幸輔	新世社
2035	Excelで学ぶ統計解析本格入門	日花弘子	SBクリエイティブ
2036	Pythonで学ぶ実験計画法入門 ベイズ最適化によるデータ解析	金子弘昌	講談社 サイエンスフィク
2037	データ解析のための統計モデリング入門ー一般化線形モデル・階層ベイズモデル・MCMC	久保 拓弥	岩波書店
2038	はじめての統計学	鳥居 泰彦	日経BPM
2039	問題解決のためのデータ分析 ~小売業編~	齋藤健太	クロスメディア・パブリッシング
2040	問題解決のためのデータ分析 BotB事業編	齋藤健太	クロスメディア・パブリッシング

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
2041	問題解決のためのデータ分析 EC編	齋藤健太	クロスメディア・パブリッシング
2042	確率思考の戦略論 US Jでも実証された数学マーケティングの力	森岡 毅、今西 聖貴	角川書店
2043	確率統計キャンパス・ゼミ 改訂7	馬場敬之	マセマ出版社
2044	基本統計学〔第5版〕	宮川 公男	有斐閣
2045	現代数理統計学の基礎	久保川 達也・新井 仁之・小林 俊行 他	共立出版
2046	新装版 問題解決のためのデータ分析	齋藤健太	クロスメディア・パブリッシング
2047	統計学が最強の学問である“数学編”ーデータ分析と機械学習のための新しい教科書	西内 啓	ダイヤモンド社
2048	統計学が最強の学問であるーデータ社会を生き抜くための武器と教養	西内 啓	ダイヤモンド社
2049	統計学演習	村上正康、安田正實	培風館
2050	統計学入門（基礎統計学 I）	東京大学教養学部統計学教室	東京大学出版会
2051	入門 統計学(第2版): 検定から多変量解析・実験計画法・ベイズ統計学まで	栗原 伸一	オーム社
2052	入門統計解析	倉田 博史, 星野 崇宏	新世社
2053	Amazon Effect アマゾンエフェクト	鈴木康弘	プレジデント社
2054	ケースに学ぶマーケティング	青木幸弘	有斐閣
2055	商業・経営のマーケティング 理論解釈から実態分析まで	中原龍輝	創成社
2056	SAVE THE CAT の法則	ブレイク・スナイダー	フィルムアート社
2057	(講座 日本経営史) 「経済大国」への軌跡	-	ミネルヴァ書房
2058	(講座 日本経営史) グローバル化と日本型企業システムの変容	-	ミネルヴァ書房
2059	(講座 日本経営史) 経営史・江戸の経験	-	ミネルヴァ書房
2060	(講座 日本経営史) 産業革命と企業経営	-	ミネルヴァ書房
2061	(講座 日本経営史) 制度転換期の企業と市場	-	ミネルヴァ書房
2062	(講座 日本経営史) 組織と戦略の時代	-	ミネルヴァ書房
2063	新装改訂版 現代数理統計学	竹村彰通	学術図書出版社
2064	メタバースとは何か	岡嶋 裕史	光文社
2065	たった4年で100店舗の美容室を作った僕の考え方	北原孝彦	サンクチュアリ出版
2066	カール教授のビジネス集中講義 マーケティング	平野敦士カール	朝日新聞出版
2067	D2C 「世界観」と「テクノロジー」で勝つブランド戦略	佐々木 康裕	ニューズピックス
2068	販促の設計図	中野道良	翔泳社
2069	マーケティングオートメーションに落とせるカスタマージャーニーの書き方	小川共和	クロスメディア・マーケティング(インプレス)
2070	マーケティング用語図鑑	野上 眞一	新星出版社
2071	#HOOKED 消費者心理学者が解き明かす「つい、買ってしまった。」の裏にあるマーケティングの技術	パトリック・ファーガン	TAC出版
2072	シュガーマンのマーケティング30の法則	ジョセフ・シュガーマン	フォレスト出版
2073	Sales is 科学的に[成果をコントロールする]営業術	今井晶也	扶桑社
2074	デジタル時代の基礎知識 SNSマーケティング	林 雅之	翔泳社
2075	成果を上げるライブコマースの教科書	武者慶佑	翔泳社
2076	スタートアップ・マネジメント	マット・ブランバーク	ダイヤモンド社
2077	超入門 ストーリーでわかる「起業の科学」	田所雅之	朝日新聞出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
2078	この一冊で全部わかる ビジネスモデル 基本・成功パターン・作り方が一気に学べる	根来龍之	SBクリエイティブ
2079	2025年、人は「買い物」をしなくなる	望月智之	クロスメディア・パブリッシング (インプレス)
2080	孫正義 300年王国への野望	杉本貴司	日本経済新聞出版
2081	現役・東大生社長の勉強法	みかみ	KADOKAWA
2082	コンセプトのつくりかた	玉樹真一郎	ダイヤモンド社
2083	リ・デザイン思考法	山方健士	実務教育出版
2084	世界一シンプルな「戦略」の本	長沢 朋哉	PHP研究所
2085	大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる	高橋 伸夫	KADOKAWA
2086	逆・タイムマシン経営論	楠木建	日経BP
2087	外資系コンサルが教えるプロジェクトマネジメント	山口周	大和書房
2088	世界一楽しい決算書の読み方	大手町のランダムウォーカー	KADOKAWA
2089	図解・やるべきことがよくわかるドラッカー式マネジメント入門	竹石健	イースト・プレス
2090	MBAが会社を滅ぼす	ヘンリー・ミンツバーグ	日経BP
2091	イノベーションと企業家精神	P・F・ドラッカー、上田 惇生訳	ダイヤモンド社
2092	ザ・ゴール	エリヤフ・ゴールドラット、三本木 亮訳	ダイヤモンド社
2093	サプライチェーン18の法則	今岡善次郎	日本経済新聞出版
2094	サプライチェーンマネジメント	今岡善次郎	工業調査会
2095	トヨタ生産方式	大野耐一	ダイヤモンド社
2096	技術とイノベーションの戦略的マネジメント 上	ロバート・バーゲルマン、クレイトン・クリステンセン	翔泳社
2097	技術とイノベーションの戦略的マネジメント 下	ロバート・バーゲルマン、クレイトン・クリステンセン	翔泳社
2098	経営力学	今岡善次郎	大手町ブックス
2099	現代の経営 上	P・F・ドラッカー、上田 惇生訳	ダイヤモンド社
2100	現代の経営 下	P・F・ドラッカー、上田 惇生訳	ダイヤモンド社
2101	時間をキャッシュに変えるモノづくり：製造業勝ち残りの方程式	今岡善次郎	日刊工業新聞社
2102	日本 成功の代償	P・F・ドラッカー、上田 惇生訳	ダイヤモンド社
2103	SDGs (接続可能な開発目標)	蟹江憲史	中公新書
2104	SDGs大国ニッポンになろう!	土井隆司	知道出版
2105	これだけは押さえておこう 海外取引の経理実務ケース50(第2版)	佐和周	中央経済社
2106	国際コンテナ輸送の基礎知識	オーシャンコマース	オーシャンコマース
2107	国際物流用語辞典	JIFFA	オーシャンコマース
2108	国際貿易理論の現代的諸問題(中京大学経済研究所研究叢書)	近藤健児, 實多康弘, 須賀宣仁	勁草書房
2109	自由貿易はなぜ必要なのか	椋寛	有斐閣
2110	詳解 外為法 貿易管理編——外国法令も踏まえた理論と実務	風木淳, 大川 信太郎	商事法務

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
2111	新々貿易理論とは何か: 企業の異質性と21世紀の国際経済	田中鮎夢	ミネルヴァ書房
2112	グローバル物流戦略	和多田作一郎	産能大学出版部
2113	1からの流通論 第2版	石原武政	碩学舎
2114	現代の流通経済	橋本勲・阿部真也編	有斐閣選書
2115	サクッとわかる 図解 流通のしくみ	大石芳裕監修	PHP文庫
2116	知識ゼロからわかる物流の基本	刈谷大輔	ソシム
2117	日本的流通の経営史	佐々木聡	有斐閣
2118	ヨーロッパの大規模流通業	エンリコ・コッラ	ミネルヴァ書房
2119	流通研究の現状と課題	阿部真也他編	ミネルヴァ書房
2120	オムニチャネル戦略	角井 亮一	日経文庫
2121	通勤大学実践MBA 戦略物流	角井 亮一	総合法令出版
2122	物流がわかる<第2版>	角井 亮一	日経文庫
2123	物流改善の進め方	角井 亮一	かんき出版
2124	エンジニアが学ぶ物流システムの「知識」と「技術」第2版	石川和幸	翔泳社
2125	テクノロジー×プラットフォームで実現する 物流DX革命	北川寛樹	日経BPマーケティング
2126	カラーコレクションハンドブック(第2版)	Alexis Van Hurkman	ボーンデジタル
2127	コピー年鑑2016	-	宣伝会議
2128	コピー年鑑2017	-	宣伝会議
2129	コピー年鑑2018	-	宣伝会議
2130	コピー年鑑2019	-	宣伝会議
2131	コピー年鑑2020	-	宣伝会議
2132	コピー年鑑2021	-	宣伝会議
2133	体系・パブリック・リレーションズ	スコット・M・カトリップ	ピアソンエデュケーション
2134	オードリー・タン デジタルとAIの未来を語る	オードリー・タン	プレジデント社
2135	多文化世界	ホフステード	有斐閣
2136	異文化インターフェイス管理	林吉郎	有斐閣
2137	AI VS. 教科書が読めない子どもたち	新井紀子	東洋経済新報社
2138	Beyond Culture	Hall, Edward. T.	Doubleday and Company.
2139	Big Data, How the Information Revolution is Transforming Our Lives	Brian Clegg	Icon Books
2140	Big Ideas 150 Concepts and Breakthroughs that Transformed History	Daniel Smith	Michael O'Mara Books
2141	Christianity	Linda Woodhead	Oxford University Press
2142	Communicative styles of Japanese and Americans: Images and Realities	Barnlund, D.C.	Wadsworth
2143	Creative Solutions to Global Business Negotiations	Claude Cellich, Subhash, G Jain	Business Expert Press
2144	From AI to Robotics, Mobile, Social, and Sentinent Robots	Arkapravo Bhaumik	CRC Press
2145	How the wrold works, Philosophy	Anne Rooney	ARCTURUS
2146	Human Machine 人間+マシン AI時代の8つの融合スキル	Paul R. Daugherty, H. James Wilson 他	東洋経済
2147	Leading with Cultural Intelligence: The Real Secret to Success	David Livermore	American Management Association
2148	Science and Religion	Thomas Dixon	Oxford University Press

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
2149	The Cultural Dimension of International Business	Ferraro, Gary P.	Prentice Hall, Inc.
2150	The Cultural Intelligence Difference: Master the One Skill You Can't Do Without in Today's Global Economy	David Livermore	Amacom Books
2151	The Evidence for God	Keith Ward	DLT Press
2152	The Japanese Mind	Roger J. Davies, Osamu Ikeno	Turtle Publishing
2153	The Landscape of Faith	Alister McGrath	SPCK
2154	The Territories of Science and Religion	Peter Harrison	University of Chicago Press
2155	現代語訳 武士道 新渡戸稲造	山本博文 [訳]	ちくま書房
2156	コンピューターが仕事を奪う	新井紀子	日本経済新聞出版社
2157	実例でよくわかるアンケート調査と統計解析	菅民郎	ナツメ社
2158	シンギュラリティは近い 人類が生命を超越するとき	レイ・カーツワイル	NHK出版
2159	人類の未来 AI, 経済, 民主主義	Noam Chomsky, Ray Kurzweil, martin Wold 他	NHK出版新書
2160	世界 5大宗教入門	山中俊之	ダイヤモンド社
2161	世界の教科書で読む<宗教>	藤原聖子	ちくまプリマー新書
2162	ハイコンセプト「新しいこと」を考え出す人の時代	ダニエル・ピンク	三笠書房
2163	ボディーランゲージ読解法	アーチャー, D.	誠信書房
2164	ホモ・デウス 上	ユバルノ・ハラリ	河出書房新社
2165	ホモ・デウス 下	ユバルノ・ハラリ	河出書房新社
2166	異文化インターフェース管理	林吉郎	有斐閣
2167	異文化コミュニケーションキーワード	古田暁	有斐閣双書
2168	異文化コミュニケーションの理論	石井・久米・遠山	有斐閣ブックス
2169	異文化ビジネスハンドブック	海野素央	学文社
2170	異文化マネジメントー国際ビジネスと文化人類学ー	江夏・大田	同文館
2171	異文化間コミュニケーションー己を知る、相手を知る	ジョセフ ショールズ, 阿部 珠理	Nanundo
2172	多文化世界ー違いを学び共存への道を探るー	岩井紀子・岩井八郎	有斐閣
2173	文化を超えて	岩田慶治, 谷泰	TBSブリタニカ
2174	AI時代の大学と社会	古井貞興	丸善プラネット
2175	Business Model You	Timothy Clark 他	Wiley
2176	Start with why	Simmon Senek	Penguin
2177	Sustainable Business Models: Principles, Promise, and Practice (CSR, Sustainability, Ethics & Governance) (English Edition) 1st ed. 2018 版,	Moratis 他	Springer
2178	サビカス キャリア・カウンセリング理論	マーク・L・サビカス	福村出版
2179	その幸運は偶然ではないんです!	J. D. クランボルト, A. S. レヴィン	ダイヤモンド社
2180	なぜ、働くのか 生死を見据えた『仕事の思想』	田坂広志	PHP文庫
2181	人は誰もが「多重人格」 誰もかたならなかった「才能開花の技法」	田坂広志	光文社親書
2182	ファシリテーションとは何かーコミュニケーション幻想を超えて	中野 民夫 他	ナカニシヤ出版
2183	国際政治 上	モーゲンソー	岩波書店
2184	国際政治 中	モーゲンソー	岩波書店
2185	国際政治 下	モーゲンソー	岩波書店

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
2186	世論 上	リップマン	岩波書店
2187	世論 下	リップマン	岩波書店
2188	A theory of justice	Rawls, J	Harvard University Press
2189	Artificial Intelligence: A Modern Approach	Russell, S&Norvig, P	Prentice Hall
2190	Collective Choice and Social Welfare	Sen, A	Harvard University Press
2191	Dignity in the 21st century: Middle East and West	Schroeder, D et al.	Springer
2192	Global Catastrophic Risks	Bostrom, N 他	Oxford University Press
2193	Mind over machine: The power of human intuition and expertise in the era of the computer	Dreyfus, H. L and Dreyfus, S	Free Press
2194	Robotics, AI, and Humanity	Von Braun, J et al.	Springer
2195	Science and Technology Studies and Health Praxis: Genetic Science and New Digital Technologies	Sikka, T (Eds.)	Bristol University Press
2196	Social Choice and Individual Values	Arrow, K. J	Yale University Press
2197	The Complexity of Cooperation	Axelrod, R	Princeton University Press
2198	The Evolution of Cooperation	Axelrod, R	Basic Books
2199	The Limits to Growth	Meadows, D.H et al.	Chelsea Green Publication
2200	The Rise of Artificial Intelligence and Big Data in Pandemic Society: Crises, Risk and Sacrifice in a New World Order	Shibuya, K	SpringerNature
2201	The Simulation Hypothesis	Virk, R	Bayview Books
2202	The Strategy of Conflict	Schelling, T. C	Harvard University Press
2203	Truly Human Enhancement: A Philosophical Defense of Limits	Agar, N	MIT Press
2204	MLA handbook第8版	長尾和夫監修 フォースタ 紀子+トーマス・マーティン 共訳	秀和システム
2205	英語教師のための 教育データ分析入門	三浦省五・前田啓郎・山 森光陽 他	大修館書店
2206	ことばの学習のパラドックス	今井むつみ	共立出版
2207	ことばの対照	岸本秀樹	くろしお出版
2208	ことばの発達の謎を解く	今井むつみ	筑摩書房
2209	日本の英語教育を問い直す 8つの異論	森住衛	桜美林大学叢書
2210	英語独習法	今井むつみ	岩波新書
2211	学びとは何か―〈探究人〉になるために	今井むつみ	岩波新書
2212	言葉をおぼえるしくみ: 母語から外国語まで	今井むつみ・針生悦子	ちくま学芸文庫
2213	親子で育てることば力と思考力	今井むつみ	筑摩書房
2214	対照言語学	生越直樹	東京大学出版会
2215	対照言語学	石綿敏雄	桜楓社
2216	日・英語の発想と論理 ―認知モードの対照分析―	山梨 正明	開拓社
2217	日英比較話しことばの文法	水谷信子	くろしお出版
2218	日本人の表現構造	バーンランド	サイマル
2219	アルゴリズム理論の基礎	宮崎修一	森北出版
2220	アルゴリズム理論入門 (情報系教科書シリーズ)	岩間一雄	朝倉書店
2221	オンラインアルゴリズムとストリームアルゴリズム	徳山豪	共立出版
2222	グラフ理論入門―基本とアルゴリズム	宮崎修一	森北出版
2223	コンパイラ 原理と構造	大堀淳	共立出版

資料8-4 整備する専門書一覧

No	書名	著者名	出版社
2224	コンパイラ原理・技法・ツール(Information & Computing)	A. V. エイホ・M. S. ラム	サイエンス社
2225	コンパイラの理論と実現(計算機科学・ソフトウェア技術講座)	疋田輝雄・石畑清	共立出版
2226	平成ネット史 永遠のベータ版	NHK『平成ネット史(仮)』取材班	幻冬舎
2227	ソフトウェアアーキテクチャの基礎	Mark Richards, Neal Ford	O'Reilly Japan
2228	ソフトウェアプロダクトラインエンジニアリング—ソフトウェア製品系列開発の基礎と概念から技法まで	クラウド・ポール, ギュンター・ベックレ	エスアイビーアクセス
2229	最新コンパイラ構成技法 Modern Compiler Implementation in ML	Andrew W. Appel	翔泳社
2230	組込みソフトウェア開発のための構造化プログラミング—C言語で学ぶ設計の基本	SESSAME WG2	翔泳社
2231	組込みソフトウェア開発基礎講座	杉浦英樹・橋本隆成	翔泳社
2232	IT全史—情報技術の250年を読む	中野 明	祥伝社
2233	はじめてのAIリテラシー	岡嶋 裕史、吉田 雅裕	技術評論社
2234	情報通信概論	諏訪敬祐、渥美幸雄、山田豊通	丸善出版

資料8-5 整備する学術雑誌一覧

1. ジャーナル（紙による刊行物）

No	誌名	発行元
1	日本物流学会誌	日本物流学会
2	現代経済学の潮流	日本経済学会
3	日本経営システム学会誌	日本経営システム学会
4	月刊 貿易と関税	日本関税協会
5	経済セミナー	日本評論社
6	経済界	株式会社経済界
7	ロジスティクスシステム	日本ロジスティクスシステム協会

2. 電子ジャーナル

No	誌名	発行元	電子版の参照先
1	情報処理学会会誌	情報処理学会	情報学広場
2	日本貿易学会研究論文（リサーチペーパー）	日本貿易学会	発行元サイト
3	日本貿易会 月報	日本貿易会	発行元サイト
4	外国語教育研究	外国語教育学会	発行元サイト
5	日本経営学会誌	日本経営学会	J-STAGE
6	アジア経済	日本貿易振興機構（JETRO） アジア経済研究所	J-STAGE
7	日本経営工学会誌	日本経営工学会	J-STAGE
8	経済教育	経済教育学会	J-STAGE
9	情報教育ジャーナル	日本情報教育学会	J-STAGE
10	情報教育	日本情報教育学会	J-STAGE
11	アジア教育	アジア教育学会	J-STAGE
12	外国語教育メディア学会機関誌	外国語教育メディア学会	J-STAGE
13	国際バカロレア教育研究	日本国際バカロレア教育学会	J-STAGE
14	グローバル人材育成教育研究	グローバル人材育成教育学会	J-STAGE
15	運輸政策研究	運輸総合研究所	J-STAGE
16	交通・物流部門大会講演論文集	日本機械学会	J-STAGE
17	戦略経営ジャーナル	国際戦略経営研究学会	J-STAGE
18	日本情報経営学会誌	日本情報経営学会	J-STAGE
19	国際ビジネス研究	国際ビジネス研究学会	J-STAGE
20	国際経済	日本国際経済学会	J-STAGE
21	アジア動向年報重要日誌	日本貿易振興機構（JETRO） アジア経済研究所	発行元サイト
22	Logistic journal	Wissenschaftliche Gesellschaft für Technische Logistik	発行元サイト
23	International Scientific Journal about Logistics	Acta logistica	発行元サイト
24	Logistics, Supply Chain, Sustainability and Global Challenges	Sciendo	発行元サイト
25	The Journal of Business Logistics	the Council of Supply Chain Management Professionals	発行元サイト
26	The International Journal of Logistics Management	emerald publishing	発行元サイト
27	Journal of Language and Education	Higher School of Economics	発行元サイト

臨地実務実習施設一覧

授業科目の名称	施設の名称
臨地実務実習Ⅰ	川崎港振興協会
	株式会社 日本トラフィックサービス
	株式会社フロンティアポート
	株式会社クリエイティブキャスト
	アイテクノ株式会社
	株式会社マイステージ
	イー・エフ・エデュケーションファースト・ジャパン株式会社
	一般社団グローバルスクール教育協会 KINCARN INTERNATIONAL SCHOOL
	公益財団法人川崎市文化財団川崎市観光協会東海道かわさき宿交流館
	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (ふふ河口)
	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (ふふ箱根)
	株式会社ケー・エクスプレス
	京都府るり溪温泉
臨地実務実習Ⅱ	川崎港振興協会
	株式会社 日本トラフィックサービス
	株式会社フロンティアポート
	株式会社クリエイティブキャスト
	アイテクノ株式会社
	株式会社マイステージ
	イー・エフ・エデュケーションファースト・ジャパン株式会社
	一般社団グローバルスクール教育協会 KINCARN INTERNATIONAL SCHOOL
	公益財団法人川崎市文化財団川崎市観光協会 東海道かわさき宿交流館
	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (ふふ河口)
	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (ふふ箱根)
	株式会社ケー・エクスプレス
	京都府るり溪温泉
臨地実務実習Ⅲ	セイノースーパーエクスプレス
	トナミ国際物流株式会社
	川崎港振興協会
	ジャストフォワードインングジャパン株式会社
	株式会社阿部商会

	株式会社日本ソフトウェア クリエイティブ
	株式会社イトクロ
	株式会社ドリームシアター
	株式会社 NieV
	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (オキナワグランメールリゾート)
	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (kafuu Resort FuchakuCONDO HOTEL)
	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (i+Land Nagasaki アイランドナガサキ)
臨地実務実習Ⅳ	セイノースーパーエクスプレス
	トナミ国際物流株式会社
	川崎港振興協会
	ジャストフォワードインギングジャパン株式会社
	株式会社阿部商会
	株式会社日本ソフトウェアクリエイティブ
	株式会社イトクロ
	株式会社ドリームシアター
	株式会社 NieV
	㈱ KPG HOTEL&RESORT (オキナワグランメールリゾート)
	㈱ KPG HOTE&RESORT (kafuu Resort FuchakuCONDO HOTEL)
	㈱ KPG HOTEL&RESORT (i+Land Nagasaki アイランドナガサキ)

実習先の企業について、学生数（392名）に対し十分な受け入れ先（484社）を確保しているが、受け入れが出来なくなるケースも想定して、現在計画中の企業があり十分に代替が可能である。なお、現在計画中の企業は、「別記様式第7号の4（その2） 臨地実務実習施設一覧」に示す10社である。

- ①一般社団法人航空貨物輸送協会（JAF） ②ヤマトグループ ③株式会社丸山運送 ④伊勢湾海運株式会社 ⑤株式会社エスイーププロジェクト ⑥w2ソリューション株式会社 ⑦ブランデックス株式会社 ⑧株式会社アキュート ⑨株式会社シティコミュニケーションズ ⑩日本リック株式会社

臨地実務実習希望調書

提出日 年 月 日

学部・学科・コース		臨地実務実習科目	
(フリガナ) 氏名		学籍番号	
現住所	〒 Tel	携帯 Tel	
連絡先 (緊急時)	〒 Tel	携帯 Tel	
希望テーマ・ 選定理由・ 目標			
自由記述 (自己 PR 等)			

希望企業名	
希望勤務期間	

指導教員 記入欄	
-------------	--

キャリアサポート センタ 記入欄	
------------------------	--

臨地実務実習実施評価書

指導責任者	会社名	
	部署名	
	氏名	

受入れ学生氏名	学校名	グローバル Biz 専門職大学	学科名	
	氏名			
評価月日	****年***月***日			
評価期間	****年***月***日 ~ ****年***月***日			
評価	知識・理解	(1)業務知識と理解 [A, B, C, D]		
	能力	(2)計画と実行 [A, B, C, D]		
	志向・態度	(3)ビジネスマナーの習得 [A, B, C, D]		
	勤務態度及び 能力・資質 (意欲、研鑽努力、 周辺との融和、 責任感、協調性)	(1)インターンシップへの取組度		
		(2)意欲、研鑽努力、周辺との融和、責任感、協調性		
(3)能力・資質				
その他 (受入れ企業 からの要望事項、 連絡事項)				

資料 11-4

臨地実務実習記録

名	前	
企	業	名
企	業	側 担 当 者
		印

年 月 日～年 月 日

月・日	曜日	勤務時間	業務内容	その他
月 日	月			
月 日	火			
月 日	水			
月 日	木			
月 日	金			

学生からの報告事項

学校側記入欄

事故・災害発生報告

報告者氏名	学校名	グローバル Biz 専門職大学	学科名	
	氏名			
発生日日時	**** 年 ***月***日***時			
発生場所				
状 況	(1) 事故・災害発生状況(発生原因, 被害状況を時系列に報告)			
	(2) 処置状況			
(3) 備考				

【資料A】

教室使用状況表(令和5年)

本館

教室番号	m ²	定員	使用学科	学年	その他
M-801	188.73	126	グローバルビジネス学科		-
M-406	69.13	30	グローバルビジネス学科		-
M-405	99.36	66	-	-	-
M-404	44.39	30	-	-	-
M-403	42.27	28	-	-	-
M-402	40.16	27	グローバルビジネス学科		-
M-401	42.47	28	-	-	-
M-308	69.13	30	-	-	-
M-307	50.46	34	国際ICT・観光学科	3年	-
M-306	48.90	33	国際ICT・観光学科	4年	-
M-305	44.39	30	-	-	-
M-304	42.27	28	国際ビジネス学科	2年	-
M-303	40.16	27	国際ICT・観光学科	2年	-
M-302	42.47	24	閲覧室	-	-
M-301	137.46	68	ライブラリ	-	-
M-207	69.13	30	グローバルICT学科	2年	-
M-206	50.46	34	-	-	-
M-205	48.90	33	国際ビジネス研究科	1年制	秋
M-204	44.39	30	国際ビジネス学科	1年	-
M-203	42.27	28	国際ビジネス学科	1年	-
M-202	40.16	27	グローバルICT学科	1年	-
M-201	114.36	76	-	-	-
M-103	81.22	54	国際ビジネス学科	2年	昼間
			英語ビジネス学科	2年	夜間 春
M-102	58.55	39	グローバルICT学科	2年	-
M-101	49.20	33	ホテルブライダル観光学科	2年	-
			英語ビジネス学科	1年	夜間 春

パル館

教室階	m ²	定員	使用学科	学年	その他
P-501	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-401	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-301	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-201	60.85	41	-	-	-
P-101	60.85	41	グローバルビジネス学科		-

専門職大学校舎の教室番号と専門職大学の学科名をブルーで表示する

専門学校校舎の教室番号と専門学校の学科名をグリーンで表示する

令和5年に、4年制国際ICT・観光学科及び国際ビジネス研究科春季生の受け入れを停止。及び、日本語学科、日本語研究科の定員を減ずる。

国際館

教室番号	m ²	定員	使用学科	学年	その他
I-605	37.41	25	日本語学科	1年制	午前/午後
I-604	33.28	22	グローバルICT学科	1年	秋
			英語ビジネス学科	1年	夜間 秋
I-602	30.80	21	グローバルICT学科	2年	秋
			英語ビジネス学科	2年	夜間 秋
I-505	45.47	30	ホテルブライダル観光学科	1年	-
I-504	50.63	34	ビジネス日本語学科	1年	-
I-503	44.60	30	日本語学科	1年制	午前/午後、秋
I-502	66.32	44	グローバルICT学科	1年	-
I-404	47.90	32	ビジネス日本語学科	2年	-
I-403	55.88	37	日本語学科	1年制	午前/午後
I-402	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後
I-401	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後、秋
I-101	83.24	55	国際ビジネス学科	1年	-

教室使用状況表(令和6年)

本館

教室番号	m ²	定員	使用学科	学年	その他
M-801	188.73	126	グローバルビジネス学科		-
M-406	69.13	30	グローバルビジネス学科		-
M-405	99.36	66	グローバルビジネス学科		-
M-404	44.39	30	グローバルビジネス学科		-
M-403	42.27	28	グローバルビジネス学科		-
M-402	40.16	27	グローバルビジネス学科		-
M-401	42.47	28	-	-	-
M-308	69.13	46	グローバルビジネス学科		-
M-307	50.46	34	-	-	-
M-306	48.90	33	-	-	-
M-305	44.39	30	グローバルビジネス学科		-
M-304	42.27	28	国際ICT・観光学科	4年	-
M-303	40.16	27	国際ICT・観光学科	3年	-
M-302	42.47	28	閲覧室	-	-
M-301	137.46	92	ライブラリ	-	-
M-207	69.13	46	グローバルICT学科	2年	-
M-206	50.46	34	-	-	-
M-205	48.90	33	国際ビジネス研究科	1年制	9月まで
M-204	44.39	30	国際ビジネス学科	2年	-
M-203	42.27	28	国際ビジネス学科	2年	-
M-202	40.16	27	-	-	-
M-201	238.69	159	-	-	-
M-103	81.22	54	国際ビジネス学科	2年	-
M-102	58.55	39	グローバルICT学科	2年	-
M-101	49.20	33	ホテルプライダル観光学科	2年	-

パル館

教室階	m ²	定員	使用学科	学年	その他
P-501	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-401	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-301	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-201	60.85	41	-	-	-
P-101	60.85	41	グローバルビジネス学科		-

専門職大学の学科が使用する教室はブルー

専門学校の学科が使用する教室はグリーン

令和6年には、専門学校の募集体制を新学則に移行する。

国際館

教室番号	m ²	定員	使用学科	学年	その他
I-605	37.41	25	日本語学科	1年制	午前/午後
I-604	33.28	22	グローバルICT学科	1年	秋
			英語ビジネス学科	2年	夜間 春
I-602	30.80	21	グローバルICT学科	2年	秋
			英語ビジネス学科	2年	夜間 秋
I-505	45.47	30	ホテルプライダル観光学科	1年	-
			英語ビジネス学科	1年	夜間 秋
I-504	50.63	34	ビジネス日本語学科	1年	-
I-503	44.60	30	日本語学科	1年制	午前/午後、秋
I-502	66.32	44	グローバルICT学科	1年	-
I-404	47.90	32	ビジネス日本語学科	2年	-
I-403	55.88	37	日本語学科	1年制	午前/午後
I-402	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後
I-401	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後、秋
I-101	83.24	55	国際ビジネス学科	1年	昼間/夜間

教室使用状況表(令和7年)

本館

教室番号	m ²	定員	使用学科	学年	その他
M-801	188.73	126	グローバルビジネス学科		-
M-406	69.13	30	グローバルビジネス学科		-
M-405	99.36	66	グローバルビジネス学科		-
M-404	44.39	30	グローバルビジネス学科		-
M-403	42.27	28	グローバルビジネス学科		-
M-402	40.16	27	グローバルビジネス学科		-
M-401	42.47	28	グローバルビジネス学科		-
M-308	69.13	46	グローバルビジネス学科		-
M-307	50.46	34	-	-	-
M-306	48.90	33	グローバルビジネス学科		-
M-305	44.39	30	グローバルビジネス学科		-
M-304	42.27	28	-	-	-
M-303	40.16	27	-	-	-
M-302	42.47	28	閲覧室	-	-
M-301	137.46	92	ライブラリ	-	-
M-207	69.13	46	グローバルビジネス学科		-
M-206	50.46	34	-	-	-
M-205	48.90	33	-	-	-
M-204	44.39	30	-	-	-
M-203	42.27	28	-	-	-
M-202	40.16	27	国際ICT・観光学科	4年	-
M-201	238.69	159	グローバルビジネス学科		-
M-103	81.22	54	国際ビジネス学科	2年	昼間/夜間
M-102	58.55	39	グローバルICT学科	2年	-
M-101	49.20	33	ホテルブライダル観光学科	2年	-

パル館

教室階	m ²	定員	使用学科	学年	その他
P-501	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-401	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-301	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
P-201	60.85	41	-	-	-
P-101	60.85	41	グローバルビジネス学科		-

専門職大学の学科が使用する教室はブルー

専門学校の学科が使用する教室はグリーン

国際館

教室番号	m ²	定員	使用学科	学年	その他
I-605	37.41	25	日本語学科	1年制	午前/午後
I-604	33.28	22	グローバルICT学科	1年	秋
			英語ビジネス学科	2年	夜間 秋
I-602	30.80	21	グローバルICT学科	2年	秋
I-505	45.47	30	ホテルブライダル観光学科	1年	-
I-504	50.63	34	ビジネス日本語学科	1年	-
I-503	44.60	30	日本語学科	1年制	午前/午後、秋
I-502	66.32	44	グローバルICT学科	1年	-
I-404	47.90	32	ビジネス日本語学科	2年	-
I-403	55.88	37	日本語学科	1年制	午前/午後
I-402	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後
I-401	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後、秋
I-101	83.24	55	国際ビジネス学科	1年	昼間/夜間

教室使用状況表(令和8年)

本館						パル館					
教室番号	m ²	定員	使用学科	学年	その他	教室階	m ²	定員	使用学科	学年	その他
M-801	188.73	126	グローバルビジネス学科		-	P-501	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
M-406	69.13	30	グローバルビジネス学科		-	P-401	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
M-405	99.36	66	グローバルビジネス学科		-	P-301	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
M-404	44.39	30	グローバルビジネス学科		-	P-201	60.85	41	-	-	-
M-403	42.27	28	グローバルビジネス学科		-	P-101	60.85	41	グローバルビジネス学科		-
M-402	40.16	27	グローバルビジネス学科		-						
M-401	42.47	28	-	-	-						
M-308	69.13	46	グローバルビジネス学科		-						専門職大学の学科が使用する教室はブルー
M-307	50.46	34	-	-	-						専門学校の学科が使用する教室はグリーン
M-306	48.90	33	グローバルビジネス学科		-						
M-305	44.39	30	グローバルビジネス学科		-						
M-304	42.27	28	グローバルビジネス学科		-						
M-303	40.16	27	グローバルビジネス学科		-						
M-302	42.47	28	閲覧室	-	-						
M-301	137.46	92	ライブラリ	-	-						
M-207	69.13	46	グローバルビジネス学科		-						
M-206	50.46	34	-	-	-						
M-205	48.90	33	-	-	-						
M-204	44.39	30	-	-	-						
M-203	42.27	28	-	-	-						
M-202	40.16	27	-	-	-						
M-201	238.69	159	グローバルビジネス学科		-						
M-103	81.22	54	国際ビジネス学科	2年	昼間/夜間	I-605	37.41	25	日本語学科	1年制	午前/午後
M-102	58.55	39	グローバルICT学科	2年	-	I-604	33.28	22	グローバルICT学科	1年	秋
M-101	49.20	33	ホテルブライダル観光学科	2年	-	I-602	30.80	21	グローバルICT学科	2年	秋
						I-505	45.47	30	ホテルブライダル観光学科	1年	-
						I-504	50.63	34	ビジネス日本語学科	1年	-
						I-503	44.60	30	日本語学科	1年制	午前/午後、秋
						I-502	66.32	44	グローバルICT学科	1年	-
						I-404	47.90	32	ビジネス日本語学科	2年	-
						I-403	55.88	37	日本語学科	1年制	午前/午後
						I-402	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後
						I-401	51.62	34	日本語研究科	1年制	午前/午後、秋
						I-101	83.24	55	国際ビジネス学科	1年	昼間/夜間

グローバル Biz 専門職大学 学則（案）

第1章 総則

（目的）

第1条 グローバル Biz 専門職大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、「理論に裏付けられた高度な実践力を重んじ、国際社会において真に活躍する人材の育成」という創立理念の下、IT 知識と技能を有し、語学力と国際感覚を備えた専門職の人材を養成し、産業界において、その推進を支え、発展に貢献できることを目的とする。

（自己点検・評価）

第2条 本学は、その教育研究の一層の充実を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況を点検し評価を行い、公表するものとする。

（情報の公表）

第3条 本学は、大学としての公共性に鑑み、社会に対する説明責任を果たすために、本学における教育研究活動等の状況について情報を公表する。

第2章 組織

（学部・学科）

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科

（人材養成等教育研究上の目的）

第4条の2 本学における人材養成等教育研究上の目的は、次のとおりとする。

グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科

本学は、4年間を通して、グローバルビジネスの現場において求められる経営力、語学力、コミュニケーション能力を身につけ、斬新な発想力（Inspiration）と豊かな想像力（Imagination）をもって、リーダーシップを発揮し、イノベーション（Innovation）を起こすことのできる人材の養成を目的としている。

（図書室）

第5条 本学に図書室を置く。

(事務局)

第6条 本学に、大学の事務を管理するため、事務局を置く。

第3章 職員組織

(職員)

第7条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員を置く。

2 前項に定める者のほか、副学長その他必要な職員を置くことができる。

(学長)

3 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(学部長)

第8条 学部に学部長を置き、教授をもって充てる。

(図書室長)

第9条 図書室に室長を置き、本学の教員をもって充てる。

(事務局長)

第10条 事務局に事務局長を置き、事務職員をもって充てる。

第4章 教授会及び委員会

(教授会)

第11条 学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部に属する次の各号に掲げる者で構成する。

- (1) 教授
- (2) 准教授
- (3) 専任講師
- (4) 助教

3 教授会は、必要に応じて、前項にかかげる以外の教職員を出席させることができる。

4 教授会は、学部長が必要と認めたとき、または構成員の3分の1以上の要求があったとき、学部長がこれを招集してその議長となる。学部長に支障があるときは、その指名により他の教授がこれを代行する。

5 学長は、必要と認めたとき、教授会の招集を要請し、または教授会に出席して発言することができる。

6 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学部の学科および専攻の新設、増設、廃止、変更に関する事項
- (2) 学則および学部諸規程の制定、改廃に関する事項
- (3) 教員の人事に関する事項
- (4) 学科課程、授業および学力考査に関する事項
- (5) 学生の入学、卒業、その他学生の身上に関する事項
- (6) 学生の賞罰に関する事項
- (7) 学生の定数に関する事項
- (8) 学校法人および大学の諸規程において、教授会の議を経ることを要すると定められた事項
- (9) その他、研究および教学に関する事項

7 学部長は、教授会の議決を執行し、学部を代表する。

8 この学則に定めるものの他、教授会の組織、運営等に関する事項は、教授会規程に定める。

(委員会)

第12条 本学に、大学全体に関する事項について審議するため、入試委員会、広報企画委員会 その他の委員会を置くことができる。

(教育課程連携協議会)

第13条 本学に教育課程連携協議会を置く。

2 教育課程連携協議会は、産業界や地域社会と連携して教育課程を編成するために企業や関係団体等から選出された委員と本学の職員をもって構成し、教育課程への提言をとりまとめ、学長に報告する。

3 教育課程連携協議会に関し必要な事項は、教育課程連携協議会規程（案）に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第14条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第15条 学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月15日まで

秋学期 9月16日から翌年3月31日まで

(休業日)

第 16 条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 土曜日
 - (3) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に定める休日
 - (4) 春季休業 3 月 20 日から 4 月 5 日まで
 - (5) 夏季休業 8 月 1 日から 9 月 15 日まで
 - (6) 冬季休業 12 月 25 日から翌年 1 月 5 日まで
- 2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を変更することができる。
- 3 第 1 項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第 6 章 収容定員、修業年限・学位 及び在学年限

(収容定員)

第 17 条 収容定員は次のとおりとする。

学部名・学科名	入学定員 (人)	編入学 定員 (人)	収容定員 (人)
グローバルビジネス学部 (英訳名 : Faculty of Global Business) グローバルビジネス学科 (英訳名 : Department of Global Business)	98	-	392

(修業年限・学位)

第 18 条 学部の修業年限は、4 年とする。

(学位名)

グローバルビジネス学士（専門職） (英訳名 : Bachelor of Global Business)

(在学年限)

第 19 条 学生は、8 年を超えて在学できない。ただし、第 25 条第 1 項の規定により入学した学生は、同条第 2 項の規定により定められた在学すべき年数の 2 倍に相当する年数を超えて在学できない。

第 7 章 入学

(入学の時期)

第 20 条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、次条第 3 号から第 5 号までに該当する者（第 5 号にあっては、国際バカロレア資格、アビトゥア資格及びバカロレア資格を有する者で満 18 歳に達した者に限る。）並びに第 25 条に規定する者については、学期の始めとすることができる。

（入学資格）

第 21 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上あることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 4 号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者

（入学の志願）

第 22 条 本学への入学を志願する者は、所定の期日までに入学願書に所定の入学検定料及び別表 2 に定める書類を添えて提出しなければならない。

（入学者の選考）

第 23 条 前条の入学志願者については、別表 2 に定めるところにより、選考を行う。

（入学手続及び入学許可）

第 24 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、宣誓書、身元保証書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

- 2 学長は前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(編入学、転入学及び再入学)

第 25 条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、若干名に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) その他大学において、相当の年齢に達し、短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

第 8 章 教育課程及び履修方法等

(教育課程の編成方針)

第 26 条 本学においては、学部及び学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

2 前項の規定による授業科目の開設、教育課程の編成及びそれらの見直しは、教育課程連携協議会の意見を基に、教務委員会において審議するとともに、適切な体制を整えて行うものとする。

3 本学は、授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修の実施に努めるものとする。

(授業科目)

第 27 条 授業科目は、基礎科目、職業専門科目、展開科目及び総合科目に分ける。授業科目及び単位数は別表 1 のとおりとする。

(単位の計算方法)

第 28 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、プロジェクト研究については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(授業期間)

第 29 条 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則

とする。

(履修方法)

第 30 条 履修する授業科目は毎学年所定の期間に履修登録を行わなければならない。履修科目として登録することのできる単位数は、別表 1 に定める履修単位数上限のとおりとする。

(単位の授与)

第 31 条 授業科目を履修し、試験に合格した者には、その授業科目の修得を認定し、所定の単位を与える。ただし、第 30 条に規定する授業科目については、試験に代えて適切な方法により学修の成果を評価して単位を授与することができる。

(試験の方法)

第 32 条 試験は、筆答（報告を含む。）又は口頭によって行う。

(他大学における授業科目の履修等)

第 33 条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が当該他大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修及びその他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位については、教授会の議に基づき、合わせて 60 単位を超えない範囲で卒業の要件となる単位として認定することができる。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 34 条 教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（専門職大学設置基準（平成 29 年文部科学省令第 33 号）第 28 条第 1 項に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に行った前条第 2 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 学生が本学に入学する前に専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を担うための実践的な能力（本学において修得させることとしているものに限る。）を修得している場合において、教育上有益と認めるときは、文部科学省告示第 109 号（平成 29

年 9 月) 第 4 条により、当該実践的な能力の修得を、本学における授業科目の履修とみなし、30 単位を超えない範囲で単位を与えることができる。

4 前 3 項によって修得したものとみなし、又は与えることができる単位については、編入学等の場合を除き、教授会の議に基づき、第 36 条第 1 項及び第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えない範囲で卒業の要件となる単位として認定することができる。

(長期にわたる教育課程の履修)

第 35 条 学生が、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを希望する旨を申し出たときは、長期履修生規程(案)により、その計画的な履修を認めることができる。

(成績の評価)

第 36 条 授業科目の試験の成績は、S (90 点～100 点)、A (80 点～89 点)、B (70 点～79 点)、C (60 点～69 点)、D (59 点以下) の評語をもって表し、S、A、B、C を合格とし、D を不合格とする。

2 前項のほか、特別の必要があるときは、その他の評語をもって合格を表すことができる。

第 9 章 卒業及び学位

(卒業)

第 37 条 本学に 4 年(第 25 条第 1 項の規定により入学した者は、同条第 2 項の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、別表 1 に定める授業科目を履修して、次に定める科目ごとの単位数及び卒業必要単位数以上を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

	基礎科目	職業専門科目	展開科目	総合科目	卒業必要単位
グローバル ビジネス学科	20 単位以上	80 単位以上 (臨時実務実 習 20 単位を 含む)	20 単位以上	4 単位以上	124 単位以上

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(学位授与)

第 38 条 学長は、前条の規定により、卒業を認定した者にグローバルビジネス学士(専門職)の学位を授与する。

第 10 章 休学、転学、留学、退学及び除籍

(休学)

第 39 条 疾病その他やむを得ない事由により 1 カ月以上就学することが出来ない者は、保証人連署の休学願に医師の診断書または理由書を添えて、学長に提出し許可を得て休学することができる。

2 疾病その他の理由により就学することが適当でないと認められる者については、学長は教授会の意見を聴いて休学を命ずることができる。

(休学期間)

第 40 条 休学期間は 1 年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1 年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。

3 休学期間は、第 22 条の在学期間には算入しない。

(復学)

第 41 条 休学期間中にその理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学の時期は、各学期の始めとする。

(転学)

第 42 条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、保証人連署の転学願を学長に提出し、転学の許可を得なければならない。

(留学)

第 43 条 外国の大学又は短期大学への留学を希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第 37 条に定める在学期間に含めることができる。

3 第 34 条の規定は、第 1 項の規定により外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第 44 条 疾病その他やむを得ない理由により退学しようとする者は、保証人連署の退学願に学生証を添えて学長に提出し、退学の許可を得なければならない。

(除籍)

第 45 条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第 19 条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第 40 条第 2 項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者
- (5) 疾病その他の理由により成業の見込みが無いと認められた者

第 11 章 賞罰

(表彰)

第 46 条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第 47 条 本学の規則に違反し、又は学生として本分に反する行為をした者は、教授会及び評議会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は退学、停学及び訓告とする。

第 12 章 研究生、科目等履修生、社会人聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生

(研究生)

第 48 条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、学長は教授会の意見を聴いて、研究生として入学を許可することができる。

- 2 研究生を志願する者は、所定の願書、その他の必要書類を選考料とともに指定の期日までに提出しなければならない。
- 3 研究生には試験は行わない。

(科目等履修生)

第 49 条 本学において、本学所定の授業科目のうち 1 科目または複数科目の履修を志願する者がいるときは、学長は教授会の意見を聴いて、科目等履修生として入学を許可することができる。

- 2 科目等履修生を志願する者は、所定の願書、その他の必要書類を選考料とともに指定の期日までに提出しなければならない。
- 3 科目等履修生に対する単位の授与については、第 34 条の規定を準用する。

(聴講生)

第 50 条 本学において、本学所定の授業科目のうち 1 科目または複数科目の聴講を志願する者があるときは、本学学生の教育に支障のない範囲において、学長は教授会の意見を聴いて、聴講生として聴講を許可することができる。

2 聴講生を志願する者は、所定の願書、その他の必要書類を選考料とともに指定の期日までに提出しなければならない。

3 聴講生には試験を行わない。

(特別聴講学生)

第 51 条 他の大学等（外国の大学を含む）の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学等との協議に基づき、学長は特別聴講学生として入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第 52 条 外国人で、大学において教育を受けることを目的として入国し、本学に留学を志願する者があるときは、学長は選考のうえ当該学部の教授会の議を経て、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項の外国人留学生に対しては、第 30 条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

第 13 章 入学検定料、入学金及び授業料等

(入学検定料、入学金、授業料、施設設備費、その他臨時に定める学納金)

第 54 条 入学検定料、入学金、授業料等、その他臨時に定める学納金の額は、別表 3 のとおりとする。

(授業料の納付)

第 55 条 入学検定料、入学金、授業料、施設設備費、その他臨時に定める学納金は、本学の指定する期日までに納付しなければならない。

(復学の場合の授業料)

第 56 条 春学期又は秋学期の中途において復学した者は、復学した月から当該学期末までの授業料を、復学した月に納付しなければならない。また、後期再入学者は、前期入学時に納付した学納金の差額のみを納入するものとする。

(学年の途中で卒業する場合の授業料)

第 57 条 学年の途中で卒業する者は、卒業する当該学期までの授業料を納付するものとする。

(休学、退学、転学、除籍及び停学の場合の授業料)

第 58 条 春学期又は秋学期の中途において休学、退学、転学又は除籍した者から徴収する当該学期分の授業料の額は、その全額とする。ただし、休学が春学期又は秋学期の全期間にわたるときは、審査の上その期分の授業料を減免出来る。

2 停学期間中の授業料は、徴収する。

(授業料等の減免等)

第 59 条 経済的理由により授業料等の納入が困難と認められる者、休学中の者その他特別の理由があると認められる者に対しては、授業料等の全部若しくは一部を免除し、又は授業料等を分割して納付させることができる。

(入学金等の納付)

第 60 条 入学金、研究料及び聴講料は、入学の手続を行うときに納付しなければならない。ただし、研究期間の更新を許可された研究生に係る研究料は、指定された期日までに納付しなければならない。

2 入学検定料は、入学の願書を提出するときに納付しなければならない。

(授業料等の不還付)

第 61 条 既納の授業料等は、還付しない。

第 14 章 大学開放

(大学開放)

第 62 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、大学開放事業を行うことができる。

第 15 章 雑則

(委任)

第 63 条 この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は、学長が定める。

(既定の改廃)

第64条 既定の改廃は、評議会に諮り理事会で決定する。

(附則)

この学則は令和5年4月1日から施行する。

別表1(第27条、第30条、第37条第1項関係)						
グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科						
科目 区分	授業科目の名称	単位数		履修 方法	卒業要 件	
		必 修	選 択			
基礎科目	スタディスキルズ	1		必修科目 8 単位 選択科目 12 単位 以上	【卒業要件】 次により 必修科目 73 単位、選択科目 51 単位以上、計 124 単位以上を取得すること	
	ICT 演習		2			
	キャリアディベロップメント I	1				
	キャリアディベロップメント II	1				
	キャリアディベロップメント III	1				
	グローバルキャリアディベロップメント		1			
	法学 I	2				
	法学 II		2			
	次世代 SDGs I	2				
	次世代 SDGs II		2			
	English and Current Issues		2			
	English and Popular Culture		2			
	中国語・中国事情 I		1			
	中国語・中国事情 II		1			
	国際メディア		2			
国際関係論		2				
職業専門科目	実習科目群	臨地実務実習 I	5		20 単位	基礎科目 20 単位以上 基礎科目の選択科目 17 単位から、12 単位以上取得する
		臨地実務実習 II	5			
		臨地実務実習 III	5			
		臨地実務実習 IV	5			
	国際コミュニケーション科目群	English Fundamentals I	1		必修単位	
		English Fundamentals II		1		
		English for Global Business I	1		国際コミュニケーション科目群より 9 単位	
		English for Global Business II	1			
		English for Global Business III		1		
		English for Global Business IV		1		
		Discussion for Global Business	1			
Presentation for Global Business		1				

専門基礎科目群	応用英語コミュニケーションⅠ	2		専門基礎 科目群より 12 単位	職業専 門科目 80 単位 以上	
	応用英語コミュニケーションⅡ		2			
	米英ビジネスジャーナル読解		2			
	English Writing SkillsⅠ	2				
	English Writing SkillsⅡ		2			
	貿易実践英語	1				
	専門基礎科目群	マーケティング概論	2		専門基幹 科目群より 16 単位	職業専 門科目 の選択 科目 45 単位か ら、21 単 位以上 取得す る
		流通論	2			
		グローバルマーケティング実習	2			
		経営と DX		2		
		経営	2		職業専門 科目全体 より 21 単位 以上	展開科 目 20 単 位以上 展開科 目の選 択科目 から 30 単位か ら、18 単 位以上 取得す る
		イノベーションマネジメント	2			
		プロジェクトリーダー養成実習	2			
		経営組織論		2		
経済学Ⅰ		2				
経済学Ⅱ			2			
国際経済学総論			2			
ビジネスファイナンス			2			
国際金融論			2			
専門基幹科目群		グローバルサプライチェーンマネジメント 総論	2			
	グローバルサプライチェーンマネジメント Ⅰ	2				
	グローバルサプライチェーンマネジメント Ⅱ		1			
	グローバルサプライチェーンマネジメント 実習		2			
	貿易概論	2				
	貿易実務論		2			
	貨物輸送論	2				
	貨物輸送実習		2			
	通関概論		2			
	通関論		2			
	e コース実践	2				
	アジアビジネス	2				

	グローバルロジスティクスⅠ		2		
	グローバルロジスティクスⅡ		1		
	最新物流戦略		2		
	国際通商協定		2		
	IT 概論	2			
	データ解析		2		
	DX 論Ⅰ	2			
	DX 論Ⅱ		2		
	DX 論Ⅲ		1		
展開科目	デザイン設計	2		必修科目 2 単位	
	メディアデータベース		2		
	メディア戦略Ⅰ		2		
	メディア戦略Ⅱ		3		
	メディア戦略Ⅲ		3		
	メディア戦略実践Ⅰ		1		
	メディア戦略実践Ⅱ		2		
	メディア戦略実践Ⅲ		2		
	メディアプログラムⅠ		2	選択科目 18 単位 以上	
	メディアプログラムⅡ		2		
	国際観光ビジネスⅠ		2		
	国際観光ビジネスⅡ		2		
	翻訳制作		1		
	日米言語比較		2		
	国際ビジネスリサーチ		2		
異文化理解		2			
総合科目	事業創生実習	4		必修 4 単位	

別表 2(第 22 条、第 23 条関係)				
グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科				
入学者の選抜の種類と方法				
選抜名称	対象	選抜方法	出願資格	提出書類
① 一般選抜		学力検査 (英語、 小論文) 書類審査	次の項のいずれかに該当する者 1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を卒業した者および2023年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法の規定または本学の審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達する者	①志願票 ②志望理由書 ③検定料振込証明 ④調査書・成績証明書 (出身高校や大学など)
② 学校推薦型選抜		面接 書類審査	・指定校制度・については以下の要件を満たす者 1. 高等学校または中等教育学校を2022年3月までに卒業見込みの者 2. 人格・識見に優れ、高等学校長または中等教育学校長による推薦が受けられる者 3. グローバルビジネス学	①志願票 ②志望理由書 ③検定料振込証明書 ④調査書 ⑤推薦書

		部グローバルビジネス学科を専願とする者 4. 出願時の評定平均 3.2 以上の者	
③ 総合型選抜	面接書類審査	次の項のいずれかに該当する者 1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 3. 学校教育法の規定または本学の審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2023 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者で、2023 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者	①志願票 ②志望理由書 ③検定料振込証明 ④調査書 ⑤推薦書
④ 特別選抜	社会人	以下の 1、2 の要件を満たす者 1. (1)～(3)の項のいずれかに該当する者 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号) 第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 2. 通算して 3 年以上の職務経験(家事専従を含む)を有す	①志願票②志望理由書 ③検定料振込証明④調査書・成績証明書(出身高校や大学など)
	留学生	学力検査(英語、)	次の項のすべてに該当する者 ①志願票 ②志望理由書

		<p>小論文) 面接 書類審査</p>	<p>1. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した(見込みのもの、または、その国において大学入学資格を有する者</p> <p>2. 日本国以外の国籍を有し、入学時に18歳に達する者</p> <p>3. 日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。 ア) 日本語能力試験(JLPT)のN2以上に合格している。 イ) 日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が200点以上を取得している。</p> <p>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者</p>	<p>③検定料振込証明書 ④最終出身校の卒業証明書又は卒業見込み証明書及び学業証明書 ⑤最終学校長又は指導教授の推薦書 ⑥日本語能力証明書 ⑦日本入国後の身元保証人の氏名、年齢、職業、住所等を記載した書類 ⑧授業料等の支弁能力証明書 ⑨健康診断書 ⑩旅券の写し ⑪日本での最終校の出席状況証明書 ※日本国内で学校(日本語学校、専門学校等)に在籍した、又は在籍している者のみ ⑫住民票の写し ⑬在留カードのコピー ⑭その他必要に応じて本学が指定する書類</p>
--	--	-----------------------------	--	---

別表3(第22条、第24条、第54条関係)

グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科 入学検定料及び学生納付金

区分		金額
入学検定料		20,000 円
学生納付金	入学金(入学時のみ)	200,000 円
	授業料等	1,150,000 円

教育課程連携協議会規程

(第13条関係)

グローバル Biz 専門大学教育課程連携協議会規程 (案)

(目的)

第1条 この規程は、専門職大学設置基準第11条及び学則第41条に基づき、グローバル Biz 専門職大学（以下「本学という。」と産業界及び地域社会との連携により、本学の教育課程を編成し、及び円滑かつ効果的に実施するために設置する教育課程連携協議会（以下「連携協議会」という。）について必要な事項を定める。

(任務)

第2条 連携協議会は、次の各号に掲げる構成員で組織する。

- (1) 学長が指名する教員、その他の職員1名以上
 - (2) 本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であり、当該職業の実務に関し、豊富な経験を有するもので、学長が認めたもの1名以上
 - (3) 地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者で、学長が認めたもの1名以上
 - (4) 臨地実務実習（専門職大学設置基準第29条第1項第4号に規定する臨地実務実習をいう。）その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者又はその事業所に所属し、責任のある職位のもので、学長が認めたもの1名以上
 - (5) 本学の教員、その他の職員以外の者であって学長が必要と認めるもの1名以上
- 2 構成員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

(議長)

第3条 連携協議会に議長を置く。

- 2 議長は、構成員の互選により選出するものとする。
- 3 議長が連携協議会を招集する。

(審議事項)

第4条 連携協議会は、次に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

- (1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項
- (2) 産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

(連携協議会の開催)

第5条 連携協議会は、原則年2回開催するほか、議長が必要と認めた場合に開催する。

2 連携協議会の開催は、過半数の協議員の出席を必要とする。

(連携協議会録の作成)

第6条 大学事務局は議事録を作成する。

(連携協議会の事務)

第7条 連携協議会に関する事務は、大学事務局で行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、協議会及び理事会の意見を聴いて、学長が行う。

(附則)

この規程は令和5年4月1日より施行する。

長期履修生規程
(第 35 条関係)

学校法人 深堀学園
グローバル Biz 専門職大学 (仮)
長期履修生規程 (案)

(目的)

第1条 この規程は、グローバル Biz 専門職大学 (以下「本学」という。) の学則 35 条 (長期履修生) に基づき、長期履修に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(対象者)

第2条 長期履修の申請をすることができる者は、通常の学生に比べて時間的に履修や研究に制限があるものとして、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 職業を有し、就業している者 (自営業や臨時雇用を含む)。ただし、履修や研究に影響を与えない範囲での軽微なアルバイトやパートタイムに従事する者については、適用は認められない。
- (2) 出産、育児又は親族の介護を行う必要のある者
- (3) その他疾病等により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認められた者

(長期履修機関および在学年限)

第3条 長期履修の期間は、本学学則第 18 条 (修業年限) に定める年限に、2 年を超えない範囲内で学長が許可した期間を加えた年数とする。

2 長期履修を行う学生の在学年限 (長期履修を行う期間以外の期間を含む。) は、修業年限の 2 倍の年数に、学長が許可した期間を加えた年数とする。

(申請手続き)

第4条 長期履修の適用を希望する者は、入学予定者においては学生募集要項等で定めた時期、在学生においては毎年度末 1 月末までに、それぞれ次の書類を添えて、学長に願い出なければならない。

- ① 長期履修学生申請書 (本学所定の様式)
- ② 第 2 条第 1 項の各号に定める申請資格を証明する書類
- ③ その他、学長が必要と認める書類

(決定)

第5条 長期履修の適用は、前条の申請に基づき、教授会の議を経て、学長が決定する。

(授業料等)

第6条 授業料を標準修業年限で乗じ長期履修期間で除した額を、年度ごとに納入、なお、授業料以外の学費（施設設備費など）については、通常額となる。

(長期履修期間の変更)

第7条 長期履修認可学生が、認可された長期履修機関の延長または短縮を希望する場合は、認可を受けようとする学年開始の2か月前までに、本学所定の書類を添えて学長に申請しなければならない。ただし、修了する予定の Semester における延長の申請はできない。

2 前項の申請については、長期履修学生として入学した者のみ受け付けることとし、教授会の議を経て、学長が許可する。

3 長期履修期間の変更は1年単位で申請できるものとし、本学在学中1回に限り許可することができる。

4 変更申請が許可された場合における授業料その他納付金の額は、別に定める。

(長期履修の許可の取消し)

第8条 長期履修認可学生が本学学則および諸規定に違反したとき、または長期履修に関し虚偽の申請をしたとき、学長は、教授会の議を経て、長期履修の許可を取り消すことができる。

(規定の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教務委員会の意見を聴き、教授会の議を経て、学長が定める。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、運用上必要な事項は、細則等で定める。

2 前項の運用細則の定めた場合は、運営会議に報告するものとする。

附

この規程は、令和5年4月1日より施行する。

【資料C】

グローバルBiz 専門職大学 教授会規程（案）

（趣旨）

第1条 この規程は、学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」という。）第93条の規程に基づき、グローバルBiz 専門職大学（以下「本学」という。）に置かれる教授会に関し必要な事項を定めるものとする。

（構成）

第2条 教授会は、専任の教授、准教授、講師、助教授、及び助手で構成する。

2 議長は、学長または学長が任命する教授が担当し、議長が教授会を招集する。議長がやむを得ない事情で出席できない場合には、その会議に限り議長の指名した者が議長の職務を代行する。

（任務）

第3条 教授会は、法第93条2項各号の規定に基づき、次に掲げる事項について審議し、議長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

（1）学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

（2）学位の授与に関する事項

2 教授会は前項各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項において教授会の意見を聴くことが求められ、議長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

（招集）

第4条 教授会は、当該組織の長が招集する。

2 当該組織の長は、全構成員の3分の1以上の要求があるときは、教授会を招集することができる。

（構成員以外の出席）

第5条 教授会が必要と認めた時は、構成員以外の者を出席させ、意見または説明を聴くことができる。

（議事）

第6条 議長は、教授会を主宰する。

2 教授会は、当該構成員の3分の2以上が出席しなければ開催できない。ただし、休職中の者、公務のため海外に出張しているもの、及び職務に専念する義務を免除さ

れている者は、構成員に含めない。

- 3 教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決定する。

(議事録)

第7条 教授会は議事録を作成し、当該教授会開催後の直近の教授会でこれを確認した後、保管しなければならない。

(守秘義務)

第8条 学生の個人情報に関する事項及び人事に関する事項の審議内容については、秘密を漏らしてはならない。

(既定の改廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議を経て学長が定める。

附則

この規程は令和5年4月1日から施行する。

グローバル Biz 専門大学教育課程連携協議会規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、専門職大学設置基準第11条及び学則第41条に基づき、グローバル Biz 専門職大学（以下「本学という。」）と産業界及び地域社会との連携により、本学の教育課程を編成し、及び円滑かつ効果的に実施するために設置する教育課程連携協議会（以下「連携協議会」という。）について必要な事項を定める。

（任務）

第2条 連携協議会は、次の各号に掲げる構成員で組織する。

（1）学長が指名する教員、その他の職員1名以上

（2）本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であり、当該職業の実務に関し、豊富な経験を有するもので、学長が認めたもの1名以上

（3）地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者で、学長が認めたもの1名以上

（4）臨地実務実習（専門職大学設置基準第29条第1項第4号に規定する臨地実務実習をいう。）その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者又はその事業所に所属し、責任のある職位のもので、学長が認めたもの1名以上

（5）本学の教員、その他の職員以外の者であって学長が必要と認めるもの1名以上

2 構成員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

（議長）

第3条 連携協議会に議長を置く。

2 議長は、構成員の互選により選出するものとする。

3 議長が連携協議会を招集する。

（審議事項）

第4条 連携協議会は、次に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

（1）産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項

（2）産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

（連携協議会の開催）

第5条 連携協議会は、原則年2回開催するほか、議長が必要と認めた場合に開催する。

2 連携協議会の開催は、過半数の協議員の出席を必要とする。

(連携協議会録の作成)

第6条 大学事務局は議事録を作成する。

(連携協議会の事務)

第7条 連携協議会に関する事務は、大学事務局で行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、協議会及び理事会の意見を聴いて、学長が行う。

(附則)

この規程は令和5年4月1日より施行する。

【 就 業 規 則 】 案

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 この就業規則は、学校法人深堀学園 の教員・職員の労働条件、服務規律その他の就業に関する事項を定めたものである。

2 この規則に定めのない事項は労働基準法その他の法令の定めるところによる。

(教員・職員の定義)

第 2 条 この規則において「教員・職員」とは、第 2 章に定める手続により採用された者をいう。

(規則の順守)

第 3 条 学校法人深堀学園 (以下「学園」という。) および 教員・職員は、この規則ならびにこの規則に基づいて定められた諸規定を順守し、礼儀を重んじ、上司の指示・命令に従い規律ある行動によって、相互に協力し合って学校事業と教育内容の発展に努めなければならない。

(規則の適用)

第 4 条 教員・職員のうち、嘱託、臨時、契約教員、アルバイトその他就業形態が特殊な勤務に従事する者については別に定める規則による。

2 専門職大学の教員については、個々に締結する雇用契約に準ずるが、学園の教員として、第 3 章に定める服務規律を遵守すること。

第 7 章 定年、退職および解雇

(定 年)

第 44 条 教員・職員の定年は、満 60 歳とし定年に達した年の誕生日をもって自然退職とする。

ただし、理事長の判断により理事就任中の教員・職員はこの限りではない。

第 45 条 専門職大学の教員の定年は、満 70 歳とする。ただし、次の各号に該当するものについては、継続して雇用することができる。

- (1) 専門職大学設立後、延長して雇用することができる。
- (2) 完成年度までは、例外的に満 70 歳を超えて雇用することができる。

(継続雇用)

第 46 条 教員・職員の次の各号に掲げるいずれにも該当するものについては理事長の判断により、1 年更新の嘱託、パート等の有期雇用契約により継続雇用する。ただし、雇用契約期間中であっても、心身上の理由等で業務遂行が困難であると判断される時は契約期間中であっても契約を打ち切ることがある。

- (1) 勤続 20 年以上で、再雇用を希望し勤労意欲に富む者
- (2) 直近の健康診断の結果、心身共に問題がないこと
- (3) 就業規則違反がないこと
- (4) 過去にセクハラ等迷惑行為がないこと
- (5) 引き続き勤務して、学校の業務に貢献でき、信用を築ける者

2 老齢厚生年金の報酬比例部分が支給される年齢以降の者で、上記 1 項のいずれかを満たさない者については、満 65 歳まで継続雇用する。

【資料 F】

令和5年度 履修モデル1 1年春期

	月	火	水	木	必修 金
1	スタディスキルズ 津村 P501講義室		ICT演習 渋谷 M406メディア実習室		English for Global Business I Brett M402演習室
2		IT概論 津村 P501講義室	ICT演習 渋谷 M406メディア実習室	English Fundamental I Brett M402演習室	
3	流通論 内田 M402演習室	IT概論 津村 P501講義室	デザイン設計 本田 M406メディア実習室	マーケティング概論 平岩 P401講義室	
4	流通論 内田 M402演習室		デザイン設計 本田 M406メディア実習室	マーケティング概論 平岩 P401講義室	
5	グローバルサプライチェーン マネジメント総論 内田 P501講義室		デザイン設計 本田 M406メディア実習室		
6	グローバルサプライチェーン マネジメント総論 内田 P501講義室		デザイン設計 本田 M406メディア実習室		

令和5年度 履修モデル1 1年秋期

	月	火	水	木	金
1	貿易概論 石川 P401講義室	貿易実践英語 今岡 P501講義室		貨物輸送論 味岡 P501講義室	メディアデータベース 渋谷 M406メディア実習室
2	貿易概論 石川 P401講義室	経営学 今岡 P501講義室	キャリアディベロップメントI 津村 P501講義室	貨物輸送論 味岡 P501講義室	メディアデータベース 渋谷 M406メディア実習室
3	応用英語コミュニケーションI Ikhlas M402演習室	経営学 今岡 P501講義室	English and Current Issue Sean M402演習室	メディア戦略 I 本田 M406メディア実習室	
4	応用英語コミュニケーションI Ikhlas M402演習室		English and Current Issue Sean M402演習室	メディア戦略 I 本田 M406メディア実習室	
5					
6					

令和6年度 履修モデル1 2年春期

	月	火	水	木	必修 金
1	DX論 I 武藤 M402演習室	経済学 I 松本 P301講義室	国際観光ビジネス I 長屋 M308メディア実習室	通関概論 石川 P401講義室	次世代SDGs I 笠井 P301講義室
2	DX論 I 武藤 M402演習室	経済学 I 松本 P301講義室	国際観光ビジネス I 長屋 M308メディア実習室	通関概論 石川 P401講義室	次世代SDGs I 笠井 P301講義室
3	eコマース実践 本田 P401講義室	法学 I 横溝 P301講義室	国際観光ビジネス I 長屋 M308メディア実習室	イノベーションマネジメント 今岡 P301講義室	メディア戦略実践 I 藤村 M406メディア実習室
4	eコマース実践 本田 P401講義室	法学 I 横溝 P301講義室	国際観光ビジネス I 長屋 M308メディア実習室	イノベーションマネジメント 今岡 P301講義室	メディア戦略実践 I 藤村 M406メディア実習室
5					
6					

令和6年度 履修モデル1 2年秋期

	月	火	水	木	必修 金
1	English Writing Skills I Brett M402演習室	DX論 II 平岩 P301講義室	メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室		キャリアディベロップメント II 笠井 P501講義室
2	English Writing Skills I Brett M402演習室	DX論 II 平岩 P301講義室	メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室		グローバルロジスティクス I 齊藤 P501講義室
3	アジアビジネス 小林 P301講義室		メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室	English and popular Culture Brittany M402演習室	グローバルロジスティクス I 齊藤 P501講義室
4	アジアビジネス 小林 P301講義室		メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室	English and popular Culture Brittany M402演習室	
5			翻訳制作 桜井 M308メディア実習室		
6			翻訳制作 桜井 M308メディア実習室		

令和7年度 履修モデル1 3年春期

	月	火	水	木	必修 金
1	キャリアディベロップメントⅢ 笠井 P301講義室	English Writing Skills II Ikhlas M305演習室		グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室	グローバルサプライチェーンマネジメントⅠ 今岡 P101講義室
2	中国語・中国事情Ⅰ 林 P401講義室	English Writing Skills II Ikhlas M305演習室		グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室	グローバルサプライチェーンマネジメントⅠ 今岡 P101講義室
3				グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室	通関論 石川 P101講義室
4	English for Global Business Ⅱ Ikhlas M305演習室			グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室	通関論 石川 P101講義室
5					
6					

令和7年度 履修モデル1 3年秋期

	月	火	水	木	金
1		プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M308メディア実習室		日米言語比較 小張 P401講義室	貿易実務論 石川 P301講義室
2	グローバルロジスティクスⅡ 齊藤 P101講義室	プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M308メディア実習室		日米言語比較 小張 P401講義室	貿易実践実務論 石川 P301講義室
3	グローバルロジスティクスⅡ 齊藤 P101講義室	プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M308メディア実習室			貨物輸送実習 味岡 M406メディア実習室
4	Discussion for Global Business Brittany M305演習室	プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M308メディア実習室			貨物輸送実習 味岡 M406メディア実習室
5					貨物輸送実習 味岡 M406メディア実習室
6					貨物輸送実習 味岡 M406メディア実習室

令和8年度 履修モデル1 4年春期

	月	火	水	木	必修 金
1	事業創生実習 内田 M207メディア実習室		国際ビジネスリサーチ 大沼 M304演習室	グローバル キャリアディベロップメント 笠井 M405講義室	最新物流戦略 角井 M405講義室
2	事業創生実習 内田 M207メディア実習室	国際通商協定 石川 M404講義室	国際ビジネスリサーチ 大沼 M304演習室		最新物流戦略 角井 M405講義室
3		国際通商協定 石川 M404講義室			Presentation for Global Business Ikhlas M304演習室
4		グローバルサプライ チェーンマネジメント II 今岡 M405講義室			
5					
6					

令和8年度 履修モデル1 4年秋期

	月	火	水	木	金
1		異文化理解 小張 M304演習室	次世代SDGs II 笠井 M405講義室		事業創生実習 内田 M207メディア実習室
2		異文化理解 小張 M304演習室	次世代SDGs II 笠井 M405講義室		事業創生実習 内田 M207メディア実習室
3	国際関係論 石川 M405講義室	グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M207メディア実習室	国際観光ビジネス II 長屋 M201実習室		
4	国際関係論 石川 M405講義室	グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M207メディア実習室	国際観光ビジネス II 長屋 M201実習室		
5		グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M207メディア実習室	国際観光ビジネス II 長屋 M201実習室		
6		グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M207メディア実習室	国際観光ビジネス II 長屋 M201実習室		

令和5年度 履修モデル2 1年春期

	月	火	水	木	必修 金
1		マーケティング概論 平岩 P401講義室	グローバルサプライチェーンマネジメント総論 内田 P501講義室	デザイン設計 本田 M406メディア実習室	
2	スタディスキルズ 津村 P501講義室	マーケティング概論 平岩 P401講義室	グローバルサプライチェーンマネジメント総論 内田 P501講義室	デザイン設計 本田 M406メディア実習室	English for Global Business I Brett M402演習室
3	IT概論 津村 P501講義室	ICT演習 渋谷 M406メディア実習室		デザイン設計 本田 M406メディア実習室	
4	IT概論 津村 P501講義室	ICT演習 渋谷 M406メディア実習室	English Fundamental I Sean M402演習室	デザイン設計 本田 M406メディア実習室	
5			流通論 内田 M402演習室		
6			流通論 内田 M402演習室		

令和5年度 履修モデル2 1年秋期

	月	火	水	木	金
1	貿易実践英語 齊藤 P501講義室	メディア戦略 I 渋谷 M406メディア実習室	貿易概論 石川 P401講義室	応用英語コミュニケーション I Ikhkas M402演習室	
2	経営学 今岡 P501講義室	メディア戦略 I 渋谷 M406メディア実習室	貿易概論 石川 P401講義室	応用英語コミュニケーション I Ikhkas M402演習室	
3	経営学 今岡 P501講義室	メディアデータベース 渋谷 M406メディア実習室	貨物輸送論 味岡 P501講義室	キャリアディベロップメント I 津村 P401講義室	
4		メディアデータベース 渋谷 M406メディア実習室	貨物輸送論 味岡 P501講義室		
5					
6					

令和6年度 履修モデル2 2年春期

	月	火	水	木	必修 金
1	メディア戦略実践 I 藤村 M406メディア実習室	国際電子商取引 内田 M403講義室	経済学I 松本 P301講義室		eコマース実践 本田 P401講義室
2	メディア戦略実践 I 藤村 M406メディア実習室	イノベーションマネジメント 今岡 M405講義室	経済学I 松本 P301講義室		eコマース実践 本田 P401講義室
3	法学 I 横溝 P301講義室	イノベーションマネジメント 今岡 M405講義室			DX論 I 武藤 M402演習室
4	法学 I 横溝 P301講義室	通関概論 石川 P401講義室		次世代SDGs I 笠井 P101講義室	DX論 I 武藤 M402演習室
5		通関概論 石川 P401講義室		次世代SDGs I 笠井 P101講義室	
6					

令和6年度 履修モデル2 2年秋期

	月	火	水	木	金
1	アジアビジネス 小林 P301講義室	English Writing Skills I Brett M402演習室	メディア戦略 II 風間 M406メディア実習室	次世代SDGs I 笠井 P301講義室	メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室
2	アジアビジネス 小林 P301講義室	English Writing Skills I Brett M402演習室	メディア戦略 II 風間 M406メディア実習室	次世代SDGs I 笠井 P301講義室	メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室
3		キャリアディベロップメント II 笠井 P401講義室	メディア戦略 II 風間 M406メディア実習室		メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室
4		DX論 II 平岩 P301講義室	メディア戦略 II 風間 M406メディア実習室		メディア戦略実践 II 藤村 M308メディア実習室
5		DX論 II 平岩 P301講義室	メディア戦略 II 風間 M406メディア実習室		翻訳制作 桜井 M308メディア実習室
6			メディア戦略 II 風間 M406メディア実習室		翻訳制作 桜井 M308メディア実習室

令和7年度 履修モデル2 3年春期

	月	火	水	木	必修
1	中国語・中国事情I 林 P401講義室	データ解析 武藤 P101講義室	メディア戦略Ⅲ 風間 M207メディア実習室	グローバルサプライチェーン マネジメントI 今岡 P101講義室	メディアプログラム I 風間 M305演習室
2	キャリアディベロップメントIII 笠井 P101講義室	データ解析 武藤 P101講義室	メディア戦略Ⅲ 風間 M207メディア実習室	グローバルサプライチェーン マネジメントI 今岡 P101講義室	メディアプログラム I 風間 M305演習室
3	English for Global Business II Ikhlas M305演習室	ビジネスファイナンス 小林 P101講義室	メディア戦略Ⅲ 風間 M207メディア実習室	English Writing Skills II Ikhlas M305演習室	グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室
4		ビジネスファイナンス 小林 P101講義室	メディア戦略Ⅲ 風間 M207メディア実習室	English Writing Skills II Ikhlas M305演習室	グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室
5			メディア戦略Ⅲ 風間 M207メディア実習室		グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室
6			メディア戦略Ⅲ 風間 M207メディア実習室		グローバルマーケティング実習 内田 M308メディア実習室

令和7年度 履修モデル2 3年秋期

	月	火	水	木	金
1		Discussion for Global Business Sean M305演習室		国際メディア 渋谷 P101講義室	法学Ⅱ 横溝 P401講義室
2				国際メディア 渋谷 P101講義室	法学 横溝 P401講義室
3	メディアプログラムⅡ 渋谷 M308メディア実習室				プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M201実習室
4	メディアプログラムⅡ 渋谷 M308メディア実習室				プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M201実習室
5	メディアプログラムⅡ 渋谷 M308メディア実習室				プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M201実習室
6	メディアプログラムⅡ 渋谷 M308メディア実習室				プロジェクトリーダー養成実習 武藤 M201実習室

令和8年度 履修モデル2 4年春期

	月	火	水	木	必修 金
1		Presentation for Global Business 桜井 M304演習室	グローバルキャリアディベロップメント 笠井 P101講義室	事業創生実習 津村 M207メディア実習室	
2			国際通商協定論 石川 M405講義室	事業創生実習 津村 M207メディア実習室	
3	中国語・中国事情II 林 M405講義室		国際通商協定論 石川 M405講義室		経営組織論 今岡 M405講義室
4	グローバルサプライチェーン マネジメントII 今岡 M405講義室				経営組織論 今岡 M405講義室
5					
6					

令和8年度 履修モデル2 4年秋期

	月	火	水	木	金
1	次世代SDGs II 笠井 M405講義室	国際関係論 石川 M405講義室	国際金融論 三野 P101講義室	グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M201実習室	
2	次世代SDGs II 笠井 M405講義室	国際関係論 石川 M405講義室	国際金融論 三野 P101講義室	グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M201実習室	
3	D X 論III 風間 M207メディア実習室		D X 論III 風間 M207メディア実習室	グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M201実習室	事業創生実習 II 津村 M207メディア実習室
4				グローバルサプライチェーン マネジメント実習 齊藤 M201実習室	事業創生実習 II 津村 M207メディア実習室
5					
6					

育成人材像

流通・物流・貿易業界において、

- (1) 社会人、職業人として自立し、時代や環境の変化に対応して自ら考え行動することができる
- (2) 流通・物流・貿易分野で、グローバルサプライチェーン全体を俯瞰する経営視点を持つとともに、理論と実務能力を組み合わせた応用力、主体性を備え、実務遂行・事業遂行することができる実務能力を有し、変化に即応する企業経営の改善に寄与することができる
- (3) IT技術を取り入れてグローバルサプライチェーン・マネジメント(以下グローバルSCMと呼ぶ)を行うシステムの構築、運用を牽引することができる。また、多様なビジネス情報を活用しビジネスの開拓・改善に寄与することができる

ことを目指し、いわゆる「イントレプレナー(企業内起業家)」となる人材、そして斬新な発想力(Inspiration)、豊かな想像力(Imagination)を持ってイノベーション(Innovation)を起こすことのできる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー

修学の成果と認定に係る基準は、流通・物流・貿易分野での実務能力、すなわち下記に示す分野での専門知識とこれを主体的に応用することのできる基盤となる能力を身に付けていることである。

DP（全体）

修学の成果と認定に係る基準は、流通・物流・貿易分野での実務能力、すなわち下記に示す分野での専門知識とこれを主体的に応用することのできる基盤となる能力を身に付けていることである。

DP-1（基礎科目）

社会人・職業人として明確な目標を持ち、基礎的な教養や異文化を理解する姿勢を身につけている。

DP-2-1（グローバルコミュニケーション科目群）

グローバルビジネスの現場で、自らの提案や議論、交渉ができる英語運用能力の基礎を身に付けている。

DP-2-2（専門基礎科目群）

企業経営に関する基礎知識を習得し、実習などを通して得た課題や問題点を発見・解決ができる能力を備え、企業内のプロジェクトリーダーとして経営に貢献するための基礎を身に付けている。

DP-2-3（専門基幹科目群）

流通・物流・貿易分野でビジネスをするために必要な専門知識やデジタル化、DXに貢献するためのIT技術、専門知識を習得し、実習を通じて理論・実務能力を体得することにより、グローバルサプライチェーンの最適化を図り、物流効率を高める改善提案を行うための基盤となる能力を身に付けている。

DP-3（展開科目群）

当該分野で多様なビジネス情報を利活用するための専門知識を習得し、それを応用することにより、新事業の開拓・改善など時代や環境の変化を捉え対応していく能力を身に付けている。

DP-4（総合科目）

流通・物流・貿易分野での実務能力、すなわち職業専門職科目での専門知識とこれを主体的に応用することのできる基盤となる能力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー

CP（全体）

流通・物流・貿易分野でビジネスを行う上での実務能力を発揮するために必要な基盤となる専門知識、応用力を得られるカリキュラムとする。実習との往還によって理論の体得を深める。理論、実習で学習した知識、経験をもとに、企業の現場で実務実習することにより、学習内容の体得を深める。専門職人材としてグローバルなビジネスを行う実践力と起業家マインドを磨き、時代と環境の変化に即応したビジネスを実践するために必要な基盤となる能力を得られる科目を配置する。実習科目を中心として志向・態度を学び、発想力、創造力、イノベーション力を涵養する科目を配置する。

CP-1(基礎科目)

社会人、職業人としての目標設定と自ら考え行動する能力を身に付ける。専門分野のみにとらわれない幅広い知識を学び、基礎的な教養や異文化を理解する態度を身に付ける。

CP-2-1（国際コミュニケーション科目群）

英語を総合的に学習し、グローバルな考え方や交渉術を習得することにより、グローバルビジネスの現場で求められる英語運用能力を修得する。

CP-2-2（専門基礎科目群）

経営、経済、法律、マーケティング、プロジェクト管理などを学び、経営に貢献するための基礎知識を習得する。そして、企業の経営課題を分析し、改善提案をできるようにするとともに、事業戦略立案手法を学び、事業化提案ができるような専門知識を学ぶ。

CP-2-3（専門基幹科目群）

流通・物流・貿易に関する仕組みや業務知識などの専門知識、IT技術を取り入れグローバルサプライチェーンの最適化を図るために必要な専門知識を習得する。

CP-3（展開科目群）

流通・物流・貿易分野に関連する他分野での創造的な役割を担うものとして、ビジネス情報の利活用による新ビジネスの開拓・改善に寄与するための基盤となる能力を身に付ける。

CP-4（総合科目）

理論、実習で学習した知識、経験をもとに、総纏めとして事業創生を実習し、主体的に課題を発見・解決できる能力を養い、経営に貢献するための基礎を習得する。

アドミッション・ポリシー

本学の教育理念・方針に共感し、グローバルコミュニケーション力、事業推進力とこれらを組み合わせた主体的な行動力を身につけ、社会人、職業人としてグローバルビジネスでの活躍を目指す人を求める。

①高等学校で履修した主要科目のうち、「英語」を通じて国際的なコミュニケーションの習得に必要な基礎的能力を身につけている。また「国語」または「日本語」を読み、書く基礎能力およびコミュニケーション能力を身につけ、講義や実習に必要な基礎能力を身につけている。(知識・技能)

②校内外での共同作業の経験を通し多様性を受け入れる価値観を持ち、積極的に他者との協調や連携を持って課題に取り組むことができる。(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

③グローバルな経済活動とデジタル技術の関係に興味を持ち、社会の課題解決のための知識やスキルを学習する意欲がある。(知識・技能)

④変化する社会の課題に関心を持ち、知識や情報収集し、解決策を多角的に考え説明できる。(思考力・判断力、表現力等の能力)

臨地実務実習要綱

グローバル Biz 専門職大学

目 次

1. 臨地実務実習の目的	3
(1) 概要	3
(2) ディプロマ・ポリシーにおける位置づけ	3
(3) 実習科目概要	3
(4) 実習スケジュール概要	4
2. 臨地実務実習先企業について	5
(1) 実習先企業の選定について	5
(2) 実習先企業の公表について	6
3. 臨地実務実習の狙い・満たすべき基準について	6
4. 臨地実務実習の成績評価と評価方法	14
5. 臨地実務実習計画	21
(1) 事前計画	22
(2) 実習期間中計画	23
(3) 事後計画	24
5. 指導体制	24
6. 実習先企業との連携	25
7. その他	26

本資料は、学生が臨地実務実習をおこなうにあたり、学生の理解度を高め、実習による教育効果の一層の向上を図るとともに、実習先の決定プロセスや成績評価基準・方法等に係る公平・公正性を担保するために作成されたものである。

1. 臨地実務実習の目的

(1) 概要

本学が教育理念としている「斬新な発想力と豊かな想像力をもって、組織の中でイノベーションを引きおこすリーダーシップを発揮するための人材育成」に向け、これを実現するためのカリキュラム編成の中で、「臨地実務実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」は、現場の実務に対応可能な実践的な能力を育成することを狙いとしている。

「臨地実務実習Ⅰ・Ⅱ」は、企業活動の現場において与えられた課題と解決へのアプローチを通し、専門的知識及び技術の習得を図る。具体的には、実務実習先で担う業務の意義や役割を理解したうえで、それぞれ企業における現場業務、企画業務などの一部工程を担う。担当する業務についての計画を立てるとともに、実際の状況に応じながら、指導者の指導・助言のもと、業務の完了を目指す。実務を通じ、教育課程で学んだ専門知識及び技術の体得を目指す。

「臨地実務実習Ⅲ・Ⅳ」では、上記「臨地実務実習Ⅰ・Ⅱ」を踏まえ、現場実務の中核を担える実践的な力を習得させる。具体的には、企業の現場において、業務の一連の工程を担う。実務を通じ、現状を分析し課題を自ら設定し、解決へのアプローチとして仮説を設定して検証しながら解を導くというビジネスの現場における通常のプロセスを実践する姿勢を養う。マーケティング及び経営観点を含む様々な実務課題の解決に必要とされる専門的知識及び技術の習得に加え、企画や起業につながる知識、技能の体得を目指す。

(2) ディプロマ・ポリシーにおける臨地実務実習の位置づけ

本学のディプロマ・ポリシーでは育成すべき能力として、下記を規定している。

➤ 「国際コミュニケーション力」

社会人・職業人として明確な目標を持ち、基礎的な教養や異文化を理解する姿勢を身につけ、グローバルビジネスの現場で、自らの提案や議論、交渉ができる英語運用能力の基礎を身に付けている。

➤ 「経済・経営能力」

企業経営に関する基礎知識を習得し、実習などを通して得た課題や問題点を発見・解決ができる能力を備え、企業内のプロジェクトリーダーとして経営に貢献するための基礎を身に付けている。

➤ 「流通・物流・貿易分野専門知識、IT技術とこれを主体的に応用する能力」

流通・物流・貿易分野でビジネスをするために必要な専門知識を持ち、実習を通じ

て理論・実務能力を体得することにより、グローバルサプライチェーンの最適化を図り、物流効率を高める改善提案を行うための基盤となる能力を身に付けている。また、デジタル化、DXに貢献するためのIT技術、専門知識を習得し、それを応用することにより、時代や環境の変化を捉え対応していく能力を身に付けている。

臨地実務実習は、企業の現場で実務体験することにより、上述の能力開発の促進し、流通・物流・貿易分野を初めと多様なビジネス分野での事業遂行を行う人材を育成することを狙いとしている。

(3) 科目概要

上述の能力開発を狙いとして、各年次（1年～4年）でそれぞれ臨地実務実習を実施する。臨地実務実習科目の概要として、実施年次、取得単位数、実施期間を表4に示す。

表 臨地実務実習科目概要

科目（必修）	年次	単位数	期間
臨地実務実習Ⅰ	1年次	5	約1ヵ月間目途
臨地実務実習Ⅱ	2年次	5	同上
臨地実務実習Ⅲ	3年次	5	同上
臨地実務実習Ⅳ	4年次	5	同上

(4) 臨地実務実習スケジュール

臨地実務実習のスケジュール概要を下表に示す。

表 臨地実務実習のスケジュール概要

	スケジュール	実施項目	内容
1	各年次 4月	臨地実務実習計画 説明会実施	全学生を対象に、説明会を実施、主旨を理解させるとともに、受入企業を公表。
2	各年次 5月	実習先エントリー及 び 学生面談	学生の実習先エントリー後に、各学生との面談、受入先を決定。
3	各年次 6月	履修登録及び 事前指導	全学生を対象に、臨地実務実習の目的、到達目標、実務実習先の留意事項を充分に理解させる。受入先及び本人の事情など必要に応じて個別に面談を実施。

4	各年次 7月～9月	臨地実務実習	具体的な日程は、5単位／年をベースに個別に受入先企業と調整。
5	各年次 10月	事後指導	臨地実務実習報告書の作成、報告会の実施を通じて、実務実習を振り返り整理。

2. 臨地実務実習先企業について

(1) 実習先企業の選定基準

実習目的を達成するために、学生の実習先を下記の条件で選定している。

- ・ 事業内容が、本学の教育課程と共通性がある。
(実習先の事業分野が、主として職業専門科目群の教育課程で学修する内容と関連し学んだ専門知識を活かすあるいはこれを応用して業務に取り組むことができる職業分野である。)
- ・ 実習の設定目標に応じて実習が可能である。
(職業専門科目群で学んだ理論を実践する形で実習に取り組むことができる。)
- ・ 実習先指導者に十分な指導資質を持つ人材がある。
(十分な指導資質とは、当該業務経験が5年以上あることに加え、人材育成経験あることである。)

(2) 実習先企業の公表について

学生の実習先企業に関する情報(実習先企業の事業概要、受入人数、実習科目との関連など)は、毎年4月下旬に公表する。

実習先として想定している企業、そこでの実習概要について下表に示す。

実習先企業群	実習業務計画概要	備考
物流系企業	・ 物流事業者現場における実習業務 (物流センターにおける貨物輸送業務、 輸出入通関業務、事務業務など)	
IT系企業	・ Webシステムを中心とするソフトウェア開発 現場における実習業務 (プログラム開発業務、企画業務 販売業務など)	
語学、観光関連	・ 語学、観光事業者(ホテル他)、観光協会の現場	

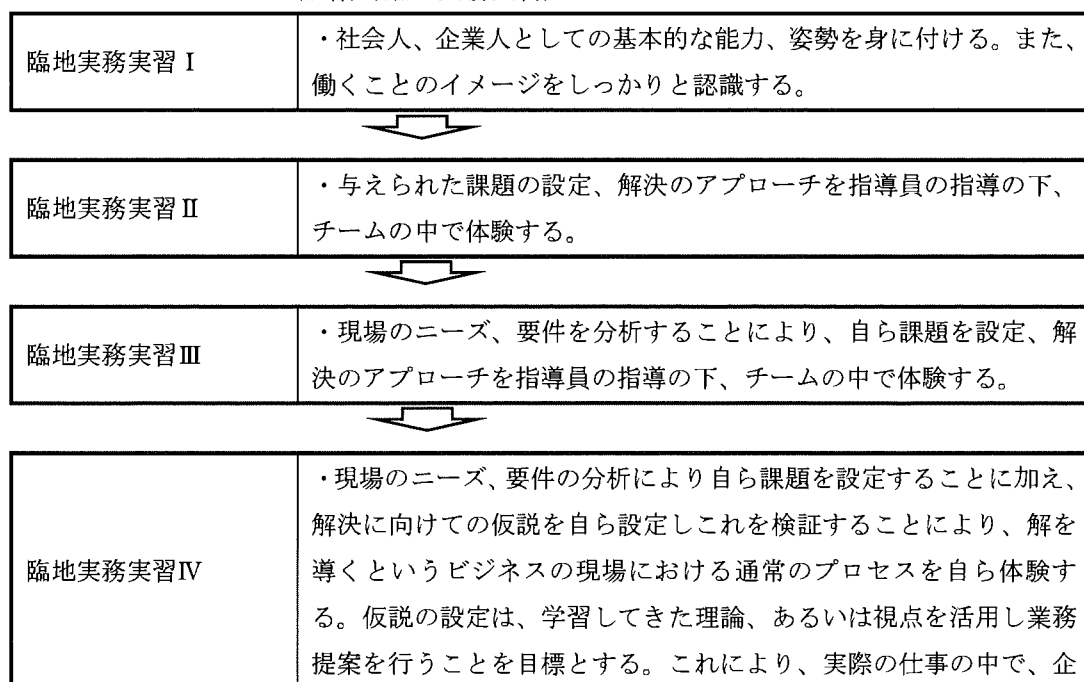
企業・団体	における実習業務 (接遇対応、観光案内、通訳業務など)	
-------	--------------------------------	--

3. 臨地実務実習の狙い、満たすべき基準

臨地実務実習Ⅰ～Ⅳは、職業専門科目の1つとして実施する。職業専門科目（国際コミュニケーション科目、専門基礎科目、専門基幹科目）及び展開科目で学習した理論を実習先の実務現場で実践することが狙いである。これにより、臨地実務実習Ⅰから臨地実務実習Ⅳで、他の職業専門科目、展開科目と併せて、ビジネス社会で行動するための基盤、資質を醸成する。

実務課題の捉え方、解決に向けたアプローチの仕方について、1年次に実施の臨地実務実習Ⅰから4年次に実施の臨地実務実習Ⅳまで実務現場での実習経験を重ね、次第に課題の範囲、深さと解決に向けたアプローチの自律性を高めてき、最終4年次では、現場のニーズ、要件の分析により自ら課題を設定することに加え、解決に向けての仮説を自ら設定しこれを検証することにより、解を導くというビジネスの現場における通常のプロセスを自ら体験する指導計画としている。これにより、実際の仕事を通じて企業の事業に貢献するとはどういうことかを自ら体験、体得することが狙いである。また、解決に向けての仮説の設定は、職業専門科目で学習してきた理論、あるいは視点を活用し業務提案を行うことを目標に組み込んでいる。各科目実施の全体目標を下記として、具体的な目標を設定している。

〈段階的臨地実務実習〉



	業に貢献する。
--	---------

臨地実務実習Ⅰ～Ⅳの各科目において、実習の狙い、実習の水準、専門科目群との関係、及び実施するための指導責任教員を記載する。

① 臨地実務実習Ⅰ

科目名	臨地実務実習Ⅰ
年次	1年
単位数	5単位（150時間）
専門科目群との関係	専門基礎科目群： マーケティング概論 専門基幹科目群： 貿易実務概論、航空貨物輸送論、通関士概論、 貿易実践英語 展開科目：Web制作
指導体制	指導教員(2)、キャリアセンター職員(3)、助手(3)

①-1 概要

臨地実務実習Ⅰは、業務プロセスを理解することを目標とする。ビジネスの現場における他者との相互理解、社会人、企業人としての基本的な能力、姿勢を身につけさせる。実習先企業の製品、サービス、業務内容、業務部署の役割、組織の構成を理解した上で、組織として業務を進めるために必要なコミュニケーションの重要性を理解させる。企業で業務を体験することで、これらを理解し実践できるようにする。

そのために、受入企業との連携により、事業部門の特定の部署に配置、あるいは企業内の実務研修に参加させるなど多面的な実務実習体制の構築を図る。また、昨今の企業における生産性向上施策の一環として業務のオンライン化が進められているが、企業内実務研修においてもこの流れにあり、本臨地実務実習のスキームに積極的に取り込む。

①-2 実習の水準

臨地実務実習Ⅰは、教育カリキュラムの専門科目群の中で1年次必修科目とし、実施後の評価により5単位を付与する。業務プロセスを理解することを狙いとして、実習先企業の製品、サービス、業務内容、業務部署の役割、組織の構成、社員の分掌を理解した上で、組織として業務を進めるために必要なコミュニケーションの重要性を把握し、組織内での業務を体験する。

臨地実務実習Ⅰは、1年次必修科目で、実習の満たすべき水準は、ビジネスの現場における他者との相互理解、社会人、企業人としての基本的な能力、姿勢が身につけていること及

び業務内容を遂行するための基本技術を習得していることである。具体的な到達目標を①-3 実習の到達目標に示す。

学生は、1年次前期課程で、必修科目として「マーケティング概論」、「貿易実務概論」、「航空貨物輸送論」、「通関士概論」、「貿易実践英語」を履修しているが、企業の現場における実務コミュニケーションの中で、必修履修科目の理論の実践、また実践を通じた理論の深い理解を図ることも狙いである。

また、企業における業務のオンライン化潮流の中で、企業内業務研修においてもしかりであり、臨地実務実習においてもオンラインのメリットを活かした積極的な対応を取る。具体的には、実習の観点では、オンライン環境は、リモートであるゆえに、「やるべきことを整理する、早い段階で見通しを得る、自律的に物事に対応する」といった全ての業務の基本姿勢を養うためのよいツールと言える。オンラインツールの活用により、こうした業務の基本姿勢の習得にあたり、受講生の目標意識を高く持たせ、習得させられるような目標設定とする。また、オンラインでのデメリットである IT 環境が均質でないことに関しては、企業側、学校側との綿密な連携により、非均質性の軽減を図る。

①-3 実習の到達目標

(知識・理解)

- ・実習先企業の製品、サービス、業務内容を理解し説明することができる。
- ・実習先部署の役割、組織の構成、担当社員の分掌を理解し説明することができる。

(能力)

- ・与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効果的、効率的な方法を考え、業務を完了することを目標とする計画を立てて業務を進めることができる。
- ・実習先企業の業務内容に基づく基本技術を習得している。
- ・所属する受入先の部署やチームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を遂行することができる。

(志向・態度)

- ・社会人としてのビジネスマナーを身につけている。

臨地実務実習 I では、1年次の初めての実務実習であり、基本的な業務内容の理解に主眼が置かれている。また、「業務内容を遂行するための基本技術を習得している」項目が重要となり、事前指導、実習期間、事後指導でこれを満たすための指導を行う。

② 臨地実務実習 II

科目名	臨地実務実習 II
年次	2年
単位数	5単位 (150 時間)

<p>専門科目群との関係</p>	<p>1年次履修の専門科目群に加えて、2年次履修の下記専門科目群</p> <p>国際コミュニケーション科目群： 観光英語模擬実習</p> <p>専門基礎目群： 経済学Ⅰ、経済学Ⅱ</p> <p>専門基幹科目群： 実践中国ビジネス、 国際電子商取引、フォワーディング 流通論、グローバルメディア戦略実践Ⅰ</p> <p>展開科目： Webプロデュース論</p>
<p>指導体制</p>	<p>指導教員(2)、キャリアセンター職員(3)、助手(3)</p>

②-1 概要

臨地実務実習Ⅱは、与えられた課題について計画を立てて業務を進めて完了させることを目標とする。与えられた課題に対し必要となる専門的知識、技術を統合し解を導く姿勢を身に付けさせる。実習先企業の製品、サービス、業務内容、業務部署の役割、組織の構成を理解した上で、組織として業務を進めるために必要なコミュニケーションの重要性を理解させる。企業で業務を体験することで、これらを理解し実践できるようにする。

②-2 実習の水準

臨地実務実習Ⅱは、教育カリキュラムの専門科目群の中で2年次必修科目とし、実施後の評価により5単位を付与する。企業の開発、販売の現場において実務を通し、与えられた課題について計画を立てて業務を進めて完了させることを狙いとして、実習先企業の組織内での業務を体験する。

学生は、1年次の必修科目として、「マーケティング概論」、「貿易実務概論」、「航空貨物輸送論」、「通関士概論」、「貿易実践英語」をまた2年次の前期課程で経済学を履修しているが、企業の現場における実務課題へのアプローチを通し、理論の実践、また実践を通した理論の深い理解を図ることも狙いである。また、英語授業「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」、「English Crucial SkillsⅠ、Ⅱ」、「観光英語模擬実習」、「English for global businessⅠ、Ⅱ」を履修しており、実習先の言語環境により、ビジネスの現場での英語コミュニケーションの実践機会ともする。

臨地実務実習Ⅱは、2年次必修科目で、実習の満たすべき水準は、実習先企業で配属されたチームの中で、与えられた課題に対し、指導者の助言を得ながら業務を実行しつつ、状況の変化に応じ計画を見直しながら実行し、結論を導き、プレゼンテーションができることで

ある。そして、専門科目群で履修の科目で学習した理論あるいは視点で課題を捉える姿勢が身についていることである。これは例えば、実習先企業配属先でのテーマが事業企画であれば、学生は既に「マーケティング概論」を履修しており、市場分析、戦略シナリオの立案、戦略具体化のためのアクションプラン策定、評価など事業企画の一連の理論、手法を学習しており、企業の現場での事業企画において学習した理論、手法を拠り所にした課題の抽出、企画立案ができること等である。具体的な到達目標を②-3 実習の到達目標に示す。

②-3 実習の到達目標

(知識・理解)

- ・実習先企業の製品、サービス、業務内容部署、及び部署の役割、組織構成の概要を理解し説明することができる。
- ・実習先企業の業務を遂行するために必要な専門知識、技術を習得している。

(能力)

- ・自分のやるべき業務を明確に捉え、効果的、効率的な方法を考え、業務を完了することを目標とする計画を立てて主体的、自律的に取り組むことができる。
- ・与えられた課題に対し、指導者の助言を得ながら業務を実行しつつ、状況の変化に応じ計画を見直しながら実行し結論を導く姿勢が身についている。
- ・解決案を文書化し、プレゼンテーションできる。

(志向・態度)

- ・異なる意見を持つ人と意見を交わす、調整するなど、チームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を遂行することができる。

③ 臨地実務実習Ⅲ

科目名	臨地実務実習Ⅲ
年次	3年
単位数	5単位(150時間)
専門科目群との関係	1年次、2年次履修の専門科目群に加えて、下記科目。 専門基礎科目群： ビジネスファイナンス、経営学、 イノベーションマネジメント 国際ビジネス科目群： グローバルマーケティング、 グローバルメディア戦略実践Ⅱ、 グローバルサプライチェーンマネジメントⅠ グローバルロジスティクス論、 貿易実務論、航空貨物輸送実習、通関論Ⅰ

	展開科目： e コマース実践、デジタルトランスフォーメーション論
指導体制	指導教員(2)、キャリアセンター職員(3)、助手(3)

③-1 概要

臨地実務実習Ⅲは、業務の現状を分析し自ら課題を抽出し、解決に向けて計画を立てて業務を完了させることが目標である。現状分析により設定した課題に対し必要となる専門的知識、技術を統合し解を導く姿勢を身に付けさせる。実習先企業の製品、サービス、業務内容、業務部署の役割、組織の構成を理解した上で、設定した課題に対し解決に向けた行動をとる提案型の実務能力を身に付けさせる。

③-2 実習の水準

臨地実務実習Ⅲは、教育カリキュラムの専門科目群の中で3年次必修科目とし、実施後の評価により5単位を付与する。企業の開発、販売の現場において、現状分析により自ら課題を抽出し、解決に向けて計画を立てて業務を行うことをチーム員として体験することを狙いとして、実習先企業の組織内での業務を体験する。

学生は、1年次、及び2年次の必修科目に加え、「ビジネスファイナンス」、「経営学」、「イノベーションマネジメント」、「グローバルマーケティング」、「グローバルメディア戦略実践Ⅱ」、「グローバルサプライチェーンマネジメントⅠ」、「グローバルロジスティクス論」、「貿易実務論」、「航空貨物輸送実習」、「通関論Ⅰ」を履修しており、企業の現場における実務課題へのアプローチを通し、理論の実践、また実践を通じた理論の深い理解を図ることも狙いである。また、国際コース、貿易・グローバルロジスティクスコース、ウェブビジネスコース共通に、英語授業「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」、「English Crucial SkillsⅠ、Ⅱ」、「English for Global BusinessⅠ、Ⅱ、Ⅲ」を履修しており、実習先の言語環境により、ビジネスの現場での英語コミュニケーションの実践機会ともする。

臨地実務実習Ⅲは、3年次必修科目で、実習の満たすべき水準は、実習先企業で、与えられた課題に対し現状分析により自ら課題を抽出し、解決に向けて計画を立てて業務を行う姿勢を持つことである。具体的な到達目標を③-3 実習の到達目標に示す。

③-3 実習の到達目標

(知識・理解)

- ・実習先企業の製品、サービス、業務内容部署、及び部署の役割、組織構成の概要を理解し説明することができる。
- ・実習先企業の業務を遂行するために必要な専門知識、技術を習得している。

(能力)

- ・実習先企業の現場において、現場のニーズ、要件の分析により、指導者の助言を得なが

ら、自ら課題を設定する。実行にあたっては、解決のアプローチをチームで議論しながら解を導く姿勢が身についている。

- ・現状のニーズ、要件の分析、解決へのアプローチについて、学習した理論あるいは視点を活用して考える姿勢が身についている。

- ・解決案を文書化し、プレゼンテーションできる。

(志向・態度)

- ・所属する受入先の部署やチームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を遂行することができる。

④ 臨地実務実習Ⅳ

科目名	臨地実務実習Ⅳ
年次	4年
単位数	5単位(150時間)
専門科目群との関係	1年次、2年次、3年次履修の専門科目群に加えて、下記科目。 経済経営科目群： 経営組織論、プロジェクトリーダー養成実習 国際経済学総論、国際金融論 国際ビジネス科目群： グローバルサプライチェーンマネジメントⅡ、 グローバルサプライチェーンマネジメント実習 ロジスティクス実習、通関論Ⅱ 国際通商協定論、国際観光論
指導体制	指導教員(2)、キャリアセンター職員(3)、助手(3)

④-1 概要

臨地実務実習Ⅳは、解あるいは解に向けたアプローチが単純には定まらない実務課題に対し、現状を分析し課題を設定し、解決に向けて複数の仮説を立ててこれを検証し解を導くというビジネス現場での通常のプロセスを体験し自ら実行することが目標である。現状分析による課題の設定、解決に向けた仮説の設定に対し必要となる専門的知識、技術を統合し解を導く姿勢を身に付けさせる。

④-2 実習の水準

臨地実務実習Ⅳは、教育カリキュラムの専門科目群の中で4年次必修科目とし、本学カリキュラムの総仕上げの位置づけである。実施後の評価により5単位を付与する。

学生は、1年次、2年次、及び3年次の必修科目に加え、専門基礎科目群から「経営組織論」、「プロジェクトリーダー養成実習」、「国際経済学総論」、「国際金融論」、また専門基幹科目群として「グローバルサプライチェーンマネジメントⅡ」、「グローバルサプライチェーンマネジメント実習」、「ロジスティクス実習」、「通関論Ⅱ」、「国際通商協定論」、「国際観光論」などを履修しており、企業の現場における実務課題へのアプローチを通し、理論の実践、また実践を通した理論の深い理解を図ることも狙いである。また、国際コース、貿易・グローバルロジスティクスコース、ウェブビジネスコース共通に、英語授業「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」、「English Crucial SkillsⅠ、Ⅱ」、「English for Global BusinessⅠ、Ⅱ、Ⅲ」を履修しており、実習先の言語環境により、ビジネスの現場での英語コミュニケーションの実践機会ともする。

臨地実務実習Ⅳは、4年次必修科目で、実習の満たすべき水準は、企業の開発、販売の現場において、マーケティング、経営観点を含む多様な課題に対し、解決のアプローチとして、あるべき姿を仮説としておき、その上で関連する利害関係者のニーズ、要件をヒアリング、現状分析を行うことにより仮説を検証しながら結論を導くというビジネス現場における通常のプロセスが身につけていることである。また習得した専門知識、学習した理論あるいは視点で課題を捉える姿勢が身につけていることである。

具体的な到達目標を④-3 実習の到達目標に示す。

④-3 実習の到達目標

(知識・理解)

- ・実習先企業の製品、サービス、業務内容部署、及び部署の役割、組織構成の概要を理解し説明することができる。
- ・実習先企業の業務を遂行するために必要な専門知識、技術を習得している。

(能力)

- ・現場のニーズ、要件の分析により自ら課題を設定することに加え、解決に向けての仮説を自ら設定しこれを検証することにより解を導く、予測しない事象に対し柔軟に計画を見直すというビジネスの現場における通常のプロセスを実行する姿勢が身につけている。
- ・現状の分析、仮説の設定は、学習してきた理論、あるいは視点を活用し業務提案を行う姿勢が身につけている。
- ・解決案を文書化し、プレゼンテーションできる。

(志向・態度)

- ・所属する受入先の部署やチームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を遂行することができる。

4. 成績評価の基準と評価方法

実施後の評価により、前述の実習水準に対し、下記の評価基準により、単位を認める最低限の基準を超える水準に達していると判断される場合に、5単位を付与する。実施の評価は、レポートによる技能審査により評価する。

〔評価基準〕

- S：目標を大きく超え、非常に優秀である。
- A：目標を超え、優秀である
- B：概ね目標に達している
- C：単位を認める最低限の基準に達している
- D：単位を認める最低限の基準に達していない

臨地実務実習Ⅰ～Ⅳ各科目の到達目標は、前述したが、その具体的な評価基準を下記に示す。ここで、評価基準は、「目標設定理論」の提唱者である E.A.Locke と G.P.Latham による評価手法をフレームワークとして利用して設定した。

臨地実務実習Ⅰ 評価基準

評価項目		評価基準
知識・理解	業務知識と理解	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・実習先企業の製品、サービス、業務内容の概要を理解し説明することができる。 ・実習先部署の役割、組織構成、担当社員の分掌の概要を理解し説明することができる。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 ・(A) 当該会社のみならず、業界、市場において扱う製品、サービスの位置づけ概要を理解し、課題意識をもって業務を行えた。 ・(B) 担当する業務のみならず、事業所、会社の業務内容、プロセス、組織について概要を理解し業務を行えた。 ・(C) 担当する業務については、業務内容、プロセス、組織について概要を理解し業務を行えた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
能力	計画立案と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・設定した目標課題に対し、計画を立てて実行する。 ・チームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を実行する。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 <p>取り組みの主体性、自律性の観点で下記評価基準を設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(A) 課題、目標に対し、立案した計画に対し、実際の状況において自ら改善を加え指導者の承認、指示を得て、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。 ・(B) 課題、目標に対し、立案した計画に対し実際の状況に応じて指導者の指示に従い修正を加えながら、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。 ・(C) 課題、目標に対し、実習先の業務内容に基づく基本技術を習得した上で、計画を立て指導者の指示に従い、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
志向・態度	ビジネスマナーの習得	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・社会人としてのビジネスマナーを身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 <p>ビジネスマナーの評価尺度は定性的ではあるが、下記項目をそれぞれ点数化しA～Dにグレード化する。評価尺度を客観化するために、実務技能検定協会が示す「ビジネス実務マナー」項目をフレームワークとして適用し項目を設定している。下記の評価項目について、「社会人としてのビジネスマナーを身に付けている」ことを基準に評価する。</p> <p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマンとしての資質 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な行動力、判断力、表現力を期待できる。 ・明るさ、誠実さを備えている。 ・身だしなみを心得ている。 ・自己管理について理解できる。 ・人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係への対処について一応理解している。 ・話し方・会話力 <ul style="list-style-type: none"> ・立場、目的に応じた話し方について一応理解している。 ・感じの良い話し方について理解している。 ・伝えようとする分かりやすい話し方を理解している。 ・応対力 <ul style="list-style-type: none"> ・用件の受け方、伝え方を理解している。

評価項目		評価基準
知識・理解	業務知識と理解	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・「能力」項で示す「担当業務課題の設定」に必要なレベルで、実習先企業の製品、サービス、業務内容を理解し説明することができる。 ・実習先部署の役割、組織構成、担当社員の分掌の概要を理解し説明することができる。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 ・(A) 当該会社のみならず、業界、市場において扱う製品、サービスの位置づけ概要を理解し、課題意識をもって業務を行えた。 ・(B) 担当する業務のみならず、事業所、会社の業務内容、プロセス、組織について必要な項目を理解し業務を行えた。 ・(C) 担当する業務については、業務内容、プロセス、組織について必要な項目を理解し業務を行えた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
能力	計画立案と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・実習先企業の現場において、指導者の助言を得ながら設定した目標課題に対し、計画を立てて実行する。実務の実行にあたっては、担当実務の課題を抽出した上で、解決のアプローチをチームで議論しながら解を導く姿勢が身についている。 ・実習先企業の業務内容に基づく基本技術を習得している。学習した理論あるいは視点で課題を捉えて、計画を立案できる。 ・チームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を実行する。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 <p>課題設定、解決へのアプローチを含む取り組みの主体性、自律性の観点で下記評価基準を設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(A) 課題、目標に対し、立案した計画に対し、実際の状況において自ら改善を加え指導者の承認、指示を得て、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点を応用し改善提案し実行できた。 ・(B) 課題、目標に対し、立案した計画に対し実際の状況に応じて指導者の指示に従い修正を加えながら、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点で課題を捉えて立案できた。 ・(C) 課題、目標に対し、実習先の業務内容に基づく基本技術を習得した上で、計画を立て指導者の指示に従い、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点で課題を捉えて立案できた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
志向・態度	ビジネスマナーの習得	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・社会人としてのビジネスマナーを身に付けているとともに、チームの中で、他者と業務を進めていく上での志向・態度を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 <p>下記項目をそれぞれ点数化しA～Dにグレード化する。評価尺度を客観化するために、実務技能検定協会が示す「ビジネス実務マナー」項目をフレームワークとして</p>

		<p>適用し項目を設定している。 下記の評価項目について、「チームの中で、他者と業務を進めていく上での志向・態度を身に付けている」ことを基準に評価する。</p> <p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスマンとしての資質 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な行動力、判断力、表現力を期待できる。 ・明るさ、誠実さを備えている。 ・身だしなみを心得ている。 ・自己管理について理解できる。 - 人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係への対処について理解している。 - 話し方・会話力 <ul style="list-style-type: none"> ・立場、目的に応じた話し方について理解している。 ・感じの良い話し方について理解している。 ・伝えようとする分かりやすい話し方を理解している。 - 応対力 <ul style="list-style-type: none"> ・用件の受け方、伝え方を理解している。
--	--	--

臨地実務実習Ⅲ 評価基準

評価項目		評価基準
知識・理解	業務知識と理解	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・「能力」項で示す「担当業務課題の抽出」に必要なレベルで、実習先企業の製品、サービス、業務内容を理解し説明することができる。 ・実習先部署の役割、組織構成、担当社員の分掌の概要を理解し説明することができる。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 ・(A) 当該会社のみならず、業界、市場において扱う製品、サービスの位置づけ概要を理解し、課題意識をもって業務を行えた。 ・(B) 担当する業務のみならず、事業所、会社の業務内容、プロセス、組織について必要な項目を理解し業務を行えた。 ・(C) 担当する業務については、業務内容、プロセス、組織について必要な項目を理解し業務を行えた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
能力	計画立案と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・実習先企業の現場において、現場のニーズ、要件の分析により、指導者の助言を得ながら、自ら課題を設定する。実行にあたっては、解決のアプローチをチームで議論しながら解を導く姿勢が身についている。 ・実習先企業の業務内容に基づく基本技術を習得している。現状のニーズ、要件の分析、解決へのアプローチについて、学習した理論あるいは視点を活用して考える姿勢が身についている。 ・チームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を実行する。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 <p>課題設定、解決へのアプローチを含む取り組みの主体性、自律性の観点で下記評価基準を設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(A) 課題、目標に対し、現状の分析、要件の分析により設定した計画に対し、実際の状況において自ら改善を加え指導者の承認、指示を得て、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点を応用し改善提案し実行できた。 ・(B) 課題、目標に対し、現状の分析、要件の分析により、指導者の助言を得ながら計画を立案できた。立案した計画に対し実際の状況に応じて指導者の指示に従い修正を加えながら、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点を捉えて立案できた。 ・(C) 課題、目標に対し、実習先の業務内容に基づく基本技術を習得した上で、現状の分析、要件の分析を行い、計画を立て指導者の指示に従い、チームメンバーとの協調により、期限内に最後まで実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点を捉えて立案できた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
志向・態度	ビジネスマナーの習得	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・社会人としてのビジネスマナーを身に付けているとともに、チームの中で、他者と

		<p>協調しつつ自らの意見、考えを相手に伝える志向・態度を身に付けている。</p> <p>・評価基準</p> <p>下記項目をそれぞれ点数化しA～Dにグレード化する。評価尺度を客観化するために、実務技能検定協会が示す「ビジネス実務マナー」項目をフレームワークとして適用し項目を設定している。</p> <p>下記の評価項目について、「チームの中で、他者と協調しつつ自らの意見、考えを相手に伝える志向・態度を身に付けている」ことを基準に評価する。</p> <p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマンとしての資質 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な行動力、判断力、表現力を期待できる。 ・明るさ、誠実さを備えている。 ・身だしなみを心得ている。 ・自己管理について理解できる。 ・人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係への対処について理解している。 ・話し方・会話力 <ul style="list-style-type: none"> ・立場、目的に応じた話し方について理解している。 ・感じの良い話し方について理解している。 ・伝えようとする分かりやすい話し方を理解している。 ・応対力 <ul style="list-style-type: none"> ・用件の受け方、伝え方を理解している。
--	--	---

臨地実務実習Ⅳ 評価基準

評価項目		評価基準
知識・理解	業務知識と理解	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・「能力」項で示す「課題の設定、及び解決に向けた仮説の設定と検証」に必要なレベルで、実習先企業の製品、サービス、業務内容を理解し説明することができる。 ・実習先部署の役割、組織構成、担当社員の分掌の概要を理解し説明することができる。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 ・(A) 当該会社のみならず、業界、市場において扱う製品、サービスの位置づけ概要を理解し、課題意識をもって業務を行えた。 ・(B) 担当する業務のみならず、事業所、会社の業務内容、プロセス、組織について必要な項目を理解し業務を行えた。 ・(C) 担当する業務については、業務内容、プロセス、組織について必要な項目を理解し業務を行えた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
能力	計画立案と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・現場のニーズ、要件の分析により自ら課題を設定することに加え、解決に向けての仮説を自ら設定しこれを検証することにより解を導く、予測しない事象に対し柔軟に計画を見直すというビジネスの現場における通常のプロセスを自ら体験する。現状の分析、仮説の設定は、学習してきた理論、あるいは視点を活用し業務提案を行うことを目標とする。これにより、実際の仕事の中で、企業に貢献する。 ・チームメンバーと協調性を持って行動し、期限を守って業務を実行する。 <p>に対し、下記を評価基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 <p>課題設定、解決へのアプローチを含む取り組みの主体性、自律性の観点で下記評価</p>

		<p>基準を設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(A) 現状分析、要件分析による課題の設定に加え、解決に向けた仮説を自律的、主体性を持って設定、指導者の承認を得て計画化。チームメンバーとの協調により、これを検証しながら解を導くというプロセスを実行できた。さらには実際の状況において、自ら改善を加えてPDCAを廻す行動をとることができた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点で課題を捉えて立案できた。 ・(B) 現状分析、要件分析による課題の設定に加え、解決に向けた仮説を自律的、主体性を持って設定、指導者の承認を得て計画化。チームメンバーとの協調により、これを検証しながら解を導くというプロセスを実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点で課題を捉えて立案できた。 ・(C) 現状分析、要件分析による課題の設定に加え、解決に向けた仮説を指導者の助言を得ながら自ら設定、チームメンバーとの協調により、これを検証しながら解を導くというプロセスを実行できた。課題の抽出、解を導くプロセスにおいて、学習した理論あるいは視点で課題を捉えて立案できた。 <p>SはAの基準を超え、自律性、主体性の観点も含め非常に優秀である。 C以上が単位を認める基準とする。</p>
志向・態度	ビジネスマナーの習得	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標 ・社会人としてのビジネスマナーを身に付けているとともに、チーム内及びチーム外で、自らの考えに従ってプレゼンテーションができる、相手と交渉ができる志向・態度を身に付けている。 ・評価基準 下記項目をそれぞれ点数化しA～Dにグレード化する。評価尺度を客観化するために、実務技能検定協会が示す「ビジネス実務マナー」項目をフレームワークとして適用し項目を設定している。 下記の評価項目について、「チーム内及びチーム外で、自らの考えに従ってプレゼンテーションができる、相手と交渉ができる志向・態度を身に付けている」ことを基準に評価する。 【評価項目】 ・ビジネスマンとしての資質 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な行動力、判断力、表現力を期待できる。 ・明るさ、誠実さを備えている。 ・身だしなみを心得ている。 ・自己管理について理解できる。 ・人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係への対処について理解している。 ・話し方・会話力 <ul style="list-style-type: none"> ・立場、目的に応じた話し方について理解している。 ・感じの良い話し方について理解している。 ・伝えようとする分かりやすい話し方を理解している。 ・応対力 <ul style="list-style-type: none"> ・用件の受け方、伝え方を理解している。

〔評価方法〕

レポートによる技能審査にて、上記の評価基準により評価し、単位を認定する。

実習先企業との間で事前に、上記評価基準を共有している。評価は、実習先企業指導者の評価を含む「臨地実務実習評価書」（添付別紙5）及び学生の作成する実習記録（添付別紙6）、事後に作成する成果報告書により行う。

評価基準は、業務知識、計画立案と実行、ビジネスマナーの習得の項目が細分化されるが、

各項目において、取り組みの主体性、自律性が、実習の目的からみて重要な観点となる。

5. 実習計画（事前、実習中、及び事後）

① 事前指導計画

臨地実務実習の事前計画として、学生に対する指導、受入先企業との連携について記載する。

①-1 学生説明会の実施

全学生を対象に、4月に臨地実務実習説明会を開催し、下記の情報を共有する。

- ・動機付け（実習の目的、内容、スケジュール、ビジネス実務の理解）
- ・必要となる専門知識、技術の確認（専門職科目との関係、各分野で必要となるビジネススキル（知識、能力、志向））
- ・目標設定について（成果目標の設定、行動計画の策定）
- ・その他（社会人としてのマナー、実習記録の作成、事後報告）

また、当該年度の臨地実務実習先企業を公開し、希望する実習先を記載するための実習希望調書の提出、実習先の決定、実施までの流れを説明する。

①-2 実習先のエントリー、選定、調整

説明会実施時に配布の資料に基づき、学生に実習テーマの設定に向けた実習希望調書票を提出し、指導担当教員及びキャリアサポートセンタ職員と調整のための面談を行う。実習テーマ希望、理由、現時点での目標及び、当該学生の専門科目履修状況を確認した後に、臨地実習先を仮決定する。本学では、この調整期間の余裕を充分に取っている。学生のみならず企業とも連携を密に取っているからである。この準備期間に、学生自身にしっかりとした目的意識を持ち、自律的、主体的に実習に臨めるようにする。

実習テーマの設定について、実習学生が実習先企業に配属され一定の業務を担当し、業務、就業への理解を促進させることは共通の目的だが、企業側の実務実習への取り組みの考え方、業務の特性、受入部門により、実習テーマが決まってくる要素もある。2項に実習業務の概要について述べたが、実習テーマは、下表に示すように、①現場業務実践型、② 調査研究型、③混合型など、学校側の教育課程の考え方、企業側の受入の考え方で、テーマ設定が具体化される。学生には、実習テーマの設定に先立ち、考え方を良く理解させた上で、具体テーマの設定を行う。

実習テーマの設定について

①調査研究型	②現場業務実践型	③混合型
--------	----------	------

<ul style="list-style-type: none"> ・企画、調査、研究部門に配属、学生の専攻と直結する専門テーマについて取り組む (例) ・IT企業での商品企画、要件定義業務など。 ・物流会社での企画業務 ・観光協会での企画業務など 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業現場部門に配属、学生の専攻とリンクする実務テーマに取り組む (例) ・IT企業でのソフトウェア開発業務 ・物流会社での貨物輸送業務、通関業務など ・観光業界での接客業務など 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の部署を比較的短期間で体験、企業、業界についての理解を深めるテーマに取り組む
--	---	---

①-3 受入先の決定

各臨地実務実習約3ヶ月前に受け入れ可能企業と最大受け入れ人数、臨地実務実習での実習内容を学生に公開する。それをもって学生に対して、第1希望から第3希望までの企業をヒアリングし、実習テーマ希望、理由、現時点での目標及び、当該学生の専門科目履修状況を確認のために、担当教員、キャリアセンター職員による学生面談、選考を実施する。

選考結果については、必要に応じて受け入れ施設とも調整を行う。この時、受け入れ人数を超えた企業については、担当教員、キャリアセンター職員による協議を実施し、予め受け入れ施設と選考基準の優先順位付けを調整し、その基準に沿って選考を実施し、最終決定する。なお、選考基準については、学業成績、特定科目の履修状況、成績、出席率、面談内容とする。

最終決定事項について、キャリアセンターにて、受入先との協定及び同意契約書、交通機関の届け出を含む臨地実実習計画票を仮決定した企業に送付し、学校側、企業側との合意がなされたのちに、最終決定事項を学生に通達する。

①-4 受入先決定から臨地実務実習開始までの準備

学生には、担当指導教官の下、臨地実務実習受入先の概要等を把握させ、臨地実務実習の主旨、目的などを理解させる。受入条件等を充分確認し、必要に応じて、事前の学習や安全について準備が必要な旨の指導を行う。

② 臨地実務実習期間中の計画

臨地実務実習中の計画として、学生に対する指導、受入先企業との連携について記載する。

②-1 臨地実務実習期間中の指導

原則として、実習期間中は実習先企業の実習指導者が指導を行う。実習先企業との連携体制については、指導教員、キャリアセンター職員による巡回によって、企業側の担当者や直

に接して連携を取る。加えて、不測の事態や天災などによる集中的な問い合わせにも対応できるように、担当外の教員や職員と手分けをし、メールや電話等の通信手段も利用する。

実習中の連絡体制については、既に述べた巡回に加え、本学はキャリアセンターを設置し、受け入れ先企業からの連絡が必ず受けられる体制とし、実習の質を担保できるようにする。

キャリアセンターの構成員は、本学の職員で構成され、実習前から連携する企業の現地視察や各種契約書類の整理などに携わることで、指導教員の負担軽減のみならず、企業と密な連携を可能とする。さらに、キャリアセンターは複数人で構成されるため、不測の問題が発生したとしても、迅速な対応が可能となる。万が一、実習内容が不適切であるなどの問題が認められた場合は、受け入れ先への状況改善を依頼する、場合によっては受け入れ先の変更など、速やかに事態の改善を図る役目も担う。巡回指導を含め、実習実施体制について、「(6) 実習指導教員体制」項に示す。

②-2 臨地実務実習記録の作成

学生は、実習の状況について、実習予定、実施内容（実習項目、指導者から指導を受けた内容、成果、学んだこと）を記載する実習ノート（【資料 11-7】：臨地実務実習記録フォーム）を作成し、計画に従った周期で担当教員へ報告する。

②-3 事故等発生時の対応

万が一災害事故及び交通事故等が発生した場合には、指導担当者の指示を受けるとともに、指導担当教員及び学校事務部門へ速やかに報告、必要な指示を出す。【資料 11-8】

②-4 実習期間のスケジュール

実習期間は、前述のように概ね1ヵ月間（4週間）を目途とし、実習先の指導者の指導の下、下記のスケジュールを基本として実習を実施する。

初日	①オリエンテーション（企業の概要、組織、就業規則、実習体制、内容について説明を受ける） ②自身の目標について、指導者と擦り合わせ
1 週目	①実習先の業務内容を理解。 ②その上で、目標設定を行い指導者のフィードバックを得る。
2 週目	①チームメンバーとして、補助業務を行う。 ②2週目を振り返り、不足知識、技術、問題点を自己分析し、与えられたテーマ、課題に対し計画を見直し、指導者のフィードバックを得る。
3 週目	①引き続き、テーマ課題の実施。
4 週目	①引き続き、テーマ課題の実施。

	②計画、成果の纏め。指導者の助言を受け、実習成果についてのプレゼンを行う。実習先の協力を得て、できるだけ多くのフィードバックを頂き、実習報告書として纏める。
--	--

③ 臨地実務実習終了後の計画

③-1 臨地実務実習報告書の提出

実習終了後、速やかに学校側から実習先指導員へ御礼を行うとともに、学生は、実習先企業指導者に評価頂いた実習評価報告書（【資料 11-6】：臨地実務実習実施評価書フォーム）を提出する。

③-2 報告会の実施

学部・学科で、臨地実務実習報告会を実施することを原則とする。学生の学習成果を客観的に評価し、各自の課題に関してフィードバックを行う機会とする。

6. 実習指導教員体制

臨地実務実習を実施するための指導体制は、指導責任教員の下に、指導教員、キャリアセンター職員及び助手からなり、臨地実務実習の事前、期間中、及び事後の指導にあたる。キャリアセンター職員は3名で構成され、キャリア相談の専門家（キャリアコンサルタント）として学生の実習テーマ設定に向け学生の面談にあたりるとともに、指導教員と連携し、実習先企業との調整、提携、及び学生への通達など事前指導、期間中の連絡及び巡回指導、及び事後の指導にあたる。また、助手3名が、実習先企業との調整、提携、及び学生への通達など事前指導、期間中の連絡及び巡回指導などにおいて指導教員を補助し、実習指導での指導教員の負担を平準化する。

特に本学の場合には、グローバルコミュニケーション実践の場として、各回数名程度の受け入れが可能な海外施設を実習先として保有しており、これとの綿密な連携体制を構築し進める。具体的には、オーストラリア シドニー市、他多くの国都市に、実習先施設との調整、提携、及び実習の事前、期間中、事後の学生指導にあたる日本人による現地法人を本学の教育提携先企業として有している。日本側キャリアセンターは現地の教育提携先企業と常時緊密に連携しており、巡回指導の負担を軽減しつつ、国内での実習と同レベルの水準で、学生がネイティブとのグローバルコミュニケーション実習を円滑に実施するための支援体制を構築している。なお、海外企業等において実習を行う学生に対する交通費、滞在費等の経費は基本的に学生が負担することとしている。

実習先企業は、IT・DX系企業、流通・物流・貿易系企業、語学・観光関連企業、団体と

多岐にわたり、企業毎に担当教員を割り当て、キャリアセンターと連携の下に、実習先企業の指導者との情報共有、指導依頼を行う。また、キャリアセンターにて、実習先企業のデータベース化の構築など、学内での学生の管理、企業との連携が円滑に進められるような連携体制を確立する。

既に述べたように、施設の実習指導者と学生の比率については、実習指導者1名に対し5名程度までを基本とし、多人数受入の場合には、実習指導者を増員するよう施設に要請し、実習指導者1名に対し最大でも10名を目途とする。

担当教員は、事前指導として、学生の実習先希望調書に基づき、実習テーマの設定について学生との面談を実施、実習テーマを仮設定し実習計画書を作成させた後に、実習先企業との協議を行う。学校側と企業側との合意がなされたのちに、決定事項を学生に通達する。

実習開始までの間は、学生に受入先企業の概要、実習の目的を良く理解させる。受入条件を充分確認し、必要に応じて事前の学習や安全についての準備が必要な旨の指導を行う。

実習期間中は、基本的に実習先企業の指導者が学生の指導を行う。担当教員は、キャリアセンター職員と連携し、実施期間中、事前計画書に従って、実習先企業を巡回訪問し、実習目標に対する到達度や生活面も含めた助言を行う。実習で身に付けた能力が定着するように、学生には、実習日誌を毎日書かせ、スケジュール管理、目標到達度管理を自身で行わせるとともに、実習記録を指導者に報告、フィードバックを頂く。実習期間中に災害事故等が発生した場合には、すみやかに担当教官に報告させ、指導を仰ぐこととする。

実習後は、担当教官の指導の下に実習報告会を開催し、実習成果、反省事項をプレゼンテーションし、自身の纏めとする。なお、実習報告会は、できるだけオープンな場で実施し、特に低年次学生の学びの場とする。

7. 実習先企業との連携体制

実習担当教員及びキャリアセンター職員は、実習先企業指導者とは綿密に連携し、実習の1年前には協議を開始し、本学からは、理念、実習の目的、目標、評価基準、事前・事後の指導内容を共有、実習期間及び期間中の実習テーマについて擦り合わせを行うとともに、機密保持契約、不慮事故発生時の対応等について擦り合わせる。

本学は、業界及び地域社会のニーズを反映した教育課程を編成、実施するために「教育課程連携協議会」を設置している。その構成員は、本学教職員、教育課程に関わる職業に就いている関係者、地方公共団体職員、地域事業者、臨地実務実習先企業など多岐にわたり、産学官連携の実質を高める議論を進めている。専門職大学として本学の最も特徴的なカリキュラムを構成する臨地実務実習を、学校、実業界両者にとって真に有効なものとしたいと考えている。受入企業と実施体制、実施テーマを事前に十分擦り合わせ進めることになるが、現場における実習生の課題を共有するとともに、その対応さらには、実習の在り方、実習を含む人材育成の在り方を教育課程連携協議会において産学双方の立場から十分に議論する。

そして、本学実習指導責任教官によるセミナーを実施し、実習先企業における指導の一助としていただく。

8. その他

① 実習中の災害補償及び損害賠償責任及び守秘義務について

臨地実務実習の実施に当たっては、実習中の事故により学生が怪我等を負ったり、学生が実習先や第三者に損害を与えたりする場合に備え、保険加入により安全を確保する。本学の学生は入学時から、臨地実務実習活動中やその往復において、物損や他者への怪我を含めこれを補償するような保険に加入する。海外における臨地実務実習活動の場合もこの範囲とする。

加えて、受入先企業で得た情報が外部に知られることがないように学生に注意喚起を行うことはもちろん、企業側と必要な秘密保持契約をそれぞれの実習先事業所と学生が結ぶ。なお、秘密保持契約書は、海外を含め受入企業先の状況が異なるため、基本的に企業側のフォームに合わせる。